設 置 計 画 の 概 要

事項	記入欄	
事 前 相 談 事 項	事前伺い	
計 画 の 区 分	学部の設置	
フ リ ガ ナ	コクリツタ・イカ・クホウシ・ン トウキョウカ・イコクコ・タ・イカ・ク	
設 置 者	国立大学法人 東京外国語大学	
フリガナ 大学の名称	トウキョウがイコウコ'ヴ'イカ'ク 東京外国語大学(Tokyo University of Foreign Studies)	
	来来が国面八子(Tokyo University of Poteign Studies)	\dashv
新設学部等における教育研究上の 目 的 、養 成 す る 人 材 像	【国際日本学部 国際日本学科】 ①養成する人材像 世界の中における日本を正しく理解し、世界の人々と共生し、多文化共生の実現に貢献できる人材、また、社会の中でリークシップを発揮し、世界に向けて日本を発信することのできる人材。 ②修得させる能力等の教育研究上の目的 ア)英語・日本語の高度な言語運用能力、イ)日本や世界諸地域についての知識・教養、ウ)現代社会を生きる上で必要ないい知識・教養、エ)日本社会、日本文学・文化、日本語、日本語教育に関する専門的な知識、オ)主体的に考え、行動し、発信る力を涵養する。その実現のため、Ⅰ・個々の学生の能力・必要に応じた柔軟な言語教育、Ⅱ・国際的な視座にたつ総合的、つ専門的な日本教育、Ⅲ・日本人学生・留学生が協働する実践的教育や留学機会の提供によるリーダーシップと協働力の消養、の3点を実現させる。 ③卒業後の進路 グローバル企業や海外展開する日本企業等での総合職、地方自治体や企業における多文化コーディネート職、国内外の日語教育現場などでの教育職、大学院進学者(将来的に研究者、教師等をめざす)。	冨広 言すか
既設学部等における教育研究上の 目 的 、養 成 す る 人 材 像	【言語文化学部 言語文化学科】 ①養成する人材像:世界諸地域の言語と文化に精通し、言語や文化の壁を越えたコミュニケーション能力とコーディネート能力機大力に対して言語間・文化間の架け橋となり、新たな価値観の創成に寄与する国際教養人②修得させる能力:コミュニケーション能力・コーディネート能力・伝達力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	まら実践
新 設 学 部 等 に お い て 取 得 可 能 な 資 格	【国際日本学部 国際日本学科】 ・中学・高校教員 1種(国語) ① 国家資格,② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか,教職関連科目の履修が必要	
既 設 学 部 等 に お い て 取 得 可 能 な 資 格	【言語文化学部 言語文化学科】 ・中学・高校教員 1種 (英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語,中国語、朝鮮語) ① 国家資格,② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか,教職関連科目の履修が必要 【国際社会学部 国際社会学科】 ・中学教員 1種 (社会)・高校教員 1種 (地理歴史) ① 国家資格,② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか,教職関連科目の履修が必要	

新			修業	入学	編入学	収容	授与する	5学位等		専 任 教 員		
設学	新設学部	3等の名称	年限	定員	定員	定員	学位又 は称号	学位又は 学科の分野	開設時期	異動元	助教 以上	うち 教授
部等	国際日本学部	国際日本学科					学士	文学関係	平成31年 4月	言語文化学部言語文化学科 国際社会学部国際社会学科	8	4
かの	[School of Japan	[Department of	4	75	3年次	320	チェ (言語・地域文	社会学•社会福	o Fryl.	新規採用	3	1
概	Studies]	Japan Studies]			10		化)	祉学関係	3年次 平成33年	その他	16	4
要									4月	<u></u>	29	10
<u> </u>		L	t to alle	7 334	۸ - - سد		授与する	 気学位等		専任教員		10
既	既設学部	3等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	学位又は 学科の分野	開設時期	異動先	助教 以上	うち 教授
設							.0-17	, , , , , , , , ,		国際日本学部国際日本学科	8	4
学					3年次		学士	文学関係	平成24年	言語文化学部言語文化学科	84	21
部	言語文化学部	言語文化学科	4	370	15	1510	(言語·地域文 化)	社会学·社会福 祉学関係	4月	退職	24	22
等							1L)	仙子岗床		計	110	45
0										国際日本学部国際日本学科	116 2	47
概							学士	文学関係		国際社会学部国際社会学科	44	17
要	国際社会学部	国際社会学科	4	375	3年次	1,530	(言語・地域文	社会学·社会福	平成24年 4月	退職	15	15
女					15		化)	祉学関係	4月			
										# 	61	33
同一	考欄】 一設置者内におり 言語文化学部	ける変更状況										
	言語文化学科 (3年次編入学	学定員)		〔定員 〔定員		(A (A		(平成31年4月) (平成33年4月)				
	国際社会学部 国際社会学科 (3年次編入学	, , = , ,		〔定員		(△ (△		(平成31年4月) (平成33年4月)				
	会合国際学研究系 (博士後期課程) 共同サステイナ 世界言語社会専	トビリティ研究専	厚攻	〔定員	[減]	((△		(平成30年3月意 (平成31年4月)	:見伺い)			

【施設・設備の状況】

		用りたんし											
校		区 分		専	用	共	用		用する化 校等の専			計	
		校 舎 敷 地		94	4, 250 m²		0 m²			0 m		94, 250 m²	
地		運動場用地		27	7,758 m²		0 m²			0 m²		27, 758 m²	
		小 計		122	2,008 m²		0 m²			0 m²		122, 008 m²	
築		その他		7	7,992 m²		$0 m^2$			0 m		7,992 m²	
,1		合 計		130), 000 m ²		0 m ²			0 m²		130, 000 m ²	
				専	用	共	用		用する化 校等の専			計	
	校舎			42	2, 158 m²		0 m²			0 m		42, 158 m²	
				(42, 15		(0 m^2	(0 m²)	<u> </u>	2, 158 m²)	
		講義室		演習:	室	実験	実習室	情報	処理学習			学習施設	
教皇	数室等				42 室		1 室	(1.5)	-1 wit I	6 室		1 室	大学全体
					due = n N/L lue	tala ta		(補」	助職員	0人)	(補助耶	厳員 5人)	
専	任	教 員 研 究	室		新設学部					室	数	,	
			,		国際日			<u> </u>		28		室	
	新記	設学部等の名称	ſŏ	図書 ち外国書〕	学術を		電子ジャー	ナル	視聴覚	資料 機	械・器具	標本	
図	7/2/1 19	X 1 m 4 . 2 . 2 . 4 . 1.		一一一一一	() 3/1	種	〔うち外国			点	点	点	
書・	I I I I I I I I I I	7 -1 - 3/4 -4-12	855, 26	31 [463, 980]	9,607	[3, 370]	6, 473 [5,	904]	1188	3	7	0	大学全体
設	国際	日本学部	(855, 2	61 [463, 980])	(9, 607 [3	3,370))	(6, 473 [5, 9	04])	(1188	3)	(7)	(0)	
備		⇒ 1	855, 26	61 [463, 980]	9,607 [(3, 370)	6, 473 [5,	904]	1188	3	7	0	
		計	(855, 2	61 [463, 980])	(9, 607 [3	3, 370])	(6, 473 [5, 9	04])	(1188	3)	(7)	(0)	
	-	図書館		面積			閲覧座席	数		収約	内 可 能	冊数	
		凶音貼			6, 930	m²	564				689, 69	4	大学全体
		体育館		面積			体育的	官以外	のスポー	-ツ施詞	骨の概要		八十土件
		日 日			3, 040	m² 🧵	テニスコート	5	ĵ				

【既設学部等の状況】

	大	学	0)	名	称	東京夕	国語大学	学						
	学	部	等	の	名	称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	定 員 超過率	開設 年度	所 在 地	
							年	人	年次 人	人		倍			
	言語	吾文化	/学部	3								1.01		東京都府中市朝日 町三丁目11番1号	
	Ī	言語文	化学	科			4	370	3年次 15	1, 510	学士(言語・ 地域文化)	1.01	平成24年度		
	国際	祭社会	学部	3								1.02		東京都府中市朝日 町三丁目11番1号	
既	B	国際社	上会学	科			4	375	3年次 15	1, 530	学士(言語・ 地域文化)	1.02	平成24年度		
設大															
学等	外国	国語学	全部											東京都府中市朝日 町三丁目11番1号	
の状	K	欠米第	5一課	程			4	_	_	-	学士(言語・ 地域文化)	_	平成7年度		平成24年度より 学生募集停止
況	Ķ	欠米第	5二課	程			4	-	-	-	学士(言語・ 地域文化)	-	平成7年度		平成24年度より 学生募集停止
	I	コシア	* ・ 東	欧記	果程		4	_	-	-	学士(言語・ 地域文化)	-	平成7年度		平成24年度より 学生募集停止
	耳	東アシ	ジア課	程			4	-	-	-	学士(言語・ 地域文化)	-	平成7年度		平成24年度より 学生募集停止
	耳	東南ア	プ ジア	課種	呈		4	_	_	-	学士(言語・ 地域文化)	_	平成7年度		平成24年度より 学生募集停止
	Ē	有・西	ョアジ	ア記	果程		4	-	-	-	学士(言語・ 地域文化)	_	平成7年度		平成24年度より 学生募集停止
	E	本調	果程				4	-	-	-	学士 (言語・ 地域文化)	_	平成7年度		平成24年度より 学生募集停止

総合国際学研究科										都府中市朝日	
博士前期課程 世界言語社会専攻	2	102	0	204	修士 修士	(学術) (文学) (言語学) (国際学)	0.89	平成28年		丁目11番1号	
国際日本専攻	2	46	0	86	修士 修士	(学術) (文学) (言語学) (国際学)	0.95	平成28年	度		
言語文化専攻	2	-	_	-	修士 修士	(学術) (文学) (言語学) (国際学)	_	平成19年	度		平成28年度。 学生募集停1
言語応用専攻	2	_	-	-	修士 修士	(学術) (文学) (言語学) (国際学)	_	平成19年	度		平成28年度。 学生募集停止
地域・国際専攻	2	_	-	-	修士 修士	(学術) (文学) (言語学) (国際学)	_	平成19年	度		平成28年度。 学生募集停止
国際協力専攻	2	-	-	-	修士 修士	(学術) (文学) (言語学) (国際学)	-	平成19年	度		平成28年度。 学生募集停1
博士後期課程 世界言語社会専攻	3	30	0	90	博士	(学術)	0.76	平成30年	度		設置初年度の 10月入学者除
国際日本専攻	3	10	0	30	博士	(学術)	0.90	平成30年	度		設置初年度の 10月入学者除
言語文化専攻	3	_	-	-	博士	(学術)	_	平成21年	度		平成30年度』 学生募集停』
国際社会専攻	3	_	_	-	博士	(学術)	-	平成21年	度		平成30年度。 学生募集停止
	名	称		目的	<u> </u>		所在地	設	置年月	規模等(延面積)	
附属施設の概要	アジア・言語文化	アフリカ	る総合的リカ世界	アフリカの 研究を行い	言語にいていたな話	ジア・アフ 忍識枠組み	東京都府市朝日町	中 昭和	D39年4 月	7, 610 m²	
	留学生日センター	本語教育	学生等に		及びえ	改府派遣留 大学院の入	東京都府市朝日町	【3 一半月	戈4年10 月	5, 510 m²	

教育課程等の概要 (事前伺い)

(国際	日本学部	部国際日本学科) T		ı		-				П				_		
						単位数	<u>t</u>	授	受業形]	_		専任参	対員等	の配置			
	科	- 目	 授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助		備考
	X	分			修	択	由	義	習	実	授	教 授	師	教	手		VIII V
						<i>D</i> <	I	4%	П	習	100	,^	Hill	*	,		
	基礎	基礎	基礎リテラシー	1 • 2①	1			0				1					
	科目	科目	基礎演習 小計(2科目)	1 • 23	1	2	0	0	_		1	1	0	0	0	0	_
			市民社会と協働	1.2.3.4(1).(3)	•	2		0				1	Ť	Ů		兼1	
			国際社会と地域	1.2.3.4().3		2		0								兼1	
			多文化社会	1.2.3.40.3		2		0								兼1	
			キャリアのための経営学	1.2.3.4(1).3		2		0								兼1	
			教養としての言語学	1.2.3.4().3		2		0								兼1	
			教養としての統計学	1.2.3.4().3		2		0				1					
		現	歴史学(日本史)	1.2.3.4(1).(3)		2		0								兼1	
		代	歴史学(世界史)	1.2.3.4(1).(3)		2		0								兼1	
		教	哲学	1.2.3.4().3		2		0								兼1	
		養 科	憲法	1.2.3.4(1).(3)		2		0								兼1	
		目	こころの科学	1.2.3.4(1).(3)		2		0								兼1	
			文化と芸術	1.2.3.4(1).(3)		2		0								兼1	
			情報技法	1.2.3.4().(3)		2		0								兼1	
			教育基礎論	1.2.3.4(1).(3)		2 2		0								兼1	
世			学習心理学	1.2.3.4①		2		0								兼1 兼1	
界			学校教育社会学 教育相談	1·2·3·4① 1·2·3·4①		2		0								兼1	
教			徴目相談 進路指導・キャリア教育論	1.2.3.4(1)		2		0								兼1	
養プ		eu 自	健康と医療	1.2.3.40.3		2		0									集中
口	教養	科学自 目系科	環境と科学	1.2.3.4(1).(3)		2		0								兼1	* 1
グラ	科	教	日本の現在を知る	1.2.3.4(1).(3)		2		0				1				/IIV1	
ム	目	養	日本の言語を知る	1.2.3.4(1).(3)		2		0			2	1					
		本	日本語を教える	1.2.3.4().3		2		0			1	1					
		力 科	日本の文学と文化を知る	1 • 2 • 3 • 4 ① • ③		2		0			1		1				
		目	歴史の中の日本を知る	1.2.3.4(1).3		2	<u> </u>	0				1	1	<u> </u>			
		身ス	スポーツ	1.2.3.4(1).3		1	[0			I	[兼1	
		体 ポ 科	舞踊	1.2.3.4(1).3		1				0						兼1	
		目ツ	体力づくり	1.2.3.4(1).3		1	.			0			ļ	.		兼1	
			古典言語	1.2.3.4(1).(3)		2		0								兼1	
		世界	アジアの言語	1.2.3.4(1).(3)		2		0								兼1	
		言語	オセアニア・アメリカの言語	1.2.3.4(1).(3)		2		0								兼1	
		科	ヨーロッパの言語	1.2.3.40.3		2		0								兼1	
		目	アフリカの言語	1.2.3.4(1).(3)		2		0								兼1	
		土	手話言語 キャリアデザイン論	1·2·3·4①·③ 1·2·3·4①·③		2 2	}	0	 	 	 	 	 	}	ļ	兼1 兼1	
		協働科目・	就業体験	1.2.3.4(2.4)		2		0								兼1	
		料ア目	社会協働	1.2.3.4①		2		0			1						集中
		修臨	短期海外留学	1.2.3.42.4	 	2	t	0	ļ	 	 	 	t	ł		兼1	
		科地 目学	スタディツアー	1.2.3.42.4		2		0								兼1	
			小計 (39科目)	_	0	75	0	Ī	_		4	5	2	0		兼30	
			日本語初級集中	1①		10			0				1				
			日本語総合-1	13		5			0		1						
		基	日本語総合-2	13		5			0			1					
	<i>⇒</i>	礎	日本語総合-3	13		5			0				1				
	言語	日 本	日本語総合-4	13		5			0			1					
	科	語	日本語総合-5	13		5			0			1					
	目	科日	日本語総合-6	10.3		3			0		1						
		目	日本語総合-7	11.3		2			0		1						
			日本語技能-文法	2.3(1).(3)		1			0							兼1	
			日本語技能-読解	2.3(1).(3)		1			0			1					
			日本語技能-聴解	2.3(1).(3)		1			0					1			
1			日本語技能-文章表現	2.3(1).(3)		1			0			1					

		基	日本語技能-口頭表現	2.3(1).(3)		1			0	1						
		科 礎	日本語技能ービジネス日本語	2.3(1).(3)		1			0	1						
		一礎 科日本	日本語技能-時事日本語	2.3(1).(3)		1			0						兼1	
		語	日本語技能-漢字	2.3(1).(3)		1			0	1						
			小計 (16科目)	_	0	48	0		_	4	5	1	1	0	兼2	_
	•		クリティカル・リーディング 1	1.2.3.4(1)		2		0			_			_	兼1	
			クリティカル・リーディング2	1.2.3.43		2		0			1				/1142	
			コミュニケーション・スキル1	1.2.3.4①		2		0		1	1					
			コミュニケーション・スキル2	1.2.3.43		2										
								0		1						
		専 門	ライティング・スキル1	1.2.3.4①		2		0		1						
		日	ライティング・スキル 2	1.2.3.43		2		0			1					
		本	メディア日本語 1	1.2.3.4①		2		0		1					26.4	
		語	メディア日本語2	1.2.3.43		2		0							兼1	
		科 目	キャリア日本語 1	1.2.3.4①		2		0			1					
		Н	キャリア日本語 2	1.2.3.43		2		0			1					
			古文入門 1	1.2.3.4①		2		0		1						
			古文入門 2	1.2.3.43		2		0		1						
			漢文入門	1.2.3.43		2		0							兼1	
			小計 (13科目)	_	0	26	0		-	4	4	0	0	0	兼2	_
			英語A1	1①		1			0						兼1	
世			英語A2	13		1			0						兼1	
界数			英語A3	1①		1			0						兼1	
教養	言		英語A4	13		1			0						兼1	
プ	語		英語A5	1①		1			0						兼1	
口口	科目	0	英語A6	13		1			0						兼1	
グラ	_	G L	英語B1	2①		1			0						兼1	
7		Ĭ	英語B2	23		1			0						兼1	
		P	英語B3	2①		1			0						兼1	
		英 語	英語B4	23		1			0						兼1	
		科	英語B5	2①					0						兼1	
		目		_		1			_							
			英語B6	23		1			0						兼1	
			英語C1	3①		1			0						兼1	
			英語C2	3③		1			0						兼1	
			英語C3	3①		1			0						兼1	
			英語C4	3③		1			0						兼1	
			小計 (16科目)	_	0	16	0		-	0	0	0	0	0	兼10	_
			教養外国語 (ドイツ語A)	1.2.3(1).(3)		1			0						兼1	
			教養外国語 (ドイツ語B)	2.3.40.3		1			0						兼1	
			教養外国語 (フランス語A)	1.2.3(1).(3)		1			0						兼1	
			教養外国語 (フランス語B)	2.3.4(1).(3)		1			0						兼1	
			教養外国語 (イタリア語A)	1.2.3(1).(3)		1			0						兼1	
			教養外国語 (イタリア語B)	2 • 3 • 4 ① • ③		1			0						兼1	
			教養外国語 (スペイン語A)	1.2.3(1).(3)		1			0						兼1	
		教	教養外国語 (スペイン語B)	2.3.4(1).(3)		1			0						兼1	
		養 外	教養外国語 (ポルトガル語A)	1.2.3(1).(3)		1			0						兼1	
		国	教養外国語 (ポルトガル語B)	2.3.4(1).(3)		1			0						兼1	
		語	教養外国語 (ロシア語A)	1.2.3(1).(3)		1			0						兼1	
	言	科 目	教養外国語 (ロシア語B)	2.3.4(1).(3)		1			0						兼1	
	語	Ħ	教養外国語 (中国語A)	1.2.3(1.3)		1			0						兼1	
	科目		教養外国語 (中国語B)	2.3.4(1).(3)		1									兼1	
世	П		教養外国語(朝鮮語A)	1.2.3(1).(3)		1									兼1	
界教			教養外国語 (朝鮮語B)	2.3.4(1).(3)		1			0						兼1	
養				1.2.3(1.3)												
プ			教養外国語(アラビア語A)			1			0						兼1 	
ログ			教養外国語 (アラビア語B)	2.3.41.3	^	1	0		0	_			^		兼1	
クラ			小計 (18科目)	-	0	18	0	-	_	0	0	0	0	0	兼14	_
Á		諸	諸地域言語(ポーランド語)	1.2.3.40.3		1			0						兼1	
		地	諸地域言語(チェコ語)	1.2.3.4(1).(3)		1			0						兼1	
		域	諸地域言語(モンゴル語)	1.2.3.40.3		1			0						兼1	
		言	諸地域言語(インドネシア語)	1.2.3.4().(3)		1			0						兼1	
		語 科	諸地域言語(マレーシア語)	1.2.3.40.3		1			0						兼1	
		目	諸地域言語(フィリピン語)	1.2.3.4(1).(3)		1			0						兼1	
			諸地域言語 (タイ語)	1.2.3.40.3		1			0						兼1	
			諸地域言語 (ラオス語)	1.2.3.40.3		1			0						兼1	
			諸地域言語 (ベトナム語)	1.2.3.4(1).(3)		1			0						兼1	
			諸地域言語 (カンボジア語)	1.2.3.4(1).(3)		1			0						兼1	
1			諸地域言語 (ビルマ語)	1.2.3.4().3		1	I		0						兼1	

			諸地域言語(ウルドゥー語)	1.2.3.4(1).(3)		1			0							兼1	
			諸地域言語 (ヒンディー語)	1 • 2 • 3 • 4 ① • ③		1			0							兼1	
			諸地域言語 (ベンガル語)	1.2.3.4(1).(3)		1			0							兼1	
世界		諸	諸地域言語(ペルシア語)	1.2.3.4(1).(3)		1			0							兼1	
教		地	諸地域言語(トルコ語)	1.2.3.4(1).(3)		1			0							兼1	
養	言	域	諸地域言語(ウズベク語)	1.2.3.4(1).(3)		1			0							兼1	
プ	語科	言	諸地域言語(広東語)	1.2.3.4(1).(3)		1			0								厄尔朗港
ログ	目	語科							_								隔年開講
ラ		目	諸地域言語(上海語)	1.2.3.4(1).(3)		1			0								隔年開講
Ĺ			諸地域言語(スワヒリ語)	1.2.3.4(1).(3)		1			0							兼1	
			諸地域言語(中央アジア諸語)	1.2.3.4(1).(3)		1			0							兼1	
			諸地域言語(オセアニア諸語)	1.2.3.4(1).(3)		1			0							兼1	
			小計 (22科目)	_	0	22	0		_		0	0	0	0	0	兼22	_
	1-/-r	科協多 目働化	多文化コラボレーション 1	1①	2			0				2					共同
	協働	目働化	多文化コラボレーション 2	13	2			0		<u> </u>	II	1	1				共同
	実	社	地域社会フィールドワーク	2①	ļ	2	[0		T		1	1				共同
	践	科会 目連	社会発信型プロジェクトワーク	23		2		0			1		1				共同
	科目	携	教育支援フィールドワーク	2①		2		0					2				共同
	H		小計 (5科目)	_	4	6	0		_	1	1	4	5	0	0	0	_
			日本学基礎	1(1)	2			0			6	1	4	1			オムニバス
			日本史入門	1(1)	2			0			1	1	1				
	導	導	日本社会入門	13	2			0			1						
	入科	入科		_							1						
	目	目	日本文学・文化入門	13	2			0						1			
			日本語学入門	1①	2			0			 	1					!
			小計(5科目)	_	10	0	0		_		6	1	4	1	0	0	_
			日本社会分析概論	2①		2		0			1						
			日本外交・国際関係概論	23		2		0					1				
			日本史・社会概論	2①		2		0					1				
	概	概	日本文学・文化概論1	2①		2		0						1			
	論	論	日本文学・文化概論 2	23		2		0								兼1	
	科	科	日本語学概論 1	2①		2		0					1				
専	目	目	日本語学概論 2	2③		2		0				1					
修			日本語教育学概論 1	2(1)		2		0			1	_					
プロ			日本語教育学概論 2	2③		2		0			1						
				20		4		\circ			4						
グ			小卦 (a到 日)		Λ	10	Λ		_		9	- 1	9	1	Λ.	¥6:1	:
ラ			小計(9科目)	2.4①	0	18	0		_	I	2	1	3	1	0	兼1	ー ナルーバフ
			異分野横断研究1	3.4①	0	2	0	0 0	<u> </u>		3	1	1	1	0	兼1	オムニバス
ラ			異分野横断研究 1 異分野横断研究 2	3·4① 3·4③	0	2 2	0	0	_		4				0		
ラ			異分野横断研究 1 異分野横断研究 2 文化理解	3·4① 3·4③ 3·4③	0	2 2 2	0				3	1	1		0	兼1	オムニバス
ラ			異分野横断研究 1 異分野横断研究 2	3·4① 3·4③	0	2 2	0	0			3	1	1		0		オムニバス
ラ			異分野横断研究 1 異分野横断研究 2 文化理解	3·4① 3·4③ 3·4③	0	2 2 2	0	0			3	1	1		0		オムニバス
ラ			異分野横断研究 1 異分野横断研究 2 文化理解 多文化社会論 1	3·4① 3·4③ 3·4③ 3·4①	0	2 2 2 2	0	0 0	_		3	1	1		0		オムニバス
ラ			異分野横断研究 1 異分野横断研究 2 文化理解 多文化社会論 1 多文化社会論 2	3·4① 3·4③ 3·4③ 3·4① 3·4①	0	2 2 2 2 2	0	0 0 0	_		3	1 1 1	1		0		オムニバス
ラ			異分野横断研究1 異分野横断研究2 文化理解 多文化社会論1 多文化社会論2 日本政治・経済	3·4① 3·4③ 3·4③ 3·4① 3·4③ 3·4①	0	2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0			3 3 1	1 1 1	1		0		オムニバス
ラ			異分野横断研究1 異分野横断研究2 文化理解 多文化社会論1 多文化社会論2 日本政治・経済 現代日本社会論	3·4① 3·4③ 3·4③ 3·4① 3·4③ 3·4① 3·4①	0	2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0 0	_		3 3 1	1 1 1	1 2		0		オムニバス
ラ			異分野横断研究1 異分野横断研究2 文化理解 多文化社会論1 多文化社会論2 日本政治・経済 現代日本社会論 日本外交・国際関係1	3·4① 3·4③ 3·4③ 3·4① 3·4③ 3·4① 3·4③ 3·4①	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0 0			3 3 1	1 1 1	1 2		0		オムニバス
ラ			異分野横断研究1 異分野横断研究2 文化理解 多文化社会論1 多文化社会論2 日本政治・経済 現代日本社会論 日本外交・国際関係1 日本外交・国際関係2	3·4① 3·4③ 3·4③ 3·4① 3·4③ 3·4① 3·4③ 3·4① 3·4③	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0 0 0			3 3 1	1 1 1	1 2 1 1		0		オムニバス
ラ			異分野横断研究1 異分野横断研究2 文化理解 多文化社会論1 多文化社会論2 日本政治・経済 現代日本社会論 日本外交・国際関係1 日本外交・国際関係2 日本史1 日本史2	3·4① 3·43 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0 0 0 0 0			3 3 1	1 1 1	1 2 1 1 1		0		オムニバス
ラ			異分野横断研究1 異分野横断研究2 文化理解 多文化社会論2 日本政治・経済 現代日本社会論 日本外交・国際関係1 日本外交・国際関係2 日本史1 日本史2 日本思想史1	3·4① 3·43 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			3 3 1 1	1 1 1	1 2 1 1 1		0		オムニバス
ラ	専	専	異分野横断研究1 異分野横断研究2 文化理解 多文化社会論2 日本政治・経済 現代日本社会論 日本外交・国際関係1 日本外交・国際関係2 日本史1 日本史2 日本思想史1 日本思想史2	3·4① 3·43 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	000000000000			3 3 1	1 1 1	1 2 1 1 1		0		オムニバス
ラ	門	門	異分野横断研究1 異分野横断研究2 文化理解 多文化社会論1 多文化社会論2 日本政治・経済 現代日本社会論 日本外交・国際関係1 日本外交・国際関係2 日本史1 日本史2 日本思想史1 日本思想史2 日本文化1	3·4① 3·43 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0000000000000	-		3 3 1 1	1 1 1	1 2 1 1 1 1		0		オムニバス
ラ	門講	門講	異分野横断研究1 異分野横断研究2 文化理解 多文化社会論1 多文化社会論2 日本政治・経済 現代日本社会論 日本外交・国際関係1 日本外交・国際関係2 日本史1 日本史2 日本思想史1 日本 思想史2 日本文化1 日本文化2	3·4① 3·43 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	00000000000000			3 3 1 1	1 1 1	1 2 1 1 1		0		オムニバス
ラ	門講義	門講義	異分野横断研究1 異分野横断研究2 文化理解 多文化社会論1 多文化社会論2 日本政治・経済 現代日本社会論 日本外交・国際関係1 日本外交・国際関係2 日本史1 日本史2 日本思想史1 日本 思想史2 日本 文化1 日本 文化2 日本 古典文学1	3·4① 3·43 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0				3 3 1 1 1 1 1	1 1 1	1 2 1 1 1 1		0		オムニバス
ラ	門講	門講	異分野横断研究1 異分野横断研究2 文化理解 多文化社会論2 日本政治・経済 現代日本社会論 日本外交・国際関係1 日本外交・国際関係2 日本史1 日本史2 日本思想史1 日本本思想史2 日本本に1 日本文化2 日本文化2 日本古典文学1 日本古典文学2	3·4① 3·43 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	00000000000000			3 3 1 1	1 1 1	1 2 1 1 1 1		0		オムニバス
ラ	門講義科	門講義科	異分野横断研究1 異分野横断研究2 文化理解 多文化社会論1 多文化社会論2 日本政治・経済 現代日本社会論 日本外交・国際関係1 日本外交・国際関係2 日本史1 日本史2 日本思想史1 日本 思想史2 日本 文化1 日本 文化2 日本 古典文学1	3·4① 3·43 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0				3 3 1 1 1 1 1	1 1 1	1 2 1 1 1 1		0		オムニバス
ラ	門講義科	門講義科	異分野横断研究1 異分野横断研究2 文化理解 多文化社会論2 日本政治・経済 現代日本社会論 日本外交・国際関係1 日本外交・国際関係2 日本史1 日本史2 日本思想史1 日本本思想史2 日本本に1 日本文化2 日本文化2 日本古典文学1 日本古典文学2	3·4① 3·43 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0				3 3 1 1 1 1 1	1 1 1	1 2 1 1 1 1	1	0		オムニバス
ラ	門講義科	門講義科	異分野横断研究1 異分野横断研究2 文化理解 多文化社会論2 日本政治・経済 現代日本社会論 日本外交・国際関係1 日本外交・国際関係2 日本史1 日本史2 日本思想史1 日本思想史2 日本本文化1 日本本文化1 日本本文化2 日本古典文学1 日本古典文学2 日本近現代文学1	3·4① 3·43 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	000000000000000000000000000000000000000			3 3 1 1 1 1 1	1 1 1	1 2 1 1 1 1	1	0		オムニバス
ラ	門講義科	門講義科	異分野横断研究1 異分野横断研究2 文化理解 多文化社会論2 日本政治・経済 現代日本社会論 日本外交・国際関係1 日本外交・国際関係2 日本史1 日本史2 日本思想史1 日本思想史2 日本本世世史2 日本本世世史2 日本本世世史2 日本本世世史2 日本本世世史2 日本本古典文学2 日本古典文学2 日本近現代文学1 日本近現代文学2	3·4① 3·43 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	000000000000000000000000000000000000000			3 3 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1	1 2 1 1 1 1	1	0		オムニバス
ラ	門講義科	門講義科	異分野横断研究 2 文化理解 多文化社会論 2 日本政治・経済 現代日本社会論 日本外交・国際関係 1 日本外交・国際関係 2 日本史 1 日本史 2 日本思想史 1 日本思想史 2 日本本文化 2 日本本文化 2 日本本古典代文学 2 日本近現代文学 2 日本語学 2 日本語学 2	3·4① 3·43 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	000000000000000000000000000000000000000			3 3 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	1 2 1 1 1 1	1	0		オムニバス
ラ	門講義科	門講義科	異分野横断研究 2 文化理解 多文化社会論 2 日本政治・経済 現代中本社会論 日本外交・ 日本外交・ 日本本史 1 日本本史 1 日本本思想史 1 日本本思想史 2 日本本文化 2 日本本文化 2 日本本文化 2 日本本方典代代文学 2 日本本近現代文学 2 日本本近現代文学 2 日本本語学 2 日本語学 2 日本語言典文法 1	3·4① 3·43 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	000000000000000000000000000000000000000			3 3 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	1 2 1 1 1 1	1	0		オムニバス
ラ	門講義科	門講義科	異分野横断研究2 文文化理解 多文化社会論2 日本政治社会論2 日本政治社社会論6 日本外交・現代本外交・現代本外交・1 日本本史1 日本本史2 日本本史2 日本本思想史2 日本本と出生史2 日本本文化2 日本本文化2 日本本文化2 日日本本文化2 日日本本文化2 日日本本文化2 日日本本文学2 日日本本方世現代代文学2 日本本語古典代代文学2 日本本語音当典文法1 日本本語古典文法2	3·4① 3·43 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	000000000000000000000000000000000000000			3 3 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	1 2 1 1 1 1	1	0		オムニバス
ラ	門講義科	門講義科	異対所研究2 文文文理解 多文化社会論2 日本政日本社会論2 日本政日本社会論6 日本本外交・現代本外交・現代本外交・1 日本本史1 日本本史2 日本本史2 日本本史2 日本本文化2 日本本文化2 日本本文化2 日日本本文化2 日日本本文化2 日日本本文化2 日日本本文化2 日日本本文化2 日日本本文化2 日日本本本古世現代代文学2 日日本本語話話の近現代2 日本本語話話の近現代2 日本本語話話の近現代2 日本本語話話の近現代2 日本本語話話の近現代2 日本本語話話の近現代2 日本本語話話の近現代2 日本本語話話の近現代2 日本本語話話の近現代2 日本本語話話の近現代2 日本本語話話の近現代2 日本本語話話の近現代2 日本本語話話の近現で2 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本語により 日本本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語により 日本語にまり 日本語にまり 日本語により 日本語により 日本語により 日本語にまり 日本語にまり 日本語にまり 日本語にまり 日本語にまり 日本語にまり 日本語にまり 日本語にまり 日本語にまり 日本語にまり 日本語 日本語 日本語 日本語 日本語 日本語 日本語 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	3·4① 3·43 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	000000000000000000000000000000000000000				1 1 1 1 1 1	1 2 1 1 1 1	1	0		オムニバス
ラ	門講義科	門講義科	異対所研究2 文文文理解会論1 多文本政治社会論2 日本政日本社会論6 日本本外交・現代の本本、中央1 日本本中中2 日本本中中2 日本本中中2 日本本中中2 日本本中中2 日本本中中ででは、1 日本本文化2 日本本古世現代代1 日本本古世現代代文学2 日本本本古典共代代文学2 日本本本古典共代代文学2 日本本本語語語音音語では、1 日本本本語語音音語では、1 日本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本	3·4① 3·43 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	000000000000000000000000000000000000000			3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	1	0		オムニバス
ラ	門講義科	門講義科	異対所研究 2 文文文 2 文文文 2 大変 2 大変 2 大変 2 大変 3 大変 4 大変 2 大変 4 大変 4 大変 5 大変 5 大変 5 大変 6 大変 6 大変 7 大変 7 大変 8 大変 9 1 日本本本の大変 9 1 日本本の大変 9 1 日本の大変 9 1 日をの 1 日本のをの 1 日 1 日 1	3·4① 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	000000000000000000000000000000000000000				1 1 1 1 1 2	1 2 1 1 1 1 1	1	0		オムニバス
ラ	門講義科	門講義科	異異文字 異文字 異文子 野横断研究 2 文文文本社会論 2 日本社会論 2 日本人交 2 日本本人交 5 日本本中史 1 日本本中史 2 日本本中史 2 日本本中史 2 日本本本古典現代代 1 日本本本古典現代代文 2 日本本本古典現代代文 5 日本本本古典現代代文 7 日本本本古典現代代 1 日本本本本近現現代 1 日本本本本五典世習習習得計 日本本本本古典文語語言語語言語語言語語言語語言語語言語語言語語言語語言語語言語語言語音音語音言語表 第二二本本語表 第二二本本語表	3·4① 3·43 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	000000000000000000000000000000000000000			3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	1	0	兼1	オムニバス
ラ	門講義科	門講義科	異異文字 異異文字 野横断研究 2 文字 文文文本代本会論 2 日本本の中本文化之。 日本本の中本の中本の中で、 日本本の中の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本本の中で、 日本の中で、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 日本ので、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で、 第一で 第一で 第一で 第一で 第一で 第一で 第一で 第一で 第一で 第一で 第一で 第一で	3·4① 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	000000000000000000000000000000000000000				1 1 1 1 1 2	1 2 1 1 1 1 1	1	0	兼1	オムニバス
ラ	門講義科	門講義科	異文字の 異文字の 異文字の 異文字の の の の の の の の の の の の の の	3·4① 3·43 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	000000000000000000000000000000000000000				1 1 1 1 1 2	1 2 1 1 1 1 1	1	0	兼1	オムニバス
ラ	門講義科目	門講義科目	異分野横断研究2 文文化社会論1 多文化化社会論2 日本代本外交・ 日本本外交・・ 日本本中里想際関係2 日本本中里想史2 日本本出思想史1 日本本古典現代文 日本本古典現代文学2 日本本古典現代文学2 日本本古典現代文学2 日本本古典現代文学2 日本本古典現代文学2 日本本語語言言語教育学2 第四音学2 第二言語教育学2 第二言語教育学2 第二二本語語学2 日本本語学2 日本本本古典で2 第二言語教育学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2	3·4① 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	000000000000000000000000000000000000000				1 1 1 1 1 2	1 2 1 1 1 1 1	1	0	兼1	オムニバス
ラ	門講義科目	門講義科目	異文字の 異文字の 異文字の 異文字の の の の の の の の の の の の の の	3·4① 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		000000000000000000000000000000000000000			3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2	1 1 1 1 1 1 2 3	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1		兼1 兼1 兼3	オムニバスオムニバス
ラ	門講義科	門講義科目 習科	異分野横断研究2 文文化社会論1 多文化化社会論2 日本代本外交・ 日本本外交・・ 日本本中里想際関係2 日本本中里想史2 日本本出思想史1 日本本古典現代文 日本本古典現代文学2 日本本古典現代文学2 日本本古典現代文学2 日本本古典現代文学2 日本本古典現代文学2 日本本語語言言語教育学2 第四音学2 第二言語教育学2 第二言語教育学2 第二二本語語学2 日本本語学2 日本本本古典で2 第二言語教育学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2 第二二本語等学2	3·4① 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		000000000000000000000000000000000000000			3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2	1 1 1 1 1 1 2 3	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1		兼1 兼1 兼1 兼3	オムニバス オムニバス

			多文化社会演習	7 1	3(1)		2		\circ			1						
			多文化社会演習	•	3③		2		0			1						
			日本社会演習1	•	3①		2		0			2		2				
			日本社会演習 2		3③		2		0			2	1	1				
	専	専	日本文学・文化	∠演習 1	3①		2		0					1	1			
	門	門	日本文学・文化	公演習 2	3③		2		0			1		1				
専修	演習	演習	日本語学演習 1		3①		2		0			2	2					
ププ	科	科	日本語学演習 2	2	3③		2		0			2	2					
口	目	目	日本語教育学演	智 1	3①		2		0			2	2					
グラ			日本語教育学演	資習 2	3③		2		0			2	3					
4			小計(12科目)		_	0	24	0		_		7	7	3	1	0	0	_
	卒	卒	卒業研究演習 1		4①	2			0			9	7	3	1			
	業	業	卒業研究演習 2	2	43	2			0			9	7	3	1			
	研	研	卒業研究		4通	8			0			9	7	3	1			
	究	究	小計(3科目)		_	12	0	0		_		9	7	3	1	0	0	_
	·		合計(189	科目)	_	27	311	0		_		10	11	7	1	0	兼78	-
		学位又は	は称号	学士(言語・地域文化	匕)	学	位又に	は学科	斗の分	野	文学	関係	、社会	会学・	・社会	福祉	学関係	

設置の趣旨・必要性

I 設置の趣旨・必要性

1. 社会的な背景

現在、わが国は2つの大きな問題に直面している。

第1に、世界の中でのわが国の相対的な地位の低下である。グローバル化の進む世界にあって、政治、経済、文化の諸方面におけるプレゼンスの向上は喫緊の課題となっている。特に、近年は、中国の孔子学院、韓国政府による文化産業への支援策等を例に挙げるまでもなく、世界の国々は政治・経済面に留まらず、自国の言語や文化をグローバルに展開させるための政策を急速に進めており、わが国の発信力強化も更なるスピード感を持って進めることが求められている。

第2に、日本社会の多言語・多文化状況への対応である。外国人労働者やその子弟などをはじめとして、外国にルーツを持つ人口は急速に増加しており、平成28年度末現在の日本における在留外国人数は238万人と、過去最多を記録している。こうした人々に対し、当然のように「日本語」や「日本理解」を求めることは困難である。学校、企業、地域社会のなかで、多言語・多文化状況を理解する素地を作り出し、多様な背景を持つ外国人人材がその能力を活かせる社会を実現するためには、共生に向けた体制づくりに貢献ができる人材が求められている。

上記の問題の克服には多岐にわたる取組が求められるが、いずれの課題に向けても、国際的な視野から日本を捉えて発信し、問題解決に貢献する人材の養成が急務である。

日本人学生が将来グローバル化する社会で活躍するためには、単に英語などの外国語を操るだけでなく、日本の外から日本に向けられる視線や世界の中における日本の位置づけを正しく理解し、世界の人々と共生する中で、世界における日本の役割を適切に主張できる能力もまた不可欠である。また、外国人留学生についても、日本に関心を持ち、日本への留学を希望する者は多いが、その人々の中から優秀な人材を選び、それぞれの母国や世界で日本を正しく発信することのできる人材として育成することが必要である。
く求められている。すなわち、世界各地から優秀な留学生を迎え、世界で活躍する知日人材として育成することが必要である。

こうした人材の養成は、日本国内の多言語・多文化状況がもたらす問題の解決にも資する。教育現場、企業等の職場、地方行政 の現場において、英語や「やさしい日本語」でコミュニケーションを確保し、多文化共生の実現に向けた様々な取組を立案・実行 できる人材は、日本人・外国人を問わず日本の将来にとって不可欠である。

2. 学部新設の必要性

(1) 東京外国語大学の使命

東京外国語大学 (Tokyo University of Foreign Studies) は、その名称が示すとおり、外国語を基盤としつつ、これを基底とする文化一般についての理論と研究を目的とするForeign Studies (外国研究) を行う大学として設置された。

この目的を実現するため、本学は、これまで世界の状況の変化に照らし、2度にわたり学士課程等の見直しを行ってきた。平成7年度には、グローバル化の展開に対応するため、言語別の14学科から地域別の7課程に改組し、より広域的な地域の教育研究に重点を置く整備を行った。また、平成24年度には、一層のグローバル化に対応し、語学力と地域理解に加えて学問的な方法論の教育を強化するため、外国語学部を改編して言語文化学部と国際社会学部を設置し、人文系と社会系の専門性を明確化した。これにより、地域への深い理解の上で、専門性をもって地域間の比較研究等が行える人材を養成する体制を整えた。

このように東京外国語大学は、地域言語習得と地域理解の獲得のための教育プログラムを横軸、学問領域を軸に体系化された教育プログラムを縦軸とした教育課程を編成し、高度な人材養成を実現している。そして、こうした教育課程に「日本」に焦点をあてた教育課程を新たに加え、日本発信力を備えた人材育成を行うことは、現在の日本がおかれた状況に鑑み、東京外国語大学に強く求められることである。

(2) 日本研究における東京外国語大学の使命

東京外国語大学は、日本語と日本に関する諸分野を学ぶ外国人留学生の受入のパイオニアでもあった。まず、昭和29年4月に留学生の予備教育を目的とした留学生別科が設置された。その後、留学生課程の設置を経て、昭和43年4月に外国語学部特設日本語学科を創設、続いて昭和60年4月に日本語学科へと改組し、日本人学生も受け入れることにより、留学生と日本人が共学する体制を実現した。平成7年4月に学士課程を地域別の7課程に改編した際には、日本語学科は、外国語学部日本課程となった。(定員45名、うち留学生定員30名)。平成24年度以後は、言語文化学部日本語(定員25名、うち留学生定員15名)、国際社会学部日本地域(定員20名、うち留学生定員15名)として、日本語・日本地域に関する教育を行っている。

この教育は、本学の日本研究の実績に支えられてきた。本学は、日本研究の機能を強化するため、第二期中期目標期間においては、「日本発信力強化」を本学の目標の1つとして定め、平成21年4月に発足させた国際日本研究センターを中心に、国際的な視座からの日本研究を展開する等、日本語・日本語教育研究、日本社会研究の諸分野の研究力強化に取り組んできた。第三期中期目標においては、これまでの取組を発展させ、「日本社会の文化的発信力を強化する教育研究の機能を高めるために、国際的視野からの日本研究を推進」することを目標として定め、教育研究組織の整備を進めている。

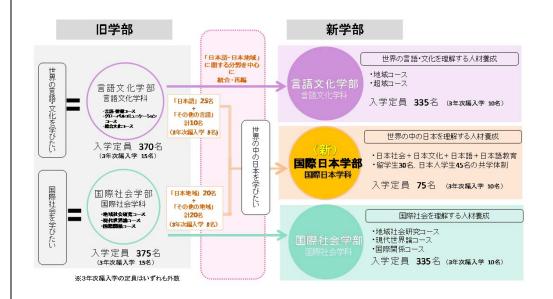
この枠組みで平成27年4月には全学の日本関係教員を結集して国際日本学研究院を発足させ、平成28年4月には大学院総合国際学研究科に国際日本専攻(博士前期課程)、平成30年4月には国際日本専攻(博士後期課程)を設置した。大学院の国際日本専攻では、国際社会の中での日本、世界の中で生きる日本文化、世界の諸言語の中の日本語を、比較の視座から教育研究し、日本について客観的な視座をもつ高度人材を育成するための体制を整えている。また、この教育のため、国際的・総合的な視野から日本研究を行っている米コロンビア大学、英ロンドン大学SOAS、仏INALCOなど、優れた海外の機関から日本研究者のユニットを本学に招致し、本学における日本研究の国際化を図っている。さらに、世界的な日本語研究の拠点である国立国語研究所と連携し、クロスアポイントメント制度の導入による流動的な教員配置を実現した。これらの取組を通じ、本学における「日本」に関する教育研究機能を飛躍的に高度化させた。

本学は、この成果の上に、国際日本学の学士課程を設立することにより学士から博士課程までの一貫した国際日本教育体制を確立し、日本発信力強化に貢献する。

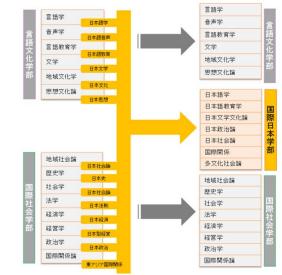
(3) 教育組織再編の必要性

その実現にあたっては、平成24年4月に発足した言語文化学部と国際社会学部を改組し、国際日本学部を加え、3学部とする。 上記のとおり、言語文化学部と国際社会学部においては、世界の地域言語と地域理解の習得、学問領域に関する知識の獲得が実現している。世界を学ぶこの教育手法を発展させ、日本人学生と留学生が一体となって、日本を学ぶ学部を新設する。これは、日本において、教育研究対象としての「日本」のもつ重要性に鑑み、不可欠である。

定員は、日本人学生が45名、留学生が30名、さらに、3年次編入により留学生10名の入学を見込む。



また、下記の図のとおり、教育研究対象として「日本」をくくりだすことは、国外の教育研究機関では一般的であり、本学で日本を学ぶことを目指す留学生にとってわかりやすい学部編成とするためにも、不可欠である。



Ⅱ. 学部が教育研究対象とする学問分野及び学部・学位の名称

本「国際日本学部」は、日本を総合的、かつ比較の視座に立って教育研究する学部である。

これまで、日本国内での日本に関する教育研究は、社会学、政治学、経済学、文学、文化学、教育学など、様々な学問分野を扱う学部において、専門別に分散的に行われてきた。それによる教育研究の深化は重要であるものの、ややもすると、一国的指向性なるような、経済によって、日本人は何からなった。 をもち、総体としての日本を教育研究する仕組みは十分ではなかった。しかし、グローバル化の進む現在にあって、 を総合的・相対的に理解する必要は、日に日に強まっている。

このためには、総合的、かつ比較の視座に立って日本を教育研究することが必要である。これまでも海外の日本教育機関では、日本語の教育と並行して、日本社会、日本経済・政治、日本文学・文化、日本語学などが総合的に教授されており、それにより、 総合的な日本理解を育んできた。このような伝統はJapan Studiesと呼ばれ、長い伝統をもつ。本学部は、こうした海外のJapan Studiesの手法を参照し、総合的、かつ比較の視座から日本を教育研究するものである。

本学において用いる「国際日本学」の語は、必ずしも確立したひとつの学問分野を表すものではない。しかしながら、本学部が 「国際日本学」を名乗る理由は、次の3点による。

第一に、本学部が、まさに国際的な手法、すなわち総合的、かつ比較の視座に立って日本学を扱うことによる。海外で確立して いるJapan Studiesの手法を参照し、海外から日本を見る視点、日本を客観的に見る手法をとりいれつつ、世界の中の日本を教育研 究する。具体的には、たとえば、海外においてJapan Studiesの教育研究に従事した経験のある教員に、「多文化社会論」、「日本文化」、「日本文化」、「日本文化」等の授業を担当させ、世界のJapan Studiesとの接続を行う。また、日本社会、日本文 学・文化、日本語、日本語教育の分野から通貫する人文社会学的なテーマをJapan Studiesの研究の最前線にいる研究者によるリ レー講義「異分野横断研究」などにより、日本を見る視点の総合化を図る。

第二に、本学が設立する学部は、日本における国際的な日本学教育研究の中核となり、世界のJapan Studies拠点と結ぶキース テーションとなることを目指しているためである。本学は、2007年の国際日本研究センターの設立以来、この課題に取り組んでき その意味を正確に表すため、国際日本学部を称する。 た。

第三に、本学部は、実際の教育において、海外の提携大学と連携し、国際的なネットワークのなかで教育を行うことによる。本 学は、海外におけるJapan Studiesの拠点90余りから学生を受け入れているが、それらのうちの主要な大学との協働教育を実践する ことは本学部の教育の特徴である。こうした教育内容を明示化するため、国際日本学部を称することが必要である。

本学部の英語名称は、School of Japan Studies とする。これは、海外から見た場合、本学が行う教育研究が海外のJapan Studiesに連なる内容をもつためであり、この名称を用いることにより、本学部の内容を正確に伝えることができる。一方、日本語 名称は、国際日本学部とする。これにより、本学部の特徴である国際的な手法、すなわち総合的、かつ比較の視座にたった教育手 法が正確に伝わり、また、国際化が求められる今後の日本学を、その方向へ牽引していくことを明示する。 なお、本学部は、既に大学院総合国際学研究科に設置されている「国際日本専攻(英語名:Master's Program in Japan Studies

ア DOCTOIA I I TOGIAM III Japan Studies)」に接続する字部であり、研究科においても、「国際日本(Japan Studies)」の名称を用いている。この名称により、研究科の基礎となる学部であることを示すとともに、本学部が、国際的な視座から「日本」を教育研究し、昨今の国際情勢のなかで、「世界の中の日本」を客観的に理解した上で、世界に向け日本を発信することができる人材育成を行う学部であることを示すこととする。 'Doctoral Program in Japan Studies) 」に接続する学部であり、研究科においても、 「国際日本 (Japan Studies) 」の名称を

また、学位については、国際日本学ではなく、その教育内容を端的に表すため、学士(言語・地域文化)/Bachelor of Arts (Language and Area Studies)を用いる。これにより、本学の教育内容を、より正確に反映させる。

学位の分野は、文学関係、社会学・社会福祉学関係とする。

文学関係の教育体制は、表象文化、比較文学、日本語学、日本語教育学を専門研究分野とする教員を中心に構成され、日本文

学、日本文化、日本語学、日本語教育学に関する内容の教育を行う。 具体的には、導入科目(「日本語学入門」、「日本文学・文化入門」)、概論科目(「日本語学概論」、 「日本文学・文化概 (「日本文学・文化概論」、「日本語学概論」、「日本古典文学」、「日本近現代文学」、「日本語学」、 「日本文化」)、専門演習科目(「日本文学・文化演習」「日本語学演習」)等により、その内容を充足す 「日本古典文学」、「日本近現代文学」、 専門講義科目(「日本文学・文化概論」 「日本語古典文法」、

社会学・社会福祉学関係の教育体制は、日本社会論、社会統計論、日本文化論、メディア学、日本思想史、日本社会史、異文化コミュニケーションを専門研究分野とする教員を中心に構成され、日本政治・経済・社会に関する内容の教育を行う。 具体的には、導入科目(「日本社会入門」)、概論科目(「日本史・社会概論」、「日本社会分析概論」)、専門講義科目

(「多文化社会論」、「日本思想史」、 演習」)等により、その内容を充足する。 「日本思想史」、「現代日本社会論」、「文化理解」)、専門演習科目(「多文化社会演習」、「日本社会



海外大学におけるカリキュラムの例

選択必修

ロンドン大学SOAS (BA Japanese Studies)

コア科目

Aspects of Japanese Culture

Survey of Pre-Modern Japanese Literature in Translation

Survey of Modern Japanese Literature in Translation

Independent Project in Japanese Studies

日本語科目

Basic Japanese, Intermediate Japanese, Advanced Japanese

Japanese Readings, Readings in Japanese History など

Introduction to Pre-Modern Japanese language,

Introduction to the History of East Asia, Religions of East and Central Asia

Issues in Post-war Japanese Society , Japanese Cinema, Ethnography of Japan

シンガポール国立大学 (日本研究学科)

Idea Organization of Japanese Business and Images in Japanese Culture Singapore and Japan: Historical and Contemporary Relationships Gender and Sexuality in Japan etc.

The Visual Culture of Eighteenth-Century Japan など

LEVEL 2000 : Approaches to Japanese Studies I Introduction to Japanese Literature, Postwar Japanese Film and Anime

LEVEL 3000 Approaches to Japanese Studies II

Approaches to Japanese Linguistics Japan in the Twentieth Century Japanese Philosophy and Thought Internship, Extended Internship etc

北京大学 (外国語学院・日本学科)

Contemporary Japan: Cultures, Lifestyles, Trends などから6単位

Japanese 110, Japanese 401など 19単位

Japanese 120, Japanese 121 などから9単位

Theory of Modern Japanese Architecture

Introduction to Asian Literatures

Survey of Japanese Civilization Japanese Film and New Media

Japanese Through Manga

War and the Warrior in Japan

日本文化概論、日本語概論、日本語通訳、中→日通訳・翻訳

専門必修科目

基礎日本語1-4、日本語会話、日本語聴解、日本概況、上級日本語1-4、日本語文言語文法、日本語作文、日本語通訳指導、日本文化概論、日本語誘解、日→中通訳・翻訳、日本文学史、日本語概論、中→日通訳・翻訳、論文指導

ペンシルバニア州立大学 (Major in Japanese)

専門選択科目

日本歷史、日本語敬語概論、日本語語彙概論、日本語文法概論、日本現代文学作品、日本 古典作品、日本語視·聽·会話、日漢言語比較、日本の新聞、日本の詩·歌、日本映画、中日 文化交流史、日本文化芸術

高麗大学 (日本語・日本文学科)

LEVEL 100: COMPREHENSION OF JAPANESE CULTURE

LEVEL 200: MODERN JAPANESE GRAMMAR

ECONOMIC LIFE OF JAPANESE

LEVEL 4000 Research and Writing in Japanese Studies Studies, Readings in Modern Japanese

MODERN JAPANESE GRAMMAR ECONOMIC LIFE OF JAPANESE AVIEW OF JAPANESE LANGUAGE AND CULTURE COMPREHENSION OF JAPANESE LINGUISTICS I, II COMPREHENSION OF MODERN AND CONTEMPORARY JAPANESE LITERATURE I, II COMPREHENSION OF JAPANESE HISTORY UNDERSTANDING OF JAPANESE TRADITIONAL PLAY etc.

LEVEL 300 CLASSIC JAPANESE GRAMMAR

STUDIES IN JAPANESE VOCABULARY
COMPUTER JAPANESE
APAN JAPANESE LITERATURE AND MEDIA MASSMEDIA JAPANESE COMPUTE
THE RELATION BETWEEN KOREA AND JAPAN
JAPANESE
COMPARATIVE STUDIES OF KOREAN AND JAPANESE LANGUAGE JAPANESE MODERN AND CONTEMPORARY NOVELS AND CULTURE JAPANESE MODERN AND CONTEMPORARY LITERATURE AND INTERPRETATION POPULAR CULTURE AND CONTEMPORARY JAPANESE SOCIETY etc.

LEVEL 400 HISTORY OF JAPANESE LANGUAGE

HISTORY OF JAPANESE LANGUAGE JAPANESE EMANTICS
JAPAN LANGUAGE APPLIED RESEARCH JAPANESE DIASPORA LITERATURE
HISTORY OF CULTURAL EXCHANGE IN EAST ASIA A STUDY OF JAPANESE REGION etc.

Sound, Grammar and Meaning Popular Culture in Contemporary Japan Government and Politics of Japan

Japanese Film and Literature Japanese Art and Aesthetics Japanese Mass Media

Independent Study

香港中文大学 (日本研究学科)

日本研究概論、フィールド調査研究方法論、透視日本、日本文化と社会、日本言語文化、 ロ本研究機構、ノイールド側面研え力流構、効性日本、ロ本人にとはよ、日本目的スパーサート 特映画館含分析、映画から日本の文化仕会を見え、日本、水砂味画流之イデオ ロギー、日本流行文化と文化グローバル化、日本の環境破壊と保護、現代中日限保険、実 用日本語、終合日本語、日本語祭音が基礎、日本語発音対策、日本とアジア文化線主工業、 日本のアニン・漫画・ゲーム、日本のメディア文化、現代日本の恋愛文化、日本のジェンダー 学、日本の管理学、日本文学、日本開版限係者、アジアの中の日本の遊光役割、日本経済 論、20世紀の日本歴史、日本文と、日本の民族文化・初、日本の伝統文化と現代社会、ビジネ 画、心() ECV ロイル位文、日本文化と広波に市が76%、日本の位成された3代にまた。大人 ス日本語、日本経済発度、日本語跡祭、日本語が、アディア日本語、日本と音楽、アジア 試験対策、日中翻訳、日英翻訳、日英翻訳、英日翻訳、ディア日本語、日本と音楽、アジア におけら日本ラルギス化、日中ペッ第二次世界大戦の思念、中級日本語、日本古語と社会 日本哲学、日本方言学、日本経済研究、上級日本語作文、上級翻訳、香港の日本語学習者 の問題分析、言語学日本活路学日本

Understanding Japan, Jap Culture & Society, Understanding Jas Lang Cult, Chi-Jap-Kor Movies:ApprinComp, Und'g Jap CulSo:Thru Movies, Jas Pop Cul in Cul Global, Jas Pop Cul in Cul Global, New Practical Japanese I, introt to Jas ACG, Japanese Management, Japan in East Asian Politics, Japanese Management, Japan in East Asian Politics, Japanese Romagement, Japan in East Japanese, Japanese Reading, Japanese Composition, Jap Improvement Strategies, Japanese Chinese Translation, Chinese: Japanese Translation, Japanese Through Media Japanese Language and Society, Japanese Philosophy, Advanced Business Japanese, Advanced

Ⅲ. 養成する人材像及びディプロマポリシー

1. 養成する人材像

国際日本学部が養成する人材は、「世界の中における日本を正しく理解し、世界の人々と共生し、多文化共生の実現に貢献でき る人材、また、社会のなかでリーダーシップを発揮し、世界に向けて日本を発信することのできる人材」である。

「社会的な背景」で前述したとおり、経済分野をはじめ、世界における日本の地位が相対的に低下している中、この低下をくい 止め、日本のプレゼンスを維持・向上させていくためには、ソフトパワーすなわち「日本発信力」の強化が不可欠である。「日本 発信力」の強化は、国を挙げて取り組むべき課題であるが、そのうち、大学などの高等教育機関には日本を発信していく人材を育 成すること、すなわち、日本についての正しい知識を持ち、さらに多様な背景を持つ人々との共生に貢献できる人材を育成するこ とが求められている。

こうした観点から、本学は、国際日本学部が涵養する「日本発信力」を、日本の政治・経済・社会・文化を国際的な視野から理 解し、説明する力、また、こうした理解を国内外の人々に伝える積極的な行動力、と定義づける。これは、人文科学・社会科学双方 にまたがる日本に関する知であり、さらその知を実践的な行動に結びつける能力も含まれる。

うした日本発信力をもつ人材を育成するには、まず、日本を広く総合的に学ばせ、日本理解の堅固な土台を築かせることが必ある。これまでの日本の大学では「日本」は、国際関係、政治・経済、社会学、歴史学、宗教学、文学、文化・思想、言語学 などの学問分野に分断されて教授されてきたが、本学部ではその分断を解消し、総合的に日本を教育する。

このような日本に関する総合的な教育は、世界の諸地域を総合的に教育する蓄積と経験をもつ東京外国語大学にこそ、可能なこ とである。東京外国語大学は、140年にわたり世界の諸地域を主たる教育研究の対象とするなかで、国際社会のなかでの日本を対象 とする教育研究、世界の言語のなかの日本語、言語教育のなかでの日本語教育においても、中核的な大学であった。本学は、学内 でこれらの教育を担当してきた教員を国際日本学部に結集させ、日本についての総合的な教育を実現する

国際日本学部では、4年間の体系的な日本教育プログラムを整備する。1、2年次には導入科目・概論科目を通じて日本に関する総合的な教育を行う。これを踏まえて、3、4年次には、特化する領域を選び、日本に関する専門的な知識を身に付ける。これ は、専門講義科目、専門演習科目、卒業研究演習科目を通じて行う

「日本を発信する」能力のうち、 「主体的に考え、行動し、発信する力」を養うために、Project Based Learning やActive Learning の手法を用いる「協働実践科目」を開設する。さらに、これを補完するものとして、多様な留学プログラムや インターンシップ・ボランティア活動のプログラムを用意する。 以上の教育を経て社会に出る国際日本学部卒業生の進路としては、グローバル企業や海外展開する日本企業等での総合職、国際

機関、地方自治体や企業における多文化コーディネーター職、国内外の日本語教育現場などでの教育職、大学院進学者(将来的に 研究者、教師等を目指す)などが想定される。

育成する力(ディプロマポリシー)

国際日本学部では、上記の人材像の実現を目指し、卒業までに次の能力を身につけた者に対し、学士の学位を授与する。

- ①高度な言語運用能力
- ・日本人学生、留学生のいずれにおいても、英語と日本語に関し、読む、聞く、話す、書くという4技能での高度な運用能力。
- ・英語と日本語以外の言語に触れ、言語の多様性についての理解。
- ②日本や世界諸地域についての知識・教養
- ・世界の中の日本についての幅広い知識。
- ・日本を比較の視点から見るための、世界諸地域についての知識・教養。
- ③現代社会を生きる力
- ・多言語・多文化化する現代社会を生きる上で必要な幅広い知識・教養。
- ④専門的な知識
- ・国際的な視座から行う日本社会、日本文学・文化、日本語、日本語教育の研究に関する、専門的な知識。
- ⑤主体的に考え、行動し、発信する力
- ・ものごとを探求し、客観的に分析する力、さまざまな情報を体系化して整理する力、それらをわかりやすく表現する力。 ・短期・中長期の留学やインターンシップ等への参加の経験を通じた、主体性と世界の人々と協働する行動力。
- 3. 学位の名称

日本語:学士(言語・地域文化)

英語: Bachelor of Arts (Language and Area Studies)

本学では、平成3年度の学位制度の見直し以降、「学士(言語・地域文化)」(英語名称はLanguage and Area Studies)を授与し ている。

この学位名称「言語・地域文化」は、その英語名称が示すように、本学が建学以来その実現を目指してきた「外国研究(Foreign Studies)」の理念を、具体的かつ凝縮した「言語研究(Language Studies)」と「地域研究(Area Studies)」を表す名称である。 「日本」を、本学独自の「外国研究」の対象として扱い、国際的な視座から教育研究する。すなわち、言語 国際日本学部では、 としての日本語及び地域としての日本の社会、文学、文化を総合的に扱い、「日本」を全体として理解し、発信する力を養う。さらに、日本についての教育研究成果を、本学が全体として取り組む世界諸地域に関する教育研究の一環として扱うことで、日本を 相対化する視点の獲得も目指す。これは、他大学の「日本研究」にはない本学の特色である。

以上を踏まえ、国際日本学部において授与する学位名としては、日本という地域を対象とする「言語研究(Language Studies)」と「地域研究(Area Studies)」を表す、「学士(言語・地域文化)/Bachelor of Arts (Language and Area Studies)」の名称を 用いることとする。

IV 教育課程編成の考え方・特色

1. 基本方針

国際日本学部は.

- ・教養プログラムにおける、個々の学生の能力・必要に応じた柔軟な言語教育、
- ・専修プログラムにおける、国際的な視座にたつ、総合的、かつ専門的な日本教育、
- ・日本人学生・留学生が協働する実践的教育や留学機会の提供によるリーダーシップと協働力の涵養、
- の実現を、基本的な方針とする。

2. 国際日本学部の教育課程の特色

(1) カリキュラムの方針 (カリキュラムポリシー)

国際日本学部では、ディプロマポリシーの掲げる知識や能力などを獲得させるため、世界教養プログラムと専修プログラムから なる科目群を、以下の方針に基づき、体系的に編成する。開講されるすべての授業科目は、レベルに応じてナンバリングし、段階 的な学修を進めさせる。学習成果の評価にあたっては、あらかじめ学生に示した成績評価基準に基づき、厳格な評価を行う。

- 「高度な言語運用能力」の獲得のためり
- ・入学する学生の日本語と英語の能力に対応し、留学生にあっては日本語を、日本人学生にあっては英語の4技能の力を涵養する。 このために必要な、「基礎日本語科目」、「専門日本語科目」、「GLIP英語科目」を整備し、体系的に提供する。 ・多言語・多文化化する世界で活躍する人材を育成するため、多様な言語を学ぶ機会を提供する。このために、「教養外国語科
- 「諸地域言語科目」、「世界言語科目」を整備し、提供する。
- ②「日本や世界諸地域についての知識・教養」の獲得のために
- ・国際的な視座から日本を総合的にとらえ、日本を発信する力を身に付けることができるよう教養科目に「教養日本力科目」を整 備し、世界各地からの留学生や世界諸地域を学ぶ他の学部の学生とともに、日本を考える機会を提供する。
- ・日本と世界諸地域の文化・社会とを比較するため、言語文化学部・国際社会学部の科目を関連科目として履修できるようにし、 世界諸地域についての知識・教養の涵養の機会を提供する。

- ③「現代社会を生きる力」の獲得のために
- ・初年次には、「基礎リテラシー」と「基礎演習」を履修させ、大学生としての学びの基礎的な技能を修得させる。
- ・日本語と英語で学ぶ教養科目群として、「現代教養科目」「自然科学系科目」などを提供し、現代社会で必要とされる基礎的な 知識や幅広い教養を身に付けさせる。
- ④「専門的な知識」の獲得のために
- ・専修プログラムにおいて、導入科目、概論科目、専門講義科目、専門演習科目を体系的に整備し、それぞれの分野の専門的知識をもって社会で活躍するための基礎力を養う。
- ・専門講義科目、専門演習科目として、「多文化社会論」「文化理解」「現代日本社会論」「日本政治・経済」「日本外交・国際 関係」「日本史」「日本思想史」「日本文学・文化」「日本古典文学」「日本近現代文学」「日本語古典文法」「日本語学」「第 二言語習得論」「日本語教育学」など、多様な授業を開講し、これらの分野についての体系的・専門的な知識を身に付けさせる。 また、分野を超えた多面的・多角的な思考法を涵養するため、専門講義科目に「異分野横断研究」を、専門演習科目に「異分野横 断演習」を開講する。
- ⑤「主体的に考え、行動し、発信する力」の獲得のために
- ・初年次および2年次に、「協働実践科目」を履修させ、チームで協働して作業する技法、問題や課題を発見してその解決のために プロジェクトを立案・実施する能力などを身に付けさせる。
- ・すべての授業で学生が教室外で取り組む課題を設定し、その取り組みを通じ、学生の主体的な学びの力、調査能力、発信力を涵養する。
- ・留学やインターンシップへの支援体制を整えるほか、長期留学に関する単位互換制度、短期留学に関する「臨地学修科目」、国内外でのインターンシップに関する「キャリア・協働科目」を整備し、4年間の教育のなかに、留学やインターンシップを位置付ける。

(2) 特色①:柔軟な言語教育

まず、世界教養プログラムの言語科目の履修により言語力を涵養する。国際日本学部では、所属する学生に対し、その言語状況 に応じ徹底した個別の履修指導を行い、各人にとって必要な言語の修得を目指させる。

【基礎日本語科目】

日本語未習者や初中級レベルの留学生に対しては、技能別・達成度別の日本語科目を用意し、徹底した日本語教育を実施する。 日本語既習(日本語能力試験N1取得など)の留学生には、日本語科目として、ビジネス日本語や高度な日本語運用能力を身に付ける「日本語技能-ビジネス日本語」等を配置し、卒業後に日本で活躍できる日本語力を身に付けさせる。

【GLIP英語科目】

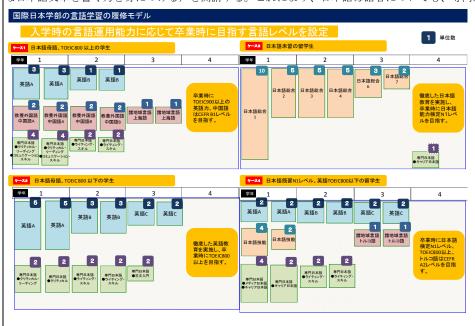
英語の強化が必要な学生には、その英語力に応じGLIP英語科目を履修させ、高度な英語力を身に付けさせる。最低目標としては TOEIC800点を課す。

【教養外国語科目·諸地域科目】

入学時に、すでに十分な英語力を備えた日本人学生や日本語既習の留学生には、必要に応じ「教養外国語科目」「諸地域言語科目」として開設される外国語を選択させ、CEFR A2または、B1レベルまで学修することを目標とさせる。

【専門日本語科目】

・日本人と留学生がともに学ぶ「クリティカル・リーディング」(日本についての専門性の高い文章を正確に読み解く)、「コミュニケーション・スキル」(プレゼンテーションカやディベート力を身に付ける)、「ライティング・スキル」(論理的で明瞭な日本語文章を書く力を身につける)を開講する。これにより、日本語母語者についても、専門的な日本語力を洗練させる。



以上の柔軟な言語教育で必要な言語力を涵養し、それに踏まえて、英語と日本語で行われる専修プログラムを履修する。

(3) 特色②: 英語・日本語を用いた、体系的な専修プログラム 国際日本学部の専修プログラムは、導入・概論・専門科目の3段階からなる。導入(主に1年次)・概論(主に2年次)では、 英語と日本語で、日本を総体として学ぶ。履修コースは設定しないが、3年次以後は、①日本政治・経済・社会、②日本文学・文 化、③日本語学、④日本語教育学の4領域を設定し、複数領域を組合せることで多角的に専門を学ばせる。

特に、ディプロマ・ポリシーに謳う「世界の中の日本について、幅広い知識を身に付けていること」と「国際的な視座から行う日本社会、日本文学・文化、日本語、日本語教育のいずれかの分野に関し、専門的な知識を身に付けていること」を合わせて実現 するため、1、2年次の教育で日本を総合的に理解させるとともに、3、4年次の教育において、1つの領域に関する専門的な知 識を身に付けさせる教育プログラムを用意する。すなわち、1年次に履修する「導入」、2年次に履修する「概論」では、日本を総合的に教授する。3年次以後は、①日本政治・経済・社会、②日本文学・文化、③日本語、④日本語教育の4領域から一つの分 野を選択させ専門的に学ばせるとともに、複数領域を組み合わせる科目も設定し、多角的に問題を捉える視点を身に付けさせる。

1年次の春学期に「日本学基礎」を開設する。

「日本学基礎」は、海外においてJapan Studiesの教育研究に従事した経験のある教員を中心とするリレー形式で行い、海外で行わ れているJapan Studiesの手法を参照しながら、総合的に「日本」を学問するための視座と方法を学び、日本学全体への理解を涵養 「日本を発信する」ことの意義について学ぶ科目である。

「日本学」を俯瞰する学びを強化するため、「日本学基礎」の履修と併せ、1年次の「導入科目」は、日本政治・経 済・社会、日本文学・文化、日本語、日本語教育学の4領域に対応した科目を開設し、全て必修とする。

春学期には「日本史入門」「日本語学入門」を履修する。 なかで日本が形成されてきたことを理解させる。「日本語学 「日本史入門」においては、日本の歴史を振りかえることで、世界の 「日本語学入門」においては、日本語の歴史や仕組みについて扱い、世界の諸言 語との対照という観点から、日本語への理解を深めるとともに、非母語話者への日本語教育についても学ぶ。

秋学期には、 「日本文学・文化入門」「日本社会入門」の授業を履修する。「日本文学・文化入門」においては、 日本文学の潮 流と日本文化が内包する諸問題を多角的に考察する。 「日本社会入門」においては、日本の政治・経済・社会に関連する諸現象を 扱うと同時に、それを分析する手法(社会調査法など)を学ぶ。

なお、導入科目は、日本人学生と留学生が共学するため、全ての授業を英語で行う

国際日本学部では、英語が日本人学生と留学生の共通のツールであることから、教育のツールとしても、英語を用いる。英語を ツールに学修を行う点に、本学部の特徴があるが、その目的は英語学修のためではなく、日本人学生と留学生に、共通の問題に向き合わせ、立場を超えて議論する訓練を積ませることにある。

また、使用する英語のレベルは、これまでの本学の入学者の語学レベルを踏まえて、CEFR B2レベル (中上級レベル) に設定す る。ただし、英語での履修に困難を感じる学生の存在も想定しうるため、こうした学生に対しては、授業前や授業後にTAによるサ ポートを行い、英語による講義の理解を助ける。

【概論科目】

主に2年次に履修し、日本社会に関する「日本政治・経済概論」「日本外交・国際関係概論」「日本史・社会概論」 学・文化に関する「日本文学・文化概論」、日本語学に関する「日本語学概論」、日本語教育に関する「日本語教育学概論」を開 講する。社会、文学・文化、日本語学、日本語教育の各領域からそれぞれ2単位以上を履修させ、合わせて12単位を修得させる。 合計で9科目開講し、うち3科目は日本語、6科目は英語による。

以上により、日本についての基礎的な知識の獲得と、専門分野への導入となる問題意識の涵養を図る。

【専門講義・専門演習】

専門講義・専門演習は、次の4つの領域から構成する。

- ①日本政治·経済·社会
- ②日本文学·文化
- ③日本語学
- ④日本語教育学

これらについての専門講義は30科目、専門演習は8科目開講し、英語・日本語ほぼ半数ずつで開講する。3年次以後は、以上の 4つの領域ごとに専門領域の教育を受けるが、その一方で総合的な視座を失わないよう、演習は、2つ以上の領域からの履修を促 し、全体で8単位を義務付ける。 また、上記の4領域とは別に「多文化社会論」「異分野横断研究」の科目(講義・演習)を設置 し、複数分野にまたがる学びを促進する。

【卒業研究演習】

以上の教育を踏まえ、学生は4年次に、 (1) 日本政治・経済・社会、 (2) 日本文学・文化、(3) 日本語学、(4) 日本語 教育学の4領域のいずれかから、テーマを設定し、指導教員のもとで卒業論文を、英語または日本語で執筆する。

英語での論文執筆の際には日本語での副論文、日本語での論文執筆の際には英語での副論文の提出を義務付け、2言語で成果を まとめさせ、2言語によるプレゼンテーションも実施する。

以上により、1、2年次に身に付けた幅広い日本に関する知識とともに、特定分野の専門性も備え、それを英語と日本語のいず れによっても発信できる学生を育成する。

(4) 特色③: リーダーシップと協働力を養う実践的な教育

国際日本学部では、社会の中でのリーダーシップと、現代日本社会の多言語・多文化状況に対応した協働力とコーディネート力を身に付けさせるため、必修科目として、Project Based Learning方式の「協働実践科目」を開設する。 また、4年間の間に留学を促し、国際的な視野を身に付けさせる。

1 年次履修科目

1年次においては、「多文化コラボレーション1」、「多文化コラボレーション2」により、日本人学生・留学生が身近な問題の解決に向けたプロジェクトを立案し、実施する。これを通じ、主体性、共生力、行動力、発信力を身につけさせる。

【多文化コラボレーション1】

日本人学生と留学生でチームを組み、英語を主な使用言語として、プロジェクトワークを行う。国際日本学部における4領域 (社会・経済・政治、文学・文化、日本語学、日本語教育学)の中から、各チームで課題を設定し、解決のためにどのような方法 が考えられるのか、教室における話合い・発表を行い、異なる背景を持った学生がインタラクティブに学ぶことを目指す。 【多文化コラボレーション2】

「多文化コラボレーション1」で学んだことを基礎に、日本人学生と留学生のチームが、教員から示された課題に対し、自律的に 学ぶ活動を行う。主な使用言語は英語とするが、グループを構成する学生が相互に言語支援活動を行うことを推奨する。グループ が取り組んだ課題の成果については、ポートフォリオによる評価を行う。

② 2年次科目

2年次以降は、「地域社会フィールドワーク」「社会発信型プロジェクト企画」「教育支援フィールドワーク」から選択履修させ、社会の中での学びを体験させることにより、日本社会の多言語多文化性を学びとらせ、職業意識の涵養と、特に留学生にとっては日本社会への理解の深化に努める。

【地域社会フィールドワーク】

自治体・公共施設等との自治体等との連携による在留外国人のためのボランティア活動や、海外展開をしている企業等におけるインターンシップに参加し、多文化協働力を生かした活動に従事することで、学生がキャリア形成をするうえでの意識を醸成することを目的とする科目。

【社会発信型プロジェクトワーク】

「多文化コラボレーション」の活動成果を基に、現代多文化社会における課題を発見・解決するための、研究会やシンポジウム等を企画・運営し、地域社会や企業、学校等に向けて発信する。協働実践科目の成果を社会に発信するとともに、企業や地域社会からの評価を通じて、学生が客観的に学習成果を捉える機会を提供することを目的とする科目。

本学と連携協定を締結している近隣の自治体・公官庁(府中市、調布市、神奈川県、東京地検)等の協力も得て、実施する。

【教育支援フィールドワーク】

将来、日本語教育に携わることを希望する学生に対し、国内外の日本語教育機関において教育補助を行い、教育現場を知る機会を提供する。教育補助を行うに先立ち、多言語多文化化する日本社会の諸問題や海外にルーツを持つ児童生徒らに対する日本語力アセスメント (DLA)の手法を学ぶ。

③ 留学

国際日本学部の学生には、本学の多様な留学プログラムへの参加を促す。それにより、世界の国際日本学を体験すると同時に、世界の人々との接触を通じ、社会の中でリーダーシップを発揮する能力と自覚を涵養する。

ただし、留学は必修とはせず、各自の学修計画のなかに留学を織り込むよう、十分な指導を行う。

【短期留学科目・スタディツアー科目】

予生の短期留学を推進する。世界教養プログラム「短期海外留学」、「スタディツアー」において、世界の国際日本教育拠点に 学生の短期留学を推進する。世界教養プログラム「短期海外留学」、「スタディツアー」において、世界の国際日本教育拠点に 赴く留学プログラムを開講し、世界の学生や他学部の学生とともに、国際日本学を学ぶ機会を提供する。実施は、夏学期、または 冬学期。短期留学科目としては、「ロンドン大学SOASサマースクール・アカデミック」「ブリティッシュコロンピア大バンクー バーサマープログラム」「ブルネイ・ダルサラーム大学グローバル・ディスカバリー・プログラム」など、英語プログラムを開講 する。スタディツアーとしては、「メルボルン大学・北海道大学・東京外国語大学Joint Education Program (仮称)」などが予定 されている。

【長期留学】

長期留学の機会を設けるため、本学の協定校への交換による留学を推奨する。本学の協定校の多くは、日本研究・日本語教育のセクションを有していることから、こうした機関への半年または1年の長期留学により、世界の国際日本学の現場を知る機会を得る。留学先では国際日本学の諸科目を受講すると同時に、日本を学ぶ学生と交流し、国際的な視点から日本についての認識を深める。また、日本語教育を学ぶ学生には、日本語教育現場での教育アシスタントの機会を与える。なお、これらの留学プログラムは、日本人学生だけではなく、留学生が参画することも可能とする。

④正規外の活動

本学は、夏学期・冬学期に、世界各地からの学生の参加のもと、ショートステイプログラムを実施している(例:「夏期ショートステイ日本語教育プログラム」、言語文化学部・国際社会学部「地域言語A(ロシア語Ⅲ-6) ロシア語で学ぶ国際日本学」など)。国際日本学部学生には、これらのプログラムの一部の企画から参加させ、また実施時にはサポーターやアシスタントとしての参加を促し、日本のなかで世界の国際日本学分野の学生と触れるとともに、企画・実践におけるリーダーシップの育成を図る。

(5) 卒業要件・履修方法

卒業要件

基礎科目1単位以上、教養科目15単位以上、言語科目30単位以上、協働実践科目8単位以上、導入科目10単位、概論科目12単位以上、専門科目39単位以上の修得を義務付ける。協働実践科目のうち多文化協働科目(「多文化コラボレーション1」、「多文化コラボレーション2」、計4単位)を必修、導入科目は5科目全て必修とする。また、専門科目のなかには卒業研究演習4単位、卒業研究8単位を含めることとする。卒業研究は、卒業論文の執筆により行うこととし、必修とする。

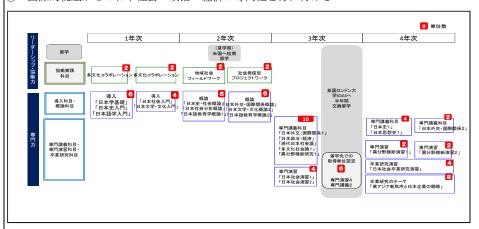
② 履修方法

・国際日本学部においては、担任教員制度を導入し、学期毎に個別に履修指導を行い、留学生を含む学生の留学計画を含めた学習 状況を定期的に確認する。国際日本学部においては、進級要件は付さずに柔軟な履修計画を立てることを可能とするが、個別指導 により、学生の学習計画が着実に達成できるよう、十分な配慮を行う。

・1年次、2年次には、世界教養プログラムに含まれる基礎科目、教養科目、言語科目、及び国際日本学部の協働実践科目、導入科目、概論科目を段階的に履修する。3年次からは、専門科目を中心に履修し、3年次には専門講義科目、および2つ以上の専門演習科目を履修する。4年次には、指導教員を決定し、その下で卒業研究演習を履修し、卒業研究を行う。1,2年次においては、短期海外留学科目やスタディーツアー科目による留学を推奨する。また、3年次における交換留学を推奨し、留学先で取得した単位の認定を積極的に行う。

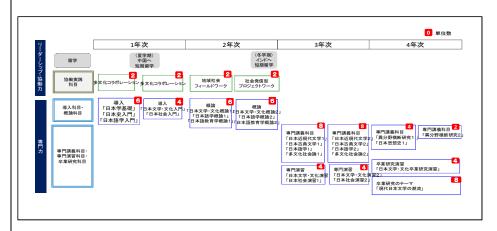
(6) 履修例

① 国際的視座からの日本社会・政治・経済の専門性を身に付ける



協働実践科目や2度の海外留学により、リーダーシップと協働力、国際的視野を身に付ける。 専修プログラムでは日本経済を扱う「日本社会演習」を中心に日本の社会、政治、経済の科目を履修。卒業研究では、日本企業 についての研究を行い、英語で論文を執筆する 就職先としては、グローバル企業の総合職が想定される。

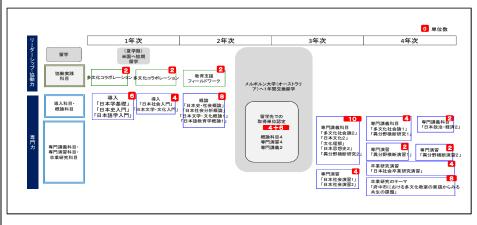
②世界の中での日本の文学・文化の専門性を身に付ける



協働実践科目や2度の海外留学により、リーダーシップと協働力、国際的視野を身に付ける。 専修プログラムでは、英語で開講される「日本文学・文と協働力、国際的視野を身に付ける。 行う。「異分野横断研究」では、他の分野を専門的に学ぶ学生と協力し、日本文学を国際発信する活動(HPの作成や催しものの実施)を行い、企画力やリーダーシップを養う。

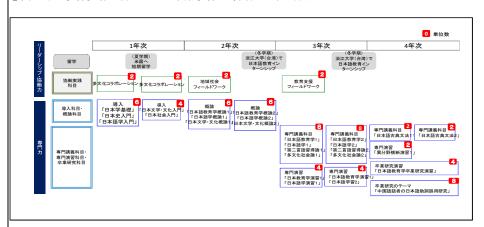
就職先としては、学生時代の活動を活かし、ジャーナリズムや出版界を目指す。

③多文化社会論の専門性を身に付ける



協働実践科目や2度の海外留学により、リーダーシップと協働力、国際的視野を身に付ける。 多文化共生論を扱う「日本社会演習」を中心に、多文化共生論について学問的知識と、現場における実践を学ぶ。 「教育支援 フィールドワーク」を履修し、海外にルーツをもつ児童生徒らに対する日本語力アセスメントの手法を学ぶ。 2 年後半から 3 年前 半へのメルボルン大学への交換留学では、多文化共生研究の進んだオーストラリアで、多文化共生諸制度の現況を学ぶ。帰国後は地方自治体でのボランティア活動を行い、その実践を踏まえて、卒業研究を行う。 将来は、政府機関、地方自治体等における多文化コーディネーターとしての就職を目指す。

④国内外の教育現場に活かせる日本語教育の専門性を身に付ける



協働実践科目や短期海外留学により、リーダーシップと協働力、国際的視野を身に付ける。

第二言語習得論を扱う「日本語教育演習」を中心に日本語教育を専門的に学ぶ。2年次冬学期の台湾の淡江大学で日本語教育のインターンシップ、3年次春学期の教育支援フィールドワーク、3年次冬学期に、再度、淡江大学で日本語教育のインターンシップは1950年代によりに対していません。 プを行い、実践的な力を身に付ける。

卒業後は大学院に進学して日本語教育学の学問的専門性を身に付け、大学院修了後に、海外の日本語教育機関での就職を目指

卒業要件及び履修方法	授業期間等
1. 卒業要件	1 学年の学期区分 4 学期
本学部に4年以上在学し、在学期間中に所定の授業科目を履修し、125単位以上	1 学期の授業期間 1 5 週
を修得する。(履修科目の登録の上限:50単位(年間))	1 時限の授業時間 9 0 分

2. 履修方法

卒業所要単位125単位は、次に掲げる授業科目の区分より履修する。

- (1) 世界教養プログラム
- ①基礎科目 必修科目 1単位以上 ②教養科目 選択科目 15単位以上 ③言語科目 選択科目 30単位以上

- (2) 専修プログラム
- ①協働実践科目 8単位以上(必修科目「多文化コラボレーション1」 「多文化コラボレーション2」計4単位を含む)
- 必修科目 10単位 (5科目必修) ②導入科目
- ③概論科目 選択科目 12単位以上
- ④専門科目 39単位以上(必修科目「卒業研究演習1」 「卒業

研究演習2」「卒業研究」計12単位を含む)

(用紙 日本工業規格A4縦型)

教育課程等の概要(事前伺い)

(言語文化学部言語文化学科) (既設分)

([5 譜,	文化学部言語文化学科)(既設分) 			単位数	ţ	授	業形!	態	1	専任教	女員等	の配置	置	
科	·目	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助	備考
区	分	1文条付日の右州	配当午休	修	択	由	義	習	実	授	教授	師	教	手	加持
		# T# 11 \ .	1 00		<i>J</i> / (ш,	,,		習			Hills	*	,	** :
		基礎リテラシー 基礎演習	1 · 2① 1 · 2③	1 2			0			6	2 2	1	1		兼1 兼30
		くらしと社会制度A	1.2.3.4(1)		2		0					_			兼1
		くらしと社会制度B	1.2.3.43		2		0								兼1
		くらしと健康A	1.2.3.4(1)		2		0			1	1				兼2
		くらしと健康B	1.2.3.43		2		0			1	1				AKL
		憲法を読み解くA	1.2.3.4(1)		2		0			1					兼1
		憲法を読み解くB	1.2.3.43		2		0								兼1
		地球社会と共生1A	1.2.3.4(1)		2		0					1			兼4
		地球社会と共生1B	1.2.3.43		2		0					1			兼2
		地球社会と共生2A	1.2.3.4(1)		2		0					1			AK2
		地球社会と共生2B	1.2.3.43		2		0					1			
		キャリアデザイン論 1 A	1 · 2 · 3 · 4 ①		2		0			1		1			兼4
		キャリアデザイン論 1B	1.2.3.43		2		0			1					兼2
		キャリアデザイン論 2 A	1.2.3.4(1)		2		0			I					兼1
		キャリアデザイン論 2B	1 • 2 • 3 • 4 ③		2		0								兼3
		キャリアデザイン論 3 A	1.2.3.4(1)		1		0								兼1
		協働基礎ゼミ	1.2.3.4(1)(3)		1		0								兼1
		ことばの不思議A	1.2.3.4(1)		2		0			1					兼3
		ことばの不思議B	1 · 2 · 3 · 4 ③		2		0			1					兼1
		ことばとコミュニケーションA	1.2.3.4(1)		2		0			1					兼2
		ことばとコミュニケーションB	1.2.3.43		2		0			1					兼6
	教	世界のことばA	1.2.3.4(1)		2		0			4		1			兼31
世界	養	世界のことばB	1.2.3.4(1)		2		0			4		1			兼19
界教	科	文化のおもしろさA	1.2.3.4(1)		2		0			4		2			兼1
養	目	文化のおもしろされ	1.2.3.4(1)		2		0			1		2			兼5
プ			1.2.3.4(1)		2		_			1		2			飛 り
ログ		文化のおもしろさB 文化のわましてされ	1.2.3.4(1)		2		0					2			*-
クラ		文化のおもしろさB1					0			,					兼5
Ĺ		世界の文化A	1.2.3.4①		2		0			1		,			**1
		世界の文化B	$1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \$		2		0			1		1			兼1 #7
		国際社会をひもとくA	_		2		0								兼7 *7
		国際社会をひもとくB	1.2.3.43		2 2		0								兼7
		地域の視点からA	1.2.3.4①				0								兼1
		地域の視点からB	1.2.3.43		2		0								兼4
		人間と環境A	1·2·3·4① 1·2·3·4③		2		0			1	1	1			兼5 兼2
		人間と環境B	_		2		0			1	1				兼2
		こころの科学A	1.2.3.4①		2		0			I					兼1
		こころの科学B	1.2.3.43		2		0			I					兼1
		世界の中の日本A	1.2.3.4①		2		0				1				兼11
		世界の中の日本B	1.2.3.43		2		0								兼12
		短期海外留学	1.2.3.413		2		0								兼1
		スタディツアー	1.2.3.413		2		0			I		1			兼4
		就業体験	1.2.3.413		2		0			I					兼1
		スポーツ・身体文化科目A	1.2.3.4①		1				0	I	1				兼5
		スポーツ・身体文化科目B	1.2.3.43		1				0	I	1				兼5
		情報技法A	1.2.3.4①		2		0								兼1
		情報技法B	1.2.3.43	_	2	<u> </u>	0		<u> </u>			-	1	<u> </u>	兼1
		小計 (47科目)	-	3	86	0	ļ	-		16	4	8	1	0	兼105 -
	言	地域言語A(英語 I)	1通		10			0		3					24.0
		地域言語A(英語 I -1)	1①		1			0		I					兼2
	科目	地域言語A(英語 I -2)	1①		1			0							兼2
	I	地域言語A(英語 I -3)	1①		1			0							兼2

		地域言語A(英語 I -4)	1①	1		0					兼2	
		地域言語A(英語 I -5)	1①	1		0					兼2	
		地域言語A(英語 I -6)	13	1		0					兼2	
		地域言語A(英語 I -7)	13	1		0					兼2	
		地域言語A(英語 I -8)	13	1		0					兼2	
		地域言語A(英語 I -9)	1③	1		0					兼2	
		地域言語A(英語 I -10)	13	1		0					兼2	
		地域言語A(英語 II -1)	2(1)	1		0	2		1		7	
		地域言語A(英語Ⅱ-2)	2(1)	1		0	2		1			
		地域言語A(英語Ⅱ-3)	2(1)	1		0	2		1			
		地域言語A(英語Ⅱ-4)	2①	1		0	2		1			
		地域言語A(英語 II - 5)	2①			0	2					
				1					1			
		地域言語A(英語 II-6)	23	1		0	2		1			
		地域言語A(英語Ⅱ-7)	23	1		0	2		1			
		地域言語A(英語Ⅱ-8)	2③	1		0	2		1			
		地域言語A(英語 II-9)	23	1		0	2		1			
		地域言語A(英語Ⅱ-10)	23	1		0	2		1			
		地域言語A(英語Ⅲ-1)	3 · 4①	1		0			1			
		地域言語A(英語Ⅲ-2)	3 · 42	1		0			1			
		地域言語A(英語Ⅲ-3)	3 • 4①	1		0			1			
		地域言語A(英語Ⅲ-4)	3 · 4②	1		0			1			
		地域言語A(英語Ⅲ-5)	3 · 4①	1		0			1			
ш.		地域言語A(英語Ⅲ-6)	3 · 4②	1		0			1			
世界		地域言語A(英語Ⅲ-7)	3 · 4①	1		0			1			
教		地域言語A(英語Ⅲ-8)	3 · 4②	1		0			1			
養		地域言語A(ドイツ語 I)	1通	10		0	1	1				
プロ		地域言語A(ドイツ語 II -1)	2(1)	1		Ō	1	1				
グ		地域言語A(ドイツ語 II -2)	2(1)	1		0	1	1				
ラ		地域言語A(ドイツ語Ⅱ-3)	2(1)	1		0	1	1				
A		地域言語A(ドイツ語Ⅱ-4)	2①	1		0	1	1				
		地域言語A(ドイツ語 II -5)	2①	1		0	1	1				
			2③			0						
	言	地域言語A(ドイツ語 II -6)	_	1		_	1	1				
	語科	地域言語A(ドイツ語 II -7)	23	1		0	1	1				
	目	地域言語A(ドイツ語 II-8)	23	1		0	1	1				
		地域言語A(ドイツ語 II-9)	23	1		0	1	1				
		地域言語A(ドイツ語 II-10)	23	1		0	1	1				
		地域言語A(ドイツ語Ⅲ-1)	3 · 4①	1		0			1			
		地域言語A(ドイツ語Ⅲ-2)	3 · 4③	1		0			1			
		地域言語A(ドイツ語Ⅲ-3)	3 · 4①	1		0			1			
		地域言語A(ドイツ語Ⅲ-4)	3 · 4③	1		0			1			
		地域言語A(ドイツ語Ⅲ-5)	3 · 4①	1		0			1			
		地域言語A(ドイツ語Ⅲ-6)	3 · 4③	1		0			1			
		地域言語A(ドイツ語Ⅲ-7)	3 • 4①	1		0			1			
		地域言語A(ドイツ語Ⅲ-8)	3 · 4③	1		0			1			
		地域言語A(フランス語 I)	1通	10		0	2					
		地域言語A(フランス語Ⅱ-1)	2①	1		0		2				
		地域言語A(フランス語 II -2)	2(1)	1		0		2				
		地域言語A(フランス語Ⅱ-3)	2(1)	1		0		2				
		地域言語A(フランス語 II -4)	2①	1		0		2				
		地域言語A(フランス語II-5)	2①	1		0		2				
		地域言語A(フランス語 II -6)	2③	1		0		2				
		地域言語A(フランス語 II -7)	23			_		2				
			_	1		0						
		地域言語A(フランス語 II -8)	2③	1		0		2				
		地域言語A(フランス語 II -9)	23	1		0		2				
		地域言語A(フランス語 II -10)	23	1		0		2				
		地域言語A(フランス語Ⅲ-1)	3 • 4①	1		0			1			
		地域言語A(フランス語Ⅲ-2)	3 · 4③	1		0			1			
		地域言語A(フランス語Ⅲ-3)	3 · 4①	1		0			1			
		地域言語A(フランス語Ⅲ-4)	3 · 4③	1		0			1			
		地域言語A(フランス語Ⅲ-5)	3 · 4①	1		0			1			
		地域言語A(フランス語Ⅲ-6)	3 • 43	1		0			1			
		地域言語A(フランス語Ⅲ-7)	3 · 4①	1		0			1			
		地域言語A(フランス語Ⅲ-8)	3 • 43	1		0			1			

		地域言語A(イタリア語 I)	1通	10		0		1				
		地域言語A(イタリア語Ⅱ-1)	2①	1		0			1			
		地域言語A(イタリア語 II -2)	2①	1		0			1			
		地域言語A(イタリア語 II -3)	2(1)	1		0			1			
		地域言語A(イタリア語Ⅱ-4)	2①	1		0			1			
			_	_		_			_			
		地域言語A(イタリア語Ⅱ-5)	2①	1		0			1			
		地域言語A(イタリア語Ⅱ-6)	23	1		0			1			
		地域言語A(イタリア語Ⅱ-7)	23	1		0			1			
		地域言語A(イタリア語Ⅱ-8)	23	1		0			1			
		地域言語A(イタリア語 II -9)	23	1		0			1			
		地域言語A(イタリア語 II -10)	23	1		0			1			
		地域言語A(イタリア語Ⅲ-1)	_			_						
			3 • 4①	1		0			1			
		地域言語A(イタリア語Ⅲ-2)	3 · 4③	1		0			1			
		地域言語A(イタリア語Ⅲ-3)	3 · 4①	1		0			1			
		地域言語A(イタリア語Ⅲ-4)	3 · 4③	1		0			1			
		地域言語A(イタリア語Ⅲ-5)	3 • 4①	1		0			1			
		地域言語A(イタリア語Ⅲ-6)	3 • 4(3)	1		0			1			
		地域言語A(イタリア語Ⅲ-7)	3 • 4(1)	1		0			1			
			_			0						
		地域言語A(イタリア語Ⅲ-8)	3 • 43	1			-		1	-		
		地域言語A(スペイン語 I)	1通	10		0	1	1				
		地域言語A(スペイン語Ⅱ-1)	2①	1		0	1	1				Į l
		地域言語A(スペイン語Ⅱ-2)	2①	1		0	1	1				
		地域言語A(スペイン語Ⅱ-3)	2①	1		0	1	1				
世		地域言語A(スペイン語 II-4)	2①	1		0	1	1				
界		地域言語A(スペイン語Ⅱ-5)	2(1)	1		0	1	1				
教		地域言語A(スペイン語II-6)	23	1		0	1	1				
養プ			23			_						
ロロ	⇒	地域言語A(スペイン語Ⅱ-7)	_	1		0	1	1				
グ	言語	地域言語A(スペイン語Ⅱ-8)	23	1		0	1	1				
ラ	科	地域言語A(スペイン語Ⅱ-9)	23	1		0	1	1				
A	目	地域言語A(スペイン語Ⅱ-10)	23	1		0	1	1				
		地域言語A(スペイン語Ⅲ-1)	3 • 4①	1		0			1			
		地域言語A(スペイン語Ⅲ-2)	3 • 4(3)	1		0			1			
		地域言語A(スペイン語Ⅲ-3)	3 • 4(1)	1		0			1			
			_			_			_			
		地域言語A(スペイン語Ⅲ-4)	3 • 43	1		0			1			
		地域言語A(スペイン語Ⅲ-5)	3 • 4①	1		0			1			
		地域言語A(スペイン語Ⅲ-6)	3 · 4③	1		0			1			
		地域言語A(スペイン語Ⅲ-7)	3 · 4①	1		0			1			
		地域言語A(スペイン語Ⅲ-8)	3 · 43	1		0			1			
		地域言語A(ポルドガル語 I)	1通	10		0	1					
		地域言語A(ポルドガル語 II-1)	2①	1		0	1					
		地域言語A(ポルドガル語 II -2)	2①	1		0	1					
		地域言語A(ポルドガル語 II-3)										
			2①	1		0	1					Į l
		地域言語A(ポルドガル語 II-4)	2①	1		0	1					Į l
		地域言語A(ポルドガル語 II-5)	2①	1		0	1					Į l
		地域言語A(ポルドガル語 II-6)	23	1		0	1					
		地域言語A(ポルドガル語Ⅱ-7)	23	1		0	1					
		地域言語A(ポルドガル語 Ⅱ-8)	23	1		0	1					
		地域言語A(ポルドガル語 II-9)	23	1		0	1					
		地域言語A(ポルドガル語Ⅱ-10)	23	1		0	1					
			_			_	1		,			
		地域言語A(ポルドガル語Ⅲ-1)	3 • 4①	1		0			1			
		地域言語A(ポルドガル語Ⅲ-2)	3 • 43	1		0			1			
		地域言語A(ポルドガル語Ⅲ-3)	3 · 4①	1		0			1			
		地域言語A(ポルドガル語Ⅲ-4)	3 · 4③	1		0			1			
		地域言語A(ポルドガル語Ⅲ-5)	3 • 41	1		0			1			
		地域言語A(ポルドガル語Ⅲ-6)	3 • 4(3)	1		0			1			
		地域言語A(ポルドガル語Ⅲ-7)	3 • 4(1)	1		0			1			
			3 • 4(1)			_						
		地域言語A(ポルドガル語Ⅲ-8)		1		0	-		1	-		
		地域言語A(ロシア語 I)	1通	10		0	1					
		地域言語A(ロシア語 II-1)	2①	1		0	1	1				
		地域言語A(ロシア語Ⅱ-2)	2①	1		0	1	1				
		地域言語A(ロシア語Ⅱ-3)	2①	1		\circ	1	1				ļ l
		地域言語A(ロシア語Ⅱ-4)	2①	1		0	1	1				
		地域言語A(ロシア語 II -5)	2①	1		0	1	1				
ш			20	 		$\overline{}$						<u> </u>

		地域言語A(ロシア語Ⅱ-6)	23	1		0	1	1				
		地域言語A(ロシア語Ⅱ-7)	23	1		\circ	1	1				
		地域言語A(ロシア語Ⅱ-8)	2③	1		0	1	1				
		地域言語A(ロシア語Ⅱ-9)	23	1		0	1	1				
		地域言語A(ロシア語Ⅱ-10)	23	1		0	1	1				
		地域言語A(ロシア語Ⅲ-1)	3 • 4(1)	1		0			1			
		地域言語A(ロシア語Ⅲ-2)	3 • 4(3)	1		0			1			
		地域言語A(ロシア語Ⅲ-3)	3 • 4(1)	1		0			1			
		地域言語A(ロシア語Ⅲ-4)	3 • 4(3)	1		0			1			
			_			_						
		地域言語A(ロシア語Ⅲ-5)	3 • 4①	1		0			1			
		地域言語A(ロシア語Ⅲ-6)	3 • 43	1		0			1			
		地域言語A(ロシア語Ⅲ-7)	3 • 4①	1		0			1			
		地域言語A(ロシア語Ⅲ-8)	3 • 43	1		0			1			
		地域言語A(中国語 I)	1通	10		0	2					
		地域言語A(中国語Ⅱ-1)	2①	1		0	1	1				
		地域言語A(中国語 II -2)	2①	1		0	1	1				
		地域言語A(中国語Ⅱ-3)	2①	1		0	1	1				
		地域言語A(中国語Ⅱ-4)	2①	1		\circ	1	1				
		地域言語A(中国語Ⅱ-5)	2①	1		\circ	1	1				
		地域言語A(中国語Ⅱ-6)	2③	1		\circ	1	1				
世界		地域言語A(中国語Ⅱ-7)	23	1		\circ	1	1				
界		地域言語A(中国語Ⅱ-8)	23	1		0	1	1				
教養		地域言語A(中国語 II -9)	23	1		0	1	1				
プ		地域言語A(中国語Ⅱ-10)	23	1		0	1	1				
口	言	地域言語A(中国語Ⅲ-1)	3 • 4(1)	1		0			1			
グラ	語	地域言語A(中国語Ⅲ-2)	3 • 4(3)	1		0			1			
ム	科目	地域言語A(中国語Ⅲ-3)	3 • 4(1)	1		0			1			
	Н	地域言語A(中国語Ⅲ-4)	3 • 4(3)	1		0			1			
		地域言語A(中国語Ⅲ-5)	3 • 4(1)	1		0			1			
		地域言語A(中国語Ⅲ-6)	3 • 4(3)	1		0			1			
		地域言語A(中国語Ⅲ-7)	3 • 4(1)	1		0			1			
			3 • 4(1)			0			1			
		地域言語A(中国語Ⅲ-8)		1			,		1			
		地域言語A(朝鮮語 I) 地域言語A(朝鮮語 II-1)	1通 2①	10		0	1	2				
		/	_	1		0	1	2				
		地域言語A(朝鮮語 II -2)	2①	1		0	1	2				
		地域言語A(朝鮮語Ⅱ-3)	2①	1		0	1	2				
		地域言語A (朝鮮語 II -4)	2①	1		0	1	2				
		地域言語A (朝鮮語 II -5)	2①	1		0	1	2				
		地域言語A(朝鮮語Ⅱ-6)	2③	1		0	1	2				
		地域言語A(朝鮮語Ⅱ-7)	23	1		0	1	2				
		地域言語A(朝鮮語Ⅱ-8)	23	1		0	1	2				
		地域言語A(朝鮮語Ⅱ-9)	23	1		0	1	2				
		地域言語A(朝鮮語Ⅱ-10)	23	1		\circ	1	2				
		地域言語A(朝鮮語Ⅲ-1)	3 • 41	1		0			1			
		地域言語A(朝鮮語Ⅲ-2)	3 • 43	1		\circ			1			
		地域言語A(朝鮮語Ⅲ-3)	3 • 4①	1		\circ			1			
		地域言語A(朝鮮語Ⅲ-4)	3 · 4③	1		\circ			1			
		地域言語A(朝鮮語Ⅲ-5)	3 • 41	1		\circ			1			
		地域言語A(朝鮮語Ⅲ-6)	3 • 43	1		\circ			1			
		地域言語A(朝鮮語Ⅲ-7)	3 • 4①	1		\circ			1			
		地域言語A(朝鮮語Ⅲ-8)	3 • 43	1		\circ			1			
		地域言語A(ポーランド語 I -1)	1①	1		0		1				
		地域言語A(ポーランド語 I -2)	1①	1		\circ		1				
		地域言語A(ポーランド語 I -3)	1①	1		0		1				
		地域言語A(ポーランド語 I-4)	1①	1		0		1				
		地域言語A(ポーランド語 I -5)	1①	1		0		1				
		地域言語A(ポーランド語 I-6)	13	1		0		1				
		地域言語A(ポーランド語 I -7)	13	1		0		1				
		地域言語A(ポーランド語 I-8)	13	1		0		1				
		地域言語A(ポーランド語 I-9)	13	1		0		1				
		地域言語A(ポーランド語 I -10)	13	1		0		1				
		地域言語A(ポーランド語 II-1)	2①	1		0		1				
		地域言語A(ポーランド語 II-1)	2①	1		0		1				
<u> </u>		200%日 mn (か	4U)	1		\cup	I	1	I		l .	

		地域言語A(ポーランド語 II-3)	2①	1		0		1			
		地域言語A(ポーランド語 II-4)	2①	1		0		1			
		地域言語A(ポーランド語 II-5)	2(1)	1		0		1			
		地域言語A(ポーランド語 II -6)	2③	1		0		1			
		地域言語A(ポーランド語 II-7)	23	1		0		1			
			_	_		_		_			
		地域言語A(ポーランド語Ⅱ-8)	23	1		0		1			
		地域言語A(ポーランド語 II-9)	23	1		0		1			
		地域言語A(ポーランド語Ⅱ-10)	23	1		0		1			
		地域言語A(ポーランド語Ⅲ-1)	3 · 4①	1		0			1		
		地域言語A(ポーランド語Ⅲ-2)	3 • 4(1)	1		0			1		
		地域言語A(ポーランド語Ⅲ-3)	3 • 4(1)	1		0			1		
		地域言語A(ポーランド語Ⅲ-4)	_			0					
			3 • 4①	1		_			1		
		地域言語A(ポーランド語Ⅲ-5)	3 · 4③	1		0			1		
		地域言語A(ポーランド語Ⅲ-6)	3 · 4③	1		0			1		
		地域言語A(ポーランド語Ⅲ-7)	3 · 4③	1		0			1		
		地域言語A(ポーランド語Ⅲ-8)	3 • 4(3)	1		0			1		
		地域言語A(チェコ語 I -1)	1(1)	1		0		1			
世		地域言語A(チェコ語 I -2)	1(1)	1		0		1			
界教		地域言語A(チェコ語 I -3)	1(1)			_					
教養			_	1		0		1			
プ		地域言語A(チェコ語 I -4)	1①	1		0		1			
口		地域言語A(チェコ語 I-5)	1①	1		0		1			
グ		地域言語A(チェコ語 I-6)	13	1		0		1			
ラ	言	地域言語A(チェコ語 I -7)	13	1		0		1			
ム	語	地域言語A(チェコ語 I-8)	1③	1		0		1			
	科目	地域言語A(チェコ語 I -9)	13	1		0		1			
	Н	地域言語A(チェコ語 I -10)	13	1		0		1			
		地域言語A(チェコ語Ⅱ-1)	2(1)			0					
			_	1		_		1			
		地域言語A(チェコ語 II-2)	2①	1		0		1			
		地域言語A(チェコ語Ⅱ-3)	2①	1		0		1			
		地域言語A(チェコ語Ⅱ-4)	2①	1		0		1			
		地域言語A(チェコ語Ⅱ-5)	2①	1		0		1			
		地域言語A(チェコ語Ⅱ-6)	23	1		0		1			
		地域言語A(チェコ語Ⅱ-7)	2③	1		0		1			
		地域言語A(チェコ語 II -8)	23	1		0		1			
		地域言語A(チェコ語Ⅱ-9)	23	1		0		1			
			_			_					
		地域言語A(チェコ語 II-10)	23	1		0		1			
		地域言語A(チェコ語Ⅲ-1)	3 · 4①	1		0			1		
		地域言語A(チェコ語Ⅲ-2)	3 · 4①	1		0			1		
		地域言語A(チェコ語Ⅲ-3)	3 · 4①	1		0			1		
		地域言語A(チェコ語Ⅲ-4)	3 • 41	1		0			1		
		地域言語A(チェコ語Ⅲ-5)	3 • 4(3)	1		0			1		
		地域言語A(チェコ語Ⅲ-6)	3 • 4(3)	1		0			1		
		地域言語A(チェコ語Ⅲ-7)	3 • 43	1		0			1		
1		地域言語A(チェコ語Ⅲ-8)	3 • 43	1		0			1		
1						0	1				
		地域言語A(モンゴル語 I -1)	1①	1			1		1		
		地域言語A(モンゴル語 I-2)	1①	1		0	1		1		
		地域言語A(モンゴル語 I-3)	1①	1		0	1		1		
		地域言語A(モンゴル語 I-4)	1①	1		0	1		1		
		地域言語A(モンゴル語 I -5)	1①	1		0	1		1		
		地域言語A(モンゴル語 I-6)	13	1		0	1		1		
		地域言語A(モンゴル語 I -7)	13	1		0	1		1		
		地域言語A(モンゴル語 I-8)	13	1		0	1		1		
		地域言語A(モンゴル語 I -9)	13			0					
				1		_	1		1		
		地域言語A(モンゴル語 I-10)	13	1		0	1		1		
		地域言語A(モンゴル語Ⅱ-1)	2①	1		0	1		1		
		地域言語A(モンゴル語Ⅱ-2)	2①	1		0	1		1		
		地域言語A(モンゴル語Ⅱ-3)	2①	1		0	1		1		
		地域言語A(モンゴル語Ⅱ-4)	2①	1		0	1		1		
		地域言語A(モンゴル語Ⅱ-5)	2①	1		0	1		1		
		地域言語A(モンゴル語II-6)	23	1		0	1		1		
		地域言語A(モンゴル語 II-7)	23	1		0	1		1		
1		地域言語A(モンゴル語 II -8)	2③	1		0	1		1		
		地域言語A(モンゴル語Ⅱ-9)	23	1		0	1		1		

		地域言語A(モンゴル語Ⅱ-10)	23	1		\circ	1		1			
		地域言語A(モンゴル語Ⅲ-1)	3 · 4①	1		\circ				1		
		地域言語A(モンゴル語Ⅲ-2)	3 · 4①	1		0				1		
		地域言語A(モンゴル語Ⅲ-3)	3 • 4①	1		0				1		
		地域言語A(モンゴル語Ⅲ-4)	3 • 41	1		0				1		
		地域言語A(モンゴル語Ⅲ-5)	3 • 4(3)	1		0				1		
		地域言語A(モンゴル語Ⅲ-6)	3 • 43	1		0				1		
		地域言語A(モンゴル語Ⅲ-7)	_			_						
			3 • 43	1		0				1		
		地域言語A(モンゴル語Ⅲ-8)	3 • 43	1		0				1		
		地域言語A(インドネシア語 I -1)	1①	1		0	1	1				
		地域言語A(インドネシア語 I -2)	1①	1		0	1	1				
		地域言語A(インドネシア語 I-3)	1①	1		0	1	1				
		地域言語A(インドネシア語 I -4)	1①	1		\circ	1	1				
		地域言語A(インドネシア語 I -5)	1①	1		\circ	1	1				
		地域言語A(インドネシア語 I −6)	13	1		\circ	1	1				
世		地域言語A(インドネシア語 I-7)	13	1		0	1	1				
界		地域言語A(インドネシア語 I-8)	13	1		0	1	1				
教養	言	地域言語A(インドネシア語 I-9)	13	1		0	1	1				
変プ	語	地域言語A(インドネシア語 I -10)	13	1		0	1	1				
口	科目	地域言語A(インドネシア語 II-1)	2(1)	1		0	1	1				
グ	Ħ	地域言語A(インドネシア語 II-1)	2①			0						
ラム		地域言語A(インドネシア語Ⅱ-2) 地域言語A(インドネシア語Ⅱ-3)	2①	1		0	1	1				
Δ			_	1		_	1	1				
		地域言語A(インドネシア語Ⅱ-4)	2①	1		0	1	1				
		地域言語A(インドネシア語 II-5)	2①	1		0	1	1				
		地域言語A(インドネシア語Ⅱ-6)	23	1		0	1	1				
		地域言語A(インドネシア語Ⅱ-7)	23	1		0	1	1				
		地域言語A(インドネシア語Ⅱ-8)	23	1		\circ	1	1				
		地域言語A(インドネシア語Ⅱ-9)	23	1		\circ	1	1				
		地域言語A(インドネシア語Ⅱ-10)	23	1		\circ	1	1				
		地域言語A(インドネシア語Ⅲ-1)	3 · 4①	1		\circ			1			
		地域言語A(インドネシア語Ⅲ-2)	3 · 4①	1		0			1			
		地域言語A(インドネシア語Ⅲ-3)	3 • 41	1		0			1			
		地域言語A(インドネシア語Ⅲ-4)	3 • 4(1)	1		0			1			
		地域言語A(インドネシア語Ⅲ-5)	3 • 4(3)	1		O			1			
		地域言語A(インドネシア語Ⅲ-6)	3 • 4(3)	1		0			1			
		地域言語A(インドネシア語Ⅲ-7)	3 • 43	1		0			1			
		地域言語A(インドネシア語Ⅲ-8)	3 • 43	1		0			1			
		地域言語A(マレーシア語 I -1)	1(1)	1		0		1	1			
		地域言語A(マレーシア語 I -2)	1①	1		0		1				
		地域言語A(マレーシア語 I -3)	1①	1		0		1				
		地域言語A(マレーシア語 I -4)	1①	1		0		1				
		地域言語A(マレーシア語 I -5)	1①	1		0		1				
		地域言語A(マレーシア語 I-6)	13	1		0		1				
		地域言語A(マレーシア語 I-7)	13	1		0		1				
		地域言語A(マレーシア語 I-8)	13	1		0		1				
		地域言語A(マレーシア語 I-9)	13	1		\circ		1				
		地域言語A(マレーシア語 I -10)	13	1		\circ		1				
		地域言語A(マレーシア語 Ⅱ-1)	2①	1		\circ		1				
		地域言語A(マレーシア語 II-2)	2①	1		\circ		1				
		地域言語A(マレーシア語Ⅱ-3)	2①	1		\circ		1				
		地域言語A(マレーシア語 II-4)	2①	1		0		1				
		地域言語A(マレーシア語 II -5)	2①	1		0		1				
		地域言語A(マレーシア語 II-6)	23	1		0		1				
		地域言語A(マレーシア語Ⅱ-7)	23	1		0		1				
		地域言語A(マレーシア語 II-8)	23	1		0		1				
		地域言語A(マレーシア語 II-9)	23	1		0		1				
		地域言語A(マレーシア語 II-10)	23	1		0		1				
			_			_		1	1			
		地域言語A(マレーシア語Ⅲ-1)	3 • 4①	1		0			1			
		地域言語A(マレーシア語Ⅲ-2)	3 • 4①	1		0			1			
		地域言語A(マレーシア語Ⅲ-3)	3 • 4①	1		0			1			
		地域言語A(マレーシア語Ⅲ-4)	3 • 4①	1		0			1			
		地域言語A(マレーシア語Ⅲ-5)	3 • 43	1		0			1			
LI		地域言語A(マレーシア語Ⅲ-6)	3 · 4③	1		0			1			

		地域言語A(マレーシア語Ⅲ-7)	3 · 4③		1		(0		1			
		地域言語A(マレーシア語Ⅲ-8)	3 · 4③		1		(0		1			
		地域言語A(フィリピン語 I −1)	1①		1		(0		1			
		地域言語A(フィリピン語 I -2)	1①		1		(0		1			
		地域言語A(フィリピン語 I −3)	1①		1		(0		1			
		地域言語A(フィリピン語 I -4)	1①		1		(0		1			
		地域言語A(フィリピン語 I −5)	1①		1		(0		1			
		地域言語A(フィリピン語 I -6)	13		1		(0		1			
		地域言語A(フィリピン語 I -7)	13		1		(0		1			
		地域言語A(フィリピン語 I -8)	13		1		(0		1			
		地域言語A(フィリピン語 I-9)	13		1		(0		1			
		地域言語A(フィリピン語 I −10)	13		1		(0		1			
		地域言語A(フィリピン語 II-1)	2①		1		()		1			
		地域言語A(フィリピン語 II-2)	2①		1		(0		1			
		地域言語A(フィリピン語 II-3)	2①		1		()		1			
世		地域言語A(フィリピン語 II-4)	2①		1		()		1			
界		地域言語A(フィリピン語 II-5)	2(1)		1		()		1			
教養		地域言語A(フィリピン語 II-6)	2(3)		1		(0		1			
プ		地域言語A(フィリピン語 II -7)	23		1			0		1			
口		地域言語A(フィリピン語 II-8)	23		1			0		1			
グラ	言	地域言語A(フィリピン語Ⅱ-9)	23		1					1			
フム	語	地域言語A(フィリピン語Ⅱ-10)	23		1					1			
	科目	地域言語A(フィリピン語Ⅲ-1)	3 • 4(1)		1			$\tilde{\mathcal{O}}$		1			
		地域言語A(フィリピン語Ⅲ-2)	3 • 4(1)		1			0		1			
		地域言語A(フィリピン語Ⅲ-3)	3 • 4(1)		1					1			
		地域言語A(フィリピン語Ⅲ-4)	3 • 4(1)		1					1			
		地域言語A(フィリピン語Ⅲ-5)	3 • 4(3)		1			0		1			
		地域言語A(フィリピン語Ⅲ-6)	3 • 4(3)		1					1			
		地域言語A(フィリピン語Ⅲ-7)	3 • 4(3)		1					1			
		地域言語A(フィリピン語Ⅲ-8)	3 • 4(3)		1					1			
		地域言語A(タイ語 I -1)	1(1)		1			5		1			
		地域言語A(タイ語 I -2)	1①		1					1			
		地域言語A(タイ語 I -3)	1①		1					1			
		地域言語A(タイ語 I -4)	1①		1					1			
		地域言語A(タイ語 I -5)	1①		1					1			
		地域言語A(タイ語 I -6)	13		1					1			
		地域言語A(タイ語 I -7)	13		1					1			
		地域言語A(タイ語 I -8)	13		1			0		1			
		地域言語A(タイ語 I -9)	13		1			5		1			
		地域言語A(タイ語 I -10)	13		1			5		1			
		地域言語A(タイ語Ⅱ-1)	2①		1			5		1			
		地域言語A(タイ語Ⅱ-2)	2①		1			5		1			
		地域言語A(タイ語Ⅱ-3)	2①		1					1			
		地域言語A(タイ語Ⅱ-4)	2①		1			0		1			
		地域言語A(タイ語II-5)	2①		1					1			
		地域言語A(タイ語Ⅱ-6)	23		1					1			
		地域言語A(タイ語Ⅱ-7)	23		1					1			
		地域言語A(タイ語Ⅱ-8)	23		1					1			
		地域言語A(タイ語Ⅱ-9)	23		1			5		1			
		地域言語A(タイ語Ⅱ-10)	23		1			5		1			
		地域言語A(タイ語Ⅲ-1)	3 • 4(1)		1					1			
		地域言語A(タイ語Ⅲ-2)	3 • 4(1)		1					1			
		地域言語A(タイ語Ⅲ-3)	3 • 41		1			0		1			
1		地域言語A(タイ語Ⅲ-4)	3 • 4①		1			5		1			
1		地域言語A(タイ語Ⅲ-5)	3 • 4(3)		1					1			
1		地域言語A(タイ語Ⅲ-6)	3 • 4(3)		1					1			
		地域言語A(タイ語Ⅲ-7)	3 • 43		1					1			
1		地域言語A(タイ語Ⅲ-8)	3 • 43		1					1			
1		地域言語A(ラオス語 I -1)	1(1)		1			5	1	-			
1		地域言語A(ラオス語 I -2)	1①		1				1				
1		地域言語A(ラオス語 I -3)	1①		1			5	1				
1		地域言語A(ラオス語 I -4)	1①		1				1				
		地域言語A(ラオス語 I -5)	1①		1				1				
<u> </u>		************************************	1(1)	l .	1	1	<u> </u>	\sim	1		1		

		地域言語A(ラオス語 I-6)	13	1		0		1				
		地域言語A(ラオス語 I -7)	13	1		\circ		1				
		地域言語A(ラオス語 I-8)	13	1		0		1				
		地域言語A(ラオス語 I-9)	1③	1		0		1				
		地域言語A(ラオス語 I -10)	13	1		0		1				
		地域言語A(ラオス語Ⅱ-1)	2①	1		0		1				
		地域言語A(ラオス語 II-2)	2①	1		0		1				
		地域言語A(ラオス語 II-3)	2①			-						
			_	1		0		1				
		地域言語A(ラオス語Ⅱ-4)	2①	1		0		1				
		地域言語A(ラオス語Ⅱ-5)	2①	1		0		1				
		地域言語A(ラオス語Ⅱ-6)	23	1		0		1				
		地域言語A(ラオス語Ⅱ-7)	23	1		0		1				
		地域言語A(ラオス語Ⅱ-8)	23	1		\circ		1				
		地域言語A(ラオス語Ⅱ-9)	23	1		\circ		1				
		地域言語A(ラオス語Ⅱ-10)	23	1		\circ		1				
		地域言語A(ラオス語Ⅲ-1)	3 • 4①	1		0				1		
		地域言語A(ラオス語Ⅲ-2)	3 • 4(1)	1		0				1		
		地域言語A(ラオス語Ⅲ-3)	3 · 4(1)	1		0				1		
		地域言語A(ラオス語Ⅲ-4)	3 • 41	1		0				1		
		地域言語A(ラオス語Ⅲ-5)	3 • 43	1		0				1		
世		地域言語A(ラオス語Ⅲ-6)	3 • 43	1		0				1		
界教		地域言語A(フォス語Ⅲ-6) 地域言語A(ラオス語Ⅲ-7)	3 • 43			0						
教養	言		_	1		-				1		
プ	語科	地域言語A(ゔよよえ語Ⅱ-8)	3 • 43	1	\vdash	0		-1		1		
口	目	地域言語A(ベトナム語 I -1)	1①	1		0				1		
グラ		地域言語A(ベトナム語 I -2)	1①	1		0				1		
À		地域言語A(ベトナム語 I -3)	1①	1		0				1		
		地域言語A(ベトナム語 I-4)	1①	1		0				1		
		地域言語A(ベトナム語 I-5)	1①	1		0				1		
		地域言語A(ベトナム語 I-6)	13	1		0				1		
		地域言語A(ベトナム語 I-7)	13	1		0				1		
		地域言語A(ベトナム語 I-8)	13	1		0				1		
		地域言語A(ベトナム語 I-9)	13	1		0				1		
		地域言語A(ベトナム語 I-10)	13	1		\circ				1		
		地域言語A(ベトナム語Ⅱ-1)	2①	1		\circ				1		
		地域言語A(ベトナム語Ⅱ-2)	2①	1		\circ				1		
		地域言語A(ベトナム語Ⅱ-3)	2①	1		\circ				1		
		地域言語A(ベトナム語Ⅱ-4)	2①	1		\circ				1		
		地域言語A(ベトナム語Ⅱ-5)	2①	1		\circ				1		
		地域言語A(ベトナム語Ⅱ-6)	23	1		\circ				1		
		地域言語A(ベトナム語Ⅱ-7)	23	1		0				1		
		地域言語A(ベトナム語Ⅱ-8)	23	1		0				1		
		地域言語A(ベトナム語Ⅱ-9)	23	1		0				1		
		地域言語A(ベトナム語Ⅱ-10)	23	1		0				1		
		地域言語A(ベトナム語Ⅲ-1)	3 • 4(1)	1		0				1		
		地域言語A(ベトナム語Ⅲ-2)	3 • 4(1)	1		0				1		
		地域言語A(ベトナム語Ⅲ-3)	3 • 4(1)	1		0				1		
		地域言語A(ベトナム語Ⅲ-4)	3 • 4(1)	1		0				1		
		地域言語A(ベトナム語Ⅲ-5)	3 • 43	1		0				1		
		地域言語A(ベトナム語Ⅲ-6)	3 • 43	1						1		
		地域言語A(ベトナム語Ⅲ-7)	3 • 43	1		0				1		
		地域言語A(ベトナム語Ⅲ-8)	3 • 43	1		0				1		
		地域言語A(ケト) ム語Ⅲ-8) 地域言語A(カンボジア語 I -1)	1(1)	1		0	$-\parallel$	-1	2	1		
		地域言語A(カンボン/語 I-1) 地域言語A(カンボジア語 I-2)	1①			0			2			
		地域言語A(カンボン) 語 I -2) 地域言語A(カンボジア語 I -3)		1								
			1①	1		0			2			
		地域言語A(カンボジア語 I-4)	1①	1		0			2			
		地域言語A(カンボジア語 I -5)	1①	1		0			2			
		地域言語A(カンボジア語 I -6)	13	1		0			2			
		地域言語A(カンボジア語 I -7)	13	1		0			2			
		地域言語A(カンボジア語 I -8)	13	1		0			2			
		地域言語A(カンボジア語 I -9)	13	1		0			2			
		地域言語A(カンボジア語 I -10)	13	1		0			2			
		地域言語A(カンボジア語 II-1)	2①	1		0			2			
		地域言語A(カンボジア語 II-2)	2①	1		0			2			

		地域言語A(カンボジア語 II-3)	2①	1		0		2			
		地域言語A(カンボジア語 II-4)	2①	1		0		2			
		地域言語A(カンボジア語 II-5)	2①	1		0		2			
		地域言語A(カンボジア語 II-6)	23	1		0		2			
		地域言語A(カンボジア語 II-7)	23	1		0		2			
		地域言語A(カンボジア語 II-8)	23	1		0		2			
		地域言語A(カンボジア語 II-9)	23	1		0		2			
		地域言語A(カンボジア語 Ⅱ-10)	2③	1		0		2			
		地域言語A(カンボジア語Ⅲ-1)	3 • 4(1)	1		0		_	1		
		地域言語A(カンボジア語Ⅲ-2)	3 • 4(1)	1		0			1		
		地域言語A(カンボジア語Ⅲ-3)	3 • 4(1)	1		0			1		
		地域言語A(カンボジア語Ⅲ-4)	3 • 4(1)	1		0			1		
		地域言語A(カンボジア語Ⅲ-5)	3 • 4(3)	1		0			1		
		地域言語A(カンボジア語Ⅲ-6)	3 • 43	1		0			1		
		地域言語A(カンボジア語Ⅲ-7)	3 • 43	1		0			1		
		地域言語A(カンボジア語Ⅲ-8)	3 • 43			0			1		
		地域言語A(ビルマ語 I -1)	1(1)	1		0	1	-	1		
			_			_	1	1			
		地域言語A(ビルマ語 I -2)	1①	1		0	1	1			
		地域言語A(ビルマ語 I -3)	1①	1		0	1	1			
		地域言語A(ビルマ語 I -4)	1①	1		0	1	1			
		地域言語A(ビルマ語 I -5)	1①	1		0	1	1			
		地域言語A(ビルマ語 I -6)	13	1		0	1	1			
m.		地域言語A(ビルマ語 I -7)	13	1		0	1	1			
世界		地域言語A(ビルマ語 I-8)	13	1		0	1	1			
教		地域言語A(ビルマ語 I-9)	13	1		0	1	1			
養	言語	地域言語A(ビルマ語 I -10)	13	1		0	1	1			
プロ	科	地域言語A(ビルマ語Ⅱ-1)	2①	1		0	1	1			
グ	目	地域言語A(ビルマ語 II-2)	2①	1		0	1	1			
ラ		地域言語A(ビルマ語 II-3)	2①	1		0	1	1			
4		地域言語A(ビルマ語Ⅱ-4)	2①	1		0	1	1			
		地域言語A(ビルマ語Ⅱ-5)	2①	1		0	1	1			
		地域言語A(ビルマ語Ⅱ-6)	23	1		0	1	1			
		地域言語A(ビルマ語Ⅱ-7)	23	1		0	1	1			
		地域言語A(ビルマ語Ⅱ-8)	23	1		0	1	1			
		地域言語A(ビルマ語Ⅱ-9)	23	1		0	1	1			
		地域言語A(ビルマ語Ⅱ-10)	23	1		0	1	1			
		地域言語A(ビルマ語Ⅲ-1)	3 • 41	1		0			1		
		地域言語A(ビルマ語Ⅲ-2)	3 · 4①	1		0			1		
		地域言語A(ビルマ語Ⅲ-3)	3 · 4①	1		0			1		
		地域言語A(ビルマ語Ⅲ-4)	3 • 41	1		0			1		
		地域言語A(ビルマ語Ⅲ-5)	3 · 4③	1		0			1		
		地域言語A(ビルマ語Ⅲ-6)	3 · 4③	1		0			1		
		地域言語A(ビルマ語Ⅲ-7)	3 · 4③	1		0			1		
		地域言語A(ビルマ語Ⅲ-8)	3 · 4③	1		0			1		
		地域言語A(ウルドゥー語 I-1)	1①	1		0		2			
		地域言語A(ウルドゥー語 I -2)	1①	1		0		2			
		地域言語A(ウルドゥー語 I -3)	1①	1		0		2			
		地域言語A(ウルドゥー語 I -4)	1①	1		0		2			
		地域言語A(ウルドゥー語 I-5)	1①	1		0		2			
		地域言語A(ウルドゥー語 I-6)	13	1		0		2			
		地域言語A(ウルドゥー語 I -7)	13	1		0		2			
		地域言語A(ウルドゥー語 I-8)	13	1		0		2			
		地域言語A(ウルドゥー語 I -9)	13	1		0		2			
		地域言語A(ウルドゥー語 I-10)	13	1		0		2			
		地域言語A(ウルドゥー語 II-1)	2①	1		0		2			
		地域言語A(ウルドゥー語 II-2)	2①	1		0		2			
		地域言語A(ウルドゥー語 II-3)	2①	1		0		2			
		地域言語A(ウルドゥー語 II-4)	2①	1		0		2			
		地域言語A(ウルドゥー語 II-5)	2①	1		0		2			
		地域言語A(ウルドゥー語 II-6)	2③	1		0		2			
		地域言語A(ウルドゥー語Ⅱ-6) 地域言語A(ウルドゥー語Ⅱ-7)	2(3)	1		0		2			
		地域言語A(ウルトゥー語Ⅱ-1) 地域言語A(ウルドゥー語Ⅱ-8)	2(3)			_					
			_	1		0		2			
		地域言語A(ウルドゥー語Ⅱ-9)	23	1		0		2			

		地域言語A(ウルドゥー語Ⅱ-10)	23	1		\circ		2			
		地域言語A(ウルドゥー語Ⅲ-1)	3 • 41	1		\circ			1		
		地域言語A(ウルドゥー語Ⅲ-2)	3 • 4①	1		\circ			1		
		地域言語A(ウルドゥー語Ⅲ-3)	3 • 41	1		0			1		
		地域言語A(ウルドゥー語Ⅲ-4)	3 · 4(1)	1		0			1		
		地域言語A(ウルドゥー語Ⅲ-5)	3 • 4(3)	1		0			1		
		地域言語A(ウルドゥー語Ⅲ-6)	3 • 4(3)	1		0			1		
		地域言語A(ウルドゥー語III-7)	3 • 4(3)	_		_			_		
			_	1		0			1		
		地域言語A(ウルドゥー語Ⅲ-8)	3 • 43	1		0			1		
		地域言語A(ヒンディー語 I -1)	1①	1		0	1				
		地域言語A(ヒンディー語 I-2)	1①	1		0	1				
		地域言語A(ヒンディー語 I-3)	1①	1		0	1				
		地域言語A(ヒンディー語 I-4)	1①	1		\circ	1				
		地域言語A(ヒンディー語 I-5)	1①	1		\circ	1				
		地域言語A(ヒンディー語 I-6)	13	1		\circ	1				
		地域言語A(ヒンディー語 I-7)	13	1		\circ	1				
		地域言語A(ヒンディー語 I-8)	13	1		\circ	1				
		地域言語A(ヒンディー語 I-9)	1③	1		0	1				
		地域言語A(ヒンディー語 I -10)	13	1		0	1				
		地域言語A(ヒンディー語Ⅱ-1)	2(1)	1		0	1				
		地域言語A(ヒンディー語 II -2)	2①	1		0	1				
		地域言語A(ヒンディー語 II -3)	2①	1		0	1				
		地域言語A(ヒンディー語 II-4)	2①	1		0	1				
		地域言語A(ヒンディー語 II-4)	2①	_		0	_				
			_	1		_	1				
		地域言語A(ヒンディー語 II -6)	23	1		0	1				
		地域言語A(ヒンディー語 II -7)	23	1		0	1				
		地域言語A(ヒンディー語 II-8)	23	1		0	1				
111.		地域言語A(ヒンディー語 II-9)	23	1		0	1				
世界		地域言語A(ヒンディー語 II-10)	23	1		0	1				
教養		地域言語A(ヒンディー語Ⅲ-1)	3 · 4①	1		0			1		
養	言語	地域言語A(ヒンディー語Ⅲ-2)	3 · 4①	1		0			1		
プロ	科	地域言語A(ヒンディー語Ⅲ-3)	3 · 4①	1		0			1		
グ	目	地域言語A(ヒンディー語Ⅲ-4)	3 · 4①	1		0			1		
ラ		地域言語A(ヒンディー語Ⅲ-5)	3 · 4③	1		0			1		
ム		地域言語A(ヒンディー語Ⅲ-6)	3 · 4③	1		\circ			1		
		地域言語A(ヒンディー語Ⅲ-7)	3 · 4③	1		\circ			1		
		地域言語A(ヒンディー語Ⅲ-8)	3 • 43	1		0			1		
		地域言語A(ベンガル語 I -1)	1①	1		\circ		1			
		地域言語A(ベンガル語 I -2)	1①	1		\circ		1			
		地域言語A(ベンガル語 I -3)	1①	1		\circ		1			
		地域言語A(ベンガル語 I -4)	1①	1		\circ		1			
		地域言語A(ベンガル語 I -5)	1①	1		\circ		1			
		地域言語A(ベンガル語 I-6)	13	1		\circ		1			
		地域言語A(ベンガル語 I -7)	13	1		\circ		1			
		地域言語A(ベンガル語 I -8)	13	1		0		1			
		地域言語A(ベンガル語 I -9)	13	1		0		1			
		地域言語A(ベンガル語 I -10)	13	1		0		1			
		地域言語A(ベンガル語 II-1)	2①	1		0		1			
		地域言語A(ベンガル語 II -2)	2①	1		0		1			
		地域言語A(ベンガル語Ⅱ-3)	2①	1		0		1			
		地域言語A(ベンガル語 II -4)	2①	1		0		1			
		地域言語A(ベンガル語 II -5)	2①	1		0		1			
						0					
		地域言語A(ベンガル語 II -6)	23	1		_		1			
		地域言語A(ベンガル語 II -7)	23	1		0		1			
		地域言語A(ベンガル語 II -8)	2③	1		0		1			
		地域言語A(ベンガル語 II -9)	23	1		0		1			
		地域言語A(ベンガル語 Ⅱ-10)	23	1		0		1			
		地域言語A(ベンガル語Ⅲ-1)	3 • 4①	1		0			1		
		地域言語A(ベンガル語Ⅲ-2)	3 • 4①	1		0			1		
		地域言語A(ベンガル語Ⅲ-3)	3 · 4①	1		0			1		
		地域言語A(ベンガル語Ⅲ-4)	3 · 4①	1		\circ			1		
		地域言語A(ベンガル語Ⅲ-5)	3 • 43	1		\circ			1		
		地域言語A(ベンガル語Ⅲ-6)	3 · 4③	1		\circ			1		

			T				· · · · · ·	r	r		r			
		地域言語A(ベンガル語Ⅲ-7)	3 • 43	1		0				1				
		地域言語A(ベンガル語Ⅲ-8)	3 • 43	1		0				1				
		地域言語A(アラビア語 I -1)	1①	1		0		1						
		地域言語A(アラビア語 I -2)	1①	1		0		1						
		地域言語A(アラビア語 I -3)	1①	1		0		1						
		地域言語A(アラビア語 I-4)	1①	1		0		1						
		地域言語A(アラビア語 I -5)	1①	1		0		1						
		地域言語A(アラビア語 I-6)	13	1		0		1						
		地域言語A(アラビア語 I -7)	13	1		0		1						
		地域言語A(アラビア語 I-8)	13	1		0		1						
		地域言語A(アラビア語 I -9)	13	1		0		1						
		地域言語A(アラビア語 I −10)	13	1		\circ		1						
		地域言語A(アラビア語Ⅱ-1)	2①	1		0		1						
		地域言語A(アラビア語Ⅱ-2)	2①	1		0		1						
		地域言語A(アラビア語Ⅱ-3)	2①	1		0		1						
		地域言語A(アラビア語Ⅱ-4)	2①	1		0		1						
		地域言語A(アラビア語Ⅱ-5)	2①	1		0		1						
		地域言語A(アラビア語Ⅱ-6)	23	1		0		1						
		地域言語A(アラビア語Ⅱ-7)	2③	1		0		1						
		地域言語A(アラビア語Ⅱ-8)	2③	1		0		1						
		地域言語A(アラビア語Ⅱ-9)	23	1		0		1						
		地域言語A(アラビア語 II -10)	23	1		0		1						
		地域言語A(アラビア語Ⅲ-1)	3 • 4(1)	1		0				1				
		地域言語A(アラビア語Ⅲ-2)	3 • 4(3)	1		0				1				
		地域言語A(アラビア語Ⅲ-3)	3 • 4(1)	1		0				1				
		地域言語A(アラビア語Ⅲ-4)	3 • 4(3)	1		0				1				
		地域言語A(アラビア語Ⅲ-5)	3 • 4(1)	1		0				1				
		地域言語A(アラビア語Ⅲ-6)	3 • 4(3)	1		0				1				
		地域言語A(アラビア語Ⅲ-7)	3 • 4(1)	1		0				1				
世		地域言語A(アラビア語III-8)	3 • 4(3)	1		0				1				
世界		地域言語A(ペルシア語 I -1)	1(1)	1		0		1	2					
教養	_	地域言語A(ペルシア語 I -2)	1(1)	1		0		1	2					
プ	言語	地域言語A(ペルシア語 I -3)	1(1)	1		0		1	2					
口	科	地域言語A(ペルシア語 I -4)	1(1)	1		0		1	2					
グラ	目	地域言語A(ペルシア語 I -5)	1①	1		0		1	2					
フム		地域言語A(ペルシア語 I-6)	13	1		0		1	2					
		地域言語A(ペルシア語 I -7)	13	1		0		1	2					
		地域言語A(ペルシア語 I-8)	13	1		0		1	2					
		地域言語A(ペルシア語 I-9)	13	1		0		1	2					
		地域言語A(ペルシア語 I-10)	13	1		0		1	2					
		地域言語A(ペルシア語Ⅱ-1)	2①	1		0		1	2					
		地域言語A(ペルシア語Ⅱ-2)	2①	1		0		1	2					
		地域言語A(ペルシア語Ⅱ-3)	2①	1		0		1	2					
		地域言語A(ペルシア語II-4)	2①	1		0		1	2					
		地域言語A(ペルシア語 II -5)	2①	1		0		1	2					[
		地域言語A(ペルシア語 II -6)	23	1		0		1	2					į l
		地域言語A(ペルシア語 II -7)	23	1		0		1	2					[
		地域言語A(ペルシア語 II -8)	23	1		0		1	2					<u> </u>
		地域言語A(ペルシア語 II -9)	23	1		0		1	2					
		地域言語A(ペルシア語 II -10)	23	1		0		1	2					<u> </u>
		地域言語A(ペルシア語Ⅲ-1)	3 • 41	1		0			ا ا	1				[
		地域言語A(ペルシア語Ⅲ-2)	3 • 4(1)	1		0				1				
		地域言語A(ペルシア語Ⅲ-3)	3 • 4①	1		0				1				[
		地域言語A(ペルシア語Ⅲ-4)	3 • 4①	1		0				1				<u> </u>
		地域言語A(ペルシア語Ⅲ-5)	3 • 4(1)	1		0				1				<u> </u>
		地域言語A(ペルシア語Ⅲ-6)	3 • 43	1		0				1				
		地域言語A(ペルシア語Ⅲ-7)	3 • 43			0								[
		地域言語A(ペルシア語Ⅲ-1) 地域言語A(ペルシア語Ⅲ-8)	3 • 43	1 1		0				1 1				<u> </u>
		地域言語A(トルコ語 I-1)	1(1)	1		0		2		1				\vdash
			1(1)					2						
		地域言語A(トルコ語 I-2) 地域言語A(トルコ語 I-3)	1①	1 1		0 0		2						<u> </u>
		地域言語A(トルコ語 I -3) 地域言語A(トルコ語 I -4)												<u> </u>
			1①	1		0		2						
	ı	地域言語A(トルコ語 I -5)	1①	1	1	\circ		2	I		I	I	Ì	:

_				 	 				 	 		
		地域言語A(トルコ語 I-6)	13	1		0		2				
		地域言語A(トルコ語 I -7)	13	1		\circ		2				
		地域言語A(トルコ語 I-8)	13	1		\circ		2				
		地域言語A(トルコ語 I-9)	13	1		\circ		2				
		地域言語A(トルコ語 I-10)	13	1		0		2				
		地域言語A(トルコ語Ⅱ-1)	2①	1		0		2				
		地域言語A(トルコ語 II -2)	2(1)	1		0		2				
		地域言語A(トルコ語Ⅱ-3)	2(1)	1		0		2				
		地域言語A(トルコ語 II-4)	2(1)	1		0		2				
		地域言語A(トルコ語 II-5)	2(1)	1		0		2				
		地域言語A(トルコ語 II-6)	23	1		0		2				
		地域言語A(トルコ語II-7)	23	1		0		2				
		地域言語A(トルコ語 II-8)	23	1		0		2				
		地域言語A(トルコ語 II -9)	23	1		0		2				
		地域言語A(トルコ語 II - 10)	23	1		0		2				
			_			_		4	,			
		地域言語A(トルコ語Ⅲ-1)	3 • 4①	1		0			1			
		地域言語A(トルコ語Ⅲ-2)	3 • 4①	1		0			1			
		地域言語A(トルコ語Ⅲ-3)	3 • 4①	1		0			1			
		地域言語A(トルコ語Ⅲ-4)	3 • 4①	1		0			1			
		地域言語A(トルコ語Ⅲ-5)	3 • 43	1		0			1			
		地域言語A(トルコ語III-6)	3 • 43	1		0			1			
		地域言語A(トルコ語Ⅲ-7)	3 • 43	1		0			1			
		地域言語A(トルコ語Ⅲ-8)	3 · 4③	1		0			1			
		地域言語A(日本語 I)	1通	10		0		5				
		地域言語A(日本語 I -1)	1通	14		\circ		5				
		地域言語A(日本語Ⅱ-1)	2①	1		\circ		2				
		地域言語A(日本語Ⅱ-2)	2①	1		\circ		2				
		地域言語A(日本語Ⅱ-3)	2①	1		\circ		2				
		地域言語A(日本語Ⅱ-4)	2①	1		\circ		2				
		地域言語A(日本語Ⅱ-5)	2①	1		\circ		2				
世		地域言語A(日本語Ⅱ-6)	2③	1		\circ		2				
界教		地域言語A(日本語Ⅱ-7)	23	1		\circ		2				
養	言	地域言語A(日本語Ⅱ-8)	2③	1		\circ		2				
プ	語科	地域言語A(日本語Ⅱ-9)	2③	1		\circ		2				
ログ	目	地域言語A(日本語Ⅱ-10)	23	1		\circ		2				
クラ		地域言語A(日本語総合-1)	13	10		\circ					兼3	
Á		地域言語A(日本語総合-2)	13	10		\circ					兼3	
		地域言語A(日本語総合-3)	13	5		0					兼3	
		地域言語A(日本語総合-4)	13	5		0					兼1	
		地域言語A(日本語総合-5)	1③	5		0					兼1	
		地域言語A(日本語総合-6)	1(1).(3)	3		0					兼1	
		地域言語A(日本語総合-7)	1(1) • (3)	2		0					兼1	
		地域言語A(日本語技能・語彙文法-1)	2.3(1).(3)	1		0					兼1	
		地域言語A(日本語技能・語彙文法-2)	2.3(1).(3)	1		0					兼1	
		地域言語A(日本語技能・語彙文法-3)	2.3(1).(3)	1		0					兼1	
		地域言語A(日本語技能・語彙文法-4)	2.3(1).(3)	1		0					兼1	
		地域言語A(日本語技能・語彙文法-5)	2.3(1).(3)	1		0					兼1	
		地域言語A(日本語技能・語彙文法-6)	2.3(1).(3)	1		0					兼1	
		地域言語A(日本語技能・語彙文法-7)	2.3(1).(3)	1		0					兼1	
		地域言語A(日本語技能・読解-1)	2.3(1).(3)	1		0					兼1	
		地域言語A(日本語技能・読解-2)	2.3(1).(3)	1		0					兼1	
		地域言語A(日本語技能・読解-3)	2.3(1).(3)	1		0					兼1	
		地域言語A(日本語技能・読解-4)	2.3(1.3)	1		0					兼1	
		地域言語A(日本語技能・読解-5)	2.3(1.3)	1		0					兼1	
		地域言語A(日本語技能・読解-6)	2.3(1.3)	1		0					兼1	
			2.3(1.3)			0						
		地域言語A(日本語技能・読解-7)		1		_					兼1 ±1	
		地域言語A(日本語技能・読解-8)	2.3(1.3)	1		0					兼1	
		地域言語A(日本語技能・聴解-1)	2.3(1.3)	1		0					兼1 * 1	
		地域言語A(日本語技能・聴解-2)	2.3(1.3)	1		0					兼1	
		地域言語A(日本語技能・聴解-3)	2.3(1.3)	1		0					兼1	
1		地域言語A(日本語技能・聴解-4)	2.3(1).(3)	1		0					兼1	
		地域言語A(日本語技能・聴解-5) 地域言語A(日本語技能・聴解-6)	2·3①·③ 2·3①·③	1 1		0]				兼1 兼1	

_								 1		1				
		地域言語A(日本語技能・聴解-7)	2.3(1).(3)		1		0						兼 1	
		地域言語A(日本語技能・聴解-8)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・文章表現-1)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・文章表現-2)	2.3(1).(3)		1		0						兼 1	
		地域言語A(日本語技能・文章表現-3)	2.3(1).(3)		1		0						兼 1	
		地域言語A(日本語技能・文章表現-4)	2.3(1).(3)		1								兼 1	
		地域言語A(日本語技能・文章表現-5)	2.3(1).(3)		1								兼 1	
		地域言語A(日本語技能・文章表現-6)	2.3(1).(3)		1								兼1	
					_									
		地域言語A(日本語技能・文章表現-7)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・文章表現-8)	2.3(1).(3)		1		0						兼 1	
		地域言語A(日本語技能・口頭表現-1)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・口頭表現-2)	2.3(1).(3)		1		0						兼 1	
		地域言語A(日本語技能・口頭表現-3)	2.3(1).(3)		1		0						兼 1	
		地域言語A(日本語技能・口頭表現-4)	2.3(1).(3)		1		0						兼 1	
		地域言語A(日本語技能・口頭表現-5)	2.3(1).(3)		1		0						兼 1	
		地域言語A(日本語技能・口頭表現-6)	2.3(1).(3)		1		0						兼 1	
		地域言語A(日本語技能・口頭表現-7)	2.3(1).(3)		1		0						兼 1	
		地域言語A(日本語技能・口頭表現-8)	2.3(1).(3)		1		0						兼 1	
		地域言語A(日本語技能・ビジネス日本語-1)	2.3(1).(3)		1								兼1	
		地域言語A(日本語技能・ビジネス日本語-2)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・文学日本語)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・時事-1)	2.3(1).(3)		1		0						兼 1	
		地域言語A(日本語技能・時事-2)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・時事-3)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・漢字-1)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・漢字-2)	2.3(1).(3)		1		0						兼 1	
		地域言語A(日本語技能・漢字-3)	2.3(1).(3)		1								兼1	
		地域言語A(日本語技能・漢字-4)	2.3(1).(3)		1								兼 1	
		地域言語A(日本語技能・発音)	2.3(1).(3)		1		0						兼 1	
		地域言語A(ウズベク語-1)	2(1)		1		0			1			NK I	
			_											
		地域言語A(ウズベク語-2)	2①		1		0			1				
		地域言語A(ウズベク語-3)	2①		1		0			1				
		地域言語A(ウズベク語-4)	2①		1		0			1				
		地域言語A(ウズベク語-5)	2①		1		0			1				
+#+		地域言語A(ウズベク語-6)	2①		1		0			1				
世界		地域言語A(ウズベク語-7)	23		1		0			1				
教	言	地域言語A(ウズベク語-8)	23		1		0			1				
養	語	地域言語A(ウズベク語-9)	2③		1					1				
プロ	P 1-1-1	地域言語A(ウズベク語-10)	23		1		0			1				
グ	\Box	地域言語A(ウズベク語-11)	2(3)		1		0			1				
ラ		地域言語A(ウズベク語-12)	23		1					1				
A		11000								1			±+ 1	
		地域言語C(アフリカ諸語1)	3①		1		0						兼1	
		地域言語C(アフリカ諸語2)	33		1		0						兼1	
		地域言語C(ヨーロッパ諸語1)	1.2.3.4①		1		0						兼1	
		地域言語C(ヨーロッパ諸語2)	1.2.3.43		1		0						兼1	
		地域言語C(アジア諸語1)	1.2.3.4①		1		0						兼1	
		地域言語C(アジア諸語2)	1.2.3.43		1		0						兼1	
		地域言語C(オセアニア諸語1)	1.2.3.4①		1		0						兼1	
		小計 (745科目)	_	0	881	0		30	22	32	0	0	兼17	
		英語A1	1(1)		1		0			3	1	1		
		英語A2	13		1					3				
		英語A3	1①		1					3				
		英語A4	13							3				
					1		0							
		英語B1	2①		1		0			3				
		英語B2	2③		1		0			3				
		英語B3	2①		1		0			3				
		英語B4	2③		1		0			3				
		英語C1	3①		1		0			3				
		英語C2	3③		1		0			3				
		英語C3	3①		1		0			3				
		英語C4	3(3)		1		O			3				
		小計 (12科目)	_	0	12	0	_	0	0	3	0	0	0	_
		教養外国語(ドイツ語A1)	1.2.3①	Ť	1	Ť	0	1	Ť	Ť	Ť	Ť	Ť	
		タン・コモノ・・/ 苦さり	1 2 0 (1)				\circ	1						:

	教養外国語(ドイツ語A2)	1.2.33	1		0	1				
	教養外国語(ドイツ語A3)	1.2.3①	1		\circ	1				
	教養外国語(ドイツ語A4)	1.2.3(3)	1		0	1				
	教養外国語(ドイツ語B1)	2.3.4(1)	1		0	1				
	教養外国語(ドイツ語B2)	2.3.43	1		0	1				
			_			-				
	教養外国語(ドイツ語B3)	2.3.4①	1		0	1				
	教養外国語(ドイツ語B4)	2.3.43	1		0	1				
	教養外国語(フランス語A1)	1.2.3①	1		\circ		1			
	教養外国語(フランス語A2)	1.2.33	1		\circ		1			
	教養外国語(フランス語A3)	1.2.3①	1		\circ		1			
	教養外国語(フランス語A4)	1.2.33	1		0		1			
	教養外国語(フランス語B1)	2.3.4(1)	1		0		1			
	教養外国語(フランス語B2)	2.3.43	1		0		1			
	教養外国語(フランス語B3)	2.3.4(1)								
		_	1		0		1			
	教養外国語(フランス語B4)	2.3.43	1		0		1			
	教養外国語(イタリア語A1)	1.2.3①	1		0				兼1	
	教養外国語(イタリア語A2)	1.2.33	1		\circ				兼1	
	教養外国語(イタリア語A3)	1.2.3①	1		\circ				兼1	
	教養外国語(イタリア語A4)	1.2.33	1		\circ				兼1	
	教養外国語(イタリア語B1)	2.3.4(1)	1		0				兼1	
	教養外国語(イタリア語B2)	2 · 3 · 4 ③	1		0				兼1	
	教養外国語(イタリア語B3)									
		2.3.4①	1		0				兼1	
世	教養外国語(イタリア語B4)	2.3.43	1		0				兼1	
界	教養外国語(スペイン語A1)	1.2.3①	1		0				兼1	
教	教養外国語(スペイン語A2)	1.2.33	1		\circ				兼1	
	語 教養外国語(スペイン語A3)	1.2.3①	1		\circ				兼1	
J 5	科 教養外国語(スペイン語A4)	1.2.33	1		\circ				兼1	
グ	■ 教養外国語(スペイン語B1)	2.3.4(1)	1		0				兼1	
ラ	教養外国語(スペイン語B2)	2.3.4(3)	1		0				兼1	
ム	教養外国語(スペイン語B3)	2.3.4(1)							兼1	
			1		0				•	
	教養外国語(スペイン語B4)	2.3.43	1		0				兼1	
	教養外国語(ポルドガル語A1)	1.2.3①	1		0	1				
	教養外国語(ポルドガル語A2)	1.2.33	1		\circ	1				
	教養外国語(ポルドガル語A3)	1.2.3①	1		\circ	1				
	教養外国語(ポルドガル語A4)	1.2.33	1		\circ	1				
	教養外国語(ポルドガル語B1)	2.3.4(1)	1		0	1				
	教養外国語(ポルドガル語B2)	2.3.4(3)	1		0	1				
	教養外国語(ポルドガル語B3)	2.3.4(1)	1		0	1				
	教養外国語(ポルドガル語B4)	2.3.4(1)			_					
		_	1			1				
	教養外国語(ロシア語A1)	1.2.3①	1		0	1				
	教養外国語(ロシア語A2)	1.2.33	1		0	1				
	教養外国語(ロシア語A3)	1.2.3①	1		\circ	1				
	教養外国語(ロシア語A4)	1.2.33	1		\circ	1				
	教養外国語(ロシア語B1)	2.3.4①	1		\circ	1				
	教養外国語(ロシア語B2)	2.3.43	1		0	1				
	教養外国語(ロシア語B3)	2.3.4(1)	1		0	1				
	教養外国語(ロシア語B4)	2.3.43				1				
		_	1		0	1	,			
	教養外国語(中国語A1)	1.2.3①	1		0		1			
	教養外国語(中国語A2)	1.2.33	1		0		1			
	教養外国語(中国語A3)	1.2.3①	1		\circ		1			
	教養外国語(中国語A4)	1.2.33	1		\circ		1			
	教養外国語(中国語B1)	2.3.4①	1		\circ		1			
	教養外国語(中国語B2)	2.3.43	1		0		1			
	教養外国語(中国語B3)	2.3.4(1)	1		0		1			
	教養外国語(中国語B4)	2.3.43	1		0		1			
		_				1	1			
	教養外国語(朝鮮語A1)	1.2.3①	1		0	1				
	教養外国語(朝鮮語A2)	1.2.33	1		0	1				
	教養外国語(朝鮮語A3)	1.2.31	1		0	1				
	教養外国語(朝鮮語A4)	1.2.33	1		\circ	1				
	教養外国語(朝鮮語B1)	2.3.41	1		\circ	1				
	教養外国語(朝鮮語B2)	2.3.43	1		0	1				
	教養外国語(朝鮮語B3)	2.3.4①	1		0	1				
		2.3.4(1)			0					
	教養外国語(朝鮮語B4)	4.3.43	1		\cup	1				

_	1							_	n			1		.,	
		教養外国語(アラビア語A1)	1.2.3①		1			0						兼1	
		教養外国語(アラビア語A2)	1.2.33		1			0						兼1	
		教養外国語(アラビア語A3)	1.2.3①		1			0						兼1	
		教養外国語(アラビア語A4)	1.2.33		1			0						兼1	
		教養外国語(アラビア語B1)	2.3.4①		1			0						兼1	
		教養外国語(アラビア語B2)	2.3.43		1			0						兼1	
		教養外国語(アラビア語B3)	2.3.41		1			0						兼1	
		教養外国語(アラビア語B4)	2.3.43		1			0	ļ					兼1	
-		小計 (72科目)	-	0	72	0		_	4	2	0	0	0	兼3	_
		地域基礎1A(北西ヨーロッパ1)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎2A(北西ヨーロッパ1)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎2A(北西ヨーロッパ2)	13		2		0							兼1	
		地域基礎2A(中央ヨーロッパ1)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎2A(中央ヨーロッパ2)	13		2		0		1					24.	
		地域基礎2A(中央ヨーロッパ3)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎2A(中央ヨーロッパ4)	13		2		0							兼1	
		地域基礎2A(中央ヨーロッパ5)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎2A(中央ヨーロッパ6)	13		2		0							兼1	
世		地域基礎2B(中央ヨーロッパ1)	1①		2		0							兼1	
界		地域基礎2A(西南ヨーロッパ1)	1①		2		0							兼1	
教養	地	地域基礎2A(西南ヨーロッパ2)	13		2		0							兼1	
プ	域科	地域基礎2A(西南ヨーロッパ3)	1①		2		0							兼1	
口	目	地域基礎2A(西南ヨーロッパ4)	13		2		0							兼1	
グラ		地域基礎2A(西南ヨーロッパ5)	1①		2		0							兼1	
4		地域基礎2A(西南ヨーロッパ6)	13		2		0				1			.,	
		地域基礎2A(西南ヨーロッパ7)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎2A(西南ヨーロッパ8)	13		2		0							兼1	
		地域基礎2A(西南ヨーロッパ9)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎2B(西南ヨーロッパ1)	1①		2		0				1				
		地域基礎2B(西南ヨーロッパ2)	13		2		0				1				
		地域基礎1A(ロシア1)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎2A(ロシア1)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎2A(ロシア2)	13		2		0							兼1	
		地域基礎2A(北アメリカ1)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎2A(北アメリカ2)	13		2		0							兼1	
		地域基礎2A(北アメリカ3)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎1A(ラテンアメリカ1)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎1A(ラテンアメリカ2)	13		2		0							兼1	
		地域基礎1A(ラテンアメリカ3)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎1A(日本1)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎1A(日本2)	13		2		0							兼1	
		地域基礎2A(日本1)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎2A(日本2)	13		2		0							兼1	
		地域基礎2A(日本3) 地域基礎2A(日本4)	1①		2		0							兼1 	
		地域基礎2A(日本4) 地域基礎2A(東アジア1)	13		2 2		0							兼1 兼1	
		地域基礎2A(東アンア1) 地域基礎2A(東アジア2)	1①				0							兼1 兼1	
		地域基礎2A(東アンア2) 地域基礎2A(東アジア3)	1③ 1①		2 2		0 0							兼1 兼1	
		地域基礎2B(東アジア1)	1(1)		2		0							兼1 兼1	
		地域基礎2B(東アンア1) 地域基礎2B(東アジア2)	1①		2		0							兼1 兼1	
		地域基礎2B(東アンア2) 地域基礎2B(東アジア3)	1(1)		2		0							兼1 兼1	
		地域基礎1A(東南アジア1)	1①		2		0		1					水1	
		地域基礎18(東南アジア1)	13		2		0		1					兼1	
		地域基礎1B(東南アジア2)	1①		2		0							兼1 兼1	
		地域基礎2A(東南アジア1)	13		2		0							兼1	
		地域基礎2A(東南アジア2)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎2A(東南アジア3)	13		2		0							兼1	
		地域基礎2A(東南アジア4)	1(1)		2		0							兼1	
		地域基礎2A(東南アジア5)	13		2		0							兼1	
		地域基礎2A(東南アジア6)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎2A(東南アジア7)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎2A(東南アジア8)	13		2		0							兼1	
		地域基礎2A(東南アジア9)	1①		2		0							兼1	
ldot		- B-90-CD-90-CD-111/ V / V/	1.		-	<u> </u>	\cup		 <u>II</u>	I			<u> </u>	\IN1	

_			•												
		地域基礎2A(東南アジア10)	13		2		0							兼1	
		地域基礎2A(東南アジア11)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎2A(東南アジア12)	13		2		0							兼1	
		地域基礎2A(東南アジア13)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎2A(東南アジア14)	13		2		0							兼1	
		地域基礎2A(東南アジア15)	1①		2		0		1					/IIV 2	
		地域基礎2B(東南アジア16)	13		2		0		1					兼1	
		地域基礎1A(南アジア1)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎1B(南アジア 1)	13		2		0							兼1	
		地域基礎2A(南アジア 2)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎1B(中央アジア1)	13		2		0		1						
		地域基礎2A(中央アジア1)	1①		2		\circ							兼1	
		地域基礎2A(中央アジア2)	13		2		0							兼1	
		地域基礎2A(中央アジア3)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎2B(中央アジア4)	1③		2		0							兼1	
		地域基礎2A(西アジア・北アフリカ1)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎2A(西アジア・北アフリカ2)	13		2		0							兼1	
		地域基礎2A(西アジア・北アフリカ3)	1①		2				1					NK1	
			_				0		1					- }	
		地域基礎2A(アフリカ1)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎2A(アフリカ 2)	13		2		0							兼1	
		地域基礎2B(アフリカ1)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎2A(オセアニア 1)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎2A(オセアニア 2)	13		2		\circ							兼1	
		地域基礎2A(オセアニア3)	1①		2		0							兼1	
		小計 (78科目)	_	0	156	0		_	4	0	2	0	0	兼52	_
		言語研究入門A	1(1)		2		0		1	1	1			兼1	
		言語研究入門B	13		2		0		2	1	1				
	導	グローバルコミュニケーション研究入門A	1①		2		0		1	_	_			兼1	
	入	グローバルコミュニケーション研究入門B	13		2		0		1					兼2	
	科		_								,				
	目	総合文化研究入門A	1①		2		0		1		1			兼1	
		総合文化研究入門B	13		2		0		1		1			兼1	
		小計(6科目)	_	0	12	0		_	4	1	3	0	0	兼3	_
1															
		<言語・情報コース>	_												
		<言語・情報コース> 言語学概論A	2①		2		0			1	1			兼1	
			2① 2③		2 2		0 0			1 1	1 1			兼1	
		言語学概論A	_				_		2					兼1	
		言語学概論A 言語学概論B	23		2		0		2 2					兼1	
		言語学概論A 言語学概論B 音声学概論A	2③ 2①		2 2		0 0							兼1	
專;		言語学概論A 言語学概論A 音声学概論A 音声学概論B 言語処理概論A	2③ 2① 2③ 2①		2 2 2		0		2	1				兼1	
修		言語学概論A 言語学概論B 音声学概論A 音声学概論B 言語処理概論A 言語処理概論B	23 21 23 21 21 23		2 2 2 2 2		00000		2	1	1			兼1	
修プ		言語学概論A 言語学概論B 音声学概論B 音声学概論B 言語処理概論A 言語処理概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A	23 21 23 21 23 21		2 2 2 2 2 2		000000		2	1 1 1				兼1	
修		言語学概論A 言語学概論B 音声学概論B 音声処理概論A 言語処理概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B	23 21 23 21 23 21 23 21 23		2 2 2 2 2 2 2 2		0000000		2 1	1	1			兼1	
修プロ		言語学概論A 言語学概論B 音声学概論B 言語処理概論A 言語処理概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B	23 20 23 20 23 20 23 20 23 20		2 2 2 2 2 2 2 2 2		00000000		2 1 1 1	1 1 1	1			兼1	
修プログ		言語学概論A 言語学概論A 音声学概論B 言語処理概論A 言語処理概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学)	23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		0000000000		2 1	1 1 1	1			兼1	
修プログラ		言語学概論A 言語学概論B 音声学概論B 言語処理概論A 言語処理概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A(ドイツ語学)	23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		00000000000		2 1 1 1	1 1 1	1			兼1	
修プログラ	概	言語学概論A 言語学概論A 音声学概論A 音声学概論B 言語処理概論A 言語処理概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A(ドイツ語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A(ドイツ語学)	23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		0000000000		2 1 1 1	1 1 1	1			兼1	
修プログラ		言語学概論A 言語学概論B 音声学概論B 言語処理概論A 言語処理概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A(ドイツ語学)	23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		00000000000		1 1 1 1	1 1 1	1			兼1	
修プログラ	概論	言語学概論A 言語学概論A 音声学概論A 音声学概論B 言語処理概論A 言語処理概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A(ドイツ語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A(ドイツ語学)	23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		000000000000		2 1 1 1 1	1 1 1 1	1			兼1	
修プログラ	概論科	言語学概論A 言語学概論A 音声学概論A 音声学概論B 言語処理概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(大名ツ語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(ドイツ語学) アジア・アフリカ言語研究概論A	23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		0000000000000		1 1 1 1 2	1 1 1 1	1				
修プログラ	概論科	言語学概論A 言語学概論B 音声学概論B 言語処理概論A 言語処理概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(ドイツ語学) コーロッパ・アメリカ言語研究概論B(ドイツ語学) アジア・アフリカ言語研究概論A アジア・アフリカ言語研究概論B	23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		00000000000000		1 1 1 1 2	1 1 1 1 1	1				
修プログラ	概論科	言語学概論A 言語学概論A 音声学概論A 音声学概論B 言語処理概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(ドイツ語学) アジア・アフリカ言語研究概論A アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B	23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		000000000000000		1 1 1 1 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1				
修プログラ	概論科	言語学概論A 言語学概論A 音声学概論A 音声学概論B 言語処理概論B 言語処理概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(ドイツ語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(ドイツ語学) コーロッパ・アメリカ言語研究概論B(ドイツ語学) アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B	23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		0000000000000000		1 1 1 1 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1			兼1	
修プログラ	概論科	言語学概論A 言語学概論A 音声学概論A 音声学概論B 言語処理概論B 言語処理概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(ドイツ語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(ドイツ語学) アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B	23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				1 1 1 1 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1			兼1	
修プログラ	概論科	言語学概論A 言語学概論B 音声学概論B 言語処理概論A 言語処理概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(ドイツ語学) アジア・アフリカ言語研究概論B(ドイツ語学) アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B	23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 2 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1			兼1	
修プログラ	概論科	言語学概論A 言語学概論B 音声学概論B 言語処理概論A 言語処理概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(ドイツ語学) アジア・アフリカ言語研究概論B(ドイツ語学) アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B イビルマ語学) 日本言語研究概論B 日本言語研究概論B	23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 2 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1			兼1	
修プログラ	概論科	言語学概論A 言語学概論A 音声学概論A 音声学概論B 言語処理概論A 言語処理概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A(ドイツ語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A(ドイツ語学) アジア・アフリカ言語研究概論A アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B イビルマ語学) 日本言語研究概論A 日本言語研究概論B	23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1			兼1 兼1	
修プログラ	概論科	言語学概論A 言語学概論B 音声学概論B 言語処理概論B 言語処理概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(ドイツ語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(ドイツ語学) アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B イビルマ語学) 日本言語研究概論A 日本言語研究概論B <グローバルコミュニケーションコース> 英語教育学概論A 英語教育学概論B	23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 2 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1			兼1 兼1 兼1	
修プログラ	概論科	言語学概論A 言語学概論B 音声学概論B 言語処理概論A 言語処理概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(ドイツ語学) アジア・アフリカ言語研究概論B(ドイツ語学) アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B マジア・アフリカ言語研究概論B マジア・アフリカ言語研究概論B マジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アカカ言語研究概論B 東語研究概論B 季語教育学概論A 英語教育学概論A 英語教育学概論A(英語学 1)	23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 20 23 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 2 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1			兼1 兼1 兼1	
修プログラ	概論科	言語学概論A 言語学概論A 音声学概論B 言語処理概論B 言語処理概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(ドイツ語学) アジア・アフリカ言語研究概論A アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B 英語研究概論B 天語研究概論B 天語研究概論B 天語教育学概論A 英語教育学概論A 英語教育学概論A 英語教育学概論A(英語学 2) 英語教育学概論B(英語学 1)	23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 20 23 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1			兼1 兼1 兼1 兼1	
修プログラ	概論科	言語学概論A 言語学概論A 音声学概論B 言語処理概論B 言語処理概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(ドイツ語学) フジア・アフリカ言語研究概論B(ドイツ語学) アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B 英語研究概論B 天語教育学概論A 英語教育学概論B 英語教育学概論B 英語教育学概論B(英語学 1) 英語教育学概論B(英語学 1)	23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 2 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1			兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
修プログラ	概論科	言語学概論A 言語学概論A 音声学概論B 言語処理概論B 言語処理概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(ドイツ語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(ドイツ語学) フジア・アフリカ言語研究概論B(ドイツ語学) アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B 天芝子・アフリカ言語研究概論B 大変語教育学概論A 英語教育学概論B 英語教育学概論B 英語教育学概論B 英語教育学概論B(英語学 2) 英語教育学概論B(英語学 2) 英語教育学概論B(英語学 2)	23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 2 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1			兼1 兼1 兼1 兼1	
修プログラ	概論科	言語学概論A 言語学概論A 音声学概論B 言語処理概論B 言語処理概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(ドイツ語学) フジア・アフリカ言語研究概論B(ドイツ語学) アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B 英語研究概論B 天語教育学概論A 英語教育学概論B 英語教育学概論B 英語教育学概論B(英語学 1) 英語教育学概論B(英語学 1)	23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 2 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1			兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
修プログラ	概論科	言語学概論A 言語学概論A 音声学概論B 言語処理概論B 言語処理概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(ドイツ語学) ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(ドイツ語学) フジア・アフリカ言語研究概論B(ドイツ語学) アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B 天芝子・アフリカ言語研究概論B 大変語教育学概論A 英語教育学概論B 英語教育学概論B 英語教育学概論B 英語教育学概論B(英語学 2) 英語教育学概論B(英語学 2) 英語教育学概論B(英語学 2)	23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 2 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1			兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
修プログラ	概論科	言語学概論A 言語学概論A 音声学概論B 言語処理概論B 言語処理概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ョーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ョーロッパ・アメリカ言語研究概論B(ドイツ語学) ョーロッパ・アメリカ言語研究概論B(ドイツ語学) ョーロッパ・アメリカ言語研究概論B(ドイツ語学) アジア・アフリカ言語研究概論B(ドイツ語学) アジア・アフリカ言語研究概論B(ビルマ語学) アジア・アフリカ言語研究概論B(ビルマ語学) 日本言語研究概論B <グローバルコミュニケーションコース> 英語教育学概論B 英語教育学概論B(英語学1) 英語教育学概論B(英語学1) 英語教育学概論B(英語学2) 英語教育学概論B(英語学2) 英語教育学概論B(英語学2) 英語教育学概論B(英語学2)	23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 2 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1			兼1 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
修プログラ	概論科	言語学概論A 言語学概論A 音声学概論B 言語処理概論B 言語処理概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ョーロッパ・アメリカ言語研究概論B(英語学) ョーロッパ・アメリカ言語研究概論B(ドイツ語学) ョーロッパ・アメリカ言語研究概論B(ドイツ語学) アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B アジア・アフリカ言語研究概論B 天芝デ・アフリカ言語研究概論B 大変語教育学概論A 英語教育学概論B 英語教育学概論A 英語教育学概論A 英語教育学概論B(英語学1) 英語教育学概論A(英語学1) 英語教育学概論A(英語学2) 英語教育学概論A(英語学2) 英語教育学概論A(英来文学1) 英語教育学概論A(英米文学2) 英語教育学概論B(英米文学2)	23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 23 20 20 23 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 2 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1			兼1 兼1 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	

		英語教育学概論A(英語オーラルコミュニケーション2)	23		2		0							兼1	
		英語教育学概論A(英語オーラルコミュニケーション3)	2①		2		0							兼1	
		英語教育学概論B(英語オーラルコミュニケーション1)	23		2		\circ							兼1	
		英語教育学概論B(英語オーラルコミュニケーション2)	2①		2		\circ							兼1	
		英語教育学概論B(英語オーラルコミュニケーション3)	23		2		0							兼1	
		日本語教育概論A	2①		2		0			1					
		日本語教育概論B	23		2		0			1					
		言語教育学概論A	2(1)		2		0		2						
		言語教育学概論B	2③		2		0		2						
		コミュニケーション論概論A	2(1)		2		0							兼1	
		コミュニケーション論概論B	2③		2		0							兼1	
		通訳概論A	2①		2		0		1					NK1	
		通訳概論B	2③		2		0		1						
		多言語·多文化社会論概論A	2①		2		0		1		1				
			23		2		_				1				
		多言語·多文化社会論概論B	2(3)		4		0				2				
		<総合文化コース>	0.00							_					
		地域文化概論A	2①		2		0			1					
		地域文化概論B	23		2		0		1						
		文化・文学概論A	2①		2		0		I					兼1	
		文化・文学概論B	23		2		\circ		1		1			兼2	
		思想文化概論A	2①		2		0		1					兼2	
		思想文化概論B	23		2		0		1					兼1	
		人間科学概論A	2(1)		2		0			1					
		人間科学概論B	2③		2		0			1					
		ヨーロッパ文化概論A(ドイツ文学)	2(1)		2		0			_					
		ヨーロッパ文化概論B(ドイツ文学)	23		2		0			1					
		ヨーロッパ文化概論A(ロシア文学)	2①		2		0		1	1					
			_						1						
		ヨーロッパ文化概論B(ロシア文学)	2③		2		0		1						
		アメリカ文化概論A(ポルドガル語圏文学)	2①		2		0		1						
		アメリカ文化概論B(ポルドガル語圏文学)	23		2		0		1						
		東南アジア文化概論A	2①		2		0							兼1	
		東南アジア文化概論B	23		2		0							兼1	
		南アジア文化概論A	2①		2		\circ		1	1					
		南アジア文化概論B	23		2		0		2		1				
		西アジア・北アフリカ文化概論A	2①		2		\circ			1					
		西アジア・北アフリカ文化概論A(ペルシア文学 I)	0.00												
			23		2		0			1					
		西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I)	23		2 2		0 0			1 1					
1			_	0		0		_	21		7	0	0	兼12	_
		西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I)	23	0	2	0		_	21	1	7	0	0	兼12	_
		西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I) 小計 (65科目) <言語・情報コース>	23	0	130	0	0	_	21	1 14	7	0	0		_
		西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I) 小計 (65科目) <言語・情報コース> 言語学A	23 - 3 · 41	0	2 130 2	0	0	_	21	1 14 1	7	0	0	兼12 兼2	_
		西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I) 小計 (65科目) <言語・情報コース> 言語学A 言語学B	23 - 3 · 41 3 · 43	0	2 130 2 2	0	0 0 0	_	21	1 14 1 1	7	0	0		_
		西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I) 小計 (65科目) <言語・情報コース> 言語学A 言語学B 言語学A1(専門演習)	3 · 4① 3 · 4③ 3 · 4①	0	2 130 2 2 2	0	0 0 0	_	21	1 14 1 1 1	7	0	0		_
	選択	西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I) 小計 (65科目) <言語・情報コース> 言語学A 言語学B 言語学A1(専門演習) 言語学B1(専門演習)	23 - 3 · 4① 3 · 4③ 3 · 4① 3 · 4①	0	2 130 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0	_		1 14 1 1	7	0	0		
	択科	西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I) 小計 (65科目) <言語・情報コース> 言語学A 言語学B 言語学A1(専門演習) 言語学B1(専門演習) 音声学A	23 - 3 · 4① 3 · 4③ 3 · 4① 3 · 4③ 3 · 4①	0	2 130 2 2 2 2 2 2	0	0 00000	_	1	1 14 1 1 1	7	0	0		_
専	択	西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I) 小計 (65科目) <言語・情報コース> 言語学A 言語学B 言語学A1(専門演習) 言語学B1(専門演習) 音声学A 音声学A	23 - 3 · 4① 3 · 4③ 3 · 4① 3 · 4③ 3 · 4① 3 · 4③	0	2 130 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0 0	_	1 1	1 14 1 1 1	7	0	0		_
修	択科目(西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I) 小計 (65科目) <言語・情報コース> 言語学A 言語学B 言語学A1(専門演習) 言語学B1(専門演習) 音声学A 音声学B 音声学B 音声学A(専門演習)	23 - 3 · 4① 3 · 4③ 3 · 4① 3 · 4③ 3 · 4① 3 · 4③ 3 · 4①	0	2 130 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0 0 0	_	1 1 1	1 14 1 1 1	7	0	0		_
修プ	択科目(言	西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I) 小計 (65科目) <言語・情報コース> 言語学A 言語学B 言語学B(専門演習) 言語学B1(専門演習) 音声学A 音声学B 音声学B 音声学B 音声学B(専門演習) 音声学B(専門演習)	23 - 3 · 4① 3 · 4③ 3 · 4① 3 · 4③ 3 · 4① 3 · 4① 3 · 4① 3 · 4① 3 · 4①	0	2 130 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0 0 0 0	_	1 1 1 1	1 14 1 1 1	7	0	0		_
修プロ	択科目(言語・	西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I) 小計 (65科目) <言語・情報コース> 言語学A 言語学B 言語学A1(専門演習) 言語学B1(専門演習) 音声学B 音声学A1(専門演習) 音声学B 音声学B1(専門演習) 音声学B1(専門演習) 言語処理論A1(専門演習)	23 - 3 · 4① 3 · 4③ 3 · 4① 3 · 4③ 3 · 4① 3 · 4① 3 · 4① 3 · 4① 3 · 4①	0	2 130 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	_	1 1 1 1	1 14 1 1 1	7	0	0		_
修プ	択科目(言語・情	西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I) 小計 (65科目) 〈言語・情報コース〉 言語学A 言語学B 言語学B(専門演習) 言語学B1(専門演習) 音声学A 音声学B 音声学A1(専門演習) 音声学B 音声学A1(専門演習) 音声学B1(専門演習) 言語処理論A1(専門演習) 言語処理論B1(専門演習)	23 	0	2 130 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	_	1 1 1 1 1	1 14 1 1 1	7	0	0		_
修プログ	択科目(言語・情報	西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I) 小計 (65科目) 〈言語・情報コース〉 言語学A 言語学B 言語学B(専門演習) 言語学B1(専門演習) 音声学A 音声学B 音声学B 音声学B(専門演習) 音声学B 音声学B(専門演習) 音語処理論A1(専門演習) 言語処理論B1(専門演習) 言語処理論B1(専門演習) 統計科学A	23 	0	2 130 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	_	1 1 1 1	1 14 1 1 1	7	0	0		
修プログラ	択科目(言語・情	西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I) 小計 (65科目) 〈言語・情報コース〉 言語学A 言語学B 言語学B(専門演習) 言語学B1(専門演習) 音声学A 音声学B 音声学H(専門演習) 音声学B 音声学B1(専門演習) 音声の理論A1(専門演習) 言語処理論B1(専門演習) 言語処理論B1(専門演習) 統計科学A 統計科学B	23 - 3 · 4① 3 · 4③ 3 · 4① 3 · 4③ 3 · 4① 3 · 4①	0	2 130 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		1 1 1 1 1	1 14 1 1 1	7	0	0		
修プログラ	択科目(言語・情報コ	西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I) 小計 (65科目) <言語・情報コース> 言語学A 言語学B 言語学B(専門演習) 言語学B1(専門演習) 音声学A 音声学B 音声学A(専門演習) 音声学B1(専門演習) 音声学B1(専門演習) 言語処理論A1(専門演習) 言語処理論B1(専門演習) 続計科学A 統計科学B 統計科学B	23 	0	2 130 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		1 1 1 1 1 1	1 14 1 1 1	7	0	0		
修プログラ	択科目(言語・情報コー	西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I) 小計 (65科目) <言語・情報コース> 言語学A 言語学B 言語学B(専門演習) 言語学B1(専門演習) 音声学A 音声学B 音声学A(専門演習) 音声学B1(専門演習) 音声学B1(専門演習) 音語処理論A1(専門演習) 言語処理論B1(専門演習) 統計科学A 統計科学B	23 - 3 · 4① 3 · 4③ 3 · 4① 3 · 4③ 3 · 4① 3 · 4①	0	2 130 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	_	1 1 1 1 1 1 1	1 14 1 1 1	7	0	0		
修プログラ	択科目(言語・情報コー	西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I) 小計 (65科目) <言語・情報コース> 言語学A 言語学B 言語学B(専門演習) 言語学B1(専門演習) 音声学A 音声学B 音声学A(専門演習) 音声学B1(専門演習) 音声学B1(専門演習) 言語処理論A1(専門演習) 言語処理論B1(専門演習) 続計科学A 統計科学B 統計科学B	23 	0	2 130 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0000000000000	-	1 1 1 1 1 1 1 1	1 14 1 1 1	7	0	0		
修プログラ	択科目(言語・情報コー	西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I) 小計 (65科目) <言語・情報コース> 言語学A 言語学B 言語学B(専門演習) 言語学B1(専門演習) 音声学A 音声学B 音声学A(専門演習) 音声学B1(専門演習) 音声学B1(専門演習) 音語処理論A1(専門演習) 言語処理論B1(専門演習) 統計科学A 統計科学B	23 	0	2 130 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	000000000000000	_	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 14 1 1 1 1		0	0	兼2	_
修プログラ	択科目(言語・情報コー	西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I) 小計 (65科目) <言語・情報コース> 言語学A 言語学B 言語学B(専門演習) 言語学B(専門演習) 音声学A 音声学B 音声学B(専門演習) 音声学B(専門演習) 音声処理論A1(専門演習) 言語処理論B1(専門演習) 言語処理論B1(専門演習) 統計科学B 統計科学B 統計科学B(専門演習) ヨーロッパ・アメリカ言語研究A	23 	0	2 130 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 14 1 1 1 1	3	0	0	兼2	
修プログラ	択科目(言語・情報コー	西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I) 小計 (65科目) <言語・情報コース> 言語学A 言語学B 言語学A1(専門演習) 言語学B1(専門演習) 音声学B 音声学A1(専門演習) 音声学B(専門演習) 音声(専門演習) 音語処理論A1(専門演習) 言語処理論B1(専門演習) 言語処理論B1(専門演習) 統計科学A 統計科学B 統計科学B 統計科学B 統計科学B 統計科学B コーロッパ・アメリカ言語研究B	23 - 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 40 4 · 40	0	2 130 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 6 3	1 14 1 1 1 1 1 3 2	3 1	0	0	兼2	
修プログラ	択科目(言語・情報コー	西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I) 小計 (65科目) <言語・情報コース> 言語学A 言語学B 言語学A1(専門演習) 言語学B1(専門演習) 音声学B 音声学A1(専門演習) 音声学B(専門演習) 音声性(専門演習) 音語処理論A1(専門演習) 言語処理論B1(専門演習) 言語処理論B1(専門演習) 結計科学A 統計科学B 統計科学B 統計科学B 統計科学B 統計科学B に専門演習) コーロッパ・アメリカ言語研究B ヨーロッパ・アメリカ言語研究B	23 	0	2 130 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 6 3 7	1 14 1 1 1 1 1 1 3 2 5	3 1 1	0	0	兼2	_
修プログラ	択科目(言語・情報コー	西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I) 小計 (65科目) 〈言語・情報コース〉 言語学A 言語学B 言語学B(専門演習) 言語学B1(専門演習) 音声学A 音声学B 音声学B(専門演習) 音声学B1(専門演習) 音語処理論A1(専門演習) 言語処理論B1(専門演習) 言語処理論B1(専門演習) 言語処理論B1(専門演習) 記話科学A 統計科学B 統計科学B(専門演習) ヨーロッパ・アメリカ言語研究A ヨーロッパ・アメリカ言語研究B コーロッパ・アメリカ言語研究B1(専門演習) コーロッパ・アメリカ言語研究B1(専門演習) コーロッパ・アメリカ言語研究B1(専門演習)	23 	0	2 130 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 6 3 7	1 14 1 1 1 1 1 1 3 2 5 5	3 1 1 1	0	0	兼2 兼1 兼4	_
修プログラ	択科目(言語・情報コー	西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I) 小計 (65科目) 〈言語・情報コース〉 言語学A 言語学B 言語学B(専門演習) 言語学B1(専門演習) 音声学A 音声学B 音声学B(専門演習) 音声学B1(専門演習) 言語処理論A1(専門演習) 言語処理論B1(専門演習) 言語処理論B1(専門演習) 言語処理論B1(専門演習) 記話科学A 統計科学B 統計科学B(専門演習) コーロッパ・アメリカ言語研究B コーロッパ・アメリカ言語研究B コーロッパ・アメリカ言語研究B コーロッパ・アメリカ言語研究B コーロッパ・アメリカ言語研究B コーロッパ・アメリカ言語研究B コーロッパ・アメリカ言語研究B コーロッパ・アメリカ言語研究B コーロッパ・アメリカ言語研究B コーロッパ・アフリカ言語研究B	23 	0	2 130 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 1 1 1 1 1 6 3 7 7 7 5 5 5	1 14 1 1 1 1 1 1 3 2 5 5 7 7	3 1 1 1 6 6	0	0	兼2 兼1 兼4	_
修プログラ	択科目(言語・情報コー	西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I) 小計 (65科目) 〈言語・情報コース〉 言語学A 言語学B 言語学B(専門演習) 言語学B1(専門演習) 音声学A 音声学B 音声学B(専門演習) 音声学B(専門演習) 言語処理論A1(専門演習) 言語処理論B1(専門演習) 言語処理論B1(専門演習) 統計科学A 統計科学A 統計科学B1(専門演習) コーロッパ・アメリカ言語研究A ヨーロッパ・アメリカ言語研究B コーロッパ・アメリカ言語研究B コーロッパ・アメリカ言語研究B(専門演習) アジア・アフリカ言語研究B アジア・アフリカ言語研究B アジア・アフリカ言語研究B	23 	0	2 130 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		1 1 1 1 1 1 1 1 1 6 3 7 7 7 5 5 5 5	1 14 1 1 1 1 1 3 2 5 5 7 7 7	3 1 1 1 6 6 2	0	0	兼2 兼1 兼4	
修プログラ	択科目(言語・情報コー	西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I) 小計 (65科目) 〈言語・情報コース〉 言語学A 言語学B 言語学B(専門演習) 言語学B(専門演習) 音声学A 音声学B(専門演習) 音声学B(専門演習) 音声学B(専門演習) 言語処理論B1(専門演習) 言語処理論B1(専門演習) 統計科学A 統計科学B 統計科学B 統計科学B 統計科学B 統計科学B に専門演習) コーロッパ・アメリカ言語研究A コーロッパ・アメリカ言語研究B コーロッパ・アメリカ言語研究B コーロッパ・アメリカ言語研究A アジア・アフリカ言語研究A アジア・アフリカ言語研究B アジア・アフリカ言語研究B(専門演習) アジア・アフリカ言語研究B(専門演習)	23 	0	2 130 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		1 1 1 1 1 1 1 1 1 6 3 7 7 7 5 5 5 5 5	1 14 1 1 1 1 1 1 3 2 5 5 7 7	3 1 1 1 6 6	0	0	兼2 兼1 兼4	
修プログラ	択科目(言語・情報コー	西アジア・北アフリカ文化概論B(ペルシア文学 I) 小計 (65科目) 〈言語・情報コース〉 言語学A 言語学B 言語学B(専門演習) 言語学B1(専門演習) 音声学A 音声学B 音声学B(専門演習) 音声学B(専門演習) 言語処理論A1(専門演習) 言語処理論B1(専門演習) 言語処理論B1(専門演習) 統計科学A 統計科学A 統計科学B1(専門演習) コーロッパ・アメリカ言語研究A ヨーロッパ・アメリカ言語研究B コーロッパ・アメリカ言語研究B コーロッパ・アメリカ言語研究B(専門演習) アジア・アフリカ言語研究B アジア・アフリカ言語研究B アジア・アフリカ言語研究B	23 	0	2 130 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		1 1 1 1 1 1 1 1 1 6 3 7 7 7 5 5 5 5	1 14 1 1 1 1 1 3 2 5 5 7 7 7	3 1 1 1 6 6 2	0	0	兼2 兼1 兼4	

									n			r			
		日本言語研究A1(専門演習)	3 · 4①		2		0		4						
		日本言語研究B1(専門演習)	3 · 4③		2		0		3						
		言語学特殊研究A	3 • 41		2		0		1	1					
		言語学特殊研究B	3 · 4③		2		0		1	1				兼1	
		言語学特殊研究A1(専門演習)	3 · 4①		2		0		1		1				
		言語学特殊研究B1(専門演習)	3 · 4③		2		0		1		1				
		小計 (30科目)	_	0	60	0		_	21	14	11	0	0	兼11	_
		<グローバルコミュニケーションコース>													
		英語教育学研究A	3 • 4①		2		0		1					兼1	
		英語教育学研究B	3 · 4③		2		0		1						
		英語教育学研究A1(専門演習)	3 · 4①		2		0		1						
		英語教育学研究B1(専門演習)	3 · 4③		2		0		1						
		日本語教育学研究A	3 • 4①		2		0		1						
	選択	日本語教育学研究B	3 · 4③		2		0		1	2					
	扒科	日本語教育学研究A1(専門演習)	3 • 41		2		0		1						
	目	日本語教育学研究B1(専門演習)	3 • 43		2		0		1						
	へ グ	言語教育学研究A	3 • 4①		2		0		2					兼1	
	クロ	言語教育学研究B	3 • 4(3)		2		0				1			兼1	
	Ī	言語教育学研究A1(専門演習)	3 • 4(1)		2		0		1						
専	バ	言語教育学研究B1(専門演習)	3 • 4①		2		0		1						
修プ	ルコ	コミュニケーション論A	3 • 4(1)		2		0				1			兼1	
フ ロ	1 111	コミュニケーション論B	3 • 4(3)		2		0				1				
グ	ユ	通訳・翻訳論A	3 • 4(1)		2		0		1					兼6	
ラム	= -	通訳・翻訳論B	3 • 4(3)		2		0		1					兼5	
4	ケー	通訳·翻訳論A1(専門演習)	3 • 4(1)		2		0		1					AIKO	
	シ	通訳·翻訳論B1(専門演習)	3 • 4(1)		2		0		1						
	3	実践英語A	3 • 4(1)		2		0		1		1			兼3	
	ンコ	実践英語B	3 • 4(3)		2		0				1			兼3	
	1	コミュニティ通訳研究A1(専門演習)	3 • 4(1)		2		0				1			λK-3	
	ス	コミュニティ通訳研究B1(専門演習)	3 • 4(3)		2		0				1				
		多言語・多文化社会論研究A	3 • 4(1)		2		0				1				
		多言語·多文化社会論研究B	3 • 4(3)		2		0				1				
		= =	3 • 4(1)		2		_								
		多言語・多文化社会論研究A(専門演習) 多言語・多文化社会論研究B(専門演習)	3 • 4(1)		2		0				1				
			_		_		0		,	,	1			}/- 1	
		インターンシップA	3 • 4①		2 2		0 0		1 2	1	2 2			兼1	
		インターンシップA 小計 (28科目)	3 • 43	0	_	0	O			0		0	0	¥14	
		<総合文化コース>	_	0	56	0		_	7	2	4	0	0	兼14	_
	選		2 4(1)		0				0	4	1			* ±∙0	
	択科	ヨーロッパ文化研究A	3 • 4(1)		2		0		3	4	1			兼2	
専	目	ヨーロッパ文化研究B	3 • 43		2		0		2	4	2				
修	_	ヨーロッパ文化研究A1(専門演習)	3 • 4①		2		0		4	4					
プ	総	ヨーロッパ文化研究B1(専門演習)	3 • 4①		2		0		4	4				26.4	
ログ	合文	アメリカ文化研究A	3 • 4①		2		0		1	1				兼1	
ラ	化	アメリカ文化研究B	3 • 43		2		0		1						
A	コー	アメリカ文化研究A1(専門演習)	3 • 4①		2		0		2	1					
	7	アメリカ文化研究B1(専門演習)	3 • 43		2		0		2	1				l	
	ろ	東アジア文化研究A	3 • 4①		2		0		1	1	1			兼1	
		東アジア文化研究B	3 • 43		2		0			1	1				
		東アジア文化研究A1(専門演習)	3 • 4①		2		0		1						
		東アジア文化研究B1(専門演習)	3 · 4①		2		0		1						
		中央アジア文化研究A	3 · 4(1)		2		0		1		1				
			_								1		I	兼1	
, ,		中央アジア文化研究B	3 • 43		2		0		1		1			/ICI	
		中央アジア文化研究B 中央アジア文化研究A1(専門演習)	3 · 43 3 · 41		2		0		1 1		1			AIKI	
		中央アジア文化研究B 中央アジア文化研究A1(専門演習) 中央アジア文化研究B1(専門演習)	3 · 4③ 3 · 4① 3 · 4③)IK1	
		中央アジア文化研究B 中央アジア文化研究A1(専門演習)	3 · 43 3 · 41		2		0		1	1	5			兼1	
		中央アジア文化研究B 中央アジア文化研究A1(専門演習) 中央アジア文化研究B1(専門演習)	3 · 4③ 3 · 4① 3 · 4③		2 2		0		1 1	1 1					
		中央アジア文化研究B 中央アジア文化研究A1(専門演習) 中央アジア文化研究B1(専門演習) 東南アジア文化研究A	3 · 43 3 · 41 3 · 43 3 · 41		2 2 2		0 0 0		1 1 1		5			兼1	
		中央アジア文化研究B 中央アジア文化研究A1(専門演習) 中央アジア文化研究B1(専門演習) 東南アジア文化研究A 東南アジア文化研究B	3 · 43 3 · 41 3 · 43 3 · 41 3 · 43		2 2 2 2		0000		1 1 1	1	5			兼1	
		中央アジア文化研究B 中央アジア文化研究A1(専門演習) 中央アジア文化研究B1(専門演習) 東南アジア文化研究A 東南アジア文化研究B 東南アジア文化研究A1(専門演習)	3 · 43 3 · 41 3 · 43 3 · 41 3 · 43 3 · 41		2 2 2 2 2		00000		1 1 1 1 2	1	5 3 2			兼1	
		中央アジア文化研究B 中央アジア文化研究A1(専門演習) 中央アジア文化研究B1(専門演習) 東南アジア文化研究A 東南アジア文化研究B 東南アジア文化研究A1(専門演習) 東南アジア文化研究B1(専門演習)	3 · 43 3 · 41 3 · 43 3 · 41 3 · 43 3 · 41 3 · 43		2 2 2 2 2 2 2		000000		1 1 1 1 2	1 1 1	5 3 2 2			兼1	
		中央アジア文化研究B 中央アジア文化研究A1(専門演習) 中央アジア文化研究B1(専門演習) 東南アジア文化研究A 東南アジア文化研究B 東南アジア文化研究A1(専門演習) 東南アジア文化研究B1(専門演習) 南アジア文化研究A	3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40		2 2 2 2 2 2 2 2		00000000		1 1 1 1 2	1 1 1 1	5 3 2 2			兼1	
		中央アジア文化研究B 中央アジア文化研究A1(専門演習) 中央アジア文化研究B1(専門演習) 東南アジア文化研究A 東南アジア文化研究B 東南アジア文化研究A1(専門演習) 東南アジア文化研究B1(専門演習) 南アジア文化研究A 南アジア文化研究A	3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43		2 2 2 2 2 2 2 2 2		000000000		1 1 1 1 2 2	1 1 1 1 2	5 3 2 2			兼1	

		西アジア・北アフリカ文化研究B	3 · 4③		2		0			1		1				
1		西アジア・北アフリカ文化研究A1(専門演習)	3 • 41		2		0			3	1					
		西アジア・北アフリカ文化研究B1(専門演習)	3 • 4(1)		2		0			3	1					
		オセアニア文化研究A	3 • 4(1)		2		0								兼1	
		オセアニア文化研究B	3 • 4(3)		2		0								兼1	
		日本文化研究A(日本文学1)	3 • 4(1)		2		0			2			1		兼1	
			_													
		日本文化研究B(日本文学2)	3 • 43		2		0						1		兼1	
		日本文化研究A1(専門演習)	3 • 4①		2		0			2						
		日本文化研究B1(専門演習)	3 · 4①		2		0			2						
	選	文化・文学研究A	3 · 4①		2		0			1		2			兼1	
	択	文化・文学研究B	3 · 4③		2		0			2					兼2	
	科	文化・文学研究A1(専門演習)	3 • 4①		2		0			1		2				
専	目	文化・文学研究B1(専門演習)	3 • 4①		2		0			1		2				
修プ	総総	思想文化研究A	3 • 4(1)		2		0			1					兼1	
	合	思想文化研究B	3 • 4(3)		2		0			1		1			兼2	
グ	文	思想文化研究A1(専門演習)	3 • 4(1)		2		0			1		1			71102	
ラ	化	思想文化研究B1(専門演習)	3 • 4(3)		2					1		1				
4	コー		_				_			1		1				
		人間科学研究A	3 • 4①		2		0				1					
	<u>ス</u>	人間科学研究B	3 • 43		2		0				1					
		人間科学研究A1	3 · 4①		2		0				1					
		人間科学研究B1	3 · 4③		2		0				1					
		人間科学研究A1(専門演習)	3 · 4①		2		0				1					
		人間科学研究A2(専門演習)	3 • 43		2		0				1					
		人間科学研究B1(専門演習)	3 • 4(1)		2		0				1					
		人間科学研究B2(専門演習)	3 • 4(3)		2		0				1					
		小計 (50科目)	-	0	100	0		_	<u> </u>	19	14	16	1	0	兼15	_
		卒業論文演習1	4(1)	2	100		0			47	30	11	_		NK10	
	卒		_													
	業論	卒業論文演習2	42	2			0			47	30	11				
	文	卒業論文	4通	8			0			47	30	11	-			
		小計(3科目)	_	12	0	0		_		47	30	11	0	0	0	_
		英語科教育法I	3 • 4①		4		0			2						
		英語科教育法Ⅱ	3 · 4③		4		0			1						
		ドイツ語科教育法 I	3 · 4①		4		0			1						
		ドイツ語科教育法Ⅱ	3 · 4③		4		0				1					
		フランス語科教育法 I	3 • 4(1)		4					1						
					4											
		フランス語科教育法Ⅱ	_								1					
		フランス語科教育法Ⅱ スペイン語科教育法Ⅰ	3 • 43		4		0				1					
1		スペイン語科教育法 I	3 · 43 3 · 41		4 4		0			1	1					
		スペイン語科教育法 I スペイン語科教育法 II	3 · 43 3 · 41 3 · 43		4 4 4		0 0 0			1	1					
		スペイン語科教育法 I スペイン語科教育法 II ポルドガル語科教育法 I	3 · 43 3 · 41 3 · 43 3 · 41		4 4 4		0 0 0			1 1 1	1					
		スペイン語科教育法 I スペイン語科教育法 II ポルドガル語科教育法 I ポルドガル語科教育法 II	3 · 43 3 · 41 3 · 43 3 · 41 3 · 43		4 4 4 4		0 0 0 0			1	1					
		スペイン語科教育法 I スペイン語科教育法 II ポルドガル語科教育法 I ポルドガル語科教育法 II ロシア語科教育法 I	3 · 43 3 · 41 3 · 43 3 · 41 3 · 43 3 · 41		4 4 4		0 0 0			1 1 1	1				兼1	
		スペイン語科教育法 I スペイン語科教育法 II ポルドガル語科教育法 I ポルドガル語科教育法 II	3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43		4 4 4 4		0 0 0 0			1 1 1	1	1			兼1	
		スペイン語科教育法 I スペイン語科教育法 II ポルドガル語科教育法 I ポルドガル語科教育法 II ロシア語科教育法 I	3 · 43 3 · 41 3 · 43 3 · 41 3 · 43 3 · 41		4 4 4 4 4		0 0 0 0 0			1 1 1	1	1			兼1	
17.	数	スペイン語科教育法 I スペイン語科教育法 II ポルドガル語科教育法 I ポルドガル語科教育法 II ロシア語科教育法 I ロシア語科教育法 I	3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43		4 4 4 4 4 4		0 0 0 0 0 0			1 1 1 1	1	1			兼1	
J	教職	スペイン語科教育法 I スペイン語科教育法 I ポルドガル語科教育法 I ポルドガル語科教育法 II ロシア語科教育法 I ロシア語科教育法 II 中国語語科教育法 I	3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40		4 4 4 4 4 4 4		0 0 0 0 0 0 0			1 1 1 1	1	1			兼1	
II F	職 科	スペイン語科教育法 I スペイン語科教育法 I ポルドガル語科教育法 I ポルドガル語科教育法 I ロシア語科教育法 I ロシア語科教育法 I 中国語語科教育法 I 中国語語科教育法 I	3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43		4 4 4 4 4 4 4		000000000			1 1 1 1	1				兼1	
II F	職	スペイン語科教育法 I スペイン語科教育法 II ポルドガル語科教育法 I ポルドガル語科教育法 II ロシア語科教育法 I ロシア語科教育法 II 中国語語科教育法 II 中国語語科教育法 II モンゴル語科教育法 II	3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40		4 4 4 4 4 4 4 4		0000000000			1 1 1 1	1	1			兼1	
II F	職 科	スペイン語科教育法 I スペイン語科教育法 I ポルドガル語科教育法 I ポルドガル語科教育法 I ロシア語科教育法 I ロシア語科教育法 I 中国語語科教育法 I 中国語語科教育法 I モンゴル語科教育法 I モンゴル語科教育法 I	3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		000000000000			1 1 1 1	1	1			兼1	
II F	職 科	スペイン語科教育法 I スペイン語科教育法 I ポルドガル語科教育法 I ポルドガル語科教育法 I ロシア語科教育法 I ロシア語科教育法 I 中国語語科教育法 I 中国語語科教育法 I センゴル語科教育法 I モンゴル語科教育法 I モンゴル語科教育法 I インドネシア語科教育法 I	3 · 43 3 · 40 3 · 43		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		0000000000000			1 1 1 1		1			兼1	
II F	職 科	スペイン語科教育法 I スペイン語科教育法 I ポルドガル語科教育法 I ポルドガル語科教育法 I ロシア語科教育法 I ロシア語科教育法 I 中国語語科教育法 I 中国語語科教育法 I センゴル語科教育法 I モンゴル語科教育法 I モンゴル語科教育法 I インドネシア語科教育法 I インドネシア語科教育法 I ラオス語科教育法 I	3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		000000000000000			1 1 1 1 1	1	1			兼1	
II F	職 科	スペイン語科教育法 I スペイン語科教育法 I ポルドガル語科教育法 I ポルドガル語科教育法 I ロシア語科教育法 I ロシア語科教育法 I 中国語語科教育法 I 中国語語科教育法 I センゴル語科教育法 I モンゴル語科教育法 I モンゴル語科教育法 I インドネシア語科教育法 I インドネシア語科教育法 I ラオス語科教育法 I	3 · 43 3 · 40 3 · 43		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		000000000000000000000000000000000000000			1 1 1 1	1 1	1			兼1	
II F	職 科	スペイン語科教育法 I スペイン語科教育法 I ポルドガル語科教育法 II ロシア語科教育法 II ロシア語科教育法 II 中国語語科教育法 II 中国語語科教育法 II センゴル語科教育法 II モンゴル語科教育法 II モンゴル語科教育法 II インドネシア語科教育法 I ラオス語科教育法 I ラオス語科教育法 I ジオス語科教育法 I	3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		000000000000000000000000000000000000000			1 1 1 1 1	1	1 1			兼1	
II F	職 科	スペイン語科教育法 I スペイン語科教育法 I ポルドガル語科教育法 II ロシア語科教育法 II ロシア語科教育法 II 中国語語科教育法 II 中国語語科教育法 II 中国語語科教育法 II モンゴル語科教育法 II モンゴル語科教育法 II インドネシア語科教育法 II インドネシア語科教育法 II ラオス語科教育法 II ラオス語科教育法 II ビルマ語科教育法 II	3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 43		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		000000000000000000000000000000000000000			1 1 1 1 1	1 1 1	1			兼1	
II F	職 科	スペイン語科教育法 I スペイン語科教育法 I ポルドガル語科教育法 II ロシア語科教育法 II ロシア語科教育法 II 中国語語科教育法 II 中国語語科教育法 II 中国語語科教育法 II モンゴル語科教育法 II モンゴル語科教育法 II インドネシア語科教育法 II インドネ語科教育法 II ラオス語科教育法 II ラオス語科教育法 II ビルマ語科教育法 II ビルマ語科教育法 II ビルマ語科教育法 II	3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		000000000000000000000000000000000000000			1 1 1 1 1	1 1	1 1			兼1	
II F	職 科	スペイン語科教育法 I スペイン語科教育法 I ポルドガル語科教育法 II ロシア語科教育法 II ロシア語科教育法 II 中国語語科教育法 II 中国語語科教育法 II 中国語語科教育法 II モンゴル語科教育 法 II モンゴル語科教育 法 II インドネシア語科教育法 II インドネシア語科教育法 II ラオス語科教育法 II ラオス語語科教育法 II ビルマ語科教育法 II ビルマ語科教育法 II ピルマ語科教育法 II ピルマ語科教育法 II	3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 43 3 · 43 3 · 43 3 · 43 3 · 43 3 · 44 3 · 43 3 · 44 3 · 43 3 · 43 3 · 44 3 · 44 4		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		000000000000000000000000000000000000000			1 1 1 1 1	1 1 1	1 1			兼1	
II F	職 科	スペイン語科教育法 I スペイン語科教育法 I ポルドガル語科教育法 II ロシア語科教育法 II ロシア語科教育法 II 中国語語科教育法 II 中国語語科教育法 II 中国語語科教育法 II モンゴル語科教育法 II モンゴル語科教育法 II インドネシア語科教育法 II インドネ語科教育法 II ラオス語科教育法 II ラオス語科教育法 II ビルマ語科教育法 II ビルマ語科教育法 II ビルマ語科教育法 II	3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		000000000000000000000000000000000000000			1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1			兼1	
II F	職 科	スペイン語科教育法 I スペイン語科教育法 I ポルドガル語科教育法 II ロシア語科教育法 II ロシア語科教育法 II 中国語語科教育法 II 中国語語科教育法 II 中国語語科教育法 II モンゴル語科教育 法 II モンゴル語科教育 法 II インドネシア語科教育法 II インドネシア語科教育法 II ラオス語科教育法 II ラオス語語科教育法 II ビルマ語科教育法 II ビルマ語科教育法 II ピルマ語科教育法 II ピルマ語科教育法 II	3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 43 3 · 43 3 · 43 3 · 43 3 · 43 3 · 44 3 · 43 3 · 44 3 · 43 3 · 43 3 · 44 3 · 44 4		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		000000000000000000000000000000000000000			1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1				
II F	職 科	スペイン語科教育法I ポルドガル語科教育法I ポルドガル語科教育法I ロシア語科教育法I 中国語語科教育法I 中国語語科教育法I 中国語語科教育教育 表I 中国語語科科教育教育 表I モンゴゴルネシア語科教育法II インドネシア語科教育法II インドネシア語科教育法II ラオス語科教育法II ラオス語科教育法II ビルマ語科教育法I ビルマ語科教育法I ビルマ語科教育法I ビルレシア語科教育 に ビルルシア語科教育 に で の の の に に に に に に に に に に に に に	3 · 43 3 · 40 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 40 4		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		000000000000000000000000000000000000000			1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1			兼1	
II F	職 科	スペイン語科教育法I ポルドガル語科教育法I ポルドガル語科教育法I ロシア語語科教育法I 中国語語科教育法I 中国語語科教育法I 中国語語科教育法I 中国語語が北京教育者教育教育教育者教育者教育者教育者教育者教育者教育者教育者表I インドネシアア語科教育者法I インドネシアを語科教育法I ラオオス語語科教育法I ラオオス語語科教育法I ビルママ語科教育法I ビルレマア語語音話音話音話音話音話音話音話音話音話音話音話音話音話音話音話音話音話音話音	3 · 43 3 · 40 3 · 40 4		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		000000000000000000000000000000000000000			1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1			兼1 兼1	
II F	職 科	スペイン語科教育法II ポルドガル語科教育音法II ポルドガル語科教育音法II ロシション語語科教育音法II 中国語語科教教育音法II 中国語語科教教育音法II 中国国語語がルルドガル教育音法II 中国国語語がルルネシンドネ語語科教教科科教育音法 II インンドネ語科教育音法 II ラオオス語語科教育音法 II ラオオルママア育語 語科教育音法 II ビルルシア育語 語科教育音法 II ビルルシア育語 音法 II ビルルシア育語 音法 II ビルルシア育語 音法 II ピルシンドネ語 音音 音法 II ピルシンドネ語 音音 音法 II ピルシシア育論 特別 音法 II ・	3 · 43 3 · 40 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 40 4		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		000000000000000000000000000000000000000			1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1			兼1 兼1 兼1	
JI F	職 科	スペイン語科教育法I ポルドガル語科教育法I ポルドガル語科教育法II ロシシ語語科教育方法II 中国国語語科教育方法II 中国国語語語科教育方法II 中国国語語が近点である。 中国国語が近れる。 中国国語が近れる。 中国ンンドドネ語科教育方法II イインドドネ語科科教育方法II ラオス語語科教育方法II ラオス語語科教育方法 I ラオス語語科教育方法 I ビルルシア語語科教育方法 I ビルルシア音論 がルルシア音音 がれたいたが、 での教育 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 でいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 でいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 でいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 がいたり、 での教育 をしたり、 での教育 がいたり、 での教育 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいたり、 でいり、 でいり、 でいり、 でいたり、 でいり、 でいたり、 でいり、 でいり、 でいり、 でいり、 でいり、	3 · 43 3 · 40 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 40 4		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		000000000000000000000000000000000000000			1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1			兼1 兼1 兼1	
II F	職 科	スペイン語科教育法Ⅱ ポルドガル語科教育法Ⅱ ロシシ語語科教育育法Ⅱ ロシショ語語科教育育法Ⅱ 中国国語語科教育育法Ⅱ 中国国語語科教育育法Ⅱ 中国国語語が正述 I 中中モンンドドカ科教育 育法Ⅱ イインドネ語科科教語科科教育育法Ⅱ イインドネ語科科教育育法Ⅱ ラオス語語科教育育法Ⅱ ジンドネ語科教育育法Ⅱ ジンドネ語科教育育法Ⅱ ビルルシア語語科科教育育法Ⅱ ビルルシア方指導論 特別育方 に 後別別方方 に 後別的方 に 後別的 が の が の が の が の が の が の が の が の が の が	3 · 43 3 · 40 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 40 4		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		000000000000000000000000000000000000000			1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1			兼1 兼1 兼1	
II F	職 科	スペイン語科教育法Ⅱ ポルドガル語科教育法Ⅱ ロシア語科教育育法Ⅱ ロシシ語語科教教育法Ⅱ 中国国語語科教教育音法Ⅱ 中国国語語が北京音話明報教育音法Ⅱ 中中国国が北京語科教教育音法Ⅱ 中中では、本学の教育者法Ⅱ イインンドネ語科科教語科科教育音法Ⅱ ラオス語語科教教語科科教育音法Ⅱ ラオス語語科教教育音法Ⅱ ビルルシアを指列教教育音法Ⅱ ビルルシアを指列教教育音法Ⅱ ビルルシアを指列教教育音法Ⅱ ビルルシアを指列教教育音法Ⅱ がルルシアを指列教教育音法Ⅱ がルルシアを指列教教育音法Ⅱ 道別方方導論 特別方方指導論 生徒育相談(カウンセリングを含む) 進路指導論 事前、事後指導	3 · 43 3 · 40 3 · 43 4 · 40 4 · 40 4 · 40 4 · 40		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		000000000000000000000000000000000000000			1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	1 1			兼1 兼1 兼1	
JI F	職 科	スペイン語科教育法Ⅱ ポルドガル語科教育法Ⅱ ロシシ語語科教育育法Ⅱ ロシショ語語科教育育法Ⅱ 中国国語語科教育育法Ⅱ 中国国語語科教育育法Ⅱ 中国国語語が正述 I 中中モンンドドカ科教育 育法Ⅱ イインドネ語科科教語科科教育育法Ⅱ イインドネ語科科教育育法Ⅱ ラオス語語科教育育法Ⅱ ジンドネ語科教育育法Ⅱ ジンドネ語科教育育法Ⅱ ビルルシア語語科科教育育法Ⅱ ビルルシア方指導論 特別育方 に 後別別方方 に 後別的方 に 後別的 が の が の が の が の が の が の が の が の が の が	3 · 43 3 · 40 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 40 4		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		000000000000000000000000000000000000000			1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1			兼1 兼1 兼1	

教理	職実践演習		43		2		0				1					
小青	計(34科目)		_	0	117	0		_		10	6	4	0	0	兼5	_
	合計	(1170) 科目	_	15	1682	0		_		47	30	38	1	0	兼132	
学位又	学位又は称号 学士(言語・地域文化)			学	位又	は学科	4の分!	野	文学	関係、	社会	学・社	t会福	祉学	 昼係	

(用紙 日本工業規格A4縦型)

教育課程等の概要(事前伺い)

([国際	社会学部国際社会学科)(既設分)		ı						П					
					単位数	Ž.	授	業形	_	1	専任教	女員等	の配置	<u> </u>	
	目分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験・	教	准教	講	助	助	備考
				修	択	由	義	習	実習	授	授	師	教	手	
		基礎リテラシー 世帯波羽	1 • 2①	1			0			1 1	4	1 7	,		兼2 第 17
		基礎演習	1 • 23	2			0			11	4	7	1		兼17
		くらしと社会制度A	1.2.3.4①		2		0								兼1
		くらしと社会制度B	1.2.3.43		2		0								兼1
		くらしと健康A	1.2.3.4①		2		0								兼4
		くらしと健康B	1.2.3.43		2		0								兼1
		憲法を読み解くA	1.2.3.4①		2		0								兼1
		憲法を読み解くB	1.2.3.43		2		0								兼1
		地球社会と共生1A	1.2.3.4①		2		0								兼5
		地球社会と共生1B	1.2.3.43		2		0								兼3
		地球社会と共生2A	1.2.3.4①		2		0								兼1
		地球社会と共生 2 B	1.2.3.43		2		0								兼1
		キャリアデザイン論 1 A	1.2.3.4①		2		0								兼5
		キャリアデザイン論 1B	1.2.3.43		2		0						1		兼1
		キャリアデザイン論 2 A	1.2.3.4①		2		0								兼1
		キャリアデザイン論 2B	1.2.3.43		2		0			1					兼2
		キャリアデザイン論 3 A	1.2.3.4①		1		0					1			
		協働基礎ゼミ	1.2.3.403		1		0								兼1
		ことばの不思議A	1.2.3.4①		2		0								兼4
		ことばの不思議B	1.2.3.43		2		0								兼2
		ことばとコミュニケーションA	1.2.3.4①		2		0								兼3
		ことばとコミュニケーションB	1.2.3.43		2		0			1					兼5
世	教	世界のことばA	1.2.3.4①		2		0								兼36
界	養科	世界のことばB	1.2.3.43		2		0								兼23
教	目	文化のおもしろさA	1.2.3.4①		2		0								兼3
養プ		文化のおもしろさA1	1.2.3.43		2		0			2					兼4
ロ		文化のおもしろさB	1.2.3.4①		2		0								兼2
グ		文化のおもしろさB1	1.2.3.43		2		0			1					兼4
ラム		世界の文化A	1.2.3.4①		2		0								兼1
		世界の文化B	1.2.3.43		2		0			1					兼2
		国際社会をひもとくA	1.2.3.4①		2		0			1		1			兼5
		国際社会をひもとくB	1.2.3.43		2		0					1			兼6
		地域の視点からA	1.2.3.4①		2		0								兼1
		地域の視点からB	1.2.3.43		2		0								兼4
		人間と環境A	1.2.3.4①		2		0				1				兼7
		人間と環境B	1.2.3.43		2		0								兼4
		こころの科学A	1.2.3.4①		2		0								兼1
		こころの科学B	1.2.3.43		2		0								兼1
		世界の中の日本A	1.2.3.4①		2		0			1					兼11
		世界の中の日本B	1.2.3.43		2		0			1					兼11
		短期海外留学	1.2.3.413		2		0								兼1
		スタディツアー	1.2.3.413		2		0			1		1			兼3
		就業体験	1.2.3.413		2		0			I					兼1
		スポーツ・身体文化科目A	1.2.3.4①		1				0						兼6
		スポーツ・身体文化科目B	1.2.3.43		1				0						兼6
		情報技法A	1.2.3.4①		2		0								兼1
		情報技法B	1.2.3.43		2		0								兼1
		小計 (47科目)	-	3	86	0		_		15	5	10	1	0	兼103 -
	_	地域言語A(英語 I)	1通	1	10			0			l		1	1	兼3
	言語	地域言語A(英語 I -1)	1①		1			0		I	2				,
	科	地域言語A(英語 I -2)	1①		1			0		I	2				
	目									I					
	Д	地域言語A(英語 I -3)	1①		1			0			2				

		地域言語A(英語 I -4)	1①	1		\circ	2		
		地域言語A(英語 I -5)	1①	1		\circ	2		
		地域言語A(英語 I -6)	13	1		0	2		
		地域言語A(英語 I -7)	1③	1		0	2		
		地域言語A(英語 I -8)	13	1		0	2		
		地域言語A(英語 I -9)	13	1		0	2		
		地域言語A(英語 I -10)	13	1		0	2		
						_	4		}/- -0
		地域言語A(英語Ⅱ-1)	2①	1		0			兼3
		地域言語A(英語 II-2)	2①	1		0			兼3
		地域言語A(英語 II-3)	2①	1		0			兼3
		地域言語A(英語 II-4)	2①	1		\circ			兼3
		地域言語A(英語Ⅱ-5)	2①	1		\circ			兼3
		地域言語A(英語 II-6)	23	1		\circ			兼3
		地域言語A(英語Ⅱ-7)	23	1		\circ			兼3
		地域言語A(英語 II-8)	23	1		0			兼3
		地域言語A(英語 II -9)	2③	1		0			兼3
		地域言語A(英語Ⅱ-10)	23	1		0			兼3
		地域言語A(英語Ⅲ-1)	3 • 4(1)	1		0			兼1
			_			_			•
		地域言語A(英語Ⅲ-2)	3 • 42	1		0			兼1 * 1
		地域言語A(英語Ⅲ-3)	3 • 4①	1		0			兼1
		地域言語A(英語Ⅲ-4)	3 • 42	1		0			兼1
		地域言語A(英語Ⅲ-5)	3 • 4①	1		0			兼1
#		地域言語A(英語Ⅲ-6)	3 · 42	1		\circ			兼1
世界		地域言語A(英語Ⅲ-7)	3 · 4①	1		\circ			兼1
教		地域言語A(英語Ⅲ-8)	3 · 42	1		\circ			兼1
養プ		地域言語A(ドイツ語 I)	1通	10		0			兼2
ノロ		地域言語A(ドイツ語 II-1)	2①	1		\circ			兼2
グ		地域言語A(ドイツ語 II-2)	2①	1		0			兼2
ラ		地域言語A(ドイツ語 II-3)	2(1)	1		0			兼2
ム		地域言語A(ドイツ語 II -4)	2(1)	1		0			兼2
		地域言語A(ドイツ語 II-5)	2①	1		0			兼2
		地域言語A(ドイツ語 II -6)	23	1		0			兼2
	言	地域言語A(ドイツ語 II-7)	23			_			
	語科		_	1		0			兼2 ***
	目	地域言語A(ドイツ語 II-8)	2③	1		0			兼2
		地域言語A(ドイツ語 II-9)	2③	1		0			兼2
		地域言語A(ドイツ語 II-10)	23	1		0			兼2
		地域言語A(ドイツ語Ⅲ-1)	3 · 4①	1		0			兼1
		地域言語A(ドイツ語Ⅲ-2)	3 · 4③	1		\circ			兼1
		地域言語A(ドイツ語Ⅲ-3)	3 · 4①	1		\circ			兼1
		地域言語A(ドイツ語Ⅲ-4)	3 · 4③	1		\circ			兼1
		地域言語A(ドイツ語Ⅲ-5)	3 · 4①	1		\circ			兼1
		地域言語A(ドイツ語Ⅲ-6)	3 · 43	1		\circ			兼1
		地域言語A(ドイツ語Ⅲ-7)	3 · 4(1)	1		0			兼1
		地域言語A(ドイツ語Ⅲ-8)	3 • 43	1		0			兼1
		地域言語A(フランス語 I)	1通	10		0			兼2
		地域言語A(フランス語Ⅱ-1)	2(1)	1		0			兼2
		地域言語A(フランス語 II -2)	2①	1		0			兼2
		地域言語A(フランス語Ⅱ-3)	2①						
			_	1		0			兼2 * 2
		地域言語A(フランス語 II -4)	2①	1		0			兼2 ***
		地域言語A(フランス語Ⅱ-5)	2①	1		0			兼2
		地域言語A(フランス語Ⅱ-6)	23	1		0			兼2
		地域言語A(フランス語Ⅱ-7)	23	1		\circ			兼2
		地域言語A(フランス語Ⅱ-8)	2③	1		\circ			兼2
		地域言語A(フランス語Ⅱ-9)	23	1		\circ			兼2
		地域言語A(フランス語Ⅱ-10)	23	1		\circ			兼2
		地域言語A(フランス語Ⅲ-1)	3 · 4①	1		0			兼1
		地域言語A(フランス語Ⅲ-2)	3 • 4(3)	1		0			兼1
		地域言語A(フランス語Ⅲ-3)	3 • 4(1)	1		0			兼1
		地域言語A(フランス語Ⅲ-4)	3 • 43	1		0			兼1
		地域言語A(フランス語Ⅲ-4)	3 • 4(1)						
			_	1		0			兼1 * 1
		地域言語A(フランス語Ⅲ-6)	3 • 43	1		0			兼1
		地域言語A(フランス語Ⅲ-7)	3 • 4①	1		0			兼1
		地域言語A(フランス語Ⅲ-8)	3 · 4③	1		\circ			兼1

	地域言語A(イタリア語 I)	1通		10	0				兼1
	地域言語A(イタリア語Ⅱ-1	1) 2①		1	0				兼1
	地域言語A(イタリア語Ⅱ-2	2(1)		1	0				兼1
	地域言語A(イタリア語Ⅱ-3	-		1	0				兼1
	地域言語A(イタリア語Ⅱ-4	-		1	0				兼1
		-		_					
	地域言語A(イタリア語Ⅱ-5	-		1	0				兼1
	地域言語A(イタリア語Ⅱ-6	3) 23		1	0				兼1
	地域言語A(イタリア語Ⅱ-7	7) 23		1	0				兼1
	地域言語A(イタリア語Ⅱ-8	3) 23		1	0				兼1
	地域言語A(イタリア語Ⅱ-9	23		1	0				兼1
	地域言語A(イタリア語Ⅱ-1			1	0				兼1
		-							
	地域言語A(イタリア語Ⅲ-1	,		1	0				兼1
	地域言語A(イタリア語Ⅲ-2	-		1	0				兼1
	地域言語A(イタリア語Ⅲ-3	3 • 4①		1	0				兼1
	地域言語A(イタリア語Ⅲ-4	4) 3 · 4③		1	0				兼1
	地域言語A(イタリア語Ⅲ-5	3 • 4①		1	0				兼1
	地域言語A(イタリア語Ⅲ-6	-		1	0				兼1
	地域言語A(イタリア語Ⅲ-7				0				兼1
		-		1	_				
	地域言語A(イタリア語Ⅲ-8		+	1	0	$oxed{oxed}$	1		兼1
	地域言語A(スペイン語 I)	1通		10	0				兼2
	地域言語A(スペイン語Ⅱ-	2①		1	0				兼2
	地域言語A(スペイン語Ⅱ-2	2①		1	0				兼2
	地域言語A(スペイン語Ⅱ-3	3) 2①		1	0				兼2
世	地域言語A(スペイン語Ⅱ-4	-		1	0				兼2
界	地域言語A(スペイン語Ⅱ-5	-		1	0				兼2
教		-			_				
養	地域言語A(スペイン語Ⅱ-6	-		1	0				兼2
プロコ	地域言語A(スペイン語Ⅱ-7	-		1	0				兼2
	言 地域言語A(スペイン語Ⅱ-8	23		1	0				兼2
	部 地域言語A(スペイン語Ⅱ-9	23		1	0				兼2
	目 地域言語A(スペイン語Ⅱ-1	10) 23		1	0				兼2
	地域言語A(スペイン語Ⅲ-1	3 • 4①		1	0				兼1
	地域言語A(スペイン語Ⅲ-2	-		1	0				兼1
		-							
	地域言語A(スペイン語Ⅲ-3	-		1	0				兼1
	地域言語A(スペイン語Ⅲ-4	-		1	0				兼1
	地域言語A(スペイン語Ⅲ-5	3 • 4①		1	0				兼1
	地域言語A(スペイン語Ⅲ-6	3 • 43		1	0				兼1
	地域言語A(スペイン語Ⅲ-7	7) 3 · 4①		1	0				兼1
	地域言語A(スペイン語Ⅲ-8	3 • 43		1	0				兼1
	地域言語A(ポルドガル語 I			10	0				兼1
	地域言語A(ポルドガル語Ⅱ			1	0				兼1
	地域言語A(ポルドガル語Ⅱ								
				1	0				兼1
	地域言語A(ポルドガル語Ⅱ	-		1	0				兼1
	地域言語A(ポルドガル語Ⅱ	-		1	0				兼1
	地域言語A(ポルドガル語Ⅱ	2①		1	0				兼1
	地域言語A(ポルドガル語Ⅱ	[-6) 2③		1	0				兼1
	地域言語A(ポルドガル語Ⅱ	[-7) 23		1	0				兼1
	地域言語A(ポルドガル語Ⅱ	-		1	0				兼1
	地域言語A(ポルドガル語 Ⅱ			1	0				兼1
		,			_				
	地域言語A(ポルドガル語Ⅱ	,		1	0				兼1
	地域言語A(ポルドガル語Ⅲ	-		1	0				兼1
	地域言語A(ポルドガル語Ⅲ	-		1	0				兼1
	地域言語A(ポルドガル語Ⅲ	I-3) 3 · 4①		1	0				兼1
	地域言語A(ポルドガル語Ⅲ	I-4) 3 • 43		1	0				兼1
	地域言語A(ポルドガル語Ⅲ			1	0				兼1
	地域言語A(ポルドガル語Ⅲ			1	0				兼1
	地域言語A(ポルドガル語Ⅲ			1	0				兼1
		-							
	地域言語A(ポルドガル語II		$\perp \perp$	1	0				兼1
	地域言語A(ロシア語 I)	1通		10	0				兼1
	地域言語A(ロシア語Ⅱ-1)	2①		1	0				兼2
	地域言語A(ロシア語Ⅱ-2)	2①		1	0				兼2
	地域言語A(ロシア語Ⅱ-3)	2①		1	0				兼2
	地域言語A(ロシア語Ⅱ-4)	2①		1	0				兼2
	地域言語A(ロシア語Ⅱ-5)	2①		1					兼2
$oxed{oxed}$	MU外口町A(ロン/町Ⅱ-3)	2(1)		1	U		<u> </u>	<u> </u>	AR4

_											
		地域言語A(ロシア語Ⅱ-6)	23	1		\circ					兼2
		地域言語A(ロシア語Ⅱ-7)	23	1		\circ					兼2
		地域言語A(ロシア語Ⅱ-8)	23	1		0					兼2
		地域言語A(ロシア語Ⅱ-9)	2③	1		0					兼2
		地域言語A(ロシア語 II -10)	23	1		0					兼2
		地域言語A(ロシア語Ⅲ-1)	3 • 4(1)	1		0					兼1
			3 • 4(3)			0					兼1
		地域言語A(ロシア語Ⅲ-2)	_	1		_					
		地域言語A(ロシア語Ⅲ-3)	3 • 4①	1		0					兼1
		地域言語A(ロシア語Ⅲ-4)	3 · 4③	1		0					兼1
		地域言語A(ロシア語Ⅲ-5)	3 · 4①	1		0					兼1
		地域言語A(ロシア語Ⅲ-6)	3 · 4③	1		\circ					兼1
		地域言語A(ロシア語Ⅲ-7)	3 · 4①	1		\circ					兼1
		地域言語A(ロシア語Ⅲ-8)	3 · 43	1		\circ					兼1
		地域言語A(中国語 I)	1通	10		0					兼2
		地域言語A(中国語Ⅱ-1)	2(1)	1		0					兼2
		地域言語A(中国語II-2)	2(1)	1		0					兼2
		地域言語A(中国語 II -3)	2①	1		0					兼2
			_			_					
		地域言語A(中国語Ⅱ-4)	2①	1		0					兼2
		地域言語A(中国語Ⅱ-5)	2①	1		0					兼2
		地域言語A(中国語Ⅱ-6)	23	1		0					兼2
世界		地域言語A(中国語Ⅱ-7)	23	1		\circ					兼2
界教		地域言語A(中国語Ⅱ-8)	23	1		\circ					兼2
養		地域言語A(中国語Ⅱ-9)	23	1		\circ					兼2
プ		地域言語A(中国語Ⅱ-10)	23	1		\circ					兼2
口	言	地域言語A(中国語Ⅲ-1)	3 • 4(1)	1		0					兼1
グラ	語	地域言語A(中国語Ⅲ-2)	3 • 4(3)	1		0					兼1
ム	科目	地域言語A(中国語Ⅲ-3)	3 • 4(1)	1		0					兼1
	H	地域言語A(中国語Ⅲ-4)	3 • 43	1		0					兼1
			_			_					•
		地域言語A(中国語Ⅲ-5)	3 • 4①	1		0					兼1
		地域言語A(中国語Ⅲ-6)	3 • 43	1		0					兼1
		地域言語A(中国語Ⅲ-7)	3 · 4①	1		0					兼1
		地域言語A(中国語Ⅲ-8)	3 · 4③	1		0					兼1
		地域言語A(朝鮮語 I)	1通	10		\circ					兼3
		地域言語A(朝鮮語Ⅱ-1)	2①	1		\circ					兼3
		地域言語A(朝鮮語Ⅱ-2)	2①	1		\circ					兼3
		地域言語A(朝鮮語Ⅱ-3)	2①	1		\circ					兼3
		地域言語A(朝鮮語Ⅱ-4)	2①	1		0					兼3
		地域言語A(朝鮮語Ⅱ-5)	2(1)	1		0					兼3
		地域言語A(朝鮮語 II -6)	23	1		0					兼3
		地域言語A(朝鮮語 II -7)	23	1		0					兼3
		地域言語A(朝鮮語Ⅱ-8)	2③	1		0					兼3
		地域言語A(朝鮮語Ⅱ-9)	23	1		0					兼3
		地域言語A(朝鮮語Ⅱ-10)	23	1		0					兼3
		地域言語A(朝鮮語Ⅲ-1)	3 · 4①	1		0					兼1
		地域言語A(朝鮮語Ⅲ-2)	3 · 4③	1		\circ					兼1
		地域言語A(朝鮮語Ⅲ-3)	3 · 4①	1		\circ					兼1
		地域言語A(朝鮮語Ⅲ-4)	3 · 4③	1		\circ					兼1
		地域言語A(朝鮮語Ⅲ-5)	3 · 4①	1		\circ					兼1
		地域言語A(朝鮮語Ⅲ-6)	3 • 43	1		0					兼1
		地域言語A(朝鮮語Ⅲ-7)	3 • 4(1)	1		0					兼1
		地域言語A(朝鮮語Ⅲ-8)	3 • 4(3)	1		0					兼1
		地域言語A(ポーランド語 I -1)	1①	1		0		1	1 1	+	兼1
		地域言語A(ポーランド語 I -1) 地域言語A(ポーランド語 I -2)	1①								
			_	1		0					兼1
1		地域言語A(ポーランド語 I -3)	1①	1		0					兼1
		地域言語A(ポーランド語 I -4)	1①	1		0					兼1
		地域言語A(ポーランド語 I-5)	1①	1		0					兼1
		地域言語A(ポーランド語 I-6)	13	1		\circ					兼1
		地域言語A(ポーランド語 I -7)	13	1		\circ					兼1
		地域言語A(ポーランド語 I-8)	13	1		\circ					兼1
		地域言語A(ポーランド語 I-9)	13	1		\circ					兼1
		地域言語A(ポーランド語 I -10)	13	1		0					兼1
		地域言語A(ポーランド語 II-1)	2①	1		0					兼1
		地域言語A(ポーランド語 II-2)	2①	1		0					兼1
		心外口m゚(ハーノン「mm゚2)	2(<u>1</u>)	1		\cup	I				本 1

		地域言語A(ポーランド語 II -3)	2①	1	()				兼1	
		地域言語A(ポーランド語 Ⅱ-4)	2①	1	()				兼1	
		地域言語A(ポーランド語 II-5)	2(1)	1	()				兼1	
		地域言語A(ポーランド語 II -6)	2③	1		5				兼1	
		地域言語A(ポーランド語Ⅱ-7)	23	1						兼1	
			_	_		_					
		地域言語A(ポーランド語Ⅱ-8)	2③	1						兼1	
		地域言語A(ポーランド語 II-9)	2③	1	()				兼1	
		地域言語A(ポーランド語 Ⅱ-10)	23	1	()				兼1	
		地域言語A(ポーランド語Ⅲ-1)	3 • 41	1	()				兼1	
		地域言語A(ポーランド語Ⅲ-2)	3 · 4(1)	1	(\circ				兼1	
		地域言語A(ポーランド語Ⅲ-3)	3 • 4①	1	(兼1	
		地域言語A(ポーランド語Ⅲ-4)	3 • 4(1)			5				兼1	
			_	1		_					
		地域言語A(ポーランド語Ⅲ-5)	3 · 4③	1						兼1	
		地域言語A(ポーランド語Ⅲ-6)	3 · 4③	1	(\supset				兼1	
		地域言語A(ポーランド語Ⅲ-7)	3 · 4③	1	(\supset				兼1	
		地域言語A(ポーランド語Ⅲ-8)	3 · 4③	1	() C				兼1	
		地域言語A(チェコ語 I -1)	1(1)	1	()				兼1	
世		地域言語A(チェコ語 I -2)	1(1)	1						兼1	
界教		地域言語A(チェコ語 I -3)	1①	_						兼1	
教養			_	1		_					
プ		地域言語A(チェコ語 I -4)	1①	1		2				兼1	
口		地域言語A(チェコ語 I -5)	1①	1	()				兼1	
グ		地域言語A(チェコ語 I-6)	13	1	(\supset				兼1	
ラ	言	地域言語A(チェコ語 I -7)	13	1	()				兼1	
4	語科	地域言語A(チェコ語 I -8)	13	1	(兼1	
		地域言語A(チェコ語 I −9)	13	1)				兼1	
	Н	地域言語A(チェコ語 I -10)	13	1						兼1	
		地域言語A(チェコ語 II-1)	2①							兼1	
			_	1		_				• • • •	
		地域言語A(チェコ語Ⅱ-2)	2①	1						兼1	
		地域言語A(チェコ語Ⅱ-3)	2①	1	()				兼1	
		地域言語A(チェコ語Ⅱ-4)	21	1	(\supset				兼1	
		地域言語A(チェコ語Ⅱ-5)	2①	1	()				兼1	
		地域言語A(チェコ語Ⅱ-6)	23	1	()				兼1	
		地域言語A(チェコ語Ⅱ-7)	2③	1)				兼1	
		地域言語A(チェコ語Ⅱ-8)	2③	1						兼1	
		地域言語A(チェコ語Ⅱ-9)	23	1						兼1	
		_ ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,,	_			_					
		地域言語A(チェコ語Ⅱ-10)	23	1		2				兼1	
		地域言語A(チェコ語Ⅲ-1)	3 · 4①	1		\supset				兼1	
		地域言語A(チェコ語Ⅲ-2)	3 · 4①	1	()				兼1	
		地域言語A(チェコ語Ⅲ-3)	3 · 4①	1	(\supset				兼1	
		地域言語A(チェコ語Ⅲ-4)	3 · 4①	1	()				兼1	
		地域言語A(チェコ語Ⅲ-5)	3 · 4③	1	() l				兼1	
		地域言語A(チェコ語Ⅲ-6)	3 · 4③	1	(O				兼1	
1		地域言語A(チェコ語Ⅲ-7)	3 • 43	1		5				兼1	
1		地域言語A(チェコ語Ⅲ-8)	3 • 43	1						兼1	
1							1-1	-+			
1		地域言語A(モンゴル語 I -1)	1①	1		2				兼2	
		地域言語A(モンゴル語 I -2)	1①	1		2				兼2	
		地域言語A(モンゴル語 I -3)	1①	1	()				兼2	
1		地域言語A(モンゴル語 I -4)	1①	1	(兼2	
1		地域言語A(モンゴル語 I -5)	1①	1	()				兼2	
		地域言語A(モンゴル語 I-6)	13	1	(兼2	
		地域言語A(モンゴル語 I -7)	13	1		5		1		兼2	
		地域言語A(モンゴル語 I-8)	13	1		5				兼2	
		地域言語A(モンゴル語 I -9)	13							兼2	
				1		_					
		地域言語A(モンゴル語 I-10)	13	1						兼2	
		地域言語A(モンゴル語Ⅱ-1)	2①	1						兼2	
		地域言語A(モンゴル語Ⅱ-2)	2①	1	(兼2	
		地域言語A(モンゴル語Ⅱ-3)	2①	1	(兼2	
		地域言語A(モンゴル語Ⅱ-4)	2①	1						兼2	
		地域言語A(モンゴル語Ⅱ-5)	2①	1		5				兼2	
		地域言語A(モンゴル語 II-6)	23	1		5				兼2	
		地域言語A(モンゴル語 II -7)	23	1				1		兼2	
1		地域言語A(モンゴル語Ⅱ-8)	2③	1				1		兼2	
		地域言語A(モンゴル語Ⅱ-9)	2③	1	()				兼2	

		地域言語A(モンゴル語Ⅱ-10)	23	1	0		兼2
		地域言語A(モンゴル語Ⅲ-1)	3 · 4①	1	0		兼1
		地域言語A(モンゴル語Ⅲ-2)	3 · 4①	1	0		兼1
		地域言語A(モンゴル語Ⅲ-3)	3 · 4①	1	0		兼1
		地域言語A(モンゴル語Ⅲ-4)	3 · 4①	1	0		兼1
		地域言語A(モンゴル語Ⅲ-5)	3 · 4③	1	0		兼1
		地域言語A(モンゴル語Ⅲ-6)	3 · 4③	1	0		兼1
		地域言語A(モンゴル語Ⅲ-7)	3 · 4③	1	0		兼1
		地域言語A(モンゴル語Ⅲ-8)	3 · 4③	1	0		兼1
		地域言語A(インドネシア語 I-1)	1①	1	0		兼2
		地域言語A(インドネシア語 I -2)	1①	1	0		兼2
		地域言語A(インドネシア語 I -3)	1①	1	0		兼2
		地域言語A(インドネシア語 I-4)	1①	1	0		兼2
		地域言語A(インドネシア語 I-5)	1①	1	0		兼2
		地域言語A(インドネシア語 I-6)	13	1	0		兼2
世		地域言語A(インドネシア語 I -7)	13	1	0		兼2
界		地域言語A(インドネシア語 I-8)	13	1			兼2
教養	言	地域言語A(インドネシア語 I-9)	13	1	0		兼2
党プ	語	地域言語A(インドネシア語 I-10)	13	1	0		兼2
口	科目	地域言語A(インドネシア語 II-1)	2(1)	1			兼2
グラ	"	地域言語A(インドネシア語 II -2)	2(1)	1			兼2
フム		地域言語A(インドネシア語 II -3)	2(1)	1			兼2
		地域言語A(インドネシア語 II-4)	2(1)	1			兼2
		地域言語A(インドネシア語 II-5)	2(1)	1			兼2
		地域言語A(インドネシア語 II-6)	23	1			兼2
		地域言語A(インドネシア語 II-7)	23	1			兼2
		地域言語A(インドネシア語Ⅱ-8)	23	1			兼2
		地域言語A(インドネシア語 II-9)	23	1			兼2
		地域言語A(インドネシア語 II-10)	23	1			兼2
		地域言語A(インドネシア語Ⅲ-1)	3 • 41	1			兼1
		地域言語A(インドネシア語Ⅲ-2)	3 • 4(1)	1			兼1
		地域言語A(インドネシア語Ⅲ-3)	3 • 4(1)	1			兼1
		地域言語A(インドネシア語Ⅲ-4)	3 • 4(1)	1			兼1
		地域言語A(インドネシア語Ⅲ-5)	3 • 4(3)	1			兼1
		地域言語A(インドネシア語Ⅲ-6)	3 • 4(3)	1			兼1
		地域言語A(インドネシア語Ⅲ-7)	3 • 4(3)	1			兼1
		地域言語A(インドネシア語Ⅲ-8)	3 • 4(3)	1			兼1
		地域言語A(マレーシア語 I -1)	1(1)	1	0		兼1
		地域言語A(マレーシア語 I -2)	1①	1	0		兼1
		地域言語A(マレーシア語 I -3)	1①	1			兼1
		地域言語A(マレーシア語 I -4)	1①	1	0		兼1
		地域言語A(マレーシア語 I -5)	1(1)	1			兼1
		地域言語A(マレーシア語 I -6)	13	1			兼1
		地域言語A(マレーシア語 I -7)	13	1			兼1
		地域言語A(マレーシア語 I-8)	13	1			兼1
		地域言語A(マレーシア語 I-9)	13	1	0		兼1
		地域言語A(マレーシア語 I -10)	13	1	0		兼1
		地域言語A(マレーシア語 II-1)	2①	1	0		兼1
		地域言語A(マレーシア語 II -2)	2(1)	1			兼1
		地域言語A(マレーシア語Ⅱ-3)	2①	1			兼1
		地域言語A(マレーシア語Ⅱ-4)	2①	1	0		兼1
		地域言語A(マレーシア語Ⅱ-5)	2①	1	0		兼1
		地域言語A(マレーシア語 II-6)	23	1	0		兼1
		地域言語A(マレーシア語Ⅱ-7)	23	1	0		兼1
		地域言語A(マレーシア語Ⅱ-8)	23	1	0		兼1
		地域言語A(マレーシア語 II-9)	23	1	0		兼1
		地域言語A(マレーシア語Ⅱ-10)	23	1			兼1
		地域言語A(マレーシア語Ⅲ-1)	3 • 41	1			兼1
		地域言語A(マレーシア語Ⅲ-2)	3 • 4(1)	1			兼1
		地域言語A(マレーシア語Ⅲ-3)	3 • 4①	1			兼1
		地域言語A(マレーシア語Ⅲ-4)	3 • 4(1)	1			兼1
		地域言語A(マレーシア語Ⅲ-5)	3 • 43	1			兼1
		地域言語A(マレーシア語Ⅲ-6)	3 • 43	1			兼1
<u> </u>	l	~ы-жынт(, v ∨ / пш ∪)	0 10	1	 \cup	<u> </u>	VIV.1

		-					
		地域言語A(マレーシア語Ⅲ-7)	3 · 4③	1	0		兼1
		地域言語A(マレーシア語Ⅲ-8)	3 · 4③	1	0		兼1
		地域言語A(フィリピン語 I -1)	1①	1	0		兼1
		地域言語A(フィリピン語 I −2)	1①	1	0		兼1
		地域言語A(フィリピン語 I -3)	1①	1	0		兼1
		地域言語A(フィリピン語 I-4)	1①	1	0		兼1
		地域言語A(フィリピン語 I-5)	1①	1	0		兼1
		地域言語A(フィリピン語 I-6)	13	1			兼1
		地域言語A(フィリピン語 I -7)	13	1	0		兼1
		地域言語A(フィリピン語 I -8)	13	1			兼1
		地域言語A(フィリピン語 I -9)	13	1	0		兼1
		地域言語A(フィリピン語 I -10)	13	1	0		兼1
		地域言語A(フィリピン語Ⅱ-1)	2(1)	1	0		兼1
		地域言語A(フィリピン語Ⅱ-2)	2(1)	1			兼1
		地域言語A(フィリピン語 II -3)	2(1)	1			兼1
世		地域言語A(フィリピン語 II-4)	2(1)	1			兼1
界		地域言語A(フィリピン語Ⅱ-5)	2(1)	1			兼1
教			2(3)		_		'''
養プ		地域言語A(フィリピン語 II -6)	_	1	0		兼1
ノロ		地域言語A(フィリピン語 II -7)	2③	1	0		兼1
グ	⇒	地域言語A(フィリピン語 II-8)	2③	1	0		兼1
ラ	言語	地域言語A(フィリピン語 II-9)	2③	1	0		兼1
ム	科	地域言語A(フィリピン語 II-10)	23	1	0		兼1
	目	地域言語A(フィリピン語Ⅲ-1)	3 • 4①	1	0		兼1
		地域言語A(フィリピン語Ⅲ-2)	3 • 4①	1			兼1
		地域言語A(フィリピン語Ⅲ-3)	3 · 4①	1	0		兼1
		地域言語A(フィリピン語Ⅲ-4)	3 · 4①	1	0		兼1
		地域言語A(フィリピン語Ⅲ-5)	3 · 4③	1	0		兼1
		地域言語A(フィリピン語Ⅲ-6)	3 · 43	1	0		兼1
		地域言語A(フィリピン語Ⅲ-7)	3 · 43	1	0		兼1
		地域言語A(フィリピン語Ⅲ-8)	3 · 4③	1	0		兼1
		地域言語A(タイ語 I-1)	1①	1	0		兼1
		地域言語A(タイ語 I-2)	1①	1	0		兼1
		地域言語A(タイ語 I -3)	1①	1	0		兼1
		地域言語A(タイ語 I-4)	1①	1	0		兼1
		地域言語A(タイ語 I -5)	1①	1	0		兼1
		地域言語A(タイ語 I -6)	13	1	0		兼1
		地域言語A(タイ語 I -7)	13	1	0		兼1
		地域言語A(タイ語 I -8)	13	1	0		兼1
		地域言語A(タイ語 I -9)	13	1	0		兼1
		地域言語A(タイ語 I-10)	13	1	0		兼1
		地域言語A(タイ語 II-1)	2①	1	0		兼1
		地域言語A(タイ語 II-2)	2①	1	0		兼1
		地域言語A(タイ語Ⅱ-3)	2①	1			兼1
		地域言語A(タイ語Ⅱ-4)	2①	1	0		兼1
		地域言語A(タイ語Ⅱ-5)	2①	1			兼1
		地域言語A(タイ語Ⅱ-6)	23	1	0		兼1
		地域言語A(タイ語 II -7)	23	1	0		兼1
		地域言語A(タイ語Ⅱ-8)	23	1	0		兼1
		地域言語A(タイ語 II-9)	23	1	0		兼1
		地域言語A(タイ語Ⅱ-10)	23	1			兼1
		地域言語A(タイ語Ⅲ-1)	3 • 4(1)	1			兼1
		地域言語A(タイ語Ⅲ-2)	3 • 4(1)	1			兼1
		地域言語A(タイ語Ⅲ-3)	3 • 4①	1	0		兼1
		地域言語A(タイ語Ⅲ-4)	3 • 4(1)	1			兼1
		地域言語A(タイ語Ⅲ-5)	3 • 4(3)	1			兼1
1		地域言語A(タイ語Ⅲ-6)	3 • 43	1			兼1
		地域言語A(タイ語Ⅲ-7)	3 • 43	1			兼1
		地域言語A(タイ語Ⅲ-7) 地域言語A(タイ語Ⅲ-8)	3 • 43	1			兼1
		地域言語A(ラオス語 I -1)	1(1)	1	0		兼1
		地域言語A(ラオス語 I -1)	1(1)				兼1
1		地域言語A(フオス語 I -2) 地域言語A(ラオス語 I -3)	_	1			
1			1①	1	0		兼1
		地域言語A(ラオス語 I -4)	1①	1			兼1
<u> </u>		地域言語A(ラオス語 I -5)	1①	1	0		兼1

		地域言語A(ラオス語 I-6)	13	1		0			兼1
		地域言語A(ラオス語 I -7)	13	1		0			兼1
		地域言語A(ラオス語 I -8)	13	1		\circ			兼1
		地域言語A(ラオス語 I-9)	13	1		0			兼1
		地域言語A(ラオス語 I -10)	13	1		0			兼1
		地域言語A(ラオス語Ⅱ-1)	2(1)	1		0			兼1
		地域言語A(ラオス語 II -2)	2(1)	1		0			兼1
		地域言語A(ラオス語II-3)	2(1)	1		0			兼1
		地域言語A(ラオス語 II-4)	2(1)	1		0			兼1
			_			_			
		地域言語A(ラオス語 II -5)	2①	1		0			兼1
		地域言語A(ラオス語Ⅱ-6)	2③	1		0			兼1
		地域言語A(ラオス語Ⅱ-7)	23	1		0			兼1
		地域言語A(ラオス語Ⅱ-8)	23	1		0			兼1
		地域言語A(ラオス語Ⅱ-9)	23	1		0			兼1
		地域言語A(ラオス語Ⅱ-10)	23	1		0			兼1
		地域言語A(ラオス語Ⅲ-1)	3 · 4①	1		\circ			兼1
		地域言語A(ラオス語Ⅲ-2)	3 · 4①	1		0			兼1
		地域言語A(ラオス語Ⅲ-3)	3 • 4①	1		0			兼1
		地域言語A(ラオス語Ⅲ-4)	3 • 4(1)	1		0			兼1
		地域言語A(ラオス語Ⅲ-5)	3 • 4(3)	1		0			兼1
世界		地域言語A(ラオス語Ⅲ-6)	3 • 43	1		0			兼1
外		地域言語A(ラオス語Ⅲ-7)	3 • 43	1		0			兼1
教養	言	地域言語A(ラオス語Ⅲ-8)	_			0			•
プ	語科		3 • 43	1					兼1
口	目	地域言語A(ベトナム語 I-1)	1①	1		0			兼1
グラ		地域言語A(ベトナム語 I-2)	1①	1		0			兼1
ム		地域言語A(ベトナム語 I-3)	1①	1		0			兼1
		地域言語A(ベトナム語 I-4)	1①	1		0			兼1
		地域言語A(ベトナム語 I-5)	1①	1		0			兼1
		地域言語A(ベトナム語 I-6)	13	1		\circ			兼1
		地域言語A(ベトナム語 I -7)	13	1		0			兼1
		地域言語A(ベトナム語 I-8)	13	1		0			兼1
		地域言語A(ベトナム語 I-9)	13	1		0			兼1
		地域言語A(ベトナム語 I -10)	13	1		0			兼1
		地域言語A(ベトナム語Ⅱ-1)	2(1)	1		0			兼1
		地域言語A(ベトナム語 II -2)	2(1)	1		0			兼1
		地域言語A(ベトナム語 II -3)	2(1)	1		0			兼1
		地域言語A(ベトナム語 II-4)	2(1)	1		0			兼1
			2①			-			•
		地域言語A(ベトナム語 II -5)	_	1		0			兼1
		地域言語A(ベトナム語 II -6)	2③	1		0			兼1
		地域言語A(ベトナム語II-7)	2③	1		0			兼1
		地域言語A(ベトナム語Ⅱ-8)	23	1		0			兼1
		地域言語A(ベトナム語Ⅱ-9)	23	1		0			兼1
		地域言語A(ベトナム語Ⅱ-10)	23	1		0			兼1
		地域言語A(ベトナム語Ⅲ-1)	3 · 4①	1		0			兼1
		地域言語A(ベトナム語Ⅲ-2)	3 · 4①	1		0			兼1
		地域言語A(ベトナム語Ⅲ-3)	3 • 4①	1		0			兼1
		地域言語A(ベトナム語Ⅲ-4)	3 • 4①	1		0			兼1
		地域言語A(ベトナム語Ⅲ-5)	3 · 4③	1		0			兼1
		地域言語A(ベトナム語Ⅲ-6)	3 • 43	1		0			兼1
		地域言語A(ベトナム語Ⅲ-7)	3 • 4(3)	1		0			兼1
		地域言語A(ベトナム語Ⅲ-8)	3 • 4(3)	1		0			兼1
		地域言語A(カンボジア語 I -1)	1①	1		0	1		兼2
		地域言語A(カンボジア語 I -2)	1(1)	1		0			兼2
		地域言語A(カンボジア語 I -3)	1①	1		0			兼2
		地域言語A(カンボジア語 I -3)	1(1)			-			•
			_	1		0			兼2
		地域言語A(カンボジア語 I -5)	1①	1		0			兼2
		地域言語A(カンボジア語 I -6)	13	1		0			兼2
		地域言語A(カンボジア語 I -7)	13	1		0			兼2
		地域言語A(カンボジア語 I-8)	13	1		0			兼2
		地域言語A(カンボジア語 I-9)	13	1		0			兼2
		地域言語A(カンボジア語 I -10)	13	1		0			兼2
		地域言語A(カンボジア語 Ⅱ-1)	2①	1		0			兼2
		地域言語A(カンボジア語Ⅱ-2)	2①	1		\circ			兼2
	-	· ·			 			 	 •

		地域言語A(カンボジア語 II-3)	2①	1	0		兼2
		地域言語A(カンボジア語 Ⅱ-4)	2①	1	0		兼2
		地域言語A(カンボジア語 II-5)	2①	1	0		兼2
		地域言語A(カンボジア語 II-6)	23	1	0		兼2
		地域言語A(カンボジア語 II-7)	23	1	0		兼2
		地域言語A(カンボジア語 II-8)	23	1	0		兼2
		地域言語A(カンボジア語 II-9)	23	1			兼2
		地域言語A(カンボジア語 Ⅱ-10)	2③	1			兼2
		地域言語A(カンボジア語Ⅲ-1)	3 • 4(1)	1			兼1
		地域言語A(カンボジア語Ⅲ-2)	3 • 4(1)	1			兼1
		地域言語A(カンボジア語Ⅲ-3)	3 • 4(1)	1			兼1
		地域言語A(カンボジア語Ⅲ-4)	3 • 4(1)	1			兼1
		地域言語A(カンボジア語Ⅲ-5)	3 • 4(3)	1			兼1
		地域言語A(カンボジア語III-6)	3 • 4(3)	1			兼1
		地域言語A(カンボジア語Ⅲ-7)	3 • 4(3)	1			兼1
		地域言語A(カンボジア語Ⅲ-8)	3 • 4(3)	1	0		兼1
		地域言語A(ビルマ語 I-1)	1(1)	1	0		兼2
		地域言語A(ビルマ語 I-2)	1(1)	1	0		兼2
		地域言語A(ビルマ語 I -3)	1(1)	1	0		兼2
		地域言語A(ビルマ語 I-4)	1①	1	0		兼2
		地域言語A(ビルマ語 I -5)	1①	1			兼2
		地域言語A(ビルマ語 I -6)	1(1)	1			兼2
		地域言語A(ビルマ語 I -7)	13	1			兼2
世		地域言語A(ビルマ語 I -8)	13				兼2
界			_	1	_		
教	言	地域言語A(ビルマ語 I -9)	13	1	0		兼2
養プ	語	地域言語A(ビルマ語 I -10)	13	1	0		兼2
ノロ	科	地域言語A(ビルマ語 II-1)	2①	1	0		兼2
グ	目	地域言語A(ビルマ語 II -2)	2①	1	0		兼2
ラ		地域言語A(ビルマ語 II-3)	2①	1	0		兼2
ム		地域言語A(ビルマ語 II -4)	2①	1	0		兼2
		地域言語A(ビルマ語 II-5)	2①	1	0		兼2
		地域言語A(ビルマ語 II-6)	2③	1	0		兼2
		地域言語A(ビルマ語 II-7)	2③	1	0		兼2
		地域言語A(ビルマ語Ⅱ-8)	2③	1	0		兼2
		地域言語A(ビルマ語Ⅱ-9)	2③	1	0		兼2
		地域言語A(ビルマ語 II-10)	2③	1	0		兼2
		地域言語A(ビルマ語Ⅲ-1)	3 • 4①	1	0		兼1
		地域言語A(ビルマ語Ⅲ-2)	3 · 4①	1	0		兼1
		地域言語A(ビルマ語Ⅲ-3)	3 • 41	1			兼1
		地域言語A(ビルマ語Ⅲ-4)	3 • 4①	1			兼1
		地域言語A(ビルマ語Ⅲ-5)	3 · 4③	1	0		兼1
		地域言語A(ビルマ語Ⅲ-6)	3 · 4③	1	0		兼1
		地域言語A(ビルマ語Ⅲ-7)	3 · 4③	1	0		兼1
		地域言語A(ビルマ語Ⅲ-8)	3 · 4③	1	0		兼1
		地域言語A(ウルドゥー語 I-1)	1①	1	0		兼2
		地域言語A(ウルドゥー語 I-2)	1①	1	0		兼2
		地域言語A(ウルドゥー語 I-3)	1①	1	0		兼2
		地域言語A(ウルドゥー語 I-4)	1①	1	0		兼2
		地域言語A(ウルドゥー語 I-5)	1①	1	0		兼2
		地域言語A(ウルドゥー語 I-6)	13	1	0		兼2
		地域言語A(ウルドゥー語 I -7)	13	1	0		兼2
		地域言語A(ウルドゥー語 I-8)	13	1	0		兼2
		地域言語A(ウルドゥー語 I-9)	13	1	0		兼2
		地域言語A(ウルドゥー語 I -10)	13	1	0		兼2
		地域言語A(ウルドゥー語Ⅱ-1)	2①	1	0		兼2
		地域言語A(ウルドゥー語Ⅱ-2)	2①	1	0		兼2
		地域言語A(ウルドゥー語Ⅱ-3)	2①	1	0		兼2
		地域言語A(ウルドゥー語Ⅱ-4)	2①	1	0		兼2
		地域言語A(ウルドゥー語Ⅱ-5)	2①	1	0		兼2
		地域言語A(ウルドゥー語Ⅱ-6)	23	1	0		兼2
		地域言語A(ウルドゥー語 II -7)	23	1			兼2
		地域言語A(ウルドゥー語Ⅱ-8)	23	1	0		兼2
		地域言語A(ウルドゥー語Ⅱ-9)	23	1	0		兼2
\perp				 	 	 	/II+=

		地域言語A(ウルドゥー語Ⅱ-10)	23	1	0		兼2
		地域言語A(ウルドゥー語Ⅲ-1)	3 • 41	1	0		兼1
		地域言語A(ウルドゥー語Ⅲ-2)	3 · 4①	1	0		兼1
		地域言語A(ウルドゥー語Ⅲ-3)	3 · 4①	1	0		兼1
		地域言語A(ウルドゥー語Ⅲ-4)	3 · 4①	1	0		兼1
		地域言語A(ウルドゥー語Ⅲ-5)	3 • 43	1			兼1
		地域言語A(ウルドゥー語Ⅲ-6)	3 · 4③	1	0		兼1
		地域言語A(ウルドゥー語Ⅲ-7)	3 • 4(3)	1			兼1
		地域言語A(ウルドゥー語Ⅲ-8)	3 • 43	1	0		兼1
		地域言語A(ヒンディー語 I -1)	1①	1	0		兼1
		地域言語A(ヒンディー語 I-2)	1①	1	0		兼1
		地域言語A(ヒンディー語 I-3)	1①	1	0		兼1
		地域言語A(ヒンディー語 I-4)	1①	1			兼1
		地域言語A(ヒンディー語 I -5)	1①	1	0		兼1
		地域言語A(ヒンディー語 I -6)	13	1	0		兼1
		地域言語A(ヒンディー語 I -7)	13	1	0		兼1
		地域言語A(ヒンディー語 I -8)	13	1	0		兼1
		地域言語A(ヒンディー語 I -9)	13	1	0		兼1
		地域言語A(ヒンディー語 I -10)	13	1	0		兼1
		地域言語A(ヒンディー語 II-1)	2①	1	0		兼1
		地域言語A(ヒンディー語 II-2)	2①	1	0		兼1
		地域言語A(ヒンディー語 II-3)	2①	1	0		兼1
		地域言語A(ヒンディー語 II-4)	2①	1	0		兼1
		地域言語A(ヒンディー語Ⅱ-5)	2①	1	0		兼1
		地域言語A(ヒンディー語 II-6)	2③	1	0		兼1
		地域言語A(ヒンディー語Ⅱ-7)	23	1	0		兼1
		地域言語A(ヒンディー語 II-8)	23	1	0		兼1
		地域言語A(ヒンディー語Ⅱ-9)	2③	1	0		兼1
世		地域言語A(ヒンディー語 II-10)	23	1	0		兼1
界		地域言語A(ヒンディー語Ⅲ-1)	3 • 4①	1	0		兼1
教養	言	地域言語A(ヒンディー語Ⅲ-2)	3 • 4①	1	0		兼1
プ	語科	地域言語A(ヒンディー語Ⅲ-3)	3 · 4①	1	0		兼1
口	目	地域言語A(ヒンディー語Ⅲ-4)	3 • 4①	1	0		兼1
グラ		地域言語A(ヒンディー語Ⅲ-5)	3 · 4③	1	0		兼1
Ĺ		地域言語A(ヒンディー語Ⅲ-6)	3 · 4③	1	0		兼1
		地域言語A(ヒンディー語Ⅲ-7)	3 · 4③	1	0		兼1
		地域言語A(ヒンディー語Ⅲ-8)	3 · 4③	1	0		兼1
		地域言語A(ベンガル語 I -1)	1①	1	0		兼1
		地域言語A(ベンガル語 I -2)	1①	1	0		兼1
		地域言語A(ベンガル語 I -3)	1①	1	0		兼1
		地域言語A(ベンガル語 I -4)	1①	1	0		兼1
		地域言語A(ベンガル語 I -5)	1①	1	0		兼1
		地域言語A(ベンガル語 I-6)	13	1	0		兼1
		地域言語A(ベンガル語 I -7)	13	1	0		兼1
		地域言語A(ベンガル語 I-8)	13	1	0		兼1
		地域言語A(ベンガル語 I-9)	13	1	0		兼1
		地域言語A(ベンガル語 I -10)	13	1	0		兼1
		地域言語A(ベンガル語Ⅱ-1)	2①	1	0		兼1
		地域言語A(ベンガル語Ⅱ-2)	2①	1	0		兼1
		地域言語A(ベンガル語Ⅱ-3)	2①	1	0		兼1
		地域言語A(ベンガル語Ⅱ-4)	2①	1	0		兼1
		地域言語A(ベンガル語Ⅱ-5)	2①	1	0		兼1
		地域言語A(ベンガル語Ⅱ-6)	23	1	0		兼1
		地域言語A(ベンガル語Ⅱ-7)	23	1	0		兼1
		地域言語A(ベンガル語Ⅱ-8)	2③	1	0		兼1
		地域言語A(ベンガル語Ⅱ-9)	23	1	0		兼1
		地域言語A(ベンガル語Ⅱ-10)	23	1	0		兼1
		地域言語A(ベンガル語Ⅲ-1)	3 • 4①	1	0		兼1
		地域言語A(ベンガル語Ⅲ-2)	3 • 4①	1	0		兼1
		地域言語A(ベンガル語Ⅲ-3)	3 • 41	1	0		兼1
		地域言語A(ベンガル語Ⅲ-4)	3 • 4①	1	0		兼1
		地域言語A(ベンガル語Ⅲ-5)	3 · 4③	1	0		兼1
		地域言語A(ベンガル語Ⅲ-6)	3 · 4③	1	0		兼1

		地域言語A(ベンガル語Ⅲ-7)	3 · 4③	1	0	兼1
		地域言語A(ベンガル語Ⅲ-8)	3 • 43	1	0	兼1
		地域言語A(アラビア語 I -1)	1(1)	1	0	兼1
		地域言語A(アラビア語 I -2)	1(1)	1	0	兼1
		地域言語A(アラビア語 I -3)	1(1)	1	0	兼1
			1(1)	_		兼1
		地域言語A(アラビア語 I -4)	_	1	_	
		地域言語A(アラビア語 I -5)	1①	1	0	兼1
		地域言語A(アラビア語 I-6)	13	1	0	兼1
		地域言語A(アラビア語 I -7)	13	1	0	兼1
		地域言語A(アラビア語 I-8)	13	1	0	兼1
		地域言語A(アラビア語 I -9)	13	1	0	兼1
		地域言語A(アラビア語 I −10)	13	1	0	兼1
		地域言語A(アラビア語Ⅱ-1)	2(1)	1	0	兼1
		地域言語A(アラビア語 II -2)	2(1)	1	0	兼1
		地域言語A(アラビア語 II -3)	2(1)	1	0	兼1
		地域言語A(アラビア語Ⅱ-4)	2(1)	1	0	兼1
		地域言語A(アラビア語 II -5)	2(1)	1		兼1
			_		_	1 1 1 " :
		地域言語A(アラビア語 II-6)	2③	1	0	兼1
		地域言語A(アラビア語Ⅱ-7)	2③	1	0	兼1
		地域言語A(アラビア語Ⅱ-8)	23	1	0	兼1
		地域言語A(アラビア語Ⅱ-9)	23	1	0	兼1
		地域言語A(アラビア語Ⅱ-10)	23	1	0	兼1
		地域言語A(アラビア語Ⅲ-1)	3 • 41	1	0	兼1
		地域言語A(アラビア語Ⅲ-2)	3 · 4③	1	0	兼1
		地域言語A(アラビア語Ⅲ-3)	3 • 4(1)	1	0	兼1
		地域言語A(アラビア語Ⅲ-4)	3 • 4(3)	1	0	兼1
		地域言語A(アラビア語Ⅲ-5)	3 • 4(1)	1	0	兼1
		地域言語A(アラビア語Ⅲ-6)	3 • 4(3)	1	0	兼1
		地域言語A(アラビア語III-7)	3 • 4(1)			兼1
444-			_	1	_	
世界		地域言語A(アラビア語Ⅲ-8)	3 • 43	1	0	兼1
教		地域言語A(ペルシア語 I -1)	1①	1	0	兼3
養	言	地域言語A(ペルシア語 I -2)	1①	1	0	兼3
プ	語	地域言語A(ペルシア語 I -3)	1①	1	0	兼3
ログ	科目	地域言語A(ペルシア語 I -4)	1①	1	0	兼3
ラ	Ħ	地域言語A(ペルシア語 I -5)	1①	1	0	兼3
4		地域言語A(ペルシア語 I -6)	13	1	0	兼3
		地域言語A(ペルシア語 I -7)	13	1	0	兼3
		地域言語A(ペルシア語 I -8)	13	1	0	兼3
		地域言語A(ペルシア語 I -9)	13	1	0	兼3
		地域言語A(ペルシア語 I -10)	13	1	0	兼3
		地域言語A(ペルシア語Ⅱ-1)	2①	1		兼3
		地域言語A(ペルシア語 II -2)				
			2①	1	0	兼3
		地域言語A(ペルシア語 II -3)	2①	1	0	兼3
		地域言語A(ペルシア語 II -4)	2①	1	0	兼3
		地域言語A(ペルシア語 II -5)	2①	1	0	兼3
		地域言語A(ペルシア語Ⅱ-6)	23	1	0	兼3
		地域言語A(ペルシア語 II -7)	23	1	0	兼3
		地域言語A(ペルシア語Ⅱ-8)	23	1	0	兼3
		地域言語A(ペルシア語Ⅱ-9)	2③	1	0	兼3
		地域言語A(ペルシア語 II -10)	23	1	0	兼3
		地域言語A(ペルシア語Ⅲ-1)	3 • 4(1)	1	0	兼1
		地域言語A(ペルシア語Ⅲ-2)	3 • 4(1)	1	0	兼1
		地域言語A(ペルシア語Ⅲ-3)	3 • 4①	1	0	兼1
		地域言語A(ペルシア語Ⅲ-4)	3 • 4①		_	兼1
				1	0	
		地域言語A(ペルシア語Ⅲ-5)	3 • 43	1	0	兼1
		地域言語A(ペルシア語Ⅲ-6)	3 • 43	1	0	兼1
		地域言語A(ペルシア語Ⅲ-7)	3 • 43	1	0	兼1
		地域言語A(ペルシア語Ⅲ-8)	3 · 43	1	0	兼1
		地域言語A(トルコ語 I-1)	1①	1	0	兼2
		地域言語A(トルコ語 I-2)	1①	1	0	兼2
		地域言語A(トルコ語 I-3)	1①	1	0	兼2
		地域言語A(トルコ語 I-4)	1①	1	0	兼2
		地域言語A(トルコ語 I-5)	1①	1	0	兼2
						///

		地域言語A(トルコ語 I-6)	13	1	0		兼2
		地域言語A(トルコ語 I -7)	13	1	0		兼2
		地域言語A(トルコ語 I-8)	13	1	0		兼2
		地域言語A(トルコ語 I-9)	13	1	0		兼2
		地域言語A(トルコ語 I-10)	13	1	0		兼2
		地域言語A(トルコ語Ⅱ-1)	2①	1	0		兼2
		地域言語A(トルコ語 II-2)	2①	1	0		兼2
		地域言語A(トルコ語 II -3)	2①	1	0		兼2
		地域言語A(トルコ語Ⅱ-4)	2①	1	0		兼2
		地域言語A(トルコ語 II-5)	2①	1	0		兼2
		地域言語A(トルコ語 II-6)	2③	1	0		兼2
		地域言語A(トルコ語 II -7)	23	1	0		兼2
		地域言語A(トルコ語II-8)	23	1	0		兼2
		地域言語A(トルコ語 II-9)	23	1	0		兼2
		地域言語A(トルコ語Ⅱ-10)	23	1	0		兼2
		地域言語A(トルコ語Ⅲ-1)	3 • 4(1)	1	0		兼1
		地域言語A(トルコ語Ⅲ-2)	3 • 4(1)	1	0		兼1
		地域言語A(トルコ語Ⅲ-3)	3 • 4(1)	1	0		兼1
		地域言語A(トルコ語Ⅲ-4)	3 • 4(1)	1	0		兼1
		地域言語A(トルコ語Ⅲ-5)	3 • 4(3)	1			兼1
		地域言語A(トルコ語Ⅲ-6)	3 • 43	1			兼1
		地域言語A(トルコ語Ⅲ-7)	3 • 43	1			兼1
		地域言語A(トルコ語Ⅲ-8)	3 • 4(3)				兼1
		地域言語A(日本語 I)	1通	1 10	0	-	兼5
					_		兼5
		地域言語A(日本語 I -1)	1通	14	0		I I ''' I
		地域言語A(日本語 II -1)	2① 2①	1	0		兼2
		地域言語A(日本語 II -2)	_	1	_		兼2
		地域言語A(日本語II-3)	2①	1	0		兼2
		地域言語A(日本語 II -4)	2①	1	0		兼2
Щ		地域言語A(日本語 II -5)	2①	1	0		兼2
世界		地域言語A(日本語 II -6)	23	1	0		兼2
教	言	地域言語A(日本語 II -7)	23	1	0		兼2
養プ	語	地域言語A(日本語 II -8)	23	1	0		兼2
フ ロ	科	地域言語A(日本語 II -9)	23	1	0		兼2
グ	目	地域言語A(日本語Ⅱ-10)	23	1	0		兼2
ラ		地域言語A(日本語総合-1)	13	10	0		兼3
ム		地域言語A(日本語総合-2)	13	10	0		兼3
		地域言語A(日本語総合-3)	13	5	0		兼3
		地域言語A(日本語総合-4)	13	5	0		兼1
		地域言語A(日本語総合-5)	13	5	0		兼1
		地域言語A(日本語総合-6)	11.3	3	0		兼1
		地域言語A(日本語総合-7)	10.3	2	0		兼1
		地域言語A(日本語技能・語彙文法-1)	2.3(1).(3)	1	0		兼1
		地域言語A(日本語技能・語彙文法-2)	2.3(1).(3)	1	0		兼1
		地域言語A(日本語技能・語彙文法-3)	2.3(1).(3)	1	0		兼1
		地域言語A(日本語技能・語彙文法-4)	2.3(1).(3)	1	0		兼1
		地域言語A(日本語技能・語彙文法-5)	2.3(1).(3)	1	0		兼1
		地域言語A(日本語技能・語彙文法-6)	2.3(1).(3)	1	0		兼1
		地域言語A(日本語技能・語彙文法-7)	2.3(1).(3)	1	0		兼1
		地域言語A(日本語技能・読解-1)	2.3(1).(3)	1	0		兼1
		地域言語A(日本語技能・読解-2)	2.3(1).(3)	1	0		兼1
		地域言語A(日本語技能・読解-3)	2.3(1).(3)	1	0		兼1
		地域言語A(日本語技能・読解-4)	2.3(1).(3)	1	0		兼1
		地域言語A(日本語技能・読解-5)	2.3(1).(3)	1	0		兼1
		地域言語A(日本語技能・読解-6)	2.3(1).(3)	1	0		兼1
		地域言語A(日本語技能・読解-7)	2.3(1).(3)	1	0		兼1
		地域言語A(日本語技能・読解-8)	2.30.3	1	0		兼1
		地域言語A(日本語技能・聴解-1)	2.30.3	1	0		兼1
		地域言語A(日本語技能・聴解-2)	2.3(1).(3)	1	0		兼1
		地域言語A(日本語技能・聴解-3)	2.3(1).(3)	1	0		兼1
		地域言語A(日本語技能・聴解-4)	2.3(1).(3)	1	0		兼1
		地域言語A(日本語技能・聴解-5)	2.3(1).(3)	1	0		兼1
		地域言語A(日本語技能・聴解-6)	2.30.3	1	0		兼1

			,					n						
		地域言語A(日本語技能・聴解-7)	2.3(1).(3)]	1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・聴解-8)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・文章表現-1)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・文章表現-2)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・文章表現-3)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・文章表現-4)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・文章表現-5)	2.3(1).(3)		1								兼1	
		地域言語A(日本語技能・文章表現-6)	2.3(1).(3)		1								兼1	i
		地域言語A(日本語技能・文章表現-7) 地域言語A(日本語技能・文章表現-7)	2.3(1).(3)		_									
		_ , _ , _ , _ , _ , _ , _ , _ , _ ,			1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・文章表現-8)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・口頭表現-1)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	i
		地域言語A(日本語技能・口頭表現-2)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・口頭表現-3)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・口頭表現-4)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	i
		地域言語A(日本語技能・口頭表現-5)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・口頭表現-6)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・口頭表現-7)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・口頭表現-8)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	i
		地域言語A(日本語技能・ビジネス日本語-1)	2.3(1).(3)		1								兼1	i
		地域言語A(日本語技能・ビジネス日本語-2)	2.3(1).(3)											
					1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・文学日本語)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・時事-1)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・時事-2)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・時事-3)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・漢字-1)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・漢字-2)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・漢字-3)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・漢字-4)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
		地域言語A(日本語技能・発音)	2.3(1).(3)		1		0						兼1	
	- 1	地域言語A(ウズベク語-1)	2(1)		1		0						兼1	:
		地域言語A(ウズベク語-2)	2(1)		1								兼1	
		地域言語A(ウズベク語-3)	2(1)										兼1	
			_		1		0							
		地域言語A(ウズベク語-4)	2①		1		0						兼1	i
		地域言語A(ウズベク語-5)	2①		1		0						兼1	
#		地域言語A(ウズベク語-6)	2①		1		0						兼1	
世界		地域言語A(ウズベク語-7)	23		1		0						兼1	
教	言	地域言語A(ウズベク語-8)	23		1		0						兼1	
養プ	語	地域言語A(ウズベク語-9)	23		1		0						兼1	
ノロ	科	地域言語A(ウズベク語-10)	2③		1		0						兼1	
グ	\Box	地域言語A(ウズベク語-11)	2③		1		0						兼1	
ラ		地域言語A(ウズベク語-12)	23		1		0						兼1	
7	- 1	地域言語C(アフリカ諸語1)	3(1)		1		0						兼1	
		地域言語C(アフリカ諸語2)	3(3)											
			_		1		0						兼1	
		地域言語C(ヨーロッパ諸語1)	1.2.3.4①		1		0						兼1	
			1.2.3.43		1		0						兼1	
		地域言語C(アジア諸語1)	1.2.3.4①		1		0						兼1	
			1.2.3.43		1		0						兼1	
		地域言語C(オセアニア諸語1)	1.2.3.41		1		0	<u> </u>			$oxed{oxed}$		兼1	
		小計(745科目)		0	881	0	_	0	2	0	0	0	兼81	_
	ľ	英語A1	1①		1		0						兼3	
		英語A2	13		1		0						兼3	
		英語A3	1①		1		0						兼3	
		英語A4	13		1								兼3	
		英語B1	2(1)		1								兼3	
		英語B2	23										兼3	
					1		0							
		英語B3	2①		1		0						兼3	
		英語B4	2③		1		0						兼3	
		英語C1	3①		1		0						兼3	
		英語C2	3③		1		0						兼3	
		英語C3	3①		1		0						兼3	
		英語C4	3③		1		0						兼3	
1 1		2 100												
		小計 (12科目)	_	0	12	0		0	0	0	0	0	兼3	_

		教養外国語(ドイツ語A2)	1.2.33	1		0			兼1
		教養外国語(ドイツ語A3)	1.2.31	1		\circ			兼1
		教養外国語(ドイツ語A4)	1.2.33	1		\circ			兼1
		教養外国語(ドイツ語B1)	2.3.4①	1		\circ			兼1
		教養外国語(ドイツ語B2)	2.3.43	1		0			兼1
		教養外国語(ドイツ語B3)	2.3.4(1)	1		0			兼1
		教養外国語(ドイツ語B4)	2.3.43	1		0			兼1
		教養外国語(フランス語A1)	1.2.3(1)	1		0			兼1
			1.2.3(3)	_					1
		教養外国語(フランス語A2)	_	1		0			兼1
		教養外国語(フランス語A3)	1.2.3①	1		0			兼1
		教養外国語(フランス語A4)	1.2.33	1		0			兼1
		教養外国語(フランス語B1)	2.3.4①	1		0			兼1
		教養外国語(フランス語B2)	2.3.43	1		0			兼1
		教養外国語(フランス語B3)	2.3.4①	1		\circ			兼1
		教養外国語(フランス語B4)	2.3.43	1		\circ			兼1
		教養外国語(イタリア語A1)	1.2.31	1		\circ		1	
		教養外国語(イタリア語A2)	1.2.33	1		\circ		1	
		教養外国語(イタリア語A3)	1.2.3①	1		\circ		1	
		教養外国語(イタリア語A4)	1.2.33	1		0		1	
		教養外国語(イタリア語B1)	2.3.4(1)	1		0		1	
		教養外国語(イタリア語B2)	2.3.43	1		0		1	
		教養外国語(イタリア語B3)	2.3.4(1)	1		0		1	
		教養外国語(イタリア語B4)	2 · 3 · 4 ③					1	
世		教養外国語(イダリノ語B4) 教養外国語(スペイン語A1)	1.2.3(1)	1		0	,	1	
界教			_	1		0	1		
教養	言	教養外国語(スペイン語A2)	1.2.33	1		0	1		
プ	語	教養外国語(スペイン語A3)	1.2.3①	1		0	1		
口	科目	教養外国語(スペイン語A4)	1.2.33	1		0	1		
グ		教養外国語(スペイン語B1)	2.3.41	1		0	1		
ラム		教養外国語(スペイン語B2)	2.3.43	1		0	1		
		教養外国語(スペイン語B3)	2 • 3 • 4①	1		\circ	1		
		教養外国語(スペイン語B4)	2.3.43	1		\circ	1		
		教養外国語(ポルドガル語A1)	1.2.31	1		\circ			兼1
		教養外国語(ポルドガル語A2)	1.2.33	1		\circ			兼1
		教養外国語(ポルドガル語A3)	1.2.31	1		\circ			兼1
		教養外国語(ポルドガル語A4)	1.2.33	1		\circ			兼1
		教養外国語(ポルドガル語B1)	2.3.4①	1		\circ			兼1
		教養外国語(ポルドガル語B2)	2.3.43	1		0			兼1
		教養外国語(ポルドガル語B3)	2.3.4(1)	1		0			兼1
		教養外国語(ポルドガル語B4)	2.3.43	1		0			兼1
		教養外国語(ロシア語A1)	1.2.3(1)	1		0			兼1
		教養外国語(ロシア語A2)	1.2.33	1		0			兼1
		教養外国語(ロシア語A3)	1.2.3(1)	1		0			兼1
		教養外国語(ロシア語A4)	1.2.3(3)	1					兼1
			2.3.4(1)			0			1 1 1
		教養外国語(ロシア語B1) 教養外国語(ロシア語B2)	_	1		0			兼1
		V 12 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2.3.43	1		0			兼1
		教養外国語(ロシア語B3)	2.3.4①	1		0			兼1
		教養外国語(ロシア語B4)	2.3.43	1		0			兼1
		教養外国語(中国語A1)	1.2.3①	1		0			兼1
		教養外国語(中国語A2)	1.2.33	1		0			兼1
		教養外国語(中国語A3)	1.2.31	1		\circ			兼1
		教養外国語(中国語A4)	1.2.33	1		\circ			兼1
		教養外国語(中国語B1)	2.3.41	1		\circ			兼1
		教養外国語(中国語B2)	2.3.43	1		\circ			兼1
		教養外国語(中国語B3)	2.3.4①	1		\circ			兼1
		教養外国語(中国語B4)	2.3.43	1		\circ			兼1
		教養外国語(朝鮮語A1)	1.2.3①	1		\circ			兼1
		教養外国語(朝鮮語A2)	1.2.33	1		0			兼1
		教養外国語(朝鮮語A3)	1.2.3①	1		0			兼1
		教養外国語(朝鮮語A4)	1.2.33	1		0			兼1
		教養外国語(朝鮮語B1)	2.3.4(1)						兼1
			2.3.4(1)	1		0			1 ***
		教養外国語(朝鮮語B2)	_	1		0			兼1
		教養外国語(朝鮮語B3)	2.3.4①	1		0			兼1
		教養外国語(朝鮮語B4)	2.3.43	1		\circ			兼1

		教養外国語(アラビア語A1)	1.2.3①		1			0	1						
		教養外国語(アラビア語A2)	1.2.33		1			0	1						
		教養外国語(アラビア語A3)	1.2.31		1			0	1						
		教養外国語(アラビア語A4)	1.2.33		1			0	1						
		教養外国語(アラビア語B1)	2.3.41		1			0	1						
		教養外国語(アラビア語B2)	2.3.43		1			0	1						
		教養外国語(アラビア語B3)	2.3.4①		1			0	1						
		教養外国語(アラビア語B4)	2.3.43		1			0	1						
		小計(72科目)	_	0	72	0			1	1	1	0	0	兼6	_
		地域基礎1A(北西ヨーロッパ1)	1①		2		0		1						
		地域基礎2A(北西ヨーロッパ1)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎2A(北西ヨーロッパ2)	13		2		\circ							兼1	
		地域基礎2A(中央ヨーロッパ1)	1①		2		0		1						
		地域基礎2A(中央ヨーロッパ2)	13		2		\circ							兼1	
		地域基礎2A(中央ヨーロッパ3)	1①		2		\circ			1					
		地域基礎2A(中央ヨーロッパ4)	13		2		0		1						
		地域基礎2A(中央ヨーロッパ5)	1①		2		\circ							兼1	
		地域基礎2A(中央ヨーロッパ6)	13		2		0							兼1	
世		地域基礎2B(中央ヨーロッパ1)	1①		2		0		1						
界		地域基礎2A(西南ヨーロッパ1)	1①		2		0		I	1					
教	地	地域基礎2A(西南ヨーロッパ2)	13		2		0				1				
教養プ		地域基礎2A(西南ヨーロッパ3)	1①		2		0		I	1					
フロ	科	地域基礎2A(西南ヨーロッパ4)	13		2		0							兼1	
グ	目	地域基礎2A(西南ヨーロッパ5)	1①		2		0							兼1	
ラ		地域基礎2A(西南ヨーロッパ6)	1③		2		0							兼1	
ム		地域基礎2A(西南ヨーロッパ7)	1(1)		2		0							兼1	
		地域基礎2A(西南ヨーロッパ8)	13		2		0							兼1	
		地域基礎2A(西南ヨーロッパ9)	1①		2		0				1			711.	
		地域基礎2B(西南ヨーロッパ1)	1(1)		2		0							兼1	
		地域基礎2B(西南ヨーロッパ2)	13		2		0							兼1	
		地域基礎1A(ロシア1)	1(1)		2		0		1					7114-	
		地域基礎2A(ロシア1)	1①		2		0		1						
		地域基礎2A(ロシア2)	13		2		0				1				
		地域基礎2A(北アメリカ1)	1(1)		2		0		1		-				
		地域基礎2A(北アメリカ2)	13		2		0		1						
		地域基礎2A(北アメリカ3)	1(1)		2		0		1						
		地域基礎1A(ラテンアメリカ1)	1(1)		2		0		1						
		地域基礎1A(ラテンアメリカ2)	13		2		0		1		1				
		地域基礎1A(ラテンアメリカ3)	1①		2		0		1		1				
		地域基礎1A(日本1)	1①		2		0		1					兼1	
		地域基礎1A(日本2)	13		2		0							兼1	
		地域基礎2A(日本1)	1①		2		0		I					兼1	
		地域基礎2A(日本1) 地域基礎2A(日本2)	13		2		0		I					兼1	
		地域基礎2A(日本2)	1①		2		0		I		1			₩Ⅰ	
		地域基礎2A(日本4)	13		2		0		1		1				
		地域基礎2A(東アジア1)	1(1)		2		0		1						
		地域基礎2A(東アジア2)	13		2		0		1						
		地域基礎2A(東アジア3)	1①		2		0		1						
		地域基礎2B(東アジア1)	13		2		0		1	1					
		地域基礎2B(東アジア2)	1①		2		0			1					
		地域基礎2B(東アジア3)	1(1)		2		0		I	1				兼1	
		地域基礎1A(東南アジア1)	1①		2		0		I					兼1	
		地域基礎18(東南アジア1)	13		2		0		I					兼1	
		地域基礎1B(東南アジア2)	1①		2		0		1					₩1	
		地域基礎2A(東南アジア1)	13		2		0		1					兼1	
		地域基礎2A(東南アジア1) 地域基礎2A(東南アジア2)	1(1)		2		0		I					兼1 兼1	
		地域基礎2A(東南アジア3)	_		2		_		I	,				朮Ⅰ	
		地域基礎2A(東南アンア3) 地域基礎2A(東南アジア4)	13		2		0		I	1					
		地域基礎2A(東南アンア4) 地域基礎2A(東南アジア5)	1①				0			1				兼1	
			13		2 2		0		,					朮Ⅰ	
		地域基礎2A(東南アジア6)	1①		_		0		1						
		地域基礎2A(東南アジア7)	1①		2		0		1						
		地域基礎2A(東南アジア8)	13		2		0		1	١,					
		地域基礎2A(東南アジア9)	1①		2		\circ			1					

		地域基礎2A(東南アジア10)	13		2		0			1					
		地域基礎2A(東南アジア11)	1①		2		0		1						
		地域基礎2A(東南アジア12)	13		2		0		1						
		地域基礎2A(東南アジア13)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎2A(東南アジア14)	13		2		0							兼1	
		地域基礎2A(東南アジア15)	1①		2		0							兼1	
			_		_		_								
		地域基礎2B(東南アジア16)	13		2		0							兼1	
		地域基礎1A(南アジア1)	1①		2		0		1						
		地域基礎1B(南アジア 1)	13		2		0		1						
		地域基礎2A(南アジア 2)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎1B(中央アジア1)	13		2		0							兼1	
		地域基礎2A(中央アジア1)	1①		2		0				1				
		地域基礎2A(中央アジア2)	13		2		0				1				
		地域基礎2A(中央アジア3)	1①		2		0				1				
					_		_								
		地域基礎2B(中央アジア4)	13		2		0				1				
		地域基礎2A(西アジア・北アフリカ1)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎2A(西アジア・北アフリカ2)	13		2		0		1						
		地域基礎2A(西アジア・北アフリカ3)	1①		2		0							兼1	
		地域基礎2A(アフリカ1)	1①		2		0				1				
		地域基礎2A(アフリカ 2)	13		2		0		Ĭ	1					
		地域基礎2B(アフリカ1)	1①		2		0		Ĭ	1					
		地域基礎2A(オセアニア1)	1①		2		0		Ĭ	1					
		地域基礎2A(オセアニア 2)	13		2		0			1					
		地域基礎2A(オセアニア3)	1①		2		0		1						
		小計(78科目)	_	0	156	0	_		17	8	10	0	0	兼23	_
		<地域社会研究コース>													
		地域社会研究入門 I A	1(1)		2		0		2	1					
		地域社会研究入門 I B	1③		2		0		2						
		<現代世界論コース>													
		現代世界論入門IA	1(1)		2		0		1						
			_						1					->	
		現代世界論入門 I B	13		2		0							兼1	
		現代世界論入門 II A	1①		2		0							兼1	
		現代世界論入門ⅡB	13		2		0							兼1	
		現代世界論入門ⅢA	1①		2		0							兼1	
	導	現代世界論入門ⅢB	13		2		0		1					兼1	
	入	<国際関係コース>													
	科	政治学入門A	1①		2		0		1						
	目	政治学入門B	13		2		0		1						
専			_		_		_		1						
修プ		法学入門A	1①		2		0			1					
D		法学入門B	13		2		0			1					
グ		経済学入門A	1①		2		0			1					
ラ		経済学入門B	13		2		0			1					
ム		経営学入門A	1①		2		0					1			
		経営学入門B	13		2		0					1			
		国際関係論入門A	1①		2		0		2			_		兼1	
		国際関係論入門B	13		2		0				1			/IV1	
		小計 (18科目)	-	0	36	0			8	3	1	1	0	兼6	_
				U	30	U		1	0	3	1	1	U	飛♡	
		<地域社会研究コース>					_								
		地域社会研究概論ⅡA	2①		2		0		2	1					
		地域社会研究概論ⅡB	23		2		0		2						
		<現代世界論コース>					_								
		現代世界論概論IA	2①		2		0								
	4pm	現代世界論概論 I B	2③		2		0							兼2	
	概論	現代世界論概論IIA	2①		2		0							兼1	
	神	現代世界論概論 II B	23		2		0		Ĭ					兼1	
	目		40))		l					朮Ⅰ	
		<国際関係コース>	- @		_										
		国際政治学概論A	2①		2		0		Ĭ		1				
		国際政治学概論B	23		2		0		1						
		国際法概論A	2①		2		0		Ĭ					兼1	
		国際法概論B	2③		2		0		1						
		国際経済概論A	2①		2		0		Ĭ	1					
		国際経済概論B	23		2		0			1	1				
1		国際協力概論A	2(1)		2		0			1	1			兼1	

		国際協力概論B	2③	l	2		0		1			1			
		图原版力做imb 経営学概論A	2①		2		0		1			1			
		程営学概論B	23		2		0								
			20	0	32	0	O	_	7	2	2	1	0	兼6	_
		3-ロッパ地域研究A	3 • 4(2)	U	2	U	0	1	3	3	2	1	U	水0	
		ヨーロッパ地域研究B	2.3.43		2		0		3	3	2				
		ヨーロッパ地域研究A(専門演習)	3 • 4(1)		2		0		3	3	2				
		ヨーロッパ地域研究B(専門演習)	3 • 4(3)		2				3	3	2				
		コーロッパ地吸研元D(専門債首) アメリカ地域研究A	3 • 4①		2		0 0		3	3	2				
			_		2		_								
		アメリカ地域研究B	2.3.43				0		3						
		アメリカ地域研究A(専門演習)	3 • 41		2		0		3						
		アメリカ地域研究B(専門演習)	3 • 43		2		0		3						
		ユーラシア地域研究A	3 • 4①		2		0		1		4				
		ユーラシア地域研究B	2.3.43		2		0		1		4				
		ユーラシア地域研究A(専門演習)	3 • 41		2		0		1		4				
		ユーラシア地域研究B(専門演習)	3 • 43		2		0		1		4				
専		日本地域研究A	3 • 4①		2		0		2		1				
修プ		日本地域研究B	2.3.43		2		0		2		1				
口口		日本地域研究A(専門演習)	3 • 4①		2		0		3		1				
グ		日本地域研究B(専門演習)	3 • 43		2		0		3		1				
ラム		東アジア地域研究A	3 • 4①		2		0		1	2					
		東アジア地域研究B	2.3.43		2		0		1	2					
	専	東アジア地域研究A(専門演習)	3 • 4①		2		0		2	2					
	門科	東アジア地域研究B(専門演習)	3 • 43		2		0		2	2					
	目	東南アジア地域研究A	3 • 4①		2		0		3	2					
		東南アジア地域研究B	2.3.43		2		0		3	2					
	地	東南アジア地域研究A(専門演習)	3 · 4①		2		0		3	2					
	域社	東南アジア地域研究B(専門演習)	3 · 4③		2		0		3	2					
	会	オセアニア地域研究A	3 · 4①		2		0			1					
	研	オセアニア地域研究B	2.3.43		2		0			1					
	究コ	オセアニア地域研究A(専門演習)	3 · 4①		2		0			1					
	1	オセアニア地域研究B(専門演習)	3 · 4③		2		0			1					
	ろ	中東地域研究A	3 · 4①		2		0		2						
		中東地域研究B	2.3.43		2		0		2						
		中東地域研究A(専門演習)	3 • 4①		2		0		1						
		中東地域研究B(専門演習)	3 · 4③		2		0		1						
		南アジア地域研究A	3 · 4①		2		0		1						
		南アジア地域研究B	2.3.43		2		\circ		1						
		南アジア地域研究A1(専門演習)	3 · 4①		2		\circ		1						
		南アジア地域研究B1(専門演習)	3 · 4③		2		\circ		1						
		アフリカ地域研究A	3 · 4①		2		0			1	1				
		アフリカ地域研究B	2.3.43		2		\circ			1	1				
		アフリカ地域研究A1(専門演習)	3 · 4①		2		0			1	1				
		アフリカ地域研究B1(専門演習)	3 · 4③		2		\circ			1	1				
		トランス・リージョナルA	3 · 4①		2		\circ		1						
		トランス・リージョナルB	2.3.43		2		\circ		1						
		トランス・リージョナルA1(専門演習)	3 • 41		2		0		1						
		トランス・リージョナルB1(専門演習)	3 · 4③		2		\circ		1						
		人文地理学A	3 • 4①		2		\circ							兼1	
		自然地理学B	2.3.43		2		0							兼1	
		地誌学A	3 • 41		2		\circ							兼1	
		小計 (47科目)	_	0	94	0		_	18	10	9	0	0	兼3	_
1		現代世界史論A	3 • 41		2		0							兼1	
1	専	新時代知性論A	3 • 41		2		\circ		1						
	門科	新時代知性論B	2.3.43		2		0		1						
	B	新時代知性論A1(専門演習)	3 • 4①		2		\circ		1						
1	現	新時代知性論B1(専門演習)	3 • 43		2		0		1						
	代世	社会人類学A	3 · 4①		2		0		1						
	界	社会人類学B	2.3.43		2		0		1						
	論コー	社会人類学A1(専門演習)	3 · 4①		2		0		1						
	ース	社会人類学B1(専門演習)	3 · 4③		2		0		1						
		ジェンダー論A	3 • 4①		2		0		1						
		ジェンダー論B	2.3.43		2		0		1						
	•		•												

		ジェンダー論A1(専門演習)	3 • 4①		2		0		1						
		ジェンダー論B1(専門演習)	3 · 4③		2		0		1						
		教育社会学A	3 • 4(1)		2		0			1					
		教育社会学B	2.3.43		2		0			1					
		教育社会学A1(専門演習)	3 • 4(1)		2		0			1					
		教育社会学B1(専門演習)	_		_										
			3 • 43		2		0			1				24.	
		社会学A	3 • 4①		2		0							兼1	
		社会学B	2.3.43		2		0							兼1	
	車	社会学A1(専門演習)	3 · 4①		2		0							兼1	
	門	社会学B1(専門演習)	3 · 4③		2		\circ							兼1	
	科	哲学・社会思想A	3 • 4①		2		0							兼2	
	目	哲学·社会思想B	2.3.43		2		0							兼2	
専	(]	哲学・社会思想A1(専門演習)	3 • 41		2		0		1						
修	現代	哲学·社会思想B1(専門演習)	3 • 4(3)		2		0		1						
プ	世	政治理論A	3 • 4(1)		2		0		1						
口	界		_		2										
グ	論	政治理論B	2.3.43		_		0		1						
ラム	コー	政治理論A1(専門演習)	3 · 4①		2		0		1						
Δ	7	政治理論B1(専門演習)	3 · 4③		2		0		1						
	ろ	グローバル・スタディーズA	3 · 4①		2		0		2						
		グローバル・スタディーズB	2.3.43		2		0		2						
		グローバル・スタディーズA1(専門演習)	3 • 4①		2	1	0		1						
		グローバル・スタディーズA2(専門演習)	3 • 4①		2		0		1						
		グローバル・スタディーズB1(専門演習)	3 • 4(3)		2		0		1						
		グローバル・スタディーズB2(専門演習)	3 • 43		2		0		1						
			_				_		1					26.	
		現代日本史論A	3 • 4①		2		0							兼1	
		エスノポリティクスA	3 • 4①		2		0		1						
		エスノポリティクスB	2.3.43		2		0		1						
		エスノポリティクスA(専門演習)	3 · 4①		2		0		1						
		エスノポリティクスB(専門演習)	3 • 43		2		0		1						
		小計 (40科目)	_	0	80	0		_	8	1	0	0	0	兼5	_
		国際政治論A	3 • 41		2		0							兼1	
		国際関係論A	3 • 4(1)		2				1		1				
		国際関係論A 国際関係論B	3 · 4① 2·3·4③		_		0							兼1	
		国際関係論B	2.3.43		2		0		1		1			兼1	
		国際関係論B 国際関係論A1(専門演習)	2·3·4③ 3·4①		2 2		0 0 0		1 1		1 1			兼1	
		国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習)	2·3·4③ 3·4① 3·4③		2 2 2		0000		1		1				
		国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際地域論A	2·3·4③ 3·4① 3·4③ 3·4①		2 2 2 2		00000		1 1		1 1			兼2	
	-	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際地域論A 国際地域論B	2·3·43 3·41 3·43 3·41 2·3·43		2 2 2 2 2 2		0000		1 1		1 1				
		国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際地域論A 国際地域論B 国際協力論A	2·3·43 3·41 3·43 3·41 2·3·43 3·41		2 2 2 2 2 2 2		00000		1 1		1 1			兼2	
	門	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際地域論A 国際地域論B 国際協力論A	2·3·43 3·41 3·43 3·41 2·3·43		2 2 2 2 2 2		000000		1 1		1 1 1			兼2	
		国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際地域論A 国際地域論B 国際協力論A	2·3·43 3·41 3·43 3·41 2·3·43 3·41		2 2 2 2 2 2 2		0000000		1 1		1 1 1			兼2	
	門科	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際地域論A 国際地域論B 国際協力論A 国際協力論A	2·3·43 3·40 3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43		2 2 2 2 2 2 2 2		000000000		1 1		1 1 1 1			兼2	
	門科目(国	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際地域論A 国際地域論B 国際協力論A 国際協力論B	2·3·43 3·40 3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 3·40 3·43		2 2 2 2 2 2 2 2 2		00000000000		1 1		1 1 1 1 1 1			兼2	
	門科目(国際	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際地域論A 国際地域論B 国際協力論A 国際協力論B 国際協力論B 国際協力論B(専門演習) 国際協力論B(専門演習) 比較政治論A	2·3·43 3·40 3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 3·43 3·40		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		000000000000		1 1 1 1		1 1 1 1 1 1			兼2	
	門科目(国際関	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際地域論A 国際地域論B 国際協力論A 国際協力論B 国際協力論B 国際協力論B(専門演習) 国際協力論B(専門演習) 比較政治論A 比較政治論A	2·3·43 3·40 3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 3·40 2·3·43		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		0000000000000		1 1 1		1 1 1 1 1 1			兼2	
	門科目(国際関	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際地域論A 国際地域論B 国際協力論A 国際協力論B 国際協力論B(専門演習) 国際協力論B(専門演習) 比較政治論A 比較政治論B 比較政治論B	2·3·43 3·40 3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		000000000000000		1 1 1 1 1 1 2		1 1 1 1 1 1			兼2	
	門科目(国際関係コー	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際地域論A 国際地域論B 国際協力論A 国際協力論B 国際協力論B(専門演習) 国際協力論B(専門演習) 比較政治論A 比較政治論B 比較政治論B 比較政治論B1(専門演習)	2·3·43 3·40 3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		0000000000000000		1 1 1		1 1 1 1 1 1			兼2 兼2	
	門科目(国際関係コ	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際地域論A 国際地域論B 国際協力論A 国際協力論B 国際協力論B(専門演習) 国際協力論B(専門演習) 比較政治論A 比較政治論A 比較政治論B 比較政治論BI(専門演習) 比較政治論BI(専門演習)	2·3·43 3·40 3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		00000000000000000		1 1 1 1 2 2		1 1 1 1 1 1			兼2 兼2 兼3	
	門科目(国際関係コー	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際地域論A 国際地域論B 国際協力論A 国際協力論B 国際協力論B(専門演習) 国際協力論B(専門演習) 比較政治論A 比較政治論B 比較政治論B 比較政治論B 比較政治論B1(専門演習) 比較政治論B1(専門演習)	2·3·43 3·40 3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43				0000000000000000000		1 1 1 1 1 1 2		1 1 1 1 1 1			兼2 兼2	
	門科目(国際関係コー	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際地域論A 国際地域論B 国際協力論A 国際協力論B 国際協力論B(専門演習) 国際協力論B(専門演習) 比較政治論A 比較政治論B 比較政治論B 比較政治論B 比較政治論B 比較政治論B 比較政治論B 以中政治論B 以中政治論B 以中政治論B 以中政治論B 以中政治論B 以中政治論B 以中政治論B 以中政治	2·3·43 3·40 3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		00000000000000000		1 1 1 1 2 2		1 1 1 1 1 1			兼2 兼2 兼3	
	門科目(国際関係コー	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際地域論A 国際地域論B 国際協力論A 国際協力論B 国際協力論B(専門演習) 国際協力論B(専門演習) 比較政治論A 比較政治論B 比較政治論B 比較政治論B 比較政治論B1(専門演習) 比較政治論B1(専門演習)	2·3·43 3·40 3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43				0000000000000000000		1 1 1 1 2 2		1 1 1 1 1 1			兼2 兼2 兼3	
	門科目(国際関係コー	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際地域論A 国際地域論B 国際協力論A 国際協力論B 国際協力論B(専門演習) 国際協力論B(専門演習) 比較政治論A 比較政治論B 比較政治論B 比較政治論B 比較政治論B 比較政治論B 比較政治論B 以中政治論B 以中政治論B 以中政治論B 以中政治論B 以中政治論B 以中政治論B 以中政治論B 以中政治	2·3·43 3·40 3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 3·40 3·43 3·40 3·40 3·43 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 1 2 2 1 1		1 1 1 1 1 1			兼2 兼2 兼3	
	門科目(国際関係コー	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際地域論A 国際地域論B 国際協力論A 国際協力論B 国際協力論B(専門演習) 国際協力論B(専門演習) 比較政治論A 比較政治論B 比較政治論B 比較政治論B的(專門演習) 比較政治論B的(專門演習) 比較政治論B的(專門演習) 上較政治論B的(專門演習) 上較政治論B的(專門演習) 国際法A 国際法A 国際法B	2·3·43 3·40 3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 3·40 3·43 3·40 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40				000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 1 2 2 1 1		1 1 1 1 1 1			兼2 兼2 兼3 兼1	
	門科目(国際関係コー	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際地域論A 国際地域論B 国際協力論A 国際協力論B 国際協力論B(専門演習) 国際協力論B(専門演習) 比較政治論A 比較政治論A 比較政治論B 比較政治論B的(專門演習) 比較政治論B的(專門演習) 比較政治論B的(專門演習) 上較政治論B的(專門演習) 国際法A 国際法A 国際法B 国際法A(專門演習) 国際法B(專門演習)	2·3·43 3·40 3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40				000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 1 2 2 1 1	1	1 1 1 1 1 1			兼2 兼2 兼3 兼1	
	門科目(国際関係コー	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際地域論A 国際協力論A 国際協力論B 国際協力論B(専門演習) 国際協力論B(専門演習) 比較政治論B 比較政治論B 比較政治論B(専門演習) 比較政治論B1(専門演習) 比較政治論B1(専門演習) 医際法A 国際法B 国際法B 国際法B(專門演習) 国際機構論A 国際機構論B 法学A	2·3·43 3·40 3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40				000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 1 2 2 1 1	1 1	1 1 1 1 1 1			兼2 兼2 兼3 兼1 兼1 兼1	
	門科目(国際関係コー	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際規係論B1(専門演習) 国際地域論A 国際地域論B 国際協力論A 国際協力論B 国際協力論B(専門演習) 比較政治論A 比較政治論B 比較政治論BB 比較政治論B1(専門演習) 比較政治論B1(専門演習) 国際法A 国際法A 国際法B 国際法A(専門演習) 国際法B 国際法B(専門演習)	2·3·43 3·40 3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43				000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 1 2 2 1 1	1	1 1 1 1 1 1			兼2 兼2 兼3 兼1	
	門科目(国際関係コー	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際地域論B 国際地域論B 国際協力論A 国際協力論B 国際協力論B(専門演習) 比較較政治論A 比較較政治論BB 比較政治治論B1(専門演習) 比較政治論B1(専門演習) 国際法A 国際法B 国際法A(専門演習) 国際法B 国際法B(専門演習) 国際機構論B 法学A 法学B	2·3·43 3·40 3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·40 2·				000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 1 2 2 1 1	1 1	1 1 1 1 1 1			兼2 兼2 兼3 兼1 兼1 兼1	
	門科目(国際関係コー	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際地域論A 国際地域論B 国際協力論A 国際協力論A(専門演習) 国際協力論B(専門演習) 比較政治論AB 比較政治論論B 比較政治治論B1(専門演習) 比較政治治論B1(専門演習) 国際法A 国際法B 国際法B 国際法B(専門演習) 国際機構論A 国際機構論B 法学A 法学B(専門演習)	2·3·43 3·40 3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 3·40 2·3·43 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40				000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 1 2 2 1 1	1 1 1	1 1 1 1 1 1			兼2 兼2 兼3 兼1 兼1 兼1	
	門科目(国際関係コー	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際地域論A 国際地域論B 国際協力論A 国際協力論A(専門演習) 国際協力論A(専門演習) 比較政治論A 比較政治論論B 比較政治論論B1(専門演習) 比較政治論論B1(専門演習) 国際法A 国際法A 国際法B 国際法A1(専門演習) 国際機構論A 国際機構論B 法学B 国際機構論B 法学B 法学B 法学B	2·3·43 3·40 3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40				000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 1 2 2 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1			兼2 兼2 兼3 兼1 兼1 兼1	
	門科目(国際関係コー	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際地域論A 国際地域論B 国際協力論A 国際協力論A(専門演習) 国際協力論A(専門演習) 比較政治論A 比較政治論AB 比較政治治論B1(専門演習) 比較較政治治論B1(専門演習) 国際法A 国際法A 国際法B 国際法A1(専門演習) 国際機構論A 国際機構論B 法学A 国際機構論B 法学A 医等(專門演習)	2·3·43 3·40 3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40				000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 1 2 2 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1 1 1			兼2 兼2 兼3 兼1 兼1 兼1	
	門科目(国際関係コー	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際地域論B 国際協力論A 国際協力論B 国際協力論B(専門演習) 比較政治論B 比較政治論B 比較政治論B 比較政治論BB 比較政治論BB1(専門演習) 国際法A 国際法A 国際法B 国際法A1(専門演習) 国際法B1(專門演習) 国際機構論B 法学A 医際機構論B 法学A 医等格(專門演習)	2·3·43 3·40 3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·				000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 1 2 2 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1			兼2 兼2 兼3 兼1 兼1 兼1	
	門科目(国際関係コー	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際地域論A 国際地域論B 国際協力論A 国際協力論A(専門演習) 国際協力論A(専門演習) 比較政治論A 比較政治論AB 比較政治治論B1(専門演習) 比較較政治治論B1(専門演習) 国際法A 国際法A 国際法B 国際法A1(専門演習) 国際機構論A 国際機構論B 法学A 国際機構論B 法学A 医等(專門演習)	2·3·43 3·40 3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40				000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 1 2 2 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1			兼2 兼2 兼3 兼1 兼1 兼1	
	門科目(国際関係コー	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際地域論B 国際協力論A 国際協力論B 国際協力論B(専門演習) 比較政治論B 比較政治論B 比較政治論B 比較政治論BB 比較政治論BB1(専門演習) 国際法A 国際法A 国際法B 国際法A1(専門演習) 国際法B1(專門演習) 国際機構論B 法学A 医際機構論B 法学A 医等格(專門演習)	2·3·43 3·40 3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·				000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 1 2 2 1 1	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1			兼2 兼2 兼3 兼1 兼1 兼1	
	門科目(国際関係コー	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際関係論B 国際協力論A 国際協力論B 国際協力論B(専門演習) 比較政治論B 比較政治論B 比較政治論BB(専門演習) 比較政治論BB(專門演習) 国際法A 国際法A 国際法B 国際法B1(專門演習) 国際法B1(專門演習) 国際機構論B 法学A 法学B 法学A 法学B 経済学B 経済学B 経済学B(專門演習)	2·3·43 3·40 3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40				000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 1 2 2 1 1	1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			兼2 兼2 兼3 兼1 兼1 兼1	
	門科目(国際関係コー	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際関係論B 国際協力論A 国際協力論B 国際協力論A(専門演習) 比較政治論B 比較政治論B 比較政治論B 比較政治論B的以治論B 比較較治論B的以為論A1(專門演習) 因際勝為A1(專門演習) 国際法B 国際法B 国際法B 国際法B 国際法B 国際機構論B 法学名 法学B 法学A 经済学B 経済学B (專門演習) 経済学B(專門演習) 経済学B(專門演習) 經済学B(專門演習) 經済学B(專門演習) 網発経済学B	2·3·43 3·40 3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40				000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 1 2 2 1 1	1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			兼2 兼2 兼3 兼1 兼1 兼1	
	門科目(国際関係コー	国際関係論B 国際関係論A1(専門演習) 国際関係論B1(専門演習) 国際関係論A 国際協力論A 国際協力論B 国際協力論B(専門演習) 国際協力論A(専門演習) 比較政政治論B 比較政治論B的 比較政治論B的 比較政治論B的 比較政治論B的 比較政治論B的 以上的政治論B的 以上的政治論B的 以上的政治論B的 以上的政治論B的 以上的政治論B的 以上的政治論B的 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的政治 以上的 以上的 以上的 以上的 以上的 以上的 以上的 以上的 以上的 以上的	2·3·43 3·40 3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 2·3·43 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40 3·40				000000000000000000000000000000000000000		1 1 1 1 1 2 2 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1				兼2 兼2 兼3 兼1 兼1 兼1	

_		Property and the second	T		-		_								
		国際教育論A	3 • 4①		2		0		1						
		国際教育論B	2.3.43		2		0		1						
		国際教育論A1(専門演習)	3 · 4①		2		0		1						
		国際教育論B1(専門演習)	3 · 4③		2		0		1						
		平和・紛争論A	3 • 4①		2		0		2						
		平和・紛争論B	2.3.43		2		0		1						
	専門	平和・紛争論A1(専門演習)	3 · 4①		2		0		2						
	科	平和・紛争論B1(専門演習)	3 · 43		2		0		2						
#	目	政治学A	3 · 4①		2		0							兼1	
専修	(]	政治学B	2.3.43		2		0							兼2	
プ	国際	経営学A	3 • 4①		2		0							兼2	
口	関	経営学B	2.3.43		2		0							兼2	
グラ	係	国際事情A	3 • 4①		2		0		1						
Ĺ	コー	国際事情B	2.3.43		2		0		1						
	ス	国際事情 I A(専門演習)	3 • 4①		2		0		1						
)	国際事情 I B(専門演習)	3 • 4①		2		0		1						
		国際事情ⅡA(専門演習)	3 • 43		2		0		1						
		国際事情ⅡB(専門演習)	3 • 43		2		0		1						
		国際経済学A	3 • 4①		2		0				1				
		国際経済学B	2.3.43		2		0				1				
		国際経済学A(専門演習)	3 • 4①		2		0				1				
		国際経済学B (専門演習)	3 • 4③		2		0				1				
		小計 (55科目)	_	0	110	0		_	8	3	4	0	0	兼19	_
	卒	卒業論文演習A	4①	2			0		33	12	15				
	業	卒業論文演習B	42	2			0		33	12	15				
	論	卒業論文・卒業研究	4通	8			0		33	12	15				
	文	小計 (3科目)	_	12	0	0		_	33	12	7.	0	0	0	
					U	V			00	14	15	0	Ü		
		社会科教育法 I	3 • 4①		4	V	0		00	12	15	0	0	兼1	
		社会科教育法 I 社会科教育法 II	3 · 4① 3 · 4③			v	0		00	12	15	0	0	兼1 兼1	
			_		4	v			00	12	15	0	0		
		社会科教育法Ⅱ	3 • 43		4		0		00	12	15	0	0	兼1	
	.,	社会科教育法Ⅱ 地理歴史科教育法	3 · 4③ 3 · 4①		4 4 4		0		00	12	15	0	0	兼1 兼1	
考	牧	社会科教育法Ⅱ 地理歴史科教育法 道徳教育指導論	3 · 4③ 3 · 4① 3 · 4①		4 4 4 2		0 0			12	15	0	0	兼1 兼1 兼1	
Ħ	戠	社会科教育法Ⅱ 地理歴史科教育法 道徳教育指導論 特別活動論	3 · 43 3 · 41 3 · 41 3 · 43		4 4 4 2 2		0 0 0 0		00	12	15	0	0	兼1 兼1 兼1 兼1	
耳	哉 斗	社会科教育法II 地理歴史科教育法 道徳教育指導論 特別活動論 教育方法・技術論	3 · 43 3 · 41 3 · 41 3 · 43 3 · 41		4 4 4 2 2 2		0 0 0 0 0		00	12	15	0	0	兼1 兼1 兼1 兼1	
耳	戠	社会科教育法II 地理歴史科教育法 道徳教育指導論 特別活動論 教育方法・技術論 生徒指導論	3 · 4(3) 3 · 4(1) 3 · 4(1) 3 · 4(3) 3 · 4(3)		4 4 4 2 2 2 2		0 0 0 0 0 0		00	12	15	0	0	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
耳	哉 斗	社会科教育法II 地理歴史科教育法 道徳教育指導論 特別活動論 教育方法・技術論 生徒指導論 教育相談(カウンセリングを含む)	3 · 43 3 · 41 3 · 41 3 · 43 3 · 41 3 · 43 3 · 41		4 4 4 2 2 2 2 2		0000000		00	12	15	0	0	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
耳	哉 斗	社会科教育法II 地理歴史科教育法 道徳教育指導論 特別活動論 教育方法・技術論 生徒指導論 教育相談(カウンセリングを含む) 進路指導論	3 · 43 3 · 40 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43		4 4 4 2 2 2 2 2 2 2		00000000			12	15	0	0	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
耳	哉 斗	社会科教育法II 地理歴史科教育法 道徳教育指導論 特別活動論 教育方法・技術論 生徒指導論 教育相談(カウンセリングを含む) 進路指導論 事前、事後指導	3 · 43 3 · 40 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 40		4 4 4 2 2 2 2 2 2 2 1		000000000			12	15	0	0	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
耳	哉 斗	社会科教育法II 地理歴史科教育法 道徳教育指導論 特別活動論 教育方法・技術論 生徒指導論 教育相談(カウンセリングを含む) 進路指導論 事前、事後指導 教育実習(中学校)	3 · 43 3 · 40 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 40 40		4 4 4 2 2 2 2 2 2 2 1 4		0000000000			12	15	0	0	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
耳	哉 斗	社会科教育法II 地理歴史科教育法 道徳教育指導論 特別活動論 教育方法・技術論 生徒指導論 教育相談(カウンセリングを含む) 進路指導論 事前、事後指導 教育実習(中学校) 教育実習(高等学校)	3 · 43 3 · 40 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 40 40 40	0	4 4 4 2 2 2 2 2 2 2 1 4 2	0	000000000000		0	0	0	0	0	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	_
耳	哉 斗	社会科教育法II 地理歴史科教育法 道徳教育指導論 特別活動論 教育方法・技術論 生徒指導論 教育相談(カウンセリングを含む) 進路指導論 事前、事後指導 教育実習(中学校) 教育実習(高等学校) 教職実践演習	3 · 43 3 · 40 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 3 · 40 3 · 43 40 40 40		4 4 4 2 2 2 2 2 2 2 1 4 2 2		000000000000							兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	

(用紙 日本工業規格A4縦型)

(国)	際日本学	学部国際日本学科)	授業科目の概要	
	斗目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	基礎科目	基礎リテラシー	本授業は、初年次教育として実施する。大学で学ぶ上でまず最初に必要とされる実践的知識とスキルを身につける。具体的には、(1)学内情報システムの利用方法、(2)図書館の活用法、(3)外国語を学ぶための基礎知識、(4)派遣留学やショートビジットなどの本学の留学制度、(5)現代社会のリスクマネージメントなどについて講義する。	
	基 礎 科 目	基礎演習	本授業は、初年次教育として実施する。大学での学習・研究の特質を意識しながら、論文や学術書を読み、レポートや論文を書き、学習や研究の成果をプレゼンテーションするための基本的なスキルを習得することを目標とする。具体的には、読み、書き、発表するための基本的なスキルをいくつかのステップに分けて実践形式で学習する。	
教養科目	現代教養科目	市民社会と協働	本授業では、市民社会への理解と協働のための手法を学ぶ。 差異を乗り越えるための概念にはどのようなものがあるのか。対 話やコミュニケーションは、その差異を乗り越えられるのか。差異 を乗り越えるための方法論として「異文化コミュニケーション」や 「対話」「他者の受容」「多文化主義」などの考え方を学ぶ。ま た、実際に事例に即して、グループディスカッションなどを行い協 働のためのスキルを身につける。	
教養科目	現代教養科目	国際社会と地域	本授業では、社会開発の概念を概観した上で、途上国と呼ばれる 国々における社会開発の課題を考える。また、貧困や災害、紛争に 関する具体的事例を通じ、日本も含めた世界の貧困問題や災害被 害、紛争問題に関する理解を深める。同時に、それぞれの問題に対 して、どのような対策がとられているのかについて学ぶ。	
教養科目	現代教養科目	多文化社会	本授業では、多文化社会論を学ぶ。異なる文化的特徴を持つ人びとは、いかに共生していけるか。日本および日本社会と関連する複数の事例と歴史背景を見ていくことで、多文化社会の現状と課題を理解する視点を養う。具体的には、社会学と文化人類学などにおける蓄積を基に、「グローバル化」と「多文化社会」をキーワードとして、講義内容と映像資料の検討をとおして、日本の近・現代社会の特徴を理解する。	
教養科目	現代教養科目	キャリアのための経営学	本講義では、「キャリアのための経営学」として、マーケティング論と経営学の基本的な概念と思考法を学ぶ。これにより、新聞や雑誌で報じられる事柄を理解し、企業の行動の背後にあるプロセス・メカニズムへの理解を深める。さらに、会計学、とりわけ財務諸表の見方を学ぶ。これにより、企業の公開情報から、その企業の財務状態について自ら簡単な分析をする力を身につける。これらの学習を通じて、「企業」や「経営」について具体的なイメージをつかみ、将来の進路選択に生かす。	
教養科目	現代教養科目	教養としての言語学	本授業では、言語学の基本を学ぶ。私たち人間の認知および社会・文化活動の上で「ことば」は重要な役割をしている。言語学は、「ことば」のしくみや働きをとらえる学問である。本授業では、言語学の基礎的概念を学習し、特定の言語に限らない枠組みを使って人間の「ことば」の働きや仕組みを客観的に説明できるようになることを目指す。	
教養科目	現代教養科目	教養としての統計学	本授業では、統計的推測の基礎について学ぶ、統計学の基礎知識は、論文作成のために調査・実験を行い、データを収集・分析する際にも必須のものだからである。本講義では、基本的な記述統計量の意味を理解するとともに、データから計算できるようになること、確率分布(特に正規分布)の性質を理解し、確率が計算できるようになることなどを目指す。	
教養科目	現代教養科目	歷史学(日本史)	本授業では、大学生に必要な日本史を学ぶ。歴史を主だった事件 や著名な人物の歴史としてとらえるのではなく、日常的な暮らしや ものの考え方に目を配りながら、日本社会の歴史的変遷をみてい く。その際、日本の政治・文化の変遷を東アジア、さらに世界史の 中でとらえる視点を養う。また、具体的な史料や画像を使う。これ により、高校社会科教育の現場で日本の歴史を教えるために必要な 基礎的知識を修得し、歴史を教授するための史料の扱い方と歴史の 見方を身に付けることを目標とする。	

教養科目	現代教養科目	歷史学(世界史)	本授業では、世界史の流れを大づかみに理解し、本学で世界諸地域を学ぶ上で最低限必要な、世界史の知識を身に付けることを目標とする。授業では、とくに、大洋を越えて大陸間の交流が始まった時からの世界史の展開を学ぶ。人類が世界で交流し、ヒト・モノ・技術が広がることにより、社会が変化し歴史が急速に展開してゆく。その大きな動きの中でよく知っている日本史の展開もその流れの一部をなしている。両者を関連づけながら近代がどのような世界であったか理解する。
教養科目	現代教養科目	哲学	本授業では、デカルト、ライプニッツ、カントをとりあげ、近世 形而上学における自我論の概要、特に超越論的観念論を講義する。 また、現象学を存在の学として理解するため、フッサールにおける 超越論的現象学と、その20世紀全体における継承(ハイデッガー、 レヴィナスなど)について紹介する。以上の哲学史の学習を通じ、 哲学とは何かを理解することを目的とする。
教養科目	現代教養科目	憲法	本授業では、最新のテーマを通して、憲法上の重要な問題について紹介する。人権分野については、国家と憲法、人権、幸福追求権、平等権、表現の自由、信教の自由、営業の自由・財産権、人身の自由、刑事手続と冤罪、生存権、思想・良心の自由と天皇制などを、統治分野については、法の支配・法治主義・三権分立、国民主権・選挙制度、国会、内閣、裁判所、財政・地方自治・天皇などを扱う。これにより、憲法学についての知識獲得を目指す。
教養科目	現代教養科目	こころの科学	本授業では、心理学の入門を講義する。心理学は、人間にとって 最も身近な対象をあつかう一方で、奥が深く、誤解されやすい分野 でもある。本講義では、ことばのはたらきやコミュニケーションに 関する話題を中心に、心理学の一般的な知識を学ぶ。そして、ここ ろを科学的にとらえる視点や考え方を身につけて、自己や他者、社 会の理解に活かせるようになることを目標とする。
教養科目	現代教養科目	文化と芸術	本授業では、文化と芸術の1ジャンルとして、近代文学を扱う。 授業では、毎週、近代以降の都市が描かれた詩や小説を読む。学生 は事前に指定された作品を授業までに読んで来ることになる。近代 以降の文学と都市の関係性を知り、作品を深く読解する力を身に付 けること、また文学作品を窓口として「近代」という語がかかえる 諸問題を都市表象の観点から考える力を身に付けることを目標とす る。取り上げる作品は、シャルル・ボードレール「パリの憂鬱」、 森鴎外「舞姫」、エドガー・アラン・ポー「モルグ街の殺人」、江 戸川乱歩「D坂の殺人事件」、松原岩五郎「最暗黒の東京」、樋口一 葉「十三夜」、萩原朔太郎「月に吠える」、萩原朔太郎「猫町」、 李箱「翼」、朴泰遠「小説家仇甫氏の一日」、石川淳「焼跡のイエ ス」など。
教養科目	現代教養科目	情報技法	本授業では、情報機器の操作のために必要な情報処理及び計算機 やネットワークに関する基礎知識と情報機器の操作とソフトウェア の利用に関する技能を習得する。また、情報処理及び計算機、ネットワークに関する基礎知識を習得し、情報を処理するための各種ソフトウェアの利用方法と活用能力を身に付ける。講義形式での説明 と、PCを用いた実習により知識と技能を身に付ける。
教養科目	現代教養科目	教育基礎論	本授業では、受講生が今日の近代化した教育が抱える諸課題を、 歴史的な視点や諸外国の教育のあり方から複眼的に考える視点を身 につけ、これからの学校や家族のあり方を構想することができるこ とを目指す。また、各自の専攻地域の教育に関しディスカッション を行う。これにより、教育の理念、思想の変遷および学校の歴史的 な意味・役割の変化を学び、近代化と学校教育、家族、社会の関係 を批判的に考察し、現代の教育をめぐる諸課題の背景を理解できる ようになることを目標とする。
教養科目	現代教養科目	学習心理学	本授業では、学習心理学の基礎を学ぶ。教育現場では昨今、子どもの学ぶ意欲や学力の低下が指摘されている。しかし、これらの問題を的確に理解するためには、学習・発達に関する基礎理論の習得が欠かせない。本講義では心理学の観点からこれらの問題の背景について理解する。これにより、子どもたちの心身の発達および学習の過程に関わる基礎的な原理を知り、今日の学校現場における主要な問題を、これらの原理から考察することができる能力を高めることを目標とする。
教養科目	現代教養科目	学校教育社会学	本授業では、現代の教育課題について実証的なデータの変化をとらえるとともに、そこに潜む社会的要因や改善のための政策や制度の変化を講義する。また教育課題に関する歴史的経緯や国際比較、様々な立場からの議論を把握するとともに、子どもや学校に対しより有効なアプローチについて検討する。これにより、①日本の教育改革の特徴と課題を主要法規や政策文書、研究動向の理解を通じ理解する、②0ECD諸国との比較から、日本の教育制度や学力政策の位置づけを実証的視点から理解する、③子どもを取り巻く環境の変化、児童生徒のニーズの多様化に伴う学校経営や学級経営の変化の必要性を理解することを目指す。

教養科目	現代教養科目	教育相談	本授業では、教育相談の手法を学ぶ。教育相談とは、児童・生徒、その保護者、教員を対象に行われる、学校教育に関する相談活動のことである。この授業では、授業担当者がスクールカウンセラーや教育相談センターという教育領域で行った実践に基づいて、教育相談活動を説明する。これにより、受講者が教育相談の現状や課題を理解し、自分が教員として相談活動を行うことを想定できるようになることを目標とする。	
教養科目	現代教養科目	進路指導・キャリア教育論	本授業では、進路指導・キャリア教育の基本的な理論や原理については、テキストや映像教材等を用いて講義形式にて行う。また、実態に即した知識を身につけるために、各種実態調査等に基づく分析を課す。さらに、現代日本の青少年を取り巻く社会環境や学校教育システムについても複眼的に捉えることができるよう、諸国のキャリア教育に関するプレゼンテーションを取り入れる。これにより、進路指導・キャリア教育の意義や原理を理解し、ガイダンスやカウンセリングの充実や、学校内外の組織的体制に必要な実態に即した知識を複眼的な視点に基づいて身に付けることを目標とする。	
教養科目	自然科学系科目	健康と医療	本授業では、人体と現在の医学をめぐる諸問題を学ぶ。 我々の生は、医学・医療との普段の関わりによってなりたっている。本講義では、医学・医療の専門家を招き、教養としての医学の基本を講義する。すなわち、人間と医療、医学の基礎1(基本的な考え方)、医学の基礎2(ヒトはなぜ生きられるのか)、人体の構造、人体の機能(呼吸器、循環器、消化器、免疫・アレルギー)、診療の基本、がん、感染症、精神科疾患をとりあげる。本講義では、学生の理解を深めるため、連携協定に基づき、東京医科歯科大学の教員をゲストスピーカーとして招き、具体的な事例紹介も行う。	集中
教養科目	自然科学系科目	環境と科学	本授業では、科学・技術・社会とエコロジーの基本的な考え方を学ぶ。近代化を遂げた現代社会では、科学・技術・社会とエコロジー(Ecology)が、人類と環境の持続可能性を保障している。しかしいまや、これらの恩恵と思想そのものが人類の生存を脅かす事象が多々発生している。この危機にあって、教養ある市民として健全な判断と行動を選択するために必要となる知識と諸概念、そして考え方を学ぶ。本講義では、学生の理解を深めるため、連携協定に基づき、東京農工大学、電気通信大学の教員をゲストスピーカーとして招き、具体的な事例紹介も行う。	
教養科目	教養日本力科目	日本の現在を知る	本授業は、現在の日本社会を、労働の面から学ぶ。授業は英語で行う。授業では、若者の働き方や労働条件の移り変わりに焦点をあて、それにより日本社会の特徴とその変容に対する理解を深めることを目標とする。具体的には、若者の労働や雇用に関する論壇誌(たとえば、『世界』や『中央公論』など)の記事や著書(主に新書や文庫)を手がかりとして、日本社会の変容を追う。受講生は、その知識を踏まえ、日本以外の国や地域について、グループで日本との比較調査・研究も行う。	
教養科目	教養日本力科目	日本の言語を知る	本授業では、生成文法の基本的な考え方を踏まえ、日本語の文に関するデータを処理する方法論を身に付けることを目標とする。その際、英語、その他の言語のデータも利用し、対照的にとらえることで、日本語に対する理解を深める。具体的には、①対照言語学とは何か。言語普遍性と、言語の多様性、②言語の類型と類型論の問題点、③人称代名詞、④代名詞の省略 Pro-drop parameter、⑤照応形、自分、自分自身、彼(女)自身 vs himself/herself;束縛理論、⑥疑問詞、wh-移動の有無、⑦移動の制約、⑧語順と句構造、⑨「私の娘は男の子でした。」うなぎ文、⑩敬語表現、⑪自動詞文 vs 他動詞文 「なる」言語と「する」言語;翻訳 Traduttore, traditore!、⑫時制・アスペクト、について扱う。	
教養科目	教養日本力科目	日本語を教える	本授業では、外国語として日本語を教えるための入門的なスキルを学ぶ。また、日本語と他の言語を対照させながら、日本語について客観的に考察する力を養う。さらに、自己とは異なる言葉を使用し、異なる思考、文化を持つ他者の言語行動やその意図を想像する習慣を身につけることを目指す。授業では、①「よろしくお願いします」はどう訳せばよいのか(あいさつ表現と習慣)、②「生まれる」か「生れる」か(文字・表記)、③「ゴジラ」の誕生(語彙と形態)、④「寒い」と「冷たい」(意味)⑤「わたしは田中です」と「わたしが田中です」(文法)、⑥「行きませんか」と「行きましょうか」(意味・用法)などを講義し、それを踏まえ、グループで留学生に日本語を教える実践を試みる。授業の最後では、実践の成果発表を行う。	

教養科目	教養日本力科目	日本の文学と文化を知る	本授業では日本の伝統芸術について学ぶ。日本人の学生には、自国の文化を英語で学ぶことにより、新たな発見を得させる。留学生には、伝統芸術を通じ、日本の歴史・文化を知る手がかりを与える。毎回異なるテーマの講義を聞き、それらについて討論を行う。また、期間中に、東京国立博物館への見学を行い、実際の作品を鑑賞する。扱う内容は、縄文・弥生文化、仏教と仏像、正倉院の美、平安時代の文化、禅と禅文化、桃山時代と初期江戸時代の美術、琳派、浮世絵、明治時代の超絶技巧など。	
教養科目	教養日本力科目	歴史の中の日本を知る	本授業では、明治期から昭和期までの近現代日本史を学ぶ。講義は英語で行う。19世紀半ばから1980年代までの間、日本は半封建・半中央集権的国家から統一された近代的国民国家へと変化を遂げた。しかし、その近代化の過程において、対外的には帝国主義の道に進み、対内的には権威主義支配と民主化、自由と権利の拡大という相反する政治・社会的要求への対応に苦心した。第二次世界大戦での敗戦後も、日本は「近代化」を追求し、経済的にはより豊かで、また自由で民主主義的な社会へと発展を遂げたが、このジレンマは続き、さまざまな問題を生み続けている。近現代日本における政治、社会経済、思想文化的発展を追いながら、これらのテーマについて考え、理解を深めることを目標とする。	
教養科目	スポーツ身体科	スポーツ	本授業では、サッカー、バスケットボール、テニスなど各種のスポーツを週ごとに行い、基本技術の確認とゲームを行う。また学期当初と最後に新体力テストや体組成の測定を行い変化をみる。受講者がそれぞれの体力や技能に応じてルールや試合方法を工夫して、主体的にスポーツを楽しめるようにする。また受講者間の協力を通してコミュニケーションをはかり、生涯スポーツとして実践できるようにする。	
教養科目	スポーツ身体科	舞踊	本授業では、日本の舞踊と民族舞踊を学ぶ、日本の舞踊は、優雅な「舞」と躍動的な「踊り」という二つの系譜を持ち、多様な身体表現が形成されてきた。また、人々の絆を深める役割も果たしてきた。日本独自の身体技法を体験して日本文化への理解を深めながら、心身の調和と向上を目指す。また、民族舞踊においては、その実践をとおして異なる文化を学びながら、身体機能と表現能力を高める。	
教養科目	スポーツ身体科目	体力づくり	本授業では、各自の体力や体組成あるいは生理機能の推移を把握して、自分にあったトレーニング方法やスポーツについて考える。また、体力づくりの実践を体験し、生涯にわたって実施できる健康体力づくりの方法を修得する。授業では、まず、体力テスト、50m走、持久走、ボール投げにより、各自の体力を測定する。その後、トレーニング機器の使い方と体組成の測定、筋力トレーニングの進め方、有酸素トレーニングの進め方、ジョギング・ウォーキングの進め方などを実際に体験しながら学ぶ。	
教養科目	世界言語科目	古典言語	本授業では、古典研究に必要な言語を学ぶ。うち、サンスクリット語では、サンスクリット語の基本文法の初歩を習得し、サンスクリット文の読解能力の基礎を身につけることを目標とする。授業では、文法事項を順次解説する。それを踏まえ、例文を読解しつつ、理解を深める。あわせてサンスクリット古典文学を紹介し、サンスクリット語の世界に親しむ。	
教養科目	世界言語科目	アジアの言語	本授業では、東アジア、東南アジア、南アジア、西アジアで用いられている言語を扱う。うち、アルタイ諸語については、東アジア、中央アジア、西アジアにまたがる多くのアルタイ諸言語について紹介し、記述言語学の実際や、少数民族の言語や文化、口承文芸にもふれる。これにより、日本語、朝鮮語とも共通する類型であるいわゆるアルタイ型言語の構造を理解し、日本語の起源などについても考える。	
教養科目	世界言語科目	オセアニア・アメリカの言語	本授業では、オセアニアやアメリカの諸言語を学ぶ。うち、「ハイダ語」については、①北米先住民言語一般、②ハイダ族の言語と文化、③言語復興について理解を深める。ハイダ語はカナダ北西海岸地域に居住するハイダ族の言語である。基本的な文法特徴、ハイダ族の社会構造・文化の特性について論じじる。これにより、危機的な状況にある言語全般への理解も深めることを目的とする。	
教養科目	世界言語科目	ヨーロッパの言語	本授業では、ヨーロッパの諸言語を学ぶ。うち、「リトアニア語」では、バルト海東岸に位置するリトアニア共和国の公用語であり、インド・ヨーロッパ(印欧)語族の諸現代語中でも最も古風な形態を保っているバルト語派の言語を学ぶ。本講義では、初歩的な文法を分かり易く概説しリトアニア語の概要についての知識を獲得する。同時に、リトアニアの言語文化を歴史的・社会的背景をふまえつつ紹介し、その文化に親しむことを目的とする。	

教養科目	世界言語科目	アフリカの言語	本授業では、アフリカの諸言語を学ぶ。うち、「アムハラ語」では、文法の説明の後、簡単な例文の読解を行いアムハラ語の概要を掴む。アムハラ語はエチオピアで用いらている言語であり、その歴史的、文化的な側面にも触れる。また言語研究のフィールドワークの例としてエチオピアでの実践例を紹介する。これにより、日本ではなじみの少ないアフリカの言語に親しむことを目標とする。	
教養科目	世界言語科目	手話言語	本授業では、手話を学ぶ。うち「日本手話」では、英語やフランス語などと同様に、外国語として日本手話を学習する。なお一般的な語学の授業では文法学習を主とするが、本授業では会話を重視し、会話中心に進行する。授業では、初対面のろう者との接し方を学び、自己紹介や簡単な日常会話ができるように授業を行う。また言語としての手話やろう文化についても講義し、手話言語への理解を深めることを目的とする。	
教養科目	キャリア協働	キャリアデザイン論	本授業では、現代社会における労働や生活などに関する基礎知識、「人材育成」に着目した企業研究などを通して、自分を活かせる働き方のイメージをつかむともに、自身のキャリアをデザインする上で必要な「情報収集・活用力」「コミュニケーション力」などを育成することを目的とする。	
教養科目	キャリア協働科	就業体験	本授業では、企業において就業体験をし、大学で学んでいることが社会でどのように役立つのか、社会はどのような能力をもつ人材を求めているのかを知る機会とする。これにより、大学での学びと社会とをつなぎ、社会性を養うことを目標とする。なお、この授業で経験するインターンシップは、就職活動と直結するものではなく、2年生を中心とする1、2年生を対象とする。経済同友会との協働で行う。	
教養科目	キャリア協働科目	社会協働	本授業は、異分野の学生とともに学ぶことで、社会協働力を身に付けることを目的として、電気通信大学、東京農工大学と協働で開講する。6つのテーマが設定される。3 大学の学生が混在する形で取り組み、調査及び調査結果の発表に向けて、文系・理系の分野の垣根を越えて協働することで、新たな視点の獲得、読解力、表現力、コミュニケーション能力、課題設定力及び課題解決力等の育成を目指す。うち、本授業では「言語教育工学」を扱い、日本語を学ぶためのアプリケーションを文理協働で作成する。	集中
教養科目	臨地学修科目	短期海外留学	本授業は、本学の協定校へ夏学期・冬学期に短期留学を行うものである。事前学習、現地での学修、事後学習の3部からなり、総合的に成果を評価する。現地での学修は、「各国言語コース」「英語コース」「英語で学ぶ総合型コース」からなる。派遣先の大学数は次のとおり。「各国言語コース」: 7か国14大学「英語で学ぶ総合型コース」: 17か国22大学「英語で学ぶ総合型コース」: 17か国22大学「方ち、「アンカラ大学トルコ語コース」は、トルコ事情や言語力測定などの事前学修、アンカラ大学トルコ語教育センターでの4週間のトルコ語研修、振り返りを含む事後学習からなる。受講者は、アンカラで集中的にトルコ語を学ぶと同時に、トルコ人家庭にホームステイをしトルコの生活を体験する。	集中
教養科目	臨地学修科目	スタディツアー	本授業は、本学が組織する海外研修プログラムである。うち、「国連見学ツアー」では、国際連合本部で現場の職員から、実際の職務内容とその意義、国連の可能性と問題点などの講義を受ける。事前学習、事後のレポートにより評価する。これにより、国連の活動や国際的な課題への理解を深め、世界平和のために自身が何が出来るのかを考える契機とする。	集中
言語科目	基礎日本語科目	日本語初級集中	留学生のための日本語科目。週に10コマの授業により、日本語初級を集中的に学ぶ。①初級レベルの文法事項、②初級レベルの語彙・表現、③ドリル、および教室活動④漢字(約300字)学習、⑤身近なテーマについて発表する、⑥自国の地理や文化について簡単な文を書く・話す。これにより、話す、聞く、読む、書くの4技能において、初級レベルの基礎的な日本語の力を身に付けることを目標とする。	
言語科目	基礎日本語科目	日本語総合-1	留学生のための日本語科目。週に5コマの授業により、日本語初級を集中的に学ぶ。①初級レベルの文法事項、②初級レベルの語彙・表現、③ドリル、および教室活動、④漢字(約300字)学習、⑤身近なテーマについて発表する、⑥自国の地理や文化について簡単な文を書く・話す。これにより、話す、聞く、読む、書くの4技能において、初級レベルの基礎的な日本語の力を身に付けることを目標とする。	

言語科目	基礎日本語科目	日本語総合-2	留学生のための日本語科目。週に5コマの授業により、日本語初級後半から初中級レベルを総合的に学ぶ。①初級後半から初中級レベルの文法事項、②初級後半から初中級レベルの語彙・表現、③ドリル、および教室活動、④漢字学習、⑤身近な事柄について調べて発表する。これにより、話す、聞く、読む、書くの4技能において、初級後半から初中級レベルの総合的な日本語の力を身に付けることを目標とする。
言語科目	基礎日本語科	日本語総合-3	留学生のための日本語科目。週に5コマの授業により、日本語中級(前期)レベルを総合的に学ぶ。①中級(前期)レベルの文法事項、②中級(前期)レベルの単語・表現の学習、③練習と技能養成に向けた活動、④日本や出身国についての社会や文化の情報の交換。これにより、話す、聞く、読む、書くの4技能において、中級(前半)レベルの総合的な日本語の力を身に付けることを目標とする。
言語科目	基礎日本語科目	日本語総合-4	留学生のための日本語科目。週に5コマの授業により、日本語中級レベルの日本語の運用力を身に付ける。すなわち、①語彙リストや辞書を使って、少し抽象的な文章が読める、②文章の論理の展開が読み取れる、③発表やインタビュー会話の要点が聞き取れる、④根拠をあげて自分の意見を述べることができる、⑤スライドなどを使った発表ができる、⑥調べたことや考えたことについて、適切な書き言葉を使って短い文章が書けるようになることを目指す。
言語科目	基礎日本語科	日本語総合-5	留学生のための日本語科目。週に5コマの授業により、中級後半レベルの日本語の運用力を身に付ける。すなわち、論理の展開を考えながら文章(談話)を理解することができる、関連するトピックについて、説明や意見を述べることが出来るなどの能力を身に付ける。これにより、専門的な文章の読解、講義の聴き取りができる力を養成する。
言語科目	基礎日本語科	日本語総合-6	留学生のための日本語科目。週に3コマの授業により、やや抽象 度の高いテーマを含む内容により、上級レベルの日本語運用力を4 技能のすべてにおいて向上させる。授業では、やや専門的な文章の 読解、内容理解、関連資料の読解、口頭発表の技能向上のための活 動を行う。
言語科目	基礎日本語科	日本語総合-7	留学生のための日本語科目。週に2コマの授業により、大学での 学習や研究活動に必要な日本語力を、4技能すべてにわたって向上 させることを目標とする。具体的には、学習者が主体となりグルー プ活動により語彙・文章・読解の力の向上に取組む。また、テキス トを講読し、内容のまとめと発表、ディスカッションやレポート執 筆を日本語で行う力を身に付ける。
言語科目	基礎日本語科	日本語技能-文法	留学生のための授業。日本語の技能のうち、文法力を身に付ける 授業。レベルに応じた文法事項を学び、それらを使った文型・表現 の機能を理解し、文をつくる。これにより、総合的な日本語力のう ち、文法への理解を強化する。
言語科目	基礎日本語科	日本語技能-読解	留学生のための授業。日本語の技能のうち、読解力を身に付ける 授業。レベルに応じた文章を取りあげ、論理展開や文章構造を把握 する力を身に付ける。また、文章を理解するため、社会、文化的な 背景知識の強化につとめる。これにより、総合的な日本語力のう ち、読解力を強化する。
言語科目	基礎日本語科	日本語技能-聴解	留学生のための授業。日本語の技能のうち、聴解力を身に付ける 授業。レベルに応じた談話を取りあげ、論理展開や文章構造を把握 する力を身に付ける。また、文章を理解するため、社会、文化的な 背景知識の強化につとめる。これにより、総合的な日本語力のう ち、読解力を強化する。
言語科目	基礎日本語	日本語技能-文章表現	留学生のための授業。日本語の技能のうち、文章表現力を身に付ける授業。レベルに応じた作文・文章作成、レポート作成などを行い、話言葉とは異なる書き言葉の習得を実現する。これにより、総合的な日本語力のうち、文章表現力を強化する。
言語科目	基礎日本語科	日本語技能一口頭表現	留学生のための授業。日本語の技能のうち、口頭表現力を身に付ける授業。レベルに応じた発話、会話、ディスカッション、プレゼンテーションなどを行い、相手や場面を考え、適切な表現文型を用いて話す力を身に付ける。上級では、ロール・プレイング練習を取り入れる。これにより、総合的な日本語力のうち、口頭表現力を強化する。
言語科目	基礎日本語科	日本語技能ービジネス日本語	留学生のための授業。日本語上級レベルの学生を対象とし、ビジネス日本語について、以下の技能・力を身に付ける。①ビジネス場面で使わる語彙や表現、②依頼や交渉の場面での会話力、③ビジネスメールや履歴書などを書く力、④日本の企業文化や習慣についての理解。以上の獲得を通じ、ビジネスに特化した日本語力を強化する。

言語科目	基礎日本語科目	日本語技能一時事日本語	留学生のための授業。日本語上級レベルの学生を対象とし、時事日本語について、以下の技能・力を身に付ける。①テレビ、ラジオ、新聞、雑誌で取り上げられるニュースを理解し、自分なりの見解をもつ、②ニュースの理解に必要な背景知識を身に付ける、③ディスカッションやディベートを通じ、ニュースに対する自分の見解を深める。以上により、時事に特化した日本語力を強化する。
言語科目	基礎日本語科	日本語技能-漢字	留学生のための授業。日本語の技能のうち、漢字の習得を行う授業。レベルに応じた漢字を学び、その運用力を身に付ける。授業では、毎回、小テストを行い、漢字の定着を図る。
言語科目	専門日本語科	クリティカル・リーディング 1	日本人学生・留学生双方を対象とする学術的な日本語運用能力向 上のための授業。日本の社会、政治、経済を扱う日本語の文献を使 用する。それぞれのテーマについて正確かつ客観的に読解し、か つ、批判的な視野から事象を捉えられる力を身に付けることを目的 とする。
言語科目	専門日本語科目	クリティカル・リーディング 2	日本人学生・留学生双方を対象とする学術的な日本語運用能力向 上のための授業。日本の言語、教育、文化を扱う日本語の文献を使 用する。「クリティカル・リーディング1」で学んだ内容を踏ま え、それぞれのテーマについて正確かつ客観的に読解すると同時 に、関連する文献を検索する力を身に付けることを目的とする。
言語科目	専門日本語科目	コミュニケーション・スキル1	日本人学生・留学生双方を対象とする日本語運用能力向上のための授業。自らの第二言語、外国語学習経験を振り返り、ディスカッションを行い、他者の意見を正確に理解し、自身の考えを適切に伝えることによって、新たな視点を生み出す対話力を身に付けることを目的とする。効果的な発声・発音等の表現スキルも含め、プレゼンテーションやディベートを効果的に行うことができることを主眼とする。
言語科目	専門日本語科目	コミュニケーション・スキル2	日本人学生・留学生双方を対象とする日本語運用能力向上のための授業。国際日本学の4領域(言語・教育・文化・社会)の中からテーマを選び、プレゼンテーション、ディスカッションを行い、他者の意見を正確に理解し、自身の考えを適切に伝えることによって、新たな視点を生み出す対話力を身に付けることを目的とする。効果的な発声・発音等の表現スキルも含め、より効果的なプレゼンテーションやディベートを効果的に行うことができるようにすることを主眼とする。
言語科目	専門日本語科	ライティング・スキル1	日本人学生・留学生双方を対象とする学術的な日本語運用能力向上のための授業。大学での論文、レポート、研究計画の執筆にふさわしい日本語表現を学び、段落構成、論理展開等を含むアカデミックな日本語の文章の執筆が可能となるための力を身に付けることを目的とする。
言語科目	専門日本語科	ライティング・スキル2	日本人学生・留学生双方を対象とする学術的な日本語運用能力向上のための授業。大学での論文執筆に先立ち、「ライティング・スキル1」で学んだ内容を踏まえ、より専門的な用語表現、段落構成、論理展開等を含むアカデミックな日本語の文章の、執筆が可能となるための力を身に付けることを目的とする。
言語科目	専門日本語科	メディア日本語1	日本人学生・留学生を対象とする日本語力向上のための授業。新聞や雑誌等で使用される日本語表現を学び、マスメディアの発信する情報を的確に理解し、その内容を批判的に捉えるメディアリテラシーを身に付ける。
言語科目	専門日本語科	メディア日本語 2	日本人学生・留学生を対象とする学術的な日本語力向上のための 授業。テレビやラジオ等で使用される日本語表現を学び、マスメ ディアの発信する情報を的確に理解し、批判的に捉えるメディアリ テラシーを身に付ける。
言語科目	専門日本語科	キャリア日本語 1	日本人学生・留学生双方を対象とする日本語運用能力向上のため の授業。日本の商習慣やその背景にある日本文化を学び、社会の 様々な場面(面接、交渉、協働等)で的確な行動が取れるように、 基本的な知識を身に付け、敬語を含む適切な日本語を使用する力を 身に付けることを目的とする。

	1		
言語科目	専門日本語科目	キャリア日本語 2	日本人学生・留学生双方を対象とする日本語運用能力向上のための授業。「業界研究」を素材とし、自己アピール発表、模擬面接、業界研究の発表を行う。これにより、社会人としての力を身に付け、同時に、敬語を含む適切な日本語を向上させることを目的とする。
言語科目	専門日本語科目	古文入門 1	留学生を対象とする古文入門授業。基礎的な現代日本語を習得した外国人学生が、日本の文語体の文章に親しむとともに、文語体の文法の初歩を習得する事を目標とする。授業は、配付プリントなどによる初歩的な古文の読解と、教科書などによる古文の言葉に関する基礎知識(文法その他)の学習が中心となる。あわせて、日本古典文学を読む上で必要となる基礎知識(文学の様式、古代日本の歴史・習俗など)についても講義する。本授業では、仮名遣いと用言の活用を中心に学ぶ。併せて、「竹取物語」の一部を読んで散文の実際に触れる。
言語科目	専門日本語科目	古文入門 2	留学生を対象とする古文入門授業。基礎的な現代日本語を習得した 外国人学生が、日本の文語体の文章に親しむとともに、文語体の文 法の初歩を習得する事を目標とする。授業は、配付プリントなどに よる初歩的な古文の読解と、教科書などによる古文の言葉に関する 基礎知識(文法その他)の学習が中心となる。あわせて、日本古典 文学を読む上で必要となる基礎知識(文学の様式、古代日本の歴 史・習俗など)についても講義する。本授業では、助動詞を中心に 用言の諸形態について学ぶ。また、「百人一首」の一部を読んで和 歌の実際に触れる。
言語科目	専門日本語科	漢文入門	留学生を対象とする漢文入門授業。基礎的な現代日本語を習得した外国人学生が、漢文学を研究するための基礎を学ぶ。漢文学作品を読み解くための基礎的な知識や技能を養うことを目標とする。
言語科目	G L 科IP 英語	英語	主に1年次前半の学生を対象とし、英語で発信する力を養う (Production)。英語によって、書く・話す能力の涵養を行う。テーマは、身近な出来事や国際的な事件などを扱う。少人数・能力別のクラス編成で、高校レベルの英語力を大学レベルに引き上げることを目指す。
言語科目	G L 科 I 目 P 英語	英語A2	主に1年次後半の学生を対象とし、英語AIで身に付けた英語で発信する力をさらに向上させる(Production)。それぞれの選んだテーマを英語で、書く・話す活動を行い、その能力を涵養する。少人数・能力別のクラス編成で行う。
言語科目	G L 科IP 英語	英語A3	主に1年次前半の学生を対象とし、英語を分析的・批判的に理解する力を養う(Recepton)。英語で、読む・聞く能力の涵養を行う。テーマは、身近な出来事や国際的な事件などを扱う。少人数・能力別のクラス編成で、高校レベルの英語力を大学レベルに引き上げることを目指す。
言語科目	G L 科IP 英語	英語A4	主に1年次後半の学生を対象とし、英語A3で身に付けた、英語を分析的・批判的に理解する力をさらに向上させる(Recepton)。多様なテーマの英語のテキストを読む訓練を中心に、英語で、読む・聞く能力の涵養を行う。少人数・能力別のクラス編成で行う。
言語科目	G L 科I 月 P 語	英語A5	英語で書かれた日本に関する文献を教材として扱う英語授業。主に1年次前半の学生が履修する。国際日本学に関連する素材を扱い、主にディスカッションやディベートを行う。また、自身の考えを、論理的で説得的な英文でまとめる。これにより、国際日本学部の学びに必要な英語力を身に付ける。
言語科目	G L I P 英語	英語A6	英語で書かれた日本に関する文献を教材として扱う英語授業。主に1年次後半の学生が履修する。国際日本学に関連する素材を扱い、英語A5で身に付けたディスカッションやディベートの力をさらに向上させる。また、自身の考えを、論理的で説得的な英文でまとめる。これにより、国際日本学部の学びに必要な英語力を身に付ける。
言語科目	G L 科I F 英語	英語B1	主に2年次前半の学生を対象とし、英語の運用能力のうち、リーディングを強化する。CEFR B2レベルに相当するアカデミックな英文記事、論説、論文を読み解く力を養う。具体的には以下のことを目標とする。(1)アカデミックリーディングのスキルを伸ばす、(2)リーディングストラテジーを使いこなす力を伸ばす、(3)アカデミックな語彙を増やす、(4)英語で書かれた文章を要約し、要点を掴む力を身に付ける。

	-		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
言語科目	G L I P 英語科	英語B2	主に2年次後半の学生を対象とし、英語の運用能力のうちライティングを強化する。アカデミックライティングの構成や作法を熟知し、まとまりのあるパラグラフおよびアカデミックエッセイを書くことを目標とする。具体的には以下のことを目標とする。(1)構成が明確なパラグラフを書くことができる、(2)構成が明確なエッセイを書くことができる、(3)正しく参考文献を明示することができる。
言語科目	GLIP英語科	英語B3	主に2年次前半の学生に履修させ、英語による講義を経験し、講義 内容を英語で理解する力を身に付ける。テーマごと(Theme-based) に、専門的な内容を英語で学ぶ。 power politics, contemporary global studies、story-telling, Indian litereture, linguistics, physicsなどのテーマが提供される。
言語科目	GLIP英語科目	英語B4	主に2年次後半の学生に履修させ、英語による講義が十分に理解できるレベルまで英語力を高めることを目標とする。英語B3に引き続き、テーマごと (Theme-based)に、専門的な内容を英語で学ぶ。power politics, contemporary global studies、story-telling, Indian litereture, linguistics, physicsなどのテーマについて、英語で学ぶ提供される。
言語科目	G L I P 英語	英語B5	英語で書かれた日本に関する文献を教材として扱う英語授業。主に2年次前半の学生が履修する。国際日本学に関連するテーマで、 英語での読解力を高める。また、理解した内容を論理的で説得的な 英文で要約する訓練を行う。これにより、国際日本学部の学びに必 要な英語力をさらに高度化する。
言語科目	G L I P 英語	英語B6	英語で日本に関するプレゼンテーションを行う英語授業。主に2 年次後半の学生が履修する。それぞれグループワークで、自分たち で選んだテーマについて調査をし、内容を英語でプレゼンテーショ ンする。また、その成果を論理的で説得的な英文の報告書にまとめ る。これにより、国際日本学部の学びに必要な英語力をさらに高度 化する。
言語科目	G L I P 英語	英語C1	通訳・翻訳のプロセスを学ぶ。日本語・英語双方のコミュニケーション・スキル向上のために様々な種類の通訳・翻訳教材に挑戦する。様々な種類のスピーチやインタビューの通訳を試み、講師やクラスメートからのフィードバックを受ける。また、様々な種類の文書及びウェブ素材を翻訳し、プロの仕事と比較しながら、その場に最適な翻訳とは何かを分析する。
言語科目	G L I I P 英語	英語C2	ビジネス英語。職業を意識し、様々なプロジェクトを企画、運営、改善する課題を扱う。これにより、英語で仕事をする場面での総合力の獲得を目指す。
言語科目	G L I I P 英語	英語C3	通訳・翻訳のスキルを磨く。すなわち、英語C1に引き続き、通 訳・翻訳の作業を行い、それにより、通訳・翻訳の技術を向上させ る。具体的には、実際の仕事を想定した通訳を行う。その場面を録 画しその検証により、向上につなげる。また、ビジネス文書の翻訳 作業を行う。これにより、仕事につかえる英語力を向上させる。
言語科目	G L I I P 英語	英語C4	職業を意識し、英語で仕事をする場面での総合力の獲得を目指す。とくに、国際ビジネスで必要な英語力を、ビジネス場面を想定して練習する。これにより、「仕事でつかえる」英語力の更なる向上を目指す。
言語科目	教養外国語科目	教養外国語 (ドイツ語A)	初めてドイツ語を学ぶ人のためのドイツ語入門。基礎的な文法項目を理解し、練習問題をこなすことにより、ドイツ語文法の基礎を一通り学ぶ。すなわち、動詞の人称変化、名詞・定冠詞類・形容詞・代名詞の格変化、語順、助動詞構文、複合時制、受動文、関係文、接続法などを中心に学ぶ。進度にあわせて短いテクストの読解練習も取り入れる。これにより、ドイツ語初級の力を身に付けることを目指す。
言語科目	教養外国語科	教養外国語 (ドイツ語B)	ドイツ語中級。ドイツ語の日常表現を学びながら、話す、聞く、 読む、書くという4つの能力の習得を目指す。授業では、実際に会 話ができるように、ゲームやペアワークを取り入れる。また、随時 文法事項の確認・復習も行う。これにより、ドイツ語中級の力を身 に付けることを目指す。

	教		
言語科目	養外国語科	教養外国語(フランス語A)	初めてフランス語を学ぶ人のためのフランス語初級授業。基礎的な文法事項を解説し、対応した練習問題を解く。その際、正確な発音を重視する。これにより、フランス語の文法構造を理解し、簡単な文章の読み書きができる力を身に付けることを目指す。
言語科目	教養外国語科	教養外国語 (フランス語B)	フランス語中級。中級レベルのテキストを読みすすめると同時 に、文法事項を確認・学習する。文法、仏作文、聞き取りの練習を 行なう。これにより、フランス語で書かれた文章を正確に読む力を 獲得すことを目指す。
言語科目	教養外国語科	教養外国語 (イタリア語A)	初めてイタリア語を学ぶ人のためのイタリア語初級授業。基本文型をベースとして語彙を広げ、ペアワークを繰り返すことで、イタリア語による総合的なコミュニケーション力を身につけることを目標とする。具体的にはイタリア語検定4級合格レベルを目指し、語彙は約1000語程度を目標とする。
言語科目	教養外国語科	教養外国語 (イタリア語B)	イタリア語中級。イタリア語Aで未習の文法事項を学習し、イタリア語の中級レベルの文法を身につける。イタリアの文化や人々の習慣についての話題に触れながら、コミュニケーションに使えるイタリア語を習得することを目指す。
言語科目	教養外国語科	教養外国語 (スペイン語A)	初めてスペイン語を学ぶ人のためのスペイン語初級授業。授業では、スペイン語の基本的な文法事項を学習する。文法練習を重点的に行い、プリントやCDなどを援用する。これにより、スペイン語の基本的な文法事項をしっかりと理解し、「読む・話す・聞く・書く」という言語の基礎的な四技能をバランスよく習得することを目標とする。
言語科目	教養外国語科	教養外国語 (スペイン語B)	スペイン語中級。スペイン語Aを既習した学生を対象とし、スペイン語の初級文法を復習しながら、中級の学習を進める。とくに、 聴解力、文章力の養成をめざし、読解、会話、作文などさまざまな アクティビティを行う。これにより、中級レベルのスペイン語力を 獲得することを目指す。
言語科目	教養外国語科目	教養外国語(ポルトガル語A)	初めてポルトガル語を学ぶ人のためのポルトガル語初級授業。 (1) ポルトガル語の基礎文法の習得, (2) ポルトガル語の基礎 的会話能力の習得, (3) ポルトガル語の基礎的読解能力の習得, (4) ポルトガル語圏諸国に関する基礎的知識の習得を目標に、各 文法項目の説明, 問題演習, 簡単な文章の読解や, 会話の練習を行 う。これにより, ポルトガル語の基礎能力を養う。また、ブラジル やポルトガルをはじめとしたポルトガル語圏諸国の歴史や文化等の 紹介も随時行う。
言語科目	教養外国語科目	教養外国語(ポルトガル語B)	ポルトガル語中級。本授業ではポルトガル語の日常生活に必要な表現や基礎的な文法を学習する。欧州共通参照枠(CEFR)のA2からB1レベル(独立学習者)を到達目標とし、初級で学習した文法や表現を応用してポルトガル語への理解を深め、身の回りの話題に関するやや複雑な文を読み書きや、平易な会話ができるようになることを目指す。また、適宜ポルトガル語圏の文化も紹介する。
言語科目	教養外国語科	教養外国語 (ロシア語A)	初めてロシア語を学ぶ人のためのロシア語初級授業。ロシア語初級。まず、ロシア語の発音、文字、基本的な文法事項を学習する。また、基本語彙を習得する。これにより、ロシア語初級の力をつけることをを目指す。
言語科目	教養外国語科	教養外国語 (ロシア語B)	ロシア語中級。初級ロシア語で扱えなかった基本文法のまとめを 行い、引き続き、問題演習を通して、文法知識の定着と応用的運用 能力を高めることを目指す。また、授業ではロシアの文化も紹介 し、ロシアに親しむことも目標とする。
言語科目	教養外国語科目	教養外国語(中国語A)	初めて中国語を学ぶ人のための中国語初級授業。1年間の学習を通じ、①中国語の正確な発音と表記法を身に付ける、②基礎常用語彙600語程度を学び、400語程度を理解し使えるようになる、③基本的な文法(HSK筆記試験2 ³ 3級程度)を身につける、④継続して計画的に学習に取り組む姿勢を育み、自主的に語学力を高める習慣を身につけることを目指す。

言語科目	教養外国語科目	教養外国語(中国語B)	中国語中級。1年間の中国語の基礎を身に付けた学生が、その基礎文法を元に中国語の自然な会話力を身につけることを目標とする。すなわち、中国語の実践的な会話力を習得するためのトレーニングを行う。授業は中国語で行われるため、会話力と同時にリスニング力も高める練習を積み重ねる。これにより、中国語のコミュニケーション力を身に付ける。
言語科目	教養外国語科目	教養外国語(朝鮮語A)	初めて朝鮮語を学ぶ人のための朝鮮語初級授業。まず、ハングルの仕組みと発音を学ぶ。次に自分紹介の表現や簡単なやり取りを学ぶ。つづいて、現在・過去。未来形、意思や推量、願望など基本的な語尾を学習する。日課や予定をいう、日記を書く、将来の夢を語る、2つ以上のものを比べる、買い物をする、簡単な意見や感想をいう、などの課題により、朝鮮語の基礎を身に付けることを目標とする。
言語科目	教養外国語科目	教養外国語(朝鮮語B)	朝鮮語中級。朝鮮語初級の授業を履修した者、あるいはそれと同等のレベルの基礎知識を有する者を対象とし、初級で学んだ文法・知識を基礎に、表現の応用能力・運用能力を向上させる。また、場面設定の実践的な会話練習を通してコミュニケーション能力を向上させる。これにより、ハングル検4級およびTOPIK2級に準ずるレベルを達成目標とする。
言語科目	教養外国語科	教養外国語(アラビア語A)	初めてアラビア語を学ぶ人のためのアラビア語初級授業。授業では、アラビア文字の読み書きから始まり、アラビア語学習の基礎となる正則語(フスハー)の基本的な文法事項を学ぶ。これにより、アラビア語の初級レベルを修得し、簡単な文章の読み書き、あいさつ・自己紹介などの会話ができるレベルを目指す。
言語科目	教養外国語科目	教養外国語(アラビア語B)	アラビア語中級。初級の授業で学んだ文法事項を復習・補足しつつ、日常的なコミュニケーションに必要な表現や語彙を増やし、読み・書き・聴き・話す練習を総合的に進める。日常会話をベースとしたテキストを用い、そこに含まれる文法事項・表現や語彙を確認した後、それらを用いたディクテーションや会話、作文などの練習を行う。これにより、アラビア語中級の力を身に付けることを目指す。
言語科目	諸地域言語科	諸地域言語(ポーランド語)	本学でポーランド語を専攻言語として学ぶ学生以外が履修する、 ポーランド語学習の科目。ポーランド語の4技能を学ぶ。CEFR A2レベルの能力の習得を目指し、読み・書き・聴き・話す練習を 総合的に進める。
言語科目	諸地域言語科	諸地域言語(チェコ語)	本学でチェコ語を専攻言語として学ぶ学生以外が履修する、チェコ語学習の科目。チェコ語の4技能を学ぶ。CEFRA2レベルの能力の習得を目指し、読み・書き・聴き・話す練習を総合的に進める。
言語科目	諸地域言語科 目	諸地域言語(モンゴル語)	本学でモンゴル語を専攻言語として学ぶ学生以外が履修する、モンゴル語学習の科目。モンゴル語の4技能を学ぶ。CEFRA2レベルの能力の習得を目指し、読み・書き・聴き・話す練習を総合的に進める。
言語科目	諸地域言語科 目	諸地域言語(インドネシア語)	本学でインドネシア語を専攻言語として学ぶ学生以外が履修する、インドネシア語学習の科目。インドネシア語の4技能を学ぶ。 CEFRA2レベルの能力の習得を目指し、読み・書き・聴き・話す練習を総合的に進める。
言語科目	諸地域言語科	諸地域言語(マレーシア語)	本学でマレーシア語を専攻言語として学ぶ学生以外が履修する、マレーシア語学習の科目。マレーシア語の4技能を学ぶ。CEFRA2レベルの能力の習得を目指し、読み・書き・聴き・話す練習を総合的に進める。
言語科目	諸地域言語科	諸地域言語 (フィリピン語)	本学でフィリピン語を専攻言語として学ぶ学生以外が履修する、フィリピン語学習の科目。フィリピン語の4技能を学ぶ。CEFRA2レベルの能力の習得を目指し、読み・書き・聴き・話す練習を総合的に進める。

		1	T	1
言語科目	諸地域言語科	諸地域言語(タイ語)	本学でタイ語を専攻言語として学ぶ学生以外が履修する、タイ語 学習の科目。タイ語の4技能を学ぶ。CEFRA2レベルの能力の 習得を目指し、読み・書き・聴き・話す練習を総合的に進める。	
言語科目	諸地域言語科	諸地域言語 (ラオス語)	本学でラオス語を専攻言語として学ぶ学生以外が履修する、ラオス語学習の科目。ラオス語の4技能を学ぶ。CEFRA2レベルの能力の習得を目指し、読み・書き・聴き・話す練習を総合的に進める。	
言語科目	諸地域言語科	諸地域言語 (ベトナム語)	本学でベトナム語を専攻言語として学ぶ学生以外が履修する、ベトナム語学習の科目。ベトナム語の4技能を学ぶ。CEFRA2レベルの能力の習得を目指し、読み・書き・聴き・話す練習を総合的に進める。	
言語科目	諸地域言語科	諸地域言語 (カンボジア語)	本学でカンボジア語を専攻言語として学ぶ学生以外が履修するカンボジア語学習の科目。カンボジア語の4技能を学ぶ。CEFRA2レベルの能力の習得を目指し、読み・書き・聴き・話す練習を総合的に進める。	
言語科目	諸地域言語科	諸地域言語(ビルマ語)	本学でビルマ語を専攻言語として学ぶ学生以外が履修する、ビルマ語学習の科目。ビルマ語の4技能を学ぶ。CEFRA2レベルの能力の習得を目指し、読み・書き・聴き・話す練習を総合的に進める。	
言語科目	諸地域言語科	諸地域言語 (ウルドゥー語)	本学でウルドゥー語を専攻言語として学ぶ学生以外が履修する、 ウルドゥー語学習の科目。ウルドゥー語の4技能を学ぶ。CEFR A2レベルの能力の習得を目指し、読み・書き・聴き・話す練習を 総合的に進める。	
言語科目	諸地域言語科	諸地域言語 (ヒンディー語)	本学でヒンディー語を専攻言語として学ぶ学生以外が履修する、ヒンディー語学習の科目。ヒンディー語の4技能を学ぶ。CEFRA2レベルの能力の習得を目指し、読み・書き・聴き・話す練習を総合的に進める。	
言語科目	諸地域言語科	諸地域言語 (ベンガル語)	本学でベンガル語を専攻言語として学ぶ学生以外が履修する、ベンガル語学習の科目。ベンガル語の4技能を学ぶ。CEFRA2レベルの能力の習得を目指し、読み・書き・聴き・話す練習を総合的に進める。	
言語科目	諸地域言語科	諸地域言語 (ペルシア語)	本学でペルシア語を専攻言語として学ぶ学生以外が履修する、ペルシア語学習の科目。ペルシア語の4技能を学ぶ。CEFRA2レベルの能力の習得を目指し、読み・書き・聴き・話す練習を総合的に進める。	
言語科目	諸地域言語科	諸地域言語(トルコ語)	本学でトルコ語を専攻言語として学ぶ学生以外が履修する、トルコ語学習の科目。トルコ語の4技能を学ぶ。CEFRA2レベルの能力の習得を目指し、読み・書き・聴き・話す練習を総合的に進める。	
言語科目	諸地域言語科	諸地域言語 (ウズベク語)	本学でウズベク語を専攻言語として学ぶ学生以外が履修する、ウズベク語学習の科目。ウズベク語の4技能を学ぶ。CEFRA2レベルの能力の習得を目指し、読み・書き・聴き・話す練習を総合的に進める。	
言語科目	諸地域言語科	諸地域言語 (広東語)	香港で使われる広東語を学ぶ授業。広東語の運用能力及び広東語 に関する基礎的知識を身につける。モデル会話を通して、初級広東 語の基礎学力を習得することを目標とする。	隔年開講

			Description of the second of t	
言語科目	諸地域言語科 目	諸地域言語(上海語)	上海語を学ぶ授業。上海語は、中国の五大方言の中で北方方言に 次いで使用人口が多い呉方言の代表である。すでに中国語を学んだ 学生が、更に進んだ上海語の勉強や研究のための基礎を築いでいく ことを目標としている。まず、上海語の発音の特徴を徹底的に練習 し、身に付ける。さらに、上海語の文法や構文(基本的仕組み)を 理解し、初級程度の会話ができることを目標とする。	隔年開講
言語科目	諸地域言語科目	諸地域言語 (スワヒリ語)	スワヒリ語を学ぶ授業。この授業では、基本的なスワヒリ語文法の知識、実践的な会話ストラテジーを身につけ、さらに続けて学習するための基礎をつけるのを目標とする。まず、動詞の基本構造、名詞クラス、修飾語、続いて、動詞とセンテンスを中心に学習する。さまざまな場面・テーマを設定し、最小限の文法事項によるサバイバル・テクニックをみにつける。これにより、基礎的なスワヒリ語の知識を身に付けることを目標とする。	
言語科目	諸地域言語科	諸地域言語(中央アジア諸語)	中央アジア諸語の1つとして、カザフ語を学ぶ授業。中央アジア、カザフスタンを中心に中国新疆ウイグル自治区やモンゴル国でも話されているカザフ語の基礎文法を学ぶともに、挨拶をはじめとする会話の力と、やさしい読み物の講読を通じ文章読解力をつける。これにより、カザフ語の基礎力を身に付けることを目標とする。	
言語科目	諸地域言語科目	諸地域言語(オセアニア諸語)	オセアニア諸語を学ぶ授業。オセアニア諸語とは、太平洋諸島で話されているオーストロネシア語族に属する言語(チャモロ語とパラオ語を除く)の総称である。本授業は、オセアニア諸語についての概観する。それにより、(1)太平洋諸島の言語多様性、(2)オセアニア諸語を比較し、その類似点や相違点(3)言語を取り巻く歴史、文化、社会的状況を理解し、(4)オセアニア諸語が直面している言語や文化の危機の問題とグローバル化に関して、自分なりに考えを持つことを目標とする。	
協働実践科目	多文化協働科目	多文化コラボレーション 1	本授業は、国際日本学の課題に対するプロジェクトワークの実施を通じ、日本人学生と留学生が相互の多様な経験や考えを尊重しつつ、課題解決に向けて協働で取り組む能力を培うことを目標とする。授業は、英語と日本語を用いて行う。 授業の前半では、国際日本学の4領域(社会・文化・言語・言語教育)への導入として、担当教員が各分野に関し講義する。講義を踏まえ、その知見に関し学生間の議論を行う。授業の後半では、4領域の中からひとつの領域を選び、講義で得た知見を発信しているための課題を設定し、まず当該課題の理解のために必要な調査・分析を行い、問題点を見いだして解決のための方策を提案する。7~8人のチームで作業する。 この活動の指導には、日本語教育と多文化教員が専門の2名の教員があたる。全授業に2名が参加して各チームの進捗状況を把握、専門的な見地からサポートを行う。期末には、各チームの成果を発表し意見交換をする。	共同
協働実践科目	多文化協働科目	多文化コラボレーション 2	本授業は、日本発信に係わる目標に向かって協働で作業する能力、自分たちの活動を他者にわかりやすく伝えるプレゼンテーション力、異なる立場からの批判やアドバイスから学ぶ姿勢を身に付けさせると同時に、日本人学生と留学生が相互に言語支援活動を行う経験も積ませることを目標とする。授業は、英語と日本語を用いて行う。このために、「多文化コラボレーション1」で見出した課題の解決をめざし、チームごとに活動を行う。まず、チームごとの話し合いを行い、活動の意義を共有して効果的な計画を練り、計画をクラスで発表し、質疑応答を行う。それを踏まえて、チームごとに調査・探求活動を行う。活動は必ずしも教室内で行うのではなく、積極的に教室外で活動することも推奨する。調査・探求の結果をクラスで発表し評価し合うという活動を行う。この活動の指導には2名の教員がかたる。2名の教員はいずれも、日本語及び多文化教育を専門とする。評価は、ボートフォリオ等により各チームの活動のプロセス・結果を把握するにより行う。	共同

協働実践科目	社会連携科目	地域社会フィールドワーク	本授業は、地域社会の魅力と課題を客観的に理解すると同時に、問題意識をもって協働して課題解決に取り組む能力を身に付けさせることを目標とする。また、キャリア形成意識の向上をめざす。授業は、主として英語を用い、補助的に日本語も用いて行う。具体的には、まず、地域社会の歴史や現状を協働で調査・分析し、地域への理解を深める。そのうえで近隣の自治体や企業との連携により、地域活性化につながるプロジェクトの提案と活動、在留外国人のためのボランティア活動などをチームで行う。その成果をチームごとにクラマで発表し、相互に評価する。また活動機会の提供をうけた組織や団体への報告書をまとめる活動を行う。この活動の指導には2名の教員が協働してあたる。2名の教員はいずれも、多言語・多文化教育を専門とする。	共同
協働実践科目	社会連携科目	社会発信型プロジェクトワーク	本授業は、社会に向けて日本を発信したり、共生社会を作り出す上での課題やその解決のための方策を見つけ出す能力を身に付けさせることを目標とする。課題は、一年次に履修した「多文化コラボレーション1・2」で身に付けた力を活用させ、現代日本の多文化社会(地域、企業、学校等)の諸問題から発見する。また、探求を通じ、学際的な視座で物事を捉える力も育む。具体的には、日本人と留学生からなる数名のチームが協働して活動し、課題の掘り下げや調査分析、解決への通筋をさぐるためのの成会やシンポジウム等の企画・運営などの活動を行わせる。そのの成会やシンポジウム等の企画・運営などの活動を行わせる。そのの成などを行い、効果的に発信する。講評を地域社会の関係者や企業に依頼し、学生が客観的に学習成果を捉える機会を得られるようにする。この活動の指導には日本文化研究と、日本の政治・国際関係研究を専門とする2名の教員があたる。すべての授業に2名が参加し、専門的な立場から助言を行う。評価は、ポートフォリオ等により各	共同
協働実践科目	社会連携科目	教育支援フィールドワーク	チームの活動のプロセス・結果を把握するにより行う。 本授業は、社会連携活動として日本語教育の支援を行い、日本語教育のスキルを身に付けると同時に、キャリア形成意識の向上を目標とする。授業は、主として英語で行い、補助的に日本語も用いて行う。 授業ではまず、2名の教員が、日本語教育の現状に関する講義を行い、多様性に富む日本語教育の現状と日本語教育の方法論の基礎を理解させる。それを踏まえ、国内の日本語教育機関において日本語教育の補助を行い、実際の教育現場を体験する。また、授業では、外国人児童生徒に対する対話型アセスメントDLAの利用も学び、教育現場で実践する。活動の成果をクラスで報告し、活動の振り返りと総括を行う。 本授業の指導には日本国内および海外で、英語母語話者および中国語母語話者へのグループ学習の教育歴を持つ2名の教員が協働してあたり、その指導により学生の教育実践力を培う。	共同
	導入科目	日本学基礎	本講義では、海外で確立しているJapan Studiesの手法を参照しながら、海外から日本を見る視点、日本を客観的に見る手法の基礎を学ぶことで、国際的な手法、すなわち総合的、かつ比較の視座に立って日本を理解することを目標とする。本講義は、海外においてJapan Studiesの教育研究に従事した経験のある教員を中心とするリレー形式で行い、世界のJapan Studiesとの接続についても言及しながら、日本社会、日本文学・文化、日本語、日本語教育の分野から通貫する人文学的・社会学的なテーマを取り上げ、日本を見る視点の総合化を図る。併せて、日本の政治・経済・社会・文化を国際的な視野から理解し、説明する力(「日本発信力」)の意義について、考える。授業は英語で行う。本講義で扱うテーマは、以下のとおり。 1. 世界における「日本学」の系譜(友常) 2. 世界及び日本社会の多言語多文化化(シートン/谷口)3. 東アジアのなかの日本外交(木村)4. 日本経済の動向と世界(佐藤)5. 表象文化・芸術にみる日本に、(ウカンプ/セン/菅長)6. 現代社会における日本語(伊東/荒川)7. 世界の日本語教育(海野)8. 都市社会史における日本都市(ポーター)	オムニバス

導入科目	日本史入門	海外から日本を見る視点、日本を客観的に見る手法をとりいれつつ、日本の歴史を振りかえり、世界のなかでに日本が形成されてきたことを理解させる。本授業は英語で行う。すわなち、沖縄・奄美などの南西諸島から北方先住民であるアイヌまで含めた言語・習俗・文化の多彩な展開。古代から近代までさまざまな習合を繰り返してきた仏教と神道との親密でユニークな関係。そしてアジア・西洋との政治的文化的な関係性。さらに国境を越えていった移民の経験や、近現代史に爪痕を残した戦争の歴史。歴史にみられるこれらのテーマを通じて、単調な日本理解を超えて、総合的に「日本」を学問するための視座と方法を獲得することを目標とする。	
導入科目	日本社会入門	本授業は英語で行う。まず、2回の講義で社会調査法の入門を教授する。それを踏まえて、海外から日本がどのように捉えられているのかの視点を交え、日本社会が直面している次の課題を扱い、問題をさらに掘り下げて調査し、解決方法を考察する手法を学ぶ。日本列島(地理、気候、領土)、人口(人口減少、過疎地域、高齢化社会)、多文化社会日本(マイノリティー、大都会と地方、県民性)、国家の制度(国会、官僚、自治体)、日本の産業、仕事と労働(サラリーマン、フリーター問題、男女平等)、家庭(家族の構造、住宅、少子化社会)階級(「中流社会日本」、富と貧困)、教育(義務教育、高等教育制度、資格と訓練)、レジャー(スポーツ、ポップカルチャー、娯楽)、環境(震災、エネルギー、自然)、人の移動(移住、移民、観光)、国際社会の中の日本(国際関係、防衛、国際社会への貢献)を、順次扱い、日本社会への理解を深める。	
導入科目	日本文学・文化入門	本授業は、小説や詩集、随筆、演劇、映画、漫画・アニメーションなどによって表象・構築される日本の言説を、世界のJapan Studiesと接続させながら、紹介する。授業は英語で行う。授業では以下のテーマを扱う。文学1:文学にみる日本の「家族」像の変遷、文学2:文学にみる日本の人・動物・自然、文学3:文学が描く「戦争」、文学4:「翻訳と翻案」と「近代性」、表象文化1:日本の演劇に見る身体とジェンダー、表象文化2:和/食文化の表象、表象文化3:映画がえがく日本のマイノリティ、表象文化4:映画がえがく格差と階級社会、表象文化5:少女漫画における「オクシデンタル/オリエント」と「抵抗」、表象文化6:スポーツ漫画にみる日本の若者とスポーツマンシップ、表象文化7:日本アニメの世界発信と翻訳の「政治」。これらの分析を通して、日本を批判的に考察する視点を養う。	
導入科目	日本語学入門	本授業では、日本を学ぶ上での土台となる日本語学を学ぶ。授業は英語で行う。 「国語」「日本語」という捉え方はどう異なるのか、諸外国語との継続的・断続的な接触の中で日本語はどのような歴史を歩んできたのか、現代日本社会において日本語にはどのようなバリエーションがあるのか(地域的方言、社会的方言、非母語話者の日本語等)、日本語の音声や文法の仕組みを他言語のそれと比べるとどんなことが見えてくるのか、日本語の表記体系の特徴(漢字・平仮名・片仮名・ローマ字の日常的な併用、縦書きと横書き)は何を意味するのか等について学び、世界の諸言語との対照という観点から日本語の理解を深める。さらに、非母語話者に対する日本語教育の歴史と現状についても具体的に学ぶ。	
概論科目	日本社会分析概論	本授業では、まず統計調査の利用法を紹介し、それを用いて現代 日本の社会を分析する手法を学ぶ。 まず、統計調査とその結果、作成されたデータのもつ意味を考え る。対象とするのは、国勢調査、生産統計やその他の統計である。 続いて、日本における統計調査の明治時代から今日に至る成り立 ちを確認する。統計調査はいうまでもなく、明治以降、近代国民国 家を形成しようとした明治国家によって、日本に導入された国民掌 握の道具であるからである。すべての統計の基礎になる国勢調査が 日本に導入された際の経緯と、国勢調査のデータとしての精度につ いて考察する。 以上を踏まえ、国勢調査の結果を具体的に利用する練習をし、そ の可能性と問題点を検討する。	

概論科目	日本外交・国際関係概論	本授業では、日本の日本外交・国際関係分野の概論として、明治 以後の日本外交を扱う。授業は英語で行う。 本授業は、19世紀半ばから今日まで日本外交がどのような軌跡を たどってきたのかを理解することを目標とする。日本は「開国」と 共に新たな世界システムに組み込まれ、それ以来、常に変動する国 際情勢の中で活路を見出そうとしてきた。各岐路において日本人が どのような外交ビジョンと政策をもって議論を交わし、政治的・経 済的・戦略的打開を試みてきたか、年代、テーマごとに見ていく。 こにれより、日本外交についての基本的な知識を獲得させる。
概論科目	日本史・社会概論	本授業では、日本史・社会の概論として、日本社会史を扱う。授業は英語で行う。 本授業は、史料から社会像を構築するという研究手法を学び、現代日本が抱える課題に向き合うための基本的な視座を獲得することを目標とする。 具体的には、日本近世・近代の地域社会を対象に、その歴史構造の分析を試みる。その際、①地べたで汗にまみれて、虐げられながらも、したたかに生きた一般民衆の生活実態や、彼らが取り結んだ多様な社会関係を具体的に明らかにすること、②日本を構成するさまざまな地域社会の固有性・普遍性を統一的に把握すること、③一次資料、地図、新聞資料など、さまざまな史料を多面的に活用し分析することを重視する。これにより、日本史研究へのイントロダクションする。
概論科目	日本文学・文化概論 1	本授業では、日本文学・文化の概論として、日本文学史を扱う。 授業は英語で行う。 授業では、神話や民話、歌、翻訳や翻案、物語や小説、新体詩、 散文、文芸批評などを取り上げ、古典作から現代までの日本文学史 の構造を理解することを目標とする。資料としては、名作の英訳、 図像資料、英語新聞記事などを活用する。こにより、海外で行われ てきた日本文学研究の動向を視座に入れ、多面的、複眼的に日本文 化史を理解することを求める。
概論科目	日本文学・文化概論 2	本授業は、日本文学・文化の概論として、日本の古典文学を扱う。歴史的な事象への正確な知識を踏まえ、豊かな日本の古典文学作品の読みを通して、日本古典文学の世界に触れる事を目標にする。また、日本古典文学の面白さを的確に発信できるようになることを目指す。具体的には、『万葉集』を中心とした上代の詩歌について考察する。『万葉集』とは何なのかという基礎的な発問を出発点に、具体的な作品を読みながら考察する。『万葉集』が中心とするが、『懐風藻』の漢詩にも言及する。
概論科目	日本語学概論 1	本授業は、日本語学の概論として、日本語の構造全般を扱う。 すなわち、日本語の音声・音韻、音韻史、文字・表記、表記史語彙 と文法、語彙、語彙史、文法、文法史、方言・位相について学ぶ。 これにより、日本語学の基礎知識を身につけることを目標とする。 毎回の授業で、日本語の各分野を概観することで、日本語学の基礎 知識を身に付けさせる。
概論科目	日本語学概論 2	本授業では、日本語学の概論として、日本語の社会言語学的研究 手法を紹介する。授業は英語で行う。 授業は、普段の生活で日常的に使用していることばに関する研究 を、各自が行えるようになることを目標とする。そのために、ま ず、社会言語学に関連する研究テーマについての考え方を、関連す る研究事例を示しながら講義する。つづいて、社会言語学の概説書 (和文・英文)を活用しながら、研究テーマの説明を行い、受講生 の理解を深める。これにより、最終的に各自で社会言語学のテーマ に関する実証的な調査ができるようになることを目指す。
概論科目	日本語教育学概論 1	本授業では、外国語としての日本語を教える手法の基本を、様々な角度から学ぶ、日本語を教える基礎的な力を身に付けることを目標とする。 まず、日本語教育の概要や国語教育との違いを示す。次いで授業の実践的な進め方を主要な文法項目ごとに分析する。あわせて効果的な授業技法を学ぶ。また教材とその開発、教室環境、評価についても考える。
概論科目	日本語教育学概論2	本授業では、外国語として日本語を教えるための理論と技術を、 英語で講義する。これにより、特に海外で日本語の初級を教えるための基礎的な能力を身に付けることを目標とする。 まず日本語教育に関する基礎的な理論の枠組みを紹介し、それに 続いて日本語教育文法の提示順に基づいた具体的な教え方について 取り組む。また教材開発、学習者への評価、第2言語習得に関するい くつかのトピックについても紹介する。

専門科目	専門講義科目	異分野横断研究 1	本授業では、日本社会、日本文学・文化、日本語、日本語教育の4分野を通賞する人文学的なテーマをとりあげ、特定の問題を、多面的、総合的に理解する手法を学ぶことを目標とする。具体的なテーマとしては、「日本語の世界」をとりあげる。これにより、分野横断的な研究領域としての「国際日本学(Japan Studies)」の研究の最前線に学生たちに触れさせる。(1)(2)担当:川村「変化する日本と日本語」(3)(4)担当:セン「変化する日本と日本語文学」(英語)(5)(6)担当:ハウカンプ「日本映画のなかの日本語」(英語)(7)(8)担当:谷口「変化する日本と日本語教育」(9)(10)担当:友常「海外の日本語の歴史とその展開」(英語)(11)(12)担当:シートン「観光と日本語」(英語)(13)(14)(15)担当:川村アクティブラーニング・報告学生は、本授業を通じて、複数のディスプリンで「日本語」の諸問題を総合的に学ぶとともに、自身で問題を発見する力を身に付ける。	オムニバス
専門科目	専門講義科目	異分野横断研究 2	本授業では、日本社会、日本文学・文化、日本語、日本語教育の4分野を通貫する社会科学的なテーマをとりあげ、特定の問題を、多面的、総合的に理解する手法を学ぶぶことを目標とする。具体的なテーマとしては、「多言語多文化時代の日本」をとりあげる。これにより、分野横断的な研究領域としての「国際日本学(Japan Studies)」の研究の最前線を学生たちに触れさせる。(1)(2)担当:シートン「多文化日本の今」(英語)(3)(4)担当:荒川「多文化日本と言語政策」(英語)(5)(6)担当:木村「日本の難民政策」(英語)(7)(8)担当:ポーター「多文化時代における日本史叙述」(英語)(9)(10)担当:友常「近代日本の少数派」(英語)(9)(10)担当:春名「多文化日本と政治」(英語)(11)(12)担当:春名「多文化日本と政治」(英語)(13)(14)(15)担当:シートンアクティブラーニング・報告学生は、本授業を通じて、複数のディスプリンで「多言語多文化時代の日本」の諸問題を総合的に学ぶとともに、自身で問題を発見する力を身に付ける。	オムニバス
専門科目	専門講義科目	多文化社会論 1	本授業では、社会接触の場としての観光を、社会学的に掘り下げ、日本社会を展望する。授業は英語で行う。テーマは:1)観光とは何か(定義、課題設定)、2)観光の歴史(伊勢神宮巡礼から現在へ)、3)国の政策(ビジットジャパンなど)、4)観光ビジネス(会社、インフラ)、5)アウトバウンド(海外ツアー、日本人観光客の行動)、6)インバウンド(外国人の日本旅行、諸問題)、7)ヘリテージツーリズム(世界遺産、日本文化財)、8)文化ツーリズム(「伝統的日本」、博物館)、9)コンテンツツーリズム(ポップカルチャーと「聖地巡礼」)、10)「ダークツーリズム」(震災と戦争の跡)、11)食文化と観光(特産品、日本での外食)、12)エコツーリズム(国立公園、アウトドア)、13)21世紀の問題を解決するため、観光は役に立つのか(環境問題、地域開発、経済、平和と友好関係)。	
専門科目	専門講義科目	多文化社会論 2	本授業では、異文化コミュニケーションの基本的な理論、および 文化の多様性や異文化接触の現状と課題を理解することを目的と し、異文化コミュニケーション能力育成の観点から、関連する研究 や事例研究を行う。授業内で日本人学生と留学生の対話や議論を行 う機会を設け、多様な文化を理解する能力の向上にもつなげる。	

		_	_	
専門科目	専門講義科目	文化理解	本授業では、自文化の視座から他文化の異質性を眺めるだけでなく、自文化の中の異質性、あるいは他文化の視座から見た自文化の異質性を問いかけ、文化を相対的に見る力を養うことを目指す。これにより、学生個々人が、相異なる価値観を有する文化間の相克や葛藤を克服するための糸口を探る。授業は英語で行う。 具体的には、まず、「文化」という概念を、自然、文明、科学のような概念と比較する。それを踏まえ、異文化接触の契機とそれに対する反応、任意の社会空間が多文化空間へ変容することに伴う諸問題を、文化相対主義、多文化主義、文化混交、文化越境等の理論を援用しつつ考察する。以上を踏まえ、日本、日本人、日本語といった自明視されている事象の内実を、異文化の文脈に置いて議論する。	
専門科目	専門講義科目	日本政治・経済	本授業では、社会科学的な視点から日本の政治システムを扱い、日本の政治システムに対する理解を深めることを目標とする。 日本の政治を社会科学的な視点から扱うとは、歴史の表面にあらわれる政治を社会科学的な視点から扱うとは、歴史の表面にあらわれる政治のドラマではなく、その舞台を整え、アクターの行為を方向づける裏面の制度や慣行に焦点をあてることを意味する。この授業では、日本政治の構造的な要因が、どのような事情と経緯によって形成され、どのように現実に作用してきたのかを探ることで、日本と他国を客観的に比較するとともに、日本政治の今後を展望するための視点を養うことを目指す。	
専門科目	専門講義科目	現代日本社会論	本講義では、「日本社会分析概論」で得た知識を前提として、戦後日本の社会に関して、統計データを用いて、社会科学的な見方をする方法を学ぶ。すなわち、人口、経済、財政金融、農業、工業、エネルギー、科学技術、交通通信、商業、国際貿易、労働、家計と物価、環境、社会保障、教育などなどのトピックスを取り上げ、それぞれ統計データを用いることによってどのように見ることができるか、またそれを表やグラフに表現するにはどのようにすればよいかなどについて、初歩的な知識と方法について学ぶ。	
専門科目	専門講義科目	日本外交・国際関係 1	本授業では戦前の日本の国際関係を扱い、歴史の中で日本が直面した諸問題とそれへの対応を理解することを目標とする。授業は英語で行う。 19世紀半ばから1945年までの日本の国際関係―特にアジア・太平洋地域における関係―をテーマを絞って追う。欧米諸国と同等の地位を確立すべく奔走しつつ、帝国主義化していく過程、台湾や朝鮮の植民地支配、中国における権益の保全がいかに大陸での軍事衝突へ発展し、第一次大戦後の国際秩序から離れ、アジア・太平洋地域全体の戦争へ発展していったかを見る。あわせて、学生が、国際関係を分析する手法を身に付けられるように努める。	
専門科目	専門講義科目	日本外交・国際関係 2	本授業では戦後の日本の国際関係を扱い、歴史の中で日本が直面した諸問題とそれへの対応を理解することを目標とする。授業は、英語で行う。 1945年から今日までの日本の国際関係一特にアジア・太平洋地域における関係一をテーマを絞って追う。冷戦からポスト冷戦期にかけて変容していく国際秩序のなかで、日本がどのような政治、経済、文化、安全保障政策を米国、ソビエト・ロシア、中国、韓国、その他アジア諸国に対してとってきたかを考察する。同時に、日本の植民地主義やアジア・太平洋戦争の歴史がいかに戦後外交に影響を及ぼしてきたかを知る。この授業を通じ、学生が、国際関係を分析する手法を身に付けられるように努める。	
専門科目	専門講義科目	日本史1	本授業は、前近代の日本史を扱う。授業は英語で行う。 授業では、「19世紀日本の巨大都市の形成と発展」というテーマ のもと、19世紀日本の最大都市である東京に着目して、その社会 構造の分析を進めて行く。その際、都市の分節的空間構造と都市住 民が形成した職縁的・地縁的社会集団を具体的な分析対象とし、都 市社会の全体把握を「下」から試みる。この授業を通して、史料に 即した社会像を構築するという実証的な歴史学研究法を理解できる ようになることを目標とする。	
専門科目	専門講義科目	日本史 2	本授業は、前近代の日本史を扱う。授業は英語で行う。 授業では、「19世紀日本における貧民の救済と統制」というテーマのもと、幕末・維新期期の公文書や地域史料を読む。幕末・維新期の史料を読み解くための基礎知識の修得を目標とする。活字史料からはじめ、実証的な歴史学研究の基礎となる一次史料の分析方法を学ぶ。あわせて19世紀日本の都市社会の実態にも触れる。これにより、日本史研究の手法を身に付けることを目標とする。	

専門科目	専門講義科目	日本思想史 1	本授業では、民衆史の観点から、日本近代史を扱う。授業は英語で行う。 授業では、日本資本主義形成史をストーリー・ラインとして、近代日本のマイノリティをめぐる基本的な論点や概念、アプローチを学び、それらのテーマが現代において有している意味について考えていく。また、マイノリティとナショナリズムとの関係について学ぶことも目的の一つとする。これにより、歴史研究と思想史研究の基本的な方法論と争点を理解し、調査手法を習得することを目標とする。
専門科目	専門講義科目	日本思想史 2	本授業では、民衆の宗教や芸能の観点から、日本近代史を扱う。 授業は英語で行う。 授業では、宗教と芸能をめぐる基本的な論点や概念、アプローチ を学び、それらのテーマが現代において有している意味について考 えていく。また、差別問題と芸能との関係について学ぶ。さらに、 本授業に関連する問題を自分で発見し、探求する。これにより、思 想史研究の基本的な方法についての理解を深め、調査手法を応用で きるようになることを目標とする。
専門科目	専門講義科目	日本文化1	本授業では、明治以降の日本文化と西洋文化の相互作用を検討し、世界のなかの日本文化についての理解を深めることを目標とする。授業は英語で行う。 日本と西洋の文化の交換というとき、日本側からの適応プロセスとして受け取られることが多いが、日本美術、邦楽、日本舞踊などはひろく海外へ知られ、先々で愛好者を獲得し、様々な反応を引き起こす誘因ともなっていた。日本文化もまた、西洋文化の生産に大きなインパクトを与えていたのである。本授業では、こうした文化的流れ一開国に伴い、唐突に文化的生産物や、概念、そして芸術家たちが海外からなだれ込み、また、海外へと流れ出ていった一に着目する。この間へのアプローチは、国際万博や、音楽、美術などといった、広範なトピックを見ることで行う。また、時代のどのポイントでこうした流れが潮流に乗り、引いていったのかも見ていく。それは、文化的関係と国際社会政治情勢がどのように相互依存していたかの理解の助けとなるだろう。
専門科目	専門講義科目	日本文化 2	本授業では、日本における映画の受容を検討し、映画が日本文化に与えた影響についての理解を深めることを目標とする。授業は英語で行う。 西洋で誕生してすぐに、映画は日本に導入され、新たなテクノロジーと表現技術(世界を西洋の視点で見るという)をもたらした。一度日本に入った映画は、文化生産、倫理、表現形式の異なる様式と出会うことになる。ちなみに、現存する最古の映画は「紅葉狩り」(柴田、1899)で、歌舞伎の一場面を、9代目市川團十郎と尾上菊五郎が演じている。 芸術は常に流動的で、他のジャンルや文化と絶えず対話状態にあり、それらを 模倣し、拒絶し、あるいは単に気にもかけない場合もある。この授業では、映画の中の日本文化の他の芸術や文化生産の存在について検討していく。この問いに対しては、プロットとフォーム/スタイルの二つのレベルでアプローチする。また、日本を取り上げた海外映画に見られる視点からもこの問題も考える。最後に、映画が他の芸術に与えたインパクトがあったとすれば、それは、どのようなものだったのかを問う。
専門科目	専門講義科目	日本古典文学 1	本授業では、万葉集の詞書、伊勢物語、古今集仮名序、古今集の 詞書、源氏物語の和歌、六百番歌合の判詞、奥の細道などを素材 に、和歌の詞書、歌物語、歌合の判詞、俳文等、韻文と散文の交わ る作品、文学批評に関する言説に触れ、詩歌の鑑賞力を高める。こ れにより、詩歌の鑑賞力を高めるとともに、詩歌の詠まれる心情が 理解できるようになることを目標とする。
専門科目	専門講義科目	日本古典文学 2	本授業では、古代から近現代までの短詩型文学作品に触れ、鑑賞の仕方を学ぶ。具体的には、万葉集、古今集、新古今集、六百番歌合、小倉百首、百人一首、宗祇の代表的な連歌作品、俳諧の連歌、芭蕉の作品、蕪村、一茶の作品、正岡子規の俳句革新および短歌革新、斎藤茂吉の作品、与謝野晶子、俵万智、河野裕子ら近現代女流歌人、与謝野晶子、俵万智、河野裕子ら近現代女流歌人、高浜虚子、山口青邨、水原秋櫻子ら近現代俳人などを取りあがる。最後に短歌、俳句の実作と批評を行う。これにより、短歌および俳句の鑑賞ができ、実作の指導ができるようになることを目標とする。
専門科目	専門講義科目	日本近現代文学1	本授業では、明治・大正・昭和初期の日本文学を扱い、日本近現 代文学についての理解を深めることを目標とする。授業は英語で行 う。 授業では、日本における文学理論の受容、翻訳や翻案の形での近 代文学の誕生、物語や小説の形成、新体詩、散文、文芸批評などを 取り上げ、明治期から昭和初期までの日本文学の様々な問題を掘り 下げる。海外での日本文学研究の動向を紹介しつつ、国際的な観点 から、日本文学を考察する。

			,	-
専門科目	専門講義科目	日本近現代文学 2	本授業では、戦前・戦後の日本文学を扱い、日本近現代文学についての理解を深めることを目標とする。授業は英語で行う。授業では、物語や小説の形成、文学と帝国主義や植民地主義との関係、ポップテクスト、文芸批評などを取り上げ、大正から現代までの日本文学の構造を解読する。海外での日本文学研究の動向を紹介しつつ、国際的な観点から、日本文学を考察する。	
専門科目	専門講義科目	日本語学1	本授業では、モダリティを中心に、日本語文法を検討する。すなわち、日本語の「文の事柄」について述語を中心とする文型について述べた後、モダリティを中心に様々な文法的カテゴリーについて概説する。学生の母語や母方言などとの対照も試みる。これにより、現代日本語の構文において核となる「文の事柄」とそれを包むさまざまな文法カテゴリーについての知識を獲得し、文の分析の方法に対する理解を深めることを目標とする。。	
専門科目	専門講義科目	日本語学2	本授業では、談話分析、および関連する語用論の知識を講義する。それを踏まえ、受講者は、実際にデータを収集し、分析を試みる。具体的には、談話分析と語用論、統語論、モダリティ、ポライトネス、直示、間テクスト性、談話構成(開始と終結)、話者交替、隣接ペア、あいづち、フィラーなどを扱う。受講者は、自分を含む複数の人物の会話を3分間録音し、文字化し、そのデータを授業で扱ったキーワードについて分析する。これにより、談話分析への理解を深めることを目標とする。	
専門科目	専門講義科目	日本語古典文法 1	本授業では、古代語文法について共時的な概説を行なう。現代語や他言語との対照を随時行う。品詞、名詞とその格、指示詞・人称詞、用言1:活用、用言2:受身・使役、テンス・アスペクト、用言3:モダリティと述定組織、副詞1:陳述副詞と程度副詞、副詞2:情態副詞と形容詞・形容動詞による修飾、複文1:条件表現の体系、複文2:連体修飾構造と準体句、構文1:係り結び、構文2:連体形終止文、文の種類1:述体・喚体、文の種類2:疑問文、終助詞と間投助詞の順に講義し、古代語文法についての理解を深めることを目標とする。	
専門科目	専門講義科目	日本語古典文法 2	本授業では、古代語文法について通時的な概説を行なう。現代語や他言語との対照を随時行う。準体句の衰退、準体助詞の成立、終止形と連体形の合一1 推移、終止形と連体形の合一2 要因に関する諸説、二段活用の一段化1 近世における状況、二段活用の一段化2 上代~室町期における状況、係結びの衰退1 全般的変遷、係結びの衰退2 各論、ガによる主語表示の一般化、条件表現の変遷1 仮定条件句の交替、条件表現の変遷2 原因・理由文の変遷その他、喚体表現の衰退、受益表現の発達、敬語の変遷1 尊敬語・謙譲語、敬語の変遷2 丁寧語の発達を順に講義し、古代語文法についての理解を深めることを目標とする。	
専門科目	専門講義科目	第二言語習得論 1	本授業は、第二言語習得論の基礎を学ぶことを目標とする。授業では、第二言語の学習を、教室外の日常生活における学習も含む概念として捉え直す。またそのための枠組みとして、社会文化的パースペクティブを、認知心理学的パースペクティブとの対比を通じて理解し、日本語教育学の観点からの考察も行う。グループディスカッションと講義を交えながら、内容理解を深める。	
専門科目	専門講義科目	第二言語習得論 2	本授業では、日本語の第二言語習得、特に学習者言語の研究を中心に取り上げる。また関連分野として、母語としての日本語の習得、バイリンガルの言語習得の問題も併せて取り上げ、言語習得全般についての基礎的な知識を修得することを目標とする。日本語教育学の観点からも考察を行う。グループディスカッションと講義を交えながら、内容理解を深める。	
専門科目	専門講義科目	日本語教育学 1	授業では、音声を学習した経験の振り返りと、音声を教える前・教える時の教師の役割や学習者の心構えなどについてディスカッション・考察を行う。その後、学期全体を通して、日本語の音声について単音、リズム、アクセント、イントネーションの順に、音声の特徴、学習者の特徴的な誤り、その改善方法を学習していく。学期後半では、日本語学習者に実際に音声の指導を行い、日本語の音声とその学習・教育について、発表し、レポートにまとめる。これにより、日本語教育の現場において学習者が行う音声学習と、それに対応するための音声指導の方法に関する考察を深め、音声学習・音声教育の在り方が考察できるようになることを目指す。	

専門科目	専門講義科目	日本語教育学 2	本授業では、Good Writingとはどういうものか、文章の種類 (モード) 4つとその目的、それらの文章の構成についての知識を深める。続いて、4つのモードについての教科書の説明を読んだうえで、実際に受講者各自が文章を執筆し、それらを相互に評価してみる。その際の観点の違いや良い文章に対する考え方の違いを認識し、それをどう整理したらいいか、どう対処するのがいいか考察し、それをライティング教育にどう活かすのが良いか、考察する。これにより、日本語教育の現場におけるライティングの指導内容・方法について知り、書かれたものの評価方法を知ること、また、実際に執筆・評価を行うことで、それらの在り方、方向性などについて考察を深めることを目標とする。	
専門科目	専門講義科目	漢文学	本授業では、漢文訓読の方法を学んだ後、東アジア世界における 漢文学史を概観し、作品読解を行う。すなわち、中国語の歴史、漢 字と漢語、訓読の方法、訓読の歴史、『孟子』、『史記』、唐代伝 奇「人虎伝」と中島敦「山月記」(1)、唐代伝奇「人虎伝」と中島 敦「山月記」(2)、唐詩と『源氏物語』〜白居易選読〜、白話小説 と上田秋成『雨月物語』、日本漢文、日本漢詩を講義し、これによ り、日本漢文・漢詩を含む漢文学史の基本的な知識を身に付けるこ とを目標とする。また中国語文言文に自ら訓点を施し、現代語に訳 せるよう読解の訓練を積む。	
専門科目	専門講義科目	書道	本授業では、書道実技練習を行う。用具は毛筆、硬筆をバランスよく取り扱う。学習する書体は楷書、行書とし、文字を正しく整えて書く技能、基本用筆を学ぶ。これにより、中学校国語科「書写」を指導するために必要となる基礎的な知識・技能を修得することを目標とする。	
専門科目	専門演習科目	異分野横断演習 1	春学期に実施する本授業では、学生にチームを形成させた上で、関心や問題意識にのっとった課題に取り組ませ、課題の解決を実現させることを目標とする。「異分野横断研究1・2」で身につけた多面的・多角的な思考法を生かすよう、指導する。授業では、まず、学生は日本人と留学生からなる数名のグループに分かれて課題に取り組ませる。原則として、専門分野の近い学生を組ませるよう配慮し、それぞれの専門分野の方法論や知見を学ばせる。毎回、プレゼンテーションを行い、学生・教師間の双方向的なディスカッション、学生間の相互的なディスカッションによって、広い視野から課題を捉える研究力とプレゼンテーション能力を培う。本授業の指導には、人文学系の教員と社会学系の教員の2名が担当し、すべての授業に2名が参加し、学生の活動を指導する。	共同
専門科目	専門演習科目	異分野横断演習 2	秋学期に実施する本授業では、「異分野横断演習1」に引き続き、学生にチームを形成させた上で、チームの関心や問題意識にのっとった課題に取り組ませ、課題の解決を実現させることを目標とする。「異分野横断研究1・2」で身につけた多面的・多角的な思考法を生かすよう、指導する。 授業では、「異分野横断演習1」に引き続き、日本人と留学生からなる数名のグループに分かれて課題に取り組ませる。原則として、専門分野の近い学生を組ませるよう配慮し、それぞれの専門分野の方法論や知見を学ばせる。毎回、プレゼンテーションを行い、学生・教師間の双方向的なディスカッション、学生間の相互的なディスカッションによって、広い視野から課題を捉える研究力とプレゼンテーション能力を培う。 本授業の指導には、人文学系の教員と社会学系の教員の2名が担当し、すべての授業に2名が参加し、学生の活動を指導する。	共同
専門科目	専門演習科目	多文化社会演習 1	本授業では、20世紀の戦争が生み出した「歴史問題」を社会学の立場から取り上げ、学生の参加により授業を進める。授業は英語で行う。第1週目に、歴史問題の概要と日本政府の公式的立場を紹介する。そのあと、6つのユニット(2週間ずつ)にわけ、一週目に講義と予習、二週目にディベートを行う。テーマは、1)戦争への道(1941年までに、日本はどのような選択肢があったのか)、2)戦争責任問題(戦後、どのような対応は必要だったのか)、3)靖国問題(戦死者をどうやって記念できるのか)、4)原爆(原爆投下は必要だったのか)、5)領土問題(日本と隣国のクレーム、どちらが正しいのか)、6)過去の克服(どうやって「歴史問題」に終止符を打てるのか)。以上の作業を通じ社会に対する客観的な視座と、ディベートの手法を身に付けることを目標とする。	

専門科目	専門演習科目	多文化社会演習 2	本授業では、社会学の手法を用い、コンテンツツーリズム(アニメなどポップカルチャーに誘導された観光)を取り上げる。授業は英語で行う。 本授業は、PBL(project based learning)型の授業で、グループ研究プロジェクトを中心に行われる。第1週目のイントロダクション(コンテンツツーリズムの紹介・定義)の後、4つのユニット(3週間ずつ)に分け、1)どこが「聖地」となるか(映画を見て、観光客がどこに行くかを推測する)、2)ファンの行動(アンケート調査をデザインし、行って、ファン行動について調査をする)、3)自治体の役割(自治体の観光PR資料と観光統計の調査を通じて、自治体のコンテンツツーリズム戦略について調べる)、4)コンテンツビジネス調査(作家やコンテンツ作成会社などコンテンツビジネスに関する調査を行う)。以上の作業を通じ、文化的な事象に対する調査の手法と、その成果の発表の技法を学ぶ。
専門科目	専門演習科目	日本社会演習 1	本授業では、思想史の観点から日本社会論の演習を行う。授業は、英語で行う。 授業では、近現代日本社会の論点を中心に、「近代」「近代性」 「資本主義的近代」を、ローカルヒストリーとグローバルヒスト リー、戦争、ナショナリズムの形成、反近代的対抗運動、身体、都 市空間、マイノリティなどの論点から学んでいく。テキストの読解 と参加者間の討論を通じ、問題関心の深化を図る。
専門科目	専門演習科目	日本社会演習 2	本授業では、歴史学の観点から、日本社会論の演習を行う。授業は、英語で行う。 授業では、「19世紀日本における都市貧困の社会史」というテーマのもとで、幕末・維新期の地域史料を読み進める。活字史料を中心に近現代史料を読み解くための基礎的な方法や知識の修得する。これにより、史料を用いた歴史研究を遂行する能力を身に付けることを目標とする。
専門科目	専門演習科目	日本文学・文化演習 1	本授業では、文化研究の視点から、日本文学・文化の演習を行う。授業は英語で行う。 授業で素材として用いるのは、日本映画である。映画史的見地から批判的に検討する。日本映画産業は、その長い歴史のなかで精力的に、多様な作品を制作してきた。多くの作品が映画史上で名作と呼ばれる一方で、 国内外でほとんど注目を集めない作品もあった。しかし、日本映画は、学問分野としての映画研究の発展に大きく寄与し、広範な学術的反応をもたらしてきた。 本授業では日本劇映画の歴史を資料を通じて見ていくが、その際に読むテクストは、作品への批評(賛美や悪評)、重要な映画や、映画製作の歴史的瞬間に関するものなどである。日本映画に関する海外での出版物に焦点を当てることにより、海外において、日本映画がどのように評され、受け入れられ、議論され、分類されているのかの一端に触れるう。これにより、世界の中での日本文化の位置を理解することが、本授業の目標である。
専門科目	専門演習科目	日本文学・文化演習 2	本授業では、文学研究の視点から、日本文学・文化の演習を行う。授業は英語で行う。 授業では、日本近代文学作品の主題・モチーフの考察、表現の吟味、時代・社会的文脈の探求などを軸として考察する。こうした手法で、明治から戦後に至る作品を読解していく。これにより、文学作品を読解するための基本的な技法を身に付けることを目標とする。
専門科目	専門演習科目	日本語学演習 1	本授業では、日本語史の視点から、日本語学の演習を行う。 授業では、日本語史研究上の問題点をとり扱い。併せて、その研究方法を身につける。具体的には、テキスト(古典文学作品等) を、表記や用語を丁寧に抑えながら読む訓練をする。また、その過程で日本語史上の諸問題に掘り下げて分析する。これにより、文献に基づく文法・語彙研究の多様な手法を身に付けることを目標とする。
専門科目	専門演習科目	日本語学演習 2	本授業では、文法研究の観点から、日本語学の演習を行う。 授業では、日本語の文法と語彙に関する基本的な文献を講読す る。参加者が分担して担当文献についてレジュメにそって報告し、 それについて相互に議論する。 これにより、言語における文・単語・文法の性質の基本を、日本 語の諸現象の確認を通じて理解すること、そして、単語の語彙的な 意味と単語の文法的な性質とが密接にかかわっていることを具体的 に理解し、文法現象を説明する際に、単語の語彙的な意味がどのよ うにかかわっているかをきちんと説明できるようになること、ま た、このことが日本語教育の実践においても有効であることを体得 することを目標とする。
専門科目	専門演習科目	日本語教育学演習 1	本授業では、第二言語習得論の観点から、日本語教育学の演習を 行う。 授業では、学習者の個別性要因について学習したのち、その各要 因について学習する。その後各自興味のある要因についての簡単な 調査計画を立て、調査を行う。ケーススタディで対処法を考察した のち、各自の調査結果を発表する。これにより、第二言語習得の個 人差について理解し、対応を考えられるようになることを目標とす る。

専門科目	専門演習科目	日本語教育学演習 2	本授業では、教育工学の観点から、日本語教育学の演習を行う。 授業の前半では、主にCAI/CALおよび言語教育関連の文献を読む。 後半は、各種CALL教材を利用分析した上、自分で一つのテーマを決め、語学教育に関連する教材の設計を行う。これにより、マルチメディアとネットワーク環境を利用した学習ソフトウェアに関する研究(CAI, CALL, e-Learning)を中心としたテーマで、言語教育理論を理解した上、実際の教育ソフトウェアのデザインを通して、言語の教育・学習の本質を理解することを目標とする。	
	卒業研究	卒業研究演習 1	指導教員・副指導教員のもとで、それぞれのテーマに関した卒業論 文を執筆することを目標に、専門分野に関わる理解、論文執筆のた めの調査・分析方法を学ぶ。	
	卒業研究	卒業研究演習 2	指導教員・副指導教員のもとで、それぞれのテーマに関した卒業論 文を執筆するための、専門分野に関わる理解を深め、論文執筆のた めの調査・分析を行い、卒業論文に結実させる。	

			教		員		0	氏	3	<u> </u>	等	
(国)	際日本学	部国際	日本学科)									
調書番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任 (予定) 年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千 円)	担当授業科目の名称		担 当 単 位 数		現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の 職 務 に 従 事 す る 週 当 た り 平 均 日 数
	専	教授	アラカワ ヨウへイ 荒川 洋平 <平成31年4月>		修士 (教 育学)		日本の言語を知る 日本学基礎 日本語教育学概論 1 日本語教育学概論 2 昇分野慎断研究 2 卒業論文研究演習 1 卒業論文研究演習 2	1·2·3·4①· ③ 1① 2① 2③ 3·4③ 4① 4③	2 0. 2 2 2 0. 3 2 2	1 1 1 1 1 1	東京外国語大学 大学院国際日本 学研究院教授 (平11.3)	5日
	専	教授	ウミノ(オオタ) タエ 海野(太田) 多枝 <平成31年4月>		Ph. D. (言 語教育 学) (英 国)		日本三年 日本	1·2·3·4③ 3·4① 3·4③ 1① 3① 3③ 4① 4③	1 2 2 2 2 0. 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	東京外国語大学 大学院国際日本 学研究院教授 (平5.4)	5日
	専	教授	カワムラ フトシ 川村 大 <平成31年4月>		博士 (文 学)		日本の言語を知る 古文入門1 古文入門2 異分野横断研究1 日本語古典文法1 日本語音学演習1 日本語語学演習2 日本語論文研究演習2 卒業論文研究演習2	1·2·3·4①· ③ 1·2·3·4① 1·2·3·4③ 3·4① 3·4① 3·4③ 3① 3② 4① 4③	2 2 2 0. 7 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	東京外国語大学 大学院国際日本 学研究院教授 (平10.4)	5日
	専	教授	サトウ マサヒロ 佐藤 正広 <平成31年4月>		博士(経済学)		日本語技能ービジネス日本語 日本社会分析概論 日本学基礎 現代日本社会論 日本社会演習1 日本社会演習2 卒業論文研究演習1 卒業論文研究演習2	1·2·3·4① 2① 1① 3·4③ 3① 3② 4① 4③	2 0. 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1	一橋大学経済研究所教授 (昭60.9)	5日
	専	教授	シートン フィリップ SEATON Philip <平成31年4月>		Ph. D. (メ ディア・ 文化学) (英国)		日本社会入門 日本学基礎 多文化社会論 1 異分野横断研究 1 異分野性社会演演習 1 多文化社会演習 2 卒業論文研究演習 2 卒業論文研究演習 2	1①·③ 1① 3·4① 3·4① 3·4③ 3·4③ 3① 33 4① 43	2 0. 2 2 0. 3 0. 7 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1	東京外国語大学 大学院国際日本 学研究院教授 (平30.4)	5日
	専	教授	スガナガ リェ 菅長 理恵 <平成31年4月>		修士(文 学)※		日本の文学と文化を知る 日本古典文学 1 日本古典文学 2 日本学基礎 日本文学・文化演習 2 卒業論文研究演習 1 卒業論文研究演習 2	1·2·3·4①· ③ 3·4① 3·4③ 1① 3③ 4① 4③	2 2 2 0. 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1	東京外国語大学 大学院国際日本 学研究院教授 (平10.4)	5日
	専	教授	スズキ トモミ 鈴木 智美 <平成31年4月>		博士 (学術)		ライティング・スキル1 日本語学1 日本語学演習1 日本語学演習2 卒業論文研究演習1 卒業論文研究演習2	1·2·3·4① 3·4① 3① 3③ 4① 4③	2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	東京外国語大学 大学院国際日本 学研究院教授 (平12.9)	5日
	専	教授	スズキ ミカ 鈴木 美加 <平成31年4月>		修士 (教 育学)		日本語総合-1 日本語総合-6 日本語総合-7 メディア日本語1 日本語教育学2	13 1①·3 1①·3 1·2·3·4① 3·43	5 3 2 2 2	1 1 1 1	東京外国語大学 大学院国際日本 学研究院教授 (平2.6)	5日

 				The state of the s	_			
				基礎演習 日本学基礎 社会発信型プロジェクト ワーク	1·2③ 1① 2③	2 0. 2 1 1		
専	教授	トモツネ ツトム 友常 勉 <平成31年4月>	博士 (学術)	日本史入門 異分野横断研究1 異分野横断研究2 日本思想史1 日本思想史2	1①·③ 3·4① 3·4③ 3·4① 3·4③	2 1 0.3 1 0.3 1 2 1 2 1	東京外国語大学 大学院国際日本 学研究院教授 (平21.10)	5日
				日本社会演習1 日本社会演習2 卒業論文研究演習1 卒業論文研究演習2 社会協働	3① 3③ 4① 4③ 1·2·3·4①	2 1 2 1 2 1 2 1 2 1		
専	教授	リン シュンセイ 林 俊成 <平成31年4月>	博士 (工学)	日本語を教える 日本語技能-漢字 日本語教育学1 日本語教育学2	1·2·3·4①· ③ 2·3①·③ 3·4① 3·4③	1 1 2 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	東京外国語大学大学院国際日本学研究院教授	5日
		. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		日本語教育学演習1 日本語教育学演習2 卒業論文研究演習1 卒業論文研究演習2 日本語技能一文章表現	3① 3③ 4① 4③ 2·3①·③	2 1 2 1 2 1 2 1	(平10.4)	
専	准 数 極	アベーシン Ration XE	博士(学	ライティング・スキル 2 多文化コラボレーション 2 日本語教育学 1	1·2·3·4③ 1·3 3·4①	$\begin{bmatrix} 1 & & & 1 \\ 2 & & & 1 \\ 1 & & & 1 \end{bmatrix}$	東京外国語大学大学院国際日本	5日
守	准教授	阿部 新 <平成31年4月>	術)	日本語教育学 2 日本語教育学演習 1 日本語教育学演習 2 卒業論文研究演習 1 卒業論文研究演習 2	3·4③ 3① 3③ 4① 4③	2 1 2 1 2 1 2 1 2 1	学研究院准教授 (平28.10)	ЭΠ
専	准教授	イジュウイン (サゴウ) イクコ 伊集院 (左合) 郁 子 <平成31年4月>	修士 (学術) ※	日本語総合-2 キャリア日本語2 日本語教育学1 異分野横断演習2 日本語教女研究演習1 卒業論文研究演習2	13 1·2·3·43 3·4① 33 3(1) 4(1) 4(3)	5 1 2 1 1 1 1 1 2 1 2 1	東京外国語大学 大学院国際日本 学研究院准教授 (平18.4)	5日
専	准教授	オオツ トモミ 大津 友美 <平成31年4月>	博士 (文 学)	日本語総合-4 キャリア日本語 1 多文化コラボレーション 1 日本語教育学 2 日本語教育学演習 2 卒業論文研究演習 1	13 1·2·3·4① 1① 3·4③ 33 4①	5 1 2 1 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1	東京外国語大学 大学院国際日本 学研究院准教授 (平20.4)	5日
				卒業論文研究演習 2	43	2 1		
専	准教授	クドウ (ムラタ) カナ コ 工藤 (村田) 嘉名 子 <平成31年4月>	修士(教育学)	クリティカル・リーディ ング 2	1.2.3.43	2 1	東京外国語大学 大学院国際日本 学研究院准教授 (平15.10)	5日
専	准教授	コマツ ユミ 小松 由美 <平成31年4月>	修士(教育学)	歴史の中の日本を知る 多文化社会論 2	1·2·3·4①· ③ 3·4③	2 1 2 1	東京外国語大学 大学院国際日本 学研究院准教授 (平11.3)	5日
				基礎リテラシー 日本語を教える 日本語技能一読解	1·2① 1·2·3·4①· ③ 2·3①·③	1 1 1 1 1 1 1 1 1		
専	准教授	タニグチ リュウコ 谷口 龍子 <平成31年4月>	博士(学術)	多文化コラボレーション 1 日本学基礎 日本学芸概論1 異分野横断研究1 日本語学2 日本語学演習1 日本語学演習2 卒業論文研究演習2 卒業論文研究演習2	13 10 23 3·40 3·43 31 33 40 43	1 1 0.2 1 2 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	東京外国語大学 大学院国際日本 学研究院准教授 (平21.10)	5日
専	准教授	^{ナカイ ヨウコ} 中井 陽子 <平成31年4月>	博士(日本語教育学)	地域社会フィールドワーク 日本語教育学2 日本語教育学演習2 卒業論文研究演習1 卒業論文研究演習2	2① 3·4③ 3③ 4① 4③	1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 1 2 1 1	東京外国語大学 大学院国際日本 学研究院准教授 (平23.4)	5日
専	准教授	^{ナカムラ} アキラ 中村 彰 <平成31年4月>	修士 (文 学)	日本部学入門	1·2·3·4①· ③ 1①·③	2 1	東京外国語大学 大学院国際日本 学研究院准教授 (平7.4)	5日
 		·						

				To the state of				
専	准教授	ハナゾノ サトル 花薗 悟 <平成31年4月>	博士(言 語文化 学)	日本語総合一5 日本語学1 日本語学演習1 日本語学演習2 異分野横断演習2 英業論文研究演習1 卒業論文研究演習2	13 3·4① 3① 33 33 4① 43	5 1 2 1 2 1 2 1 1 1 2 1 2 1 2 1	東京外国語大学 大学院国際日本 学研究院准教授 (平13.4)	5日
専	准教授	ハルナ /ブォ 春名 展生 <平成31年4月>	博士 (学術)	日本の現在を知る 異分野横断研究2 日本政治・経済1 異分野横断演習1 日本社会演習2 中本社会で研究演習1 卒業論文研究演習2	1·2·3·4①· ③ 3·4③ 3·4① 3① 4① 4③	2 1 0.3 1 2 1 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1	東京外国語大学 大学院国際日本 学研究院准教授 (平27.4)	5日
専	准教授	モタイ(ニシムラ) タ カヒロ 甕(西村) 隆博 <平成31年4月>	博士(理学)	教養としての統計学	1·2·3·4①·	2 1	東京外国語大学 大学院国際日本 学研究院准教授 (昭62.7)	5日
争	講師	イシザワ トオル 石澤 徹 <平成31年4月 >	博士(教育学)	多文化コラボレーション 2 日本語教育学 1	1③ 3·4①	1 1 2 1	東京外国語大学 大学院国際日本 学研究院講師 (平26.4)	日 3
専	講師	イトウ カツヒロ 伊東 克洋 <平成31年4月>	博士(応 用言語 学)	教育支援フィールドワー ク 日本学基礎 日本語教育学 2	2③ 1① 3·4③	1 1 0. 2 1 2 1	東京外国語大学 大学院国際日本 学研究院講師 (平29.4)	5日
専	講師	^{キムラ} マザミ 木村 正美 <平成31年4月>	Ph. D. (歴史 学) (米 国)	社会発信型プロジェクト ワーク 日本学基礎 日本外交・国際関係概論 異分野横断研究2 日本外交・国際関係1 日本外交・資習り 日本外交で、資習1 平業論文研究演習1 卒業論文研究演習2	23 1① 23 3·43 3·4① 3·43 3·43 3① 4① 40 43	1 1 0.2 1 2 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	東京外国語大学 大学院国際日本 学研究院講師 (平30.4)	5日
専	講師	^{グテ ヒロコ} 伊達 宏子 <平成31年4月>	博士 (科学)	教育支援フィールドワーク 日本語教育学1	2③ 3·4①	1 1 2 1	東京外国語大学 大学院国際日本 学研究院講師 (平27.4)	5日
専	講師	ハウカンブ, イリス HAUKAMP Iris <平成31年4月>	PhD (英 国)	日本の文学と文化を知る 異分野横断研究 1 日本学基礎 日本文化 1 日本文化 2 日本文学・文化演習 1 日本文学・文化演習 2 異分野横び調習 1 卒業論文研究演習 1 卒業論文研究演習 2	3 3·4① 1① 3·4① 3·4③ 3① 3③ 3③ 3③ 4① 4① 4③	2 1 0.3 1 0.2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1	東京外国語大学 大学院国際日本 学研究院講師 (平30.4)	5日
専	講師	ボーター, ジョン バト リック PORTER John Patrick <平成31年4月>	Ph. D. (米国)	歴史の中社会概論 日本史・社会概論 異分野横基礎 日本史1 日本史2 日本全会演習1 日本社会演習2 卒業論文研究演習2 卒業論文研究演習2	1·2·3·4①③ 2① 3·4③ 1① 3·4① 3·4③ 3·4③ 3① 30 40 43	2 1 2 1 0.3 1 0.2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1	東京外国語大学 大学院国際日本 学研究院講師 (平27.4)	5日
鱼	講師	ユキマツ ハナエ 幸松 英恵 <平成31年4月>	博士(学術)	日本語初級集中 日本語総合-3 地域社会フィールドワー ク 日本語学概論1	13 13 21 21	10 1 5 1 1 1 1 2 1 1	東京外国語大学 大学院国際日本 学研究院講師 (平30.4)	5日
専	助教	セン, ラージ ラキ SEN Raj Lakhi <平成31年4月>	博士 (文 学)	日本語技能一聴解 日本学基礎 日本文学·文化入門 日本文学·斯研究1 日本近現代文学1 日本近現代文学2 日本文学·文化演習1 卒業論文研究演習1 卒業論文研究演習2	2·3①·3 1① 1①·3 2① 3·4① 3·4② 3·4③ 30 4① 43	1 1 1 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 2	東京外国語大学 世界言語社会教 育センター 助 教 (平29.2)	5日

兼担	教授	カザマ シンジロウ 風間 伸次郎 <平成31年4月>	修士(文 学)	アジアの言語	1.2.3.41).	2	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 教授 (平8.4)
兼担	教授	シノハラ タク 篠原 琢 <平成31年4月>	PH. D. (チェ コ)	諸地域言語(チェコ語)	1·2·3·4①·	1	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 教授 (平8.4)
兼担	教授	スガワラ ムツミ 菅原 睦 <平成31年4月>	修士 (言 語学)	諸地域言語(トルコ語)	1.2.3.41.	1	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 教授 (平7.4)
兼担	教授	スズキ レイコ 鈴木 玲子 <平成31年4月>	修士(文 学)※	諸地域言語(ラオス語)	1·2·3·4①·	1	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 教授 (平8.4)
兼担	教授	タケダ チカ 武田 千香 <平成31年4月>	修士 (文 学)	就業体験	1·2·3·4② · ④	2	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 教授 (平24.4)
兼担	教授	ナリタ タカシ 成田 節 <平成31年4月>	修士 (文 学)	教養外国語 (ドイツ語 A)	1.2.3(1).3	1	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 教授 (平9.4)
兼担	教授	ハギオ ショウ 萩尾 生 <平成31年4月>	修士(国 際学)	文化理解	3.41	1	1	東京外国語大学 特命事項担当室 教授 (平28.4)
兼担	教授	ハヤシ カヨコ 林 佳世子 <平成31年4月>	修士(文 学)※	短期海外留学	1·2·3·4②· ④	2	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 教授 (平5.4)
兼担	教授	フジナワ ヤスヒロ 藤縄 康弘 <平成31年4月>	修士 (文 学)	環境と科学	1·2·3·4①·	2	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 教授 (平21.4)
兼担	教授	ミズノ ヨシフミ 水野 善文 <平成31年4月>	修士 (文 学)	古典言語 諸地域言語(ヒンディー 語)	1·2·3·4①· ③ 1·2·3·4①· ③	2	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 教授 (平12.4)
兼担	教授	ョシダ ユリコ 吉田 ゆり子 <平成31年4月>	博士 (文 学)	歴史学 (日本史) スタディツアー	1·2·3·4①· ③ 1·2·3·4②· ④	2	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 教授 (平3.4)
兼担	教授	ョシモト ヒデュキ 吉本 秀之 <平成31年4月>	修士 (理 学) ※	健康と医療	1.2.3.41.	2	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 教授 (昭63.7)
兼担	准教授	^{ウエダ} ヒロミ 上田 広美 <平成31年4月>	修士 (言 語学) ※	諸地域言語(カンボジア 語)	1.2.3.41.	1	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 准教 授 (平9.4)
兼担	准教授	^{オカノ} ケンジ 岡野 賢二 <平成31年4月>	修士 (言 語学) ※	諸地域言語(ビルマ語)	1·2·3·4①·	1	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 准教 授 (平20.4)

兼担	准教授	カトウ ミホ 加藤 美帆 <平成31年4月>	博士(育学)	教	教育基礎論	1.2.3.41.	2	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 准教 授 (平25.10)
兼担	准教授	タジマ アツシ 田島 充士 <平成31年4月>	博士 (理学)	心	学習心理学	1.2.3.4①	2	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 准教 授 (平24.4)
兼担	准教授	ニワ キョウコ 丹羽 京子 <平成31年4月>	P h . l (イン ド)		諸地域言語(ベンガル 語)	1.2.3.41.	1	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 准教 授 (平26.10)
兼担	准教授	ナガヤ ナオノリ 長屋 尚典 <平成31年4月>	P h. l (米国		諸地域言語(フィリピン 語)	1.2.3.41).	1	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 准教 授 (平25.4)
兼担	准教授	/ヒラ ムネヒロ 野平 宗弘 <平成31年4月>	博士 (術)	学	諸地域言語 (ベトナム 語)	1.2.3.4①.	1	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 准教 授 (平25.4)
兼担	准教授	ノモト ヒロキ 野元 裕樹 <平成31年4月>	P h . l (米国		諸地域言語(マレーシア語)	1.2.3.41.	1	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 准教 授 (平22.4)
兼担	准教授	フリハタ マサシ 降幡 正志 <平成31年4月>	修士 (学)	文	諸地域言語(インドネシア語)	1.2.3.4①.	1	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 准教 授 (平12.4)
兼担	准教授	モリタ コオジ 森田 耕司 <平成31年4月>	博士 (ラヴ言 学)		諸地域言語(ポーランド 語)	1.2.3.4①.	1	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 准教 授 (平25.4)
兼担	准教授	マナベ モトム 真鍋 求 <平成31年4月>	博士 学)	医	スポーツ体力づくり	1·2·3·4①· ③ 1·2·3·4①· ③	1	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 准教 授 (平4.4)
兼担	准教授	マミヤ (コマキ) ケン サク 萬宮 (小牧) 健 策 <平成31年4月>	修士 (学)	文	諸地域言語(ウルドゥー語)	1.2.3.4①.	1	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 准教 授 (平23.4)
兼担	准教授	ョシェ サトコ 吉枝 聡子 <平成31年4月>	博士 (術)	学	諸地域言語(ペルシア 語)	1.2.3.4①.	1	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 准教 授 (平11.4)
兼担	講師	アイキ ヒロシ 相木 裕史 <平成31年4月>	修士 学)		英語B1 英語B2	2① 2③	1	1 1	東京外国語大学 世界言語社会教 育センター 講 師 (平30.4)
兼担	講師	アオキ マサヒロ 青木 雅浩 <平成31年4月>	博士 (学)	文	諸地域言語(モンゴル 語)	1.2.3.41.	1	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 講師 (平28.4)
兼担	講師	イリチュ, ピーター ILIC Peter <平成31年4月>	Ph. D. 育) 国)		英語A3 英語A4	1① 1③	1 1	1	東京外国語大学 世界言語社会教 育センター 講 師 (平28.4)
兼担	講師	オオタニ ナオキ 大谷 直輝 <平成31年4月>	博士 間・選 学)		英語B3 英語B4	2① 2③	1	1 1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 講師 (平27.4)

兼担	且 講師	クサカベ ナオノリ 日下部 尚徳 <平成31年4月>	博士(人間科学)	国際社会と地域	1·2·3·4①· ③	2	1	東京外国語大学 世界言語社会教 育センター 講 師 (平28.3)
兼担	且 講師	^{サカサイ} アキト 逆井 聡人 <平成31年4月>	博士(学術)	文化と芸術	1·2·3·4① ·	2	1	東京外国語大学 世界言語社会教 育センター 講 師 (平29.2)
兼担	丑 講師	シマダ シヅォ 島田 志津夫 <平成31年4月>	修士 (文 学)	諸地域言語 (ウズベク 語)	1.2.3.41.	1	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 講師 (平23.10)
兼担	講師	^{シュウ} イクカ 周 育佳 <平成31年4月>	博士(学術)	英語A1 英語A2	1① 1③	1 1	1 1	東京外国語大学 世界言語社会教 育センター 講 師 (平29.10)
兼担	講師	ティップティエンポン コースイット TIPTIEMPONG Kosit <平成31年4月>	博士(学術)	諸地域言語(タイ語)	1·2·3·4①· ③	1	1	東京外国語大学 大学院総合国際 学研究院 講師 (平25.4)
兼担	丑 講師	ヘンドリックス, クリス トフ HENDRICKS, Christoph <平成31年4月>	学士	教養外国語 (ドイツ語 B)	2.3.4① · ③	1	1	東京外国語大学 世界言語社会教 育センター 講 師 (平28.4)
兼担	1 助教	ウツミ ヨウコ 内海 陽子 <平成31年4月>	修士(教育学)	日本語技能 - 時事日本語 クリティカル・リーディ ング 1 メディア日本語 2	2·3①③ 1·2·3·4① 1·2·3·4③	1 2 2	1 1 1	東京外国語大学 世界言語社会教 育センター 助 教 (平28.4)
兼担	1 助教	^{ワタナベ} シュウ 渡辺 周 <平成31年4月>	修士 (商 学) ※	キャリアのための経営学	1.2.3.41.	2	1	東京外国語大学 世界言語社会教 育センター 助 教
兼任	· 講師	アイバ ユリコ 愛場 百合子 <平成31年4月>	修士※	教養外国語 (スペイン語 B)	2.3.4① · ③	1	1	なし
兼任	· 講師	オイカワ アカネ 及川 茜 <平成31年4月>	修士 (文 学) ※	漢文入門 日本文学・文化概論 2 漢文学	1·2·3·4③ 2③ 3·4①·③	2 2 2	1 1 1	神田外語大学 外国語学部 講 師 (平24.4)
兼任	· 講師	イケダ カズコ 池田 和子 <平成31年4月>	M. A (米 国)	英語C1	3①	1	1	なし
兼任	講師	イチハシ (ナカヤマ) クミコ 市橋 (中山) 久美 子 <平成31年4月>	M. A. (米国)	教養としての言語学	1·2·3·4① · ③	2	1	なし
兼任	講師	**カノヤコウイチ 岡野屋 宏一 < 平成31年4月 >	学士(教育)	書道	3·4①·③	2	1	桐朋女子中・高 等学校 教諭 (平3.4)
兼任	講師	オソノエ サトシ 小薗江 聡 <平成31年4月>	学士	手話言語	1·2·3·4① ·	2	1	なし
兼任	講師	カク マーホー 郭 マーホー <平成31年4月>	博士(学術)	諸地域言語 (広東語)	1·2·3·4① ·	1	1	なし

 	1							1	
兼任	講師	_{カ チンジ} 何 珍時 <平成31年4月>	修士(教 育学)※	諸地域言語(上海語)	1·2·3·4①· ③	1	1	なし	
兼任	講師	^{カドヤ} マサアキ 角谷 征昭 <平成31年4月>	博士	諸地域言語(スワヒリ 語)	1·2·3·4①· ③	1	1	なし	
兼任	講師	カナイ コウタロウ 金井 光太朗 <平成31年4月>	修士 (法 学)	歷史学(世界史)	1·2·3·4①·	2	1	なし	
兼任	講師	カルロス・ジャカ CARLOS, JACA <平成31年4月>	学士	教養外国語(ポルトガル 語A) 教養外国語(ポルトガル 語B)	1·2·3①·③ 2·3·4①·③		1	なし	
兼任	講師	^{カワイ} / リリエ 河合 徳枝 <平成31年4月>	修士	舞踊	1·2·3·4①·	1	1	なし	
兼任	講師	クスミ マユ 久住 真由 <平成31年4月>	修士(比 較文化) ※	教養外国語 (スペイン語 A)	1.2.3(1) • (3)	1	1	なし	
兼任	講師	コデラ タカシ 小寺 孝 <平成31年4月>	修士 (理 学)	情報技法	1·2·3·4①· ③	2	1	株式会社日立製 作所 (昭62.4)	
兼任	講師	サイトウ カズヒサ 斎藤 一久 <平成31年4月>	修士 (法 学) ※	憲法	1·2·3·4①·	2	1	東京学芸大学専 任講師 (平16.10)	
兼任	講師	サイトウ マサヤ 齋藤 雅哉 <平成31年4月>	修士※	市民社会と協働	1·2·3·4①·	2	1	なし	
兼任	講師	^{サカイ ヒロキ} 坂井 弘紀 <平成31年4月>	博士(学 術)	諸地域言語 (中央アジア 諸語)	1·2·3·4①·	1	1	和光大学准教授 (平19.4)	
兼任	講師	サクライ エイコ 櫻井 映子 <平成31年4月>	博士(文学)	ヨーロッパの言語	1·2·3·4①·	2	1	なし	
兼任	講師	^{サトウ タカユキ} 佐藤 貴之 <平成31年4月>	修士 (学術)	教養外国語 (ロシア語 A) 教養外国語 (ロシア語 B)	1·2·3①·3 2·3·4①·3		1	なし	
兼任	講師	サトウ ヒロコ 佐藤 寛子 <平成31年4月>	P h . D . (ハワイ 大学)	諸地域言語(オセアニア 諸語)	1·2·3·4① · ③	1	1	なし	
兼任	講師	^{シバタ} ミズエ 柴田 瑞枝 <平成31年4月>	博士(学術)	教養外国語(イタリア語 A)	1.2.3(] • (3)	1	1	なし	
兼任	講師	^{スエトミ カオリ} 末冨 芳 <平成31年4月>	博士(学 術)	学校教育社会学	1.2.3.4①	2	1	日本大学文理学 部准教授 (平22.3)	

兼任	壬 講師	師	スズキ スティーブン タロー SUZUKI Steven Taro <平成31年4月>	M. A. (コロン ビア大 学)	英語C4	3③	1	1	なし	
兼任	壬 講館	師	スヤマ ダイイチロウ 陶山 大一郎 <平成31年4月>	博士(学 術)	教養外国語(フランス語 B)	1.2.3(1) • (3)	1	1	なし	
兼任	壬 講信	師	トミナガ マサト 冨永 正人 <平成31年4月>	修士※	教養外国語(アラビア語 A) 教養外国語(アラビア語 B)	1·2·3①·3 2·3·4①·3		1	なし	
兼任	壬 講じ	師	ナカオ (ゴトウ) カズミ 中尾 (後藤) 和 美 <平成31年4月>	博士(学術)	教養外国語(フランス語 A)	1.2.3(].(3)	1	1	なし	
兼任	壬 講信	師	ニシジマ エリコ 西島 絵里子 <平成31年4月>	修士※	日本語技能一文法	1·2·3·4② · ④	1	1	なし	
兼任	壬 講信	師	ハイダ キョシ 拝田 清 <平成31年4月>	修士 (言 語学) ※	多文化社会	1·2·3·4① · ③	2	1	なし	
兼任	£ 講信	師	ハシモト カズユキ 橋本 和幸 <平成31年4月>	博士(教育学)	教育相談 こころの科学	1·2·3·4① 1·2·3·4① · ③	2 2	1	了徳寺大学教養 部 准教授 (平26.4)	
兼任	壬 講信	師	フリードリック ダニエ ル FRIEDRICH Daniel <平成31年4月>	学士	英語A5 英語A6 英語B5 英語B6	1① 1③ 2① 2③	1 1 1 1	1 1 1 1	なし	
兼任	壬 講師	師	フルカワ トシアキ 古川 敏明 <平成31年4月>	博士 (言 語学)	オセアニア・アメリカの 言語	1·2·3·4①·	2	1	大妻女子大学講師(平26.4)	
兼任	壬 講師	師	ヘンダーソン,イアン HENDERSON, Ian <平成31年4月>	M. A(英 国)	英語C3	3①	1	1	なし	
兼任	壬 講師	師	^{ホシ} ケンイチ 星 健 一 <平成31年4月>	修士 (言 語学) ※	教養外国語(中国語B)	2·3·4① · ③	1	1	なし	
兼任	壬 講師	師	ボリック ジョナサン BOLICK, Jonathan <平成31年4月>	M.A (米 国)	英語C2	3③	1	1	なし	
兼任	壬 講師	師	マルヤマ フミタカ 丸山 文隆 <平成31年4月>	修士(文 学)	哲学	1·2·3·4① · ③	2	1	東京大学特任研究員(平30.4)	
兼任	壬 講師	師	ミツモリ ヤエコ 三森 八重子 <平成31年4月>	博士 (工 学)	キャリアデザイン論	1·2·3·4① · ③	2	1	大阪大学教授 (平27.4)	
兼任	壬 講信	師	モチヅキ(オノデラ) ユキ 望月(小野寺) 由 起 <平成31年4月>	博士 (学 術)	進路指導・キャリア教育 論	1.2.3.4①	2	1	昭和女子大学人 間社会学部福祉 社会学科准教授 (平27.4)	_

	ヤマザキ アキコ 山崎 亜希子	博士(言	教養外国語(朝鮮語A)	1.2.3(1).(3)	1	1	なし		
)II()	(平成31年4月)		語学)※	教養外国語 (朝鮮語B)	2.3.41 . 3	1	1	8	
兼任	講師	ョ ^{コタ} サヤカ 横田 さやか <平成31年4月>	博士(学 術)	教養外国語(イタリア語 B)	2.3.41 . 3	1	1	なし	
兼任	講師	リ イルン 李 軼倫 <平成31年4月>	博士 (学 術)	教養外国語(中国語A)	1·2·3①·③	1	1	なし	
兼任	講師	ワカサ モトミチ 若狭 基道 <平成31年4月>	博士(文 学)		1·2·3·4①·	2	1	なし	

東京外国語大学 設置申請に係わる組織の移行表

平成30年度	入学福入学 定員 定員	収容 定員	平成31年度	入学福入学 収容 定員 定員 定員	変更の事由
東京外国語大学			東京外国語大学		
言語文化学部	3年次		言語文化学部	3年次	
言語文化学科	370 15	5 1,510	<u>言語文化学科</u>	<u>335</u> <u>10</u> <u>1,360</u>	· 定員変更(△35)
			<u>国際日本学部</u> 国際日本学科	^{3年次} 75 10 320	学部の設置(事前伺い) !
国際社会学部 国際社会学科	375 15	5 1530	国際社会学部 <u>国際社会学科</u>	335 10 1,360	定員変更(△40)
	2年次 			2年次	-
計	745 _{3年次} 30	3,040	計	745 _{3年次} ⁻ 3,040 30	
東京外国語大学大学院 総合国際学研究科			東京外国語大学大学院 総合国際学研究科		
世界言語社会専攻(M)	.02	204	世界言語社会専攻(M)		
国際日本専攻(M)	46 -	86	国際日本専攻(M)	46 - 86	
世界言語社会専攻(D)	30 -	90	世界言語社会専攻(D)		定員変更(Δ3)
国際日本専攻(D)	10 -	30	共同サステイナビリティ研究専攻(D) 国際日本専攻(D)	<u>3</u> - <u>9</u> 10 - 30	•
					_
計	188 -	410	計	188 - 410	